

材木座町屋遺跡 (No.261)

材木座二丁目 208 番 1 地点

例 言

1. 本報は材木座町屋遺跡（神奈川県遺跡台帳 No. 261）に所在する鎌倉市材木座二丁目 208 番 1 地点における個人専用住宅の建設に伴う緊急発掘調査報告である。
2. 調査は平成 19 年 2 月 26 日から同年 5 月 1 日にかけて実施した。
3. 調査体制は以下の通りである。

担当者 伊丹まどか
調査員 石元道子・宇都洋平・鈴木絵美・本城裕
調査作業員 片山直文・倉澤六郎・田島道夫

4. 本報作成分担は以下の通りである。

遺物実測 菅野知子・柁岡ケイト・三瓶裕子・渡邊美佐子
遺構図版作成 菅野知子・渡邊美佐子
遺物図版作成 菅野知子・渡邊美佐子
遺物観察表 柁岡ケイト
破片遺物集計表 小野夏菜
遺構写真 宇都洋平
遺物写真 須佐仁和
写真図版作成 柁岡ケイト
執筆・編集 伊丹まどか・渡邊美佐子

5. 出土品等発掘調査に係る資料は鎌倉市教育委員会が管理している。

6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は以下の通りである。

遺構全測図：1 / 60 個別遺構図：1 / 40 遺物実測図：1 / 3（* 銭は原寸）
なお各挿図にはスケールを表示してある。

7. 検出した遺構の計測値・実測遺物観察・実測できなかった遺物を含む総出土点数は表にまとめて掲載した。

8. 発掘調査及び報告書作成に際して以下の方よりご教授、ご協力を賜りました。記して深謝いたします。（五十音順・敬称略）

秋山哲雄・菊川泉・齋木秀雄・汐見一夫・田畑衣理・原廣志・松尾宣方・松吉大樹

目 次

第一章 調査地点の位置と歴史的環境	46
1. 歴史的環境	
2. 遺跡の位置とグリッド配置図	
3. 堆積土層	
第二章 検出した遺構と遺物	54
1. 第1面の遺構と遺物 (図4・図6～図10)	
2. 第2面の遺構と遺物 (図4・図11～図17)	
3. 第3面の遺構と遺物 (図5・図18～図25)	
4. 第4面の遺構と遺物 (図5・図26～図36)	
第三章 まとめ	92
・遺構計測表	
・遺物観察表	
・出土遺物破片数表	

挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡図	45	図16 第2面・遺構27・遺構34・遺構39・ 遺構40	68
図2 遺跡位置図・グリッド配置図	47	図17 第2面・面上・構成土出土遺物	70
図3 堆積土層図・最終トレンチ位置図	49	図18 第3面・遺構31	71
図4 第1面・第2面全測図	52	図19 第3面・遺構31出土遺物	72
図5 第3面・第4面全測図	53	図20 第3面・遺構44	73
図6 第1面個別遺構図(1) (遺構1・2・3・4・7・8・9・10・17・18・ 19・20・21・26)	55	図21 第3面・遺構44出土遺物	74
図7 第1面個別遺構図(2) (遺構32・33・36・37・42・43)	57	図22 第3面・遺構53	75
図8 第1面・遺構出土遺物	58	図23 第3面個別遺構図(遺構35・57・59・ 65・70a・70b・74・76・77・95)	76
図9 第1面・面上出土遺物	59	図24 第3面遺構出土遺物(遺構46・50・57・ 59・65・70・74・76・77)	77
図10 第1面・構成土出土遺物	60	図25 第3面・構成土出土遺物	78
図11 第2面・遺構13・遺構16	62	図26 第4面・遺構51	79
図12 第2面・遺構22・遺構28	63	図27 第4面・遺構51出土遺物(1)	80
図13 第2面・遺構22出土遺物	64	図28 第4面・遺構51出土遺物(2)	81
図14 第2面・遺構24・遺構25	65	図29 第4面・遺構54(1)	82
図15 第2面・遺構38・遺構39・遺構45	67	図30 第4面・遺構54(2)	83

図 31 第 4 面・遺構 54 (3) ……………	84	図 34 第 4 面遺構出土遺物 (遺構 91・96・	98・109・112・117・119・122・125・
図 32 第 4 面・遺構 54 (4) ……………	85	146)……………	87
図 33 第 4 面個別遺構図 (遺構 80・81・91・	92・96・107・109・110・112・119・	図 35 第 4 面・面上出土遺物 ……………	90
125・128・130・135) ……………	86	図 36 表土出土遺物 ……………	90

図版目次

図版 1 第 1 面全景・第 2 面遺構 13・遺構 24…	113	図版 11 第 2 面面上・第 2 面構成土・	
図版 2 第 2 面全景……………	114	第 3 面遺構出土遺物 ……………	123
図版 3 第 3 面全景・遺構 31・遺構 53 ……	115	図版 12 第 3 面遺構出土遺物 ……………	124
図版 4 第 4 面遺構 51 ……………	116	図版 13 第 3 面遺構・第 3 面構成土・	
図版 5 第 4 面遺構 51・遺構 130 ……………	117	第 4 面遺構出土遺物 ……………	125
図版 6 第 4 面遺構 54・トレンチ 2 西壁 …	118	図版 14 第 4 面遺構 51 出土遺物……………	126
図版 7 第 1 面出土遺物……………	119	図版 15 第 4 面遺構 54 出土遺物……………	127
図版 8 第 1 面面上・第 1 面構成土・		図版 16 第 4 面遺構 54 出土遺物……………	128
第 2 面遺構出土遺物……………	120	図版 17 第 4 面遺構・第 4 面面上・	
図版 9 第 2 面遺構出土遺物……………	121	表土出土遺物 ……………	129
図版 10 第 2 面遺構出土遺物 ……………	122		

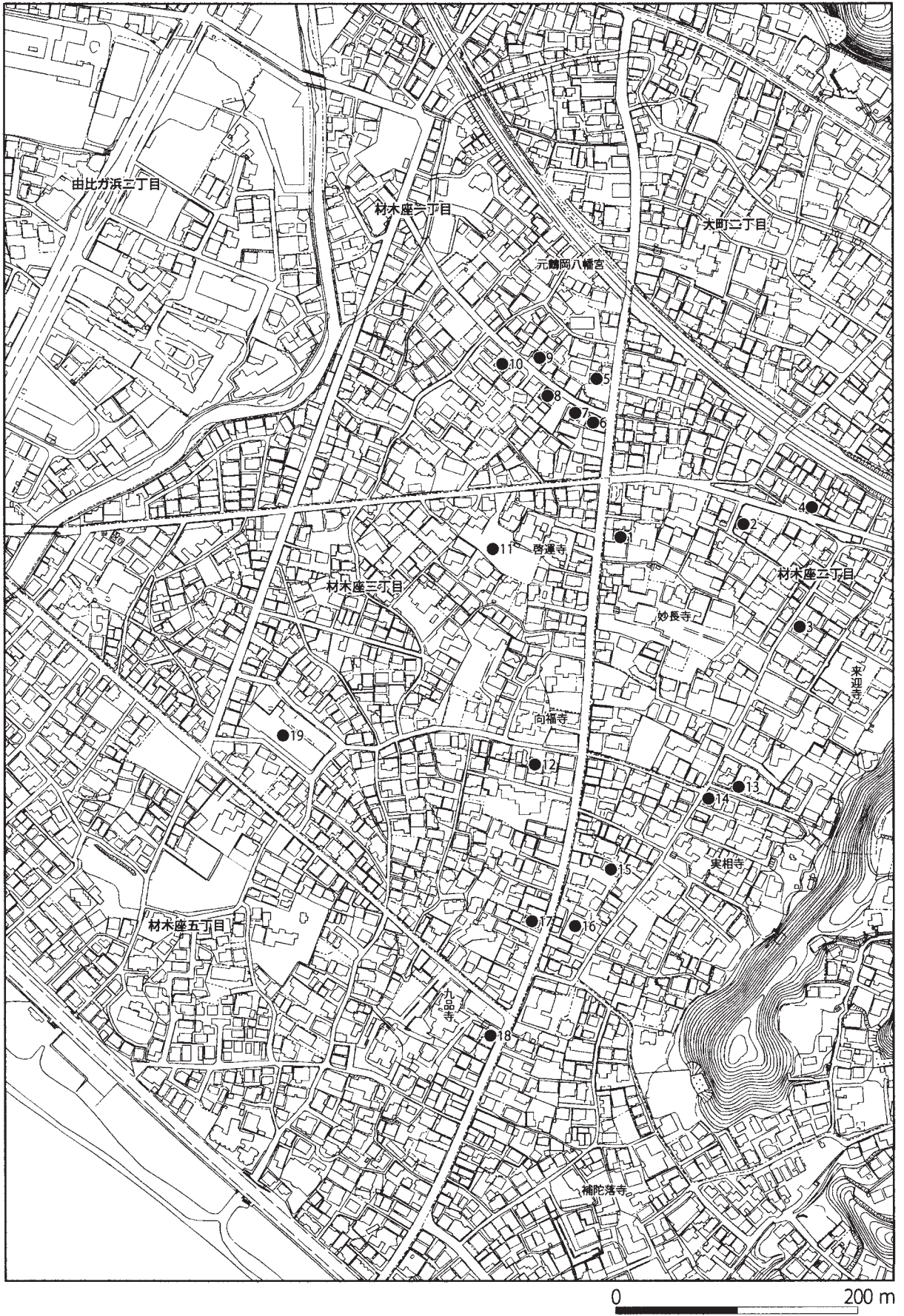


図 1 調査地点と周辺の遺跡図

第一章 調査地点の位置と歴史的環境

1 歴史的環境 (図 1)

本調査地は鎌倉市材木座二丁目 208 番 1 地点に所在する。調査地点のある「材木座町屋遺跡 (No. 261)」は鎌倉市街地の南東域にあり、北は東西に走る横須賀線、南は相模湾、東は「能蔵寺跡」「実相寺旧境内」の遺跡地を含む丘陵、西は滑川までを限りとするやや広域な一帯である。「材木座町屋遺跡」内での調査は近年になって事例が増えつつあるが、遺跡指定域が広範であるために点在する調査事例からは遺跡地の性格を捉える成果は上がっていない。

調査地の北側を東西に走る道路は「水道路」と呼ばれている。「水道路」は軍備増強のために新たな水道の供給を測った旧日本海軍が明治 45 年 (1912) から 10 年の年月を経て、愛甲郡愛川町半原石小屋地区の中津川から 53km 離れた横須賀市逸見まで引いた水道管の上を走る道路である。調査地の西に隣接する南北に走る道路は、北に向かうと中世鎌倉の東西を結ぶ主要な交通路であった「大町大路 (古東海道)」と交差して「小町大路」に通じ、鎌倉の物流を担った六浦の港へ向かう「六浦路」に繋がる。南に向かうと外港として機能していた「和賀江島 (現在日本最古の築港址で国指定史跡になっている)」に向かい、「小坪路」と呼ばれる逗子・三浦方面へ抜ける道に通じ、中世鎌倉の中から外へ、外から中へと物資、人の移動が盛んに行われた道筋に立地し、幕府から「町屋免許」を得た重要な商業地域という性格を持つと共に、調査地点西側に啓運寺 (日蓮宗)、東に長勝寺 (日蓮宗)、南に妙長寺・実相寺 (日蓮宗)、向福寺 (時宗)、九品寺 (浄土宗)、補陀洛寺 (真言宗) 等と、周辺には 12 世紀末から 16 世紀初頭と開山・建立の时期的なずれはあるが多くの寺院の点在する特異な宗教域でもある。

周辺の調査では、調査地点から西に 80m 離れた地点 11 では南北道路・建物・井戸・土坑墓が発見され、13 世紀前半から中頃と 13 世紀後半から 14 世紀代の遺構に時代が二分され。竪穴建物からは切断痕のある石材片・鉄滓・鞆の羽口の出土があり、石製品・鉄製品製作の職人集団の存在を示唆している。遺跡地の基盤層は飛砂からなる灰褐色砂層で、下層には縄文後期の海退による沈殿層と考える黒色粘土層が堆積する事が確認された。東に 100m 離れた地点 2 では 13 世紀前半から 15 世紀初頭に至る 3 枚の遺構面から方形竪穴建築址・方形土坑、多くの柱穴・土坑が検出されている。さらに 60m 東に行った地点 4 では 14 世紀前半から 15 世紀前半以降の遺構を発見し、大半が 15 世紀以降の遺構群に比定された。調査地に隣接する道路を北に 130m 向かった地点 5 では 13 世紀後半から 14 世紀代の南北方向の溝・柱穴・土坑が発見されている。南に 320m 下った地点 16 では 14 世紀から 15 世紀に比定される南北方向の溝・土坑・方形土坑・竪穴建物・礎石建物が発見され、道を挟んだ地点 17 では竪穴建物・方形土坑・土坑・ピットが発見され、13 世紀初めから 15 世紀半ばごろまでの変遷が明らかになった。さらに 430 m 下った地点 18 では 13 世紀初頭から前半にかけての土坑・ピット・竪穴建物が発見されている。

【参考文献】

- 『廃寺事典』 貫達人・川副竹胤 有隣堂 1980 年
- 『日本歴史地名大系 14 神奈川県の名』 平凡社 1984 年
- 『鎌倉市史』考古編 (再版) 赤星直忠 鎌倉市 1967 年
- 『鎌倉市史』総説編 高柳光寿 鎌倉市 1959 年
- 『鎌倉市史』社寺編 (再版) 高柳光寿・佐藤栄智・川副竹胤・貫達人 鎌倉市 1959 年



	日本測地系		世界測地系	
3級基準点[53408]	x=-76736.768	y=-25185.234	x=-76380.0813	y=-25478.7027
4級基準点[D004]	x=-76787.247	y=-25197.09	x=-76430.5596	y=-25490.5617
B	x=-76783.17	y=-25182.915	x=-76426.483	y=-25476.3868
A	x=-76784.19	y=-25171.958	x=-76427.5035	y=-25465.4299

図2 遺跡位置図・グリッド配置図

2 遺跡位置とグリッド配置図（図2）

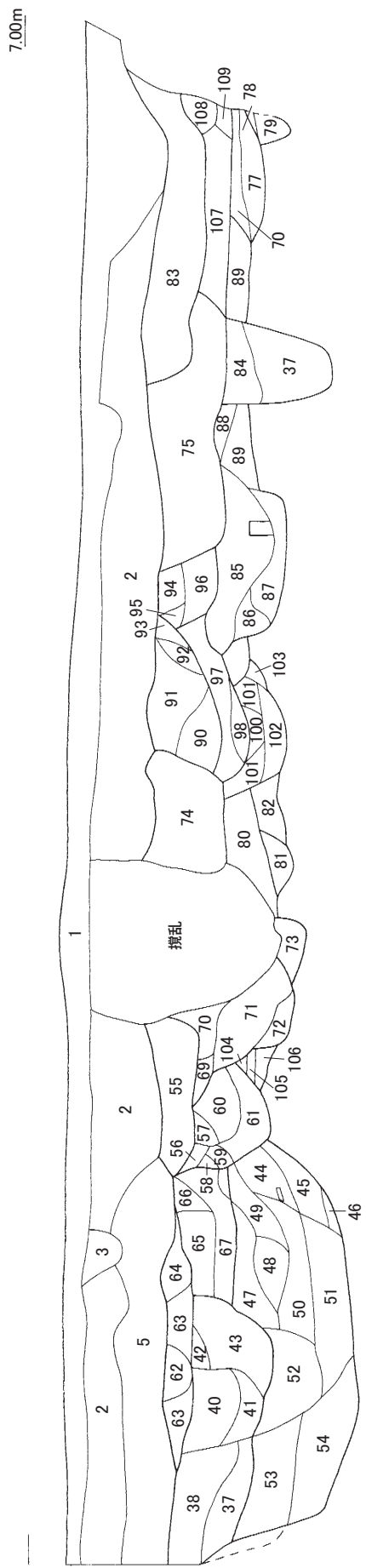
調査開始にあたって調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、調査時の成果表は日本測地系（座標AREA9）の国土座標値を使用したため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系第IX形に変換し、図2に表記した。

3 堆積土層

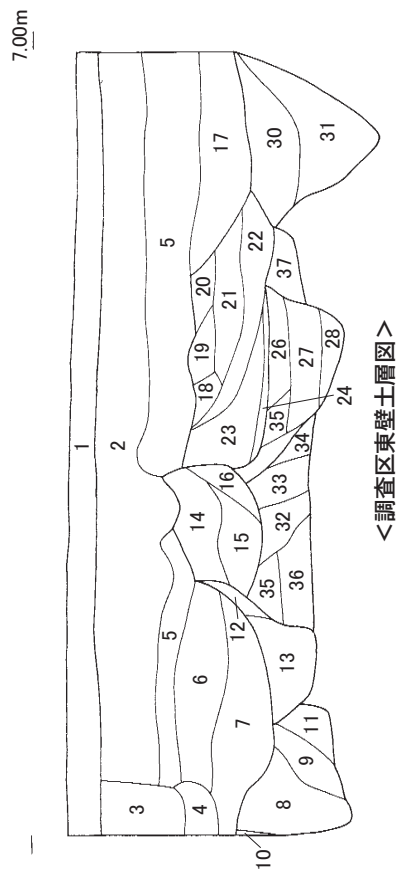
現地表、海拔6.50～6.90mであった表土から約60cmを重機によって除去し、第1面を検出する作業を行った。本報告では第1面以下、4枚の生活面に分けて報告しているが、どの生活層も地業層を掘りこんだ遺構ではなく砂層の堆積層を掘りこんでおり、また大きく遺構が切りあっていたために、調査区壁で観察した土層堆積のほとんどは遺構覆土の観察となった。

【調査地点一覧】

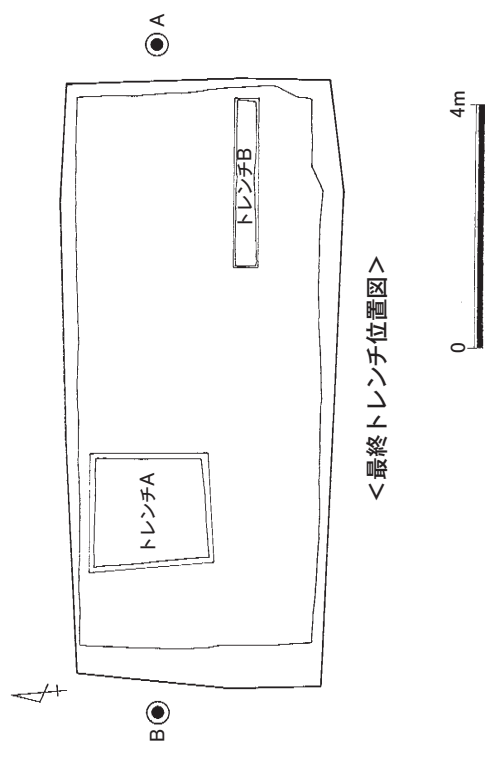
- 地点1 本調査地点
- 地点2 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書11 第2分冊』「材木座二丁目21番6地点」1995年
- 地点3 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書23 第2分冊』「材木座二丁目294番3外地点」2007年
- 地点4 『鎌倉市材木座町屋遺跡（No.261）発掘調査報告書』「材木座二丁目294番3外地点」2014年（榊博通）
- 地点5 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書23 第2分冊』「材木座一丁目921番5外地点」2007年
- 地点6 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書24』「材木座一丁目889番5地点」2008年
- 地点7 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書24』「材木座一丁目889番4地点」2008年
- 地点8 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書24』「材木座一丁目194番4地点」2008年
- 地点9 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書16 第1分冊』「材木座一丁目890番7地点」2000年
- 地点10 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書7』「材木座一丁目144番3地点」1991年3月
- 地点11 『材木座町屋遺跡発掘調査報告書』「材木座三丁目164番他」2011年（有鎌倉遺跡調査会）
- 地点12 『神奈川県鎌倉市材木座町屋遺跡（No.261）発掘調査報告書』「材木座三丁目372番26地点」2015年（榊博通）
- 地点13 『能蔵寺跡—材木座御所神社境内所在遺跡の発掘』「材木座二丁目274番4外地点」1995年 能蔵寺遺跡発掘調査団
- 地点14 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書23 第1分冊』「材木座二丁目294番3外地点」2007年
- 地点15 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18 第2分冊』「材木座四丁目256番1地点」2002年
- 地点16 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書6』「材木座四丁目260番1外地点」1990年
- 地点17 『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書13 第1分冊』「材木座三丁目364番1地点」1997年
- 地点18 『鎌倉市材木座町屋遺跡（No.261）発掘調査報告書』博通52 「材木座五丁目462番2地点」2010年（榊博通）
- 地点19 『鎌倉市材木座町屋遺跡調査報告書』「材木座三丁目62番19地点」2008年（有鎌倉遺跡調査会）



<調査区南壁土層図>



<調査区東壁土層図>



<最終トレンチ位置図>

図3 堆積土層図・最終トレンチ位置図

<土層注記>

1. 暗褐色砂質土 堅く地業（現代埋土）
2. 暗褐色砂質土 炭化物（現代埋土）
3. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒による地業（現代埋土）
4. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒による地業（現代埋土）
5. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・15世紀代の遺物混入
6. 茶褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物（第1面構成土）
7. 暗茶褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂・貝
8. 茶褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂（遺構57）
9. 茶褐色砂質土 炭化物・貝砂（遺構57）
10. 灰色粘土 黄褐色砂（遺構57）
11. 茶褐色砂質土 炭化物・貝砂・黄褐色砂（遺構57）
12. 茶褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構13）
13. 茶褐色砂質土 炭化物・貝砂・黄褐色砂（遺構13）
14. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構16）
15. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・黄褐色砂（遺構16）
16. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構16）
17. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構17）
18. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色粘土（遺構22）
19. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂（遺構22）
20. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂・褐色粘土（遺構22）
21. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・黄褐色砂・貝（遺構22）
22. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝（遺構22）
23. 暗茶褐色砂質土 泥岩粒・泥岩・炭化物・貝砂・黄褐色砂・貝（遺構22）
24. 暗茶褐色砂質土 貝（遺構22）
25. 暗茶褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂（遺構85）
26. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色粘土（遺構85）
27. 暗褐色砂質土 炭化物・貝砂・黄褐色砂・褐色有機質土（遺構85）
28. 黄褐色砂 炭化物・褐色砂質土（遺構85）
29. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂（遺構85）
30. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色粘土・貝砂（遺構28）
31. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂・貝砂・貝（遺構28）
32. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂
33. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物
34. 褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物
35. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂質土・貝
36. 褐色砂質土 炭化物・黄褐色砂・貝砂
37. 褐色砂質土 炭化物・貝砂（遺構85）
38. 黄茶褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・褐色粘土・貝（遺構17）
39. 黄茶褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色砂・貝砂・貝（遺構17）
40. 褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂・貝（遺構17）
41. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・褐色粘土（遺構17）
42. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・貝（遺構17）
43. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色粘土（遺構17）
44. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂・褐色砂（遺構28）
45. 黒色炭化物 暗褐色砂質土（遺構28）
46. 黒色炭化物（遺構28）
47. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂・貝（遺構28）
48. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色粘土粒・貝（遺構28）
49. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構28）
50. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂（遺構28）
51. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・褐色砂（遺構28）
52. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物（遺構28）
53. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂・黄褐色砂（遺構28）
54. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黄褐色砂・褐色砂（遺構28）
55. 暗褐色砂質土 泥岩粒（遺構3）
56. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物（遺構56）
57. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色粘土粒（遺構56）
58. 褐色砂質土 細砂（遺構56）
59. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構56）
60. 褐色砂質土 泥岩（遺構56）
61. 褐色砂質土 炭化物・黄褐色砂・貝砂（遺構56）
62. 褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物
63. 褐色砂質土 泥岩・貝砂
64. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物
65. 暗褐色砂質土 泥岩・炭化物・貝砂（遺構28）
66. 暗褐色砂質土 炭化物（遺構28）
67. 暗褐色砂質土 泥岩・炭化物・貝砂・貝（遺構28）
68. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂（遺構28）
69. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構55）
70. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂（遺構55）
71. 褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・黄褐色砂（遺構55）
72. 褐色砂質土 褐色有機質土・黄褐色砂・貝砂（遺構55）
73. 褐色砂質土 炭化物・黄褐色砂（遺構108）
74. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物（遺構37）
75. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂・灰（遺構45）
76. 暗褐色砂質土 炭化物・黄褐色砂・貝砂（遺構87）
77. 褐色砂質土 炭化物・貝砂（遺構87）
78. 褐色砂質土 貝砂（遺構86）
79. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物（遺構86）
80. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂（遺構55）
81. 褐色砂質土 炭化物・黄褐色砂・褐色粘土粒（遺構142）
82. 褐色砂質土 褐色砂・黄褐色砂・炭化物
83. 暗茶褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物（遺構41）
84. 暗褐色砂質土 暗褐色砂質土・泥岩粒・炭化物・褐
85. 褐色砂質土 炭化物・褐色有機質土・黄褐色砂・貝砂（遺構69）
86. 暗褐色砂質土 炭化物・褐色有機質土・褐色粘土・貝砂（遺構69）
87. 灰白色砂質土 黄褐色砂（遺構69）
88. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂（遺構69）
89. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・灰白色砂（遺構69）
90. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・貝砂
91. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂
92. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色粘土粒

93. 暗褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色砂
94. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物
95. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色砂
96. 褐色砂質土 泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色砂
97. 褐色砂質土 泥岩粒・褐色砂・褐色粘土粒・貝砂・貝
98. 黑色炭化物 暗褐色砂質土・泥岩粒
99. 褐色砂質土 黃褐色砂・褐色砂
100. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物 (遺構 143)
101. 褐色砂質土 炭化物・褐色砂・暗褐色砂 (遺構 143)
102. 暗褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・褐色粘土粒・黃褐色砂・貝砂 (遺構 143)
103. 黃褐色砂 飛砂・褐色有機質土点在 (遺構 143)
104. 褐色砂質土 炭化物・貝砂
105. 暗褐色砂質土 貝砂
106. 暗褐色砂質土 黃褐色砂
107. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物
108. 褐色砂質土 泥岩粒・炭化物・黃褐色砂
109. 褐色砂質土 泥岩粒

X-76427.5035

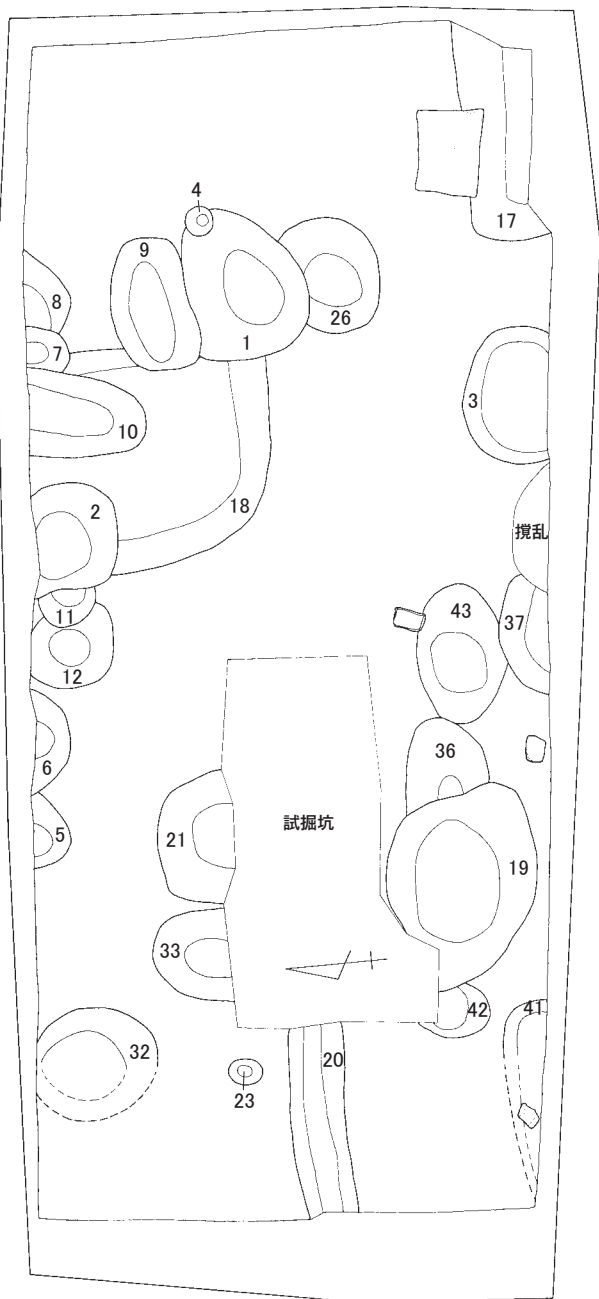
Y-25465.4299

●
A

X-76427.5035

Y-25465.4299

●
A

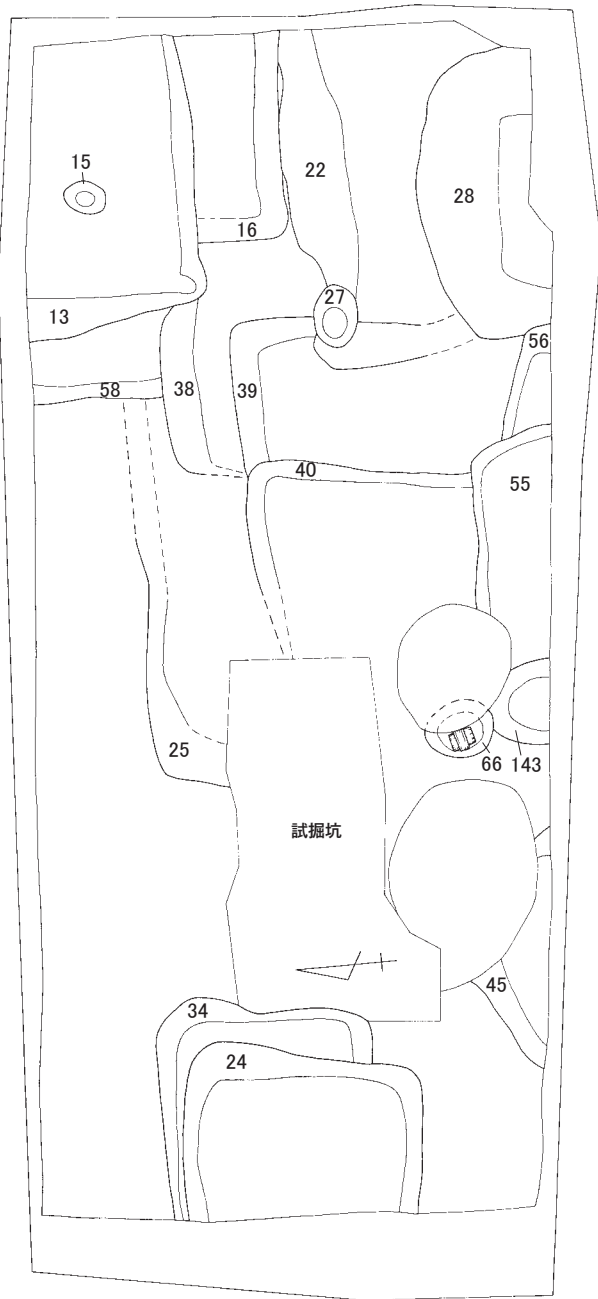


●
B

X-76426.483

Y-25476.3868

第1面全測図



●
B

X-76426.483

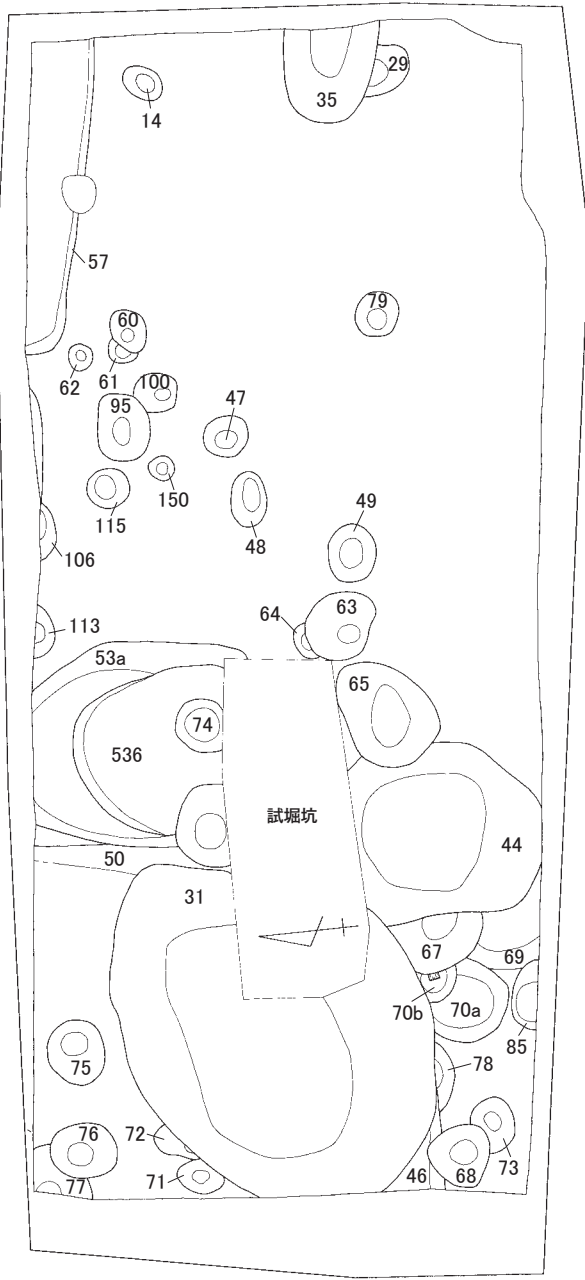
Y-25476.3868

第2面全測図

0 2m

图4 第1面·第2面全測図

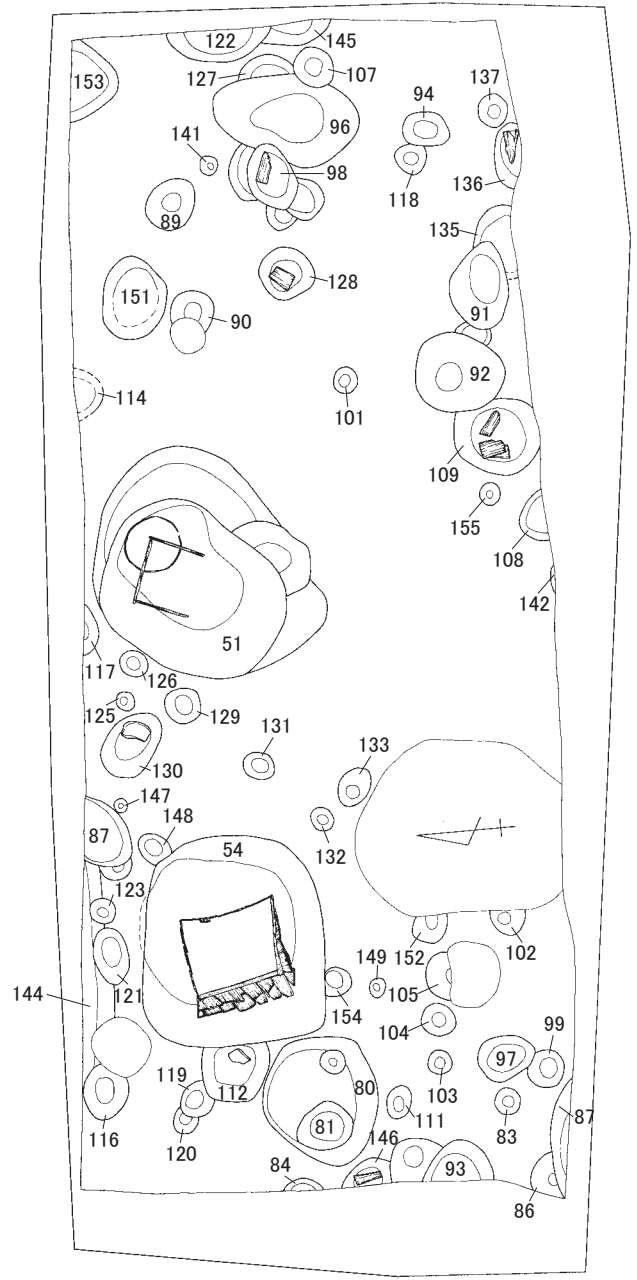
X-76427.5035
Y-25465.4299
●
A



●
B
X-76426.483
Y-25476.3868

第3面全測図

X-76427.5035
Y-25465.4299
●
A



●
B
X-76426.483
Y-25476.3868

第4面全測図

0 2m

图5 第3面·第4面全測図

第二章 検出した遺構と遺物

本報告で第1面とした遺構確認面上層に中世遺物包含層を発見したが、調査地の堆積層が砂層であったことや、重機による表土掘削を行ったために層位を追って生活面を確認することができず、調査区壁での観察となった。調査区壁から採集した遺物には器壁が厚く外反するかわらけが出土し、15世紀を下る生活層であったと考えている。堆積土は暗褐色砂質土。多量の泥岩・炭化物を含み褐色粘土粒を含む、やや硬く締まった層であったことを確認しているが、調査区壁からは遺構を確認できず空閑地であったのかもしれない。本報告では以下の堆積層を上層から4枚の生活面を分けて提示した。発見した遺構は地業層上に造られた遺構ではなく、砂層を掘りこんで頻繁に造り替えを行っていたため、発見・検出した順に提示していない。また、遺構No.は調査時に作業を簡便に進めるために付しており遺構の新旧を表すものではない。個別に図示していない遺構は全測図で形状を、遺構計測表で規模を、実測遺物は観察表に報告し本文中では詳細を省いている。

1. 第1面の遺構と遺物（図4・図6～図10）

第1面は褐色砂質土上で検出した。中世遺物包含層を取り除いた後、遺構プランを確認した層を面として報告しているが、調査区全体に遺構が重複し、後述する第2面遺構と重なり合っただけで遺構を発見、検出しているため、第2面共に遺構検出後の全景写真は遺構の底面を残すのみとなってしまった。第1面で発見した遺構は土坑17基・溝状土坑1基・ピット5穴・竪穴建物2軒である。遺構の大半は上層の堆積層によって削平を受けていた。第1面遺構は遺構覆土の観察から大きく3期に分けられ、いずれの期も遺構覆土内には炭化物を多く含んでいた。

・遺構1（図6・図8）

不正円形を呈する土坑である。遺構9に切られ、遺構26を切る。遺構覆土は褐色砂質土。覆土底面に炭化物を多く含む黄褐色砂質土が堆積する。

・出土遺物（図8）

1～3はかわらけ。4～6は常滑片口鉢Ⅰ類。7はチャート。図示したかわらけは3点だが、破片でかわらけ（大）57・（小）7が出土している。その他に破片で常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・羽釜・鉄製品釘・骨・貝などが出土している。

・遺構2（図6・図8）

不正円形を呈する土坑である。遺構18を切る。遺構覆土は褐色砂質土。泥岩粒・泥岩・炭化物を多く含む。

・出土遺物（図8）

8はかわらけ。その他にかわらけ・青磁鉢・青白磁梅瓶・瀬戸碗・常滑甕・貝が破片で出土している。

・遺構3（図6・図8）

調査区外に遺構が延びているために正確な形状・規模は不明。円形を呈する土坑である。遺構覆土は黒褐色砂質土。泥岩粒・泥岩・炭化物を含む。

・出土遺物（図8）

9は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・褐釉壺・瀬戸折縁皿・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・鉄滓・貝が破片で出土している。

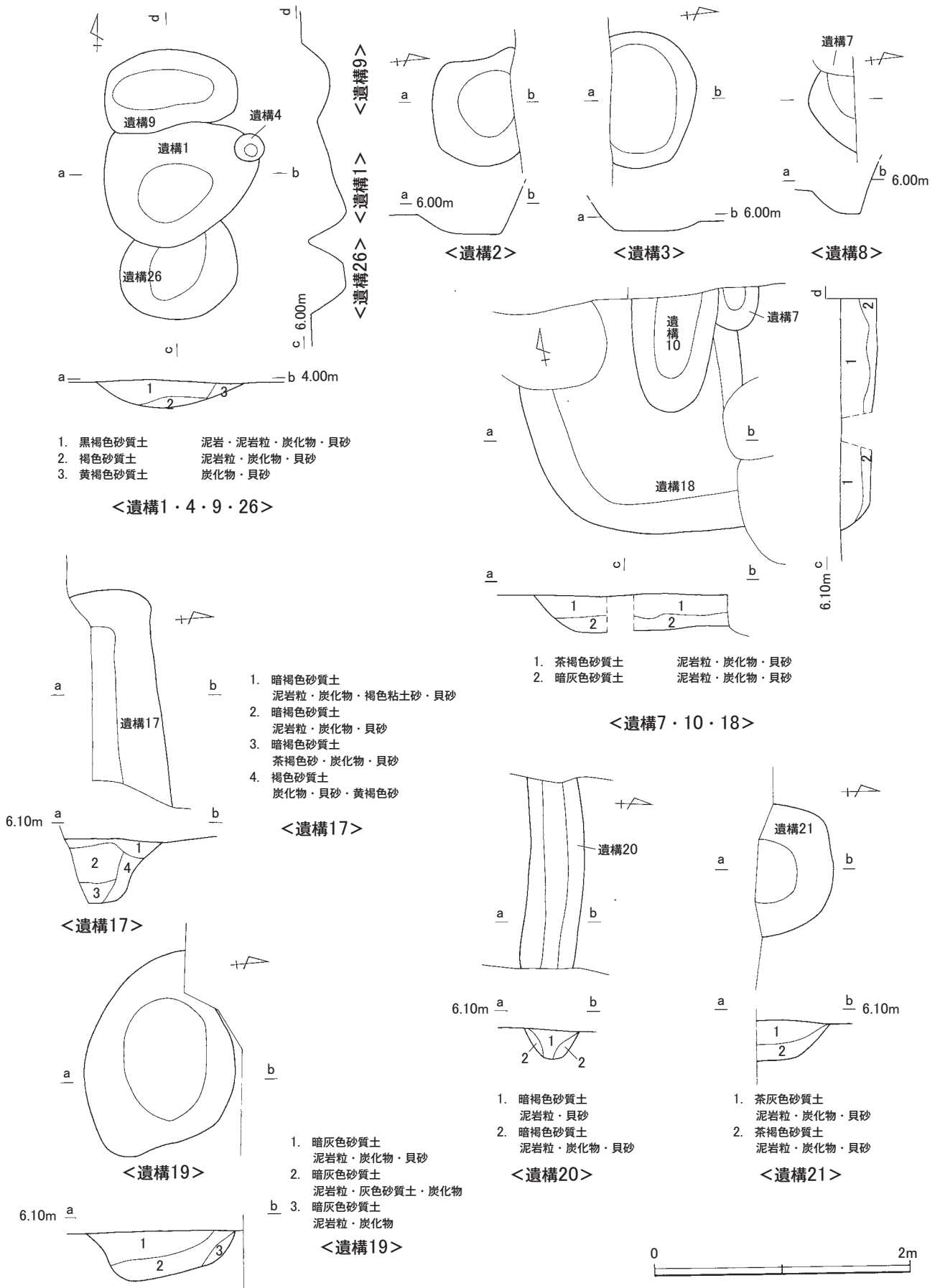


図6 第1面個別遺構図(1)

・遺構 4 (図 6)

遺構 1 を切る。円形のピットである。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物を含む。出土遺物はかわらけ・渥美甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

・遺構 7 (図 6)

遺構 10 に切られる。調査区外に遺構が延び正確な形状・規模は不明。遺構覆土は褐色砂質土。泥岩粒・炭化物を含む。遺物はかわらけ・常滑甕・貝・骨が破片で出土している。

・遺構 8 (図 6・図 8)

遺構 7 に切られる。調査区外に遺構が延び、正確な形状・規模は不明。遺構覆土は褐色砂質土。泥岩粒・炭化物をわずかに含む。

・出土遺物 (図 8)

10 は鉄製品釘。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

・遺構 9 (図 6・図 8)

遺構 1 を切る。楕円形の土坑である。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物を多量に含む。

・出土遺物 (図 8)

11 はかわらけ。その他にかわらけ・常滑甕・貝・炭が破片で出土している。

・遺構 10 (図 6)

調査区外に遺構が延びる。楕円形の土坑である。遺構覆土は茶灰色砂質土。泥岩・炭化物を多く含み、泥岩粒を含む。遺物はかわらけ・鉄製品釘・獣骨が破片で出土している。

・遺構 17 (図 6・図 8)

調査区外に遺構が延び形状・規模は不明となったが、竪穴建物であった可能性を考えている。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物 (図 8)

12～15 はかわらけ。16～18 は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・青磁鎚蓮弁文碗・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・貝・軽石が破片で出土している。

・遺構 18 (図 6・図 8)

調査区外に遺構が延び規模は不明。方形を呈する土坑であるが竪穴建物であった可能性も考えている。遺構覆土は茶褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

出土遺物 (図 8)

19～21 はかわらけ。22 は手づくね成形かわらけ。23 は常滑片口鉢Ⅱ類。24 は鉄製品釘。図示したかわらけは 3 点だが、破片でかわらけ (大) 54・(小) 10、手づくね (大) 4・(小) 1 が出土している。その他に青磁鎚蓮弁文碗・青白磁梅瓶・常滑甕・常滑壺・常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類・鉄製品釘・貝が破片で出土している。

・遺構 19 (図 6・図 8)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂・灰色砂質土を含む。

・出土遺物 (図 8)

25 はかわらけ。26 は鉄製品釘。図示したかわらけは 1 点だが、破片でかわらけ (大) 52・(小) 9 が出土している。その他に青磁器種不明・褐釉器種不明・瀬戸器種不明・瀬戸壺・常滑甕・渥美器種不明・瓦器質火鉢・鉄製品釘・緑泥片岩が破片で出土している。

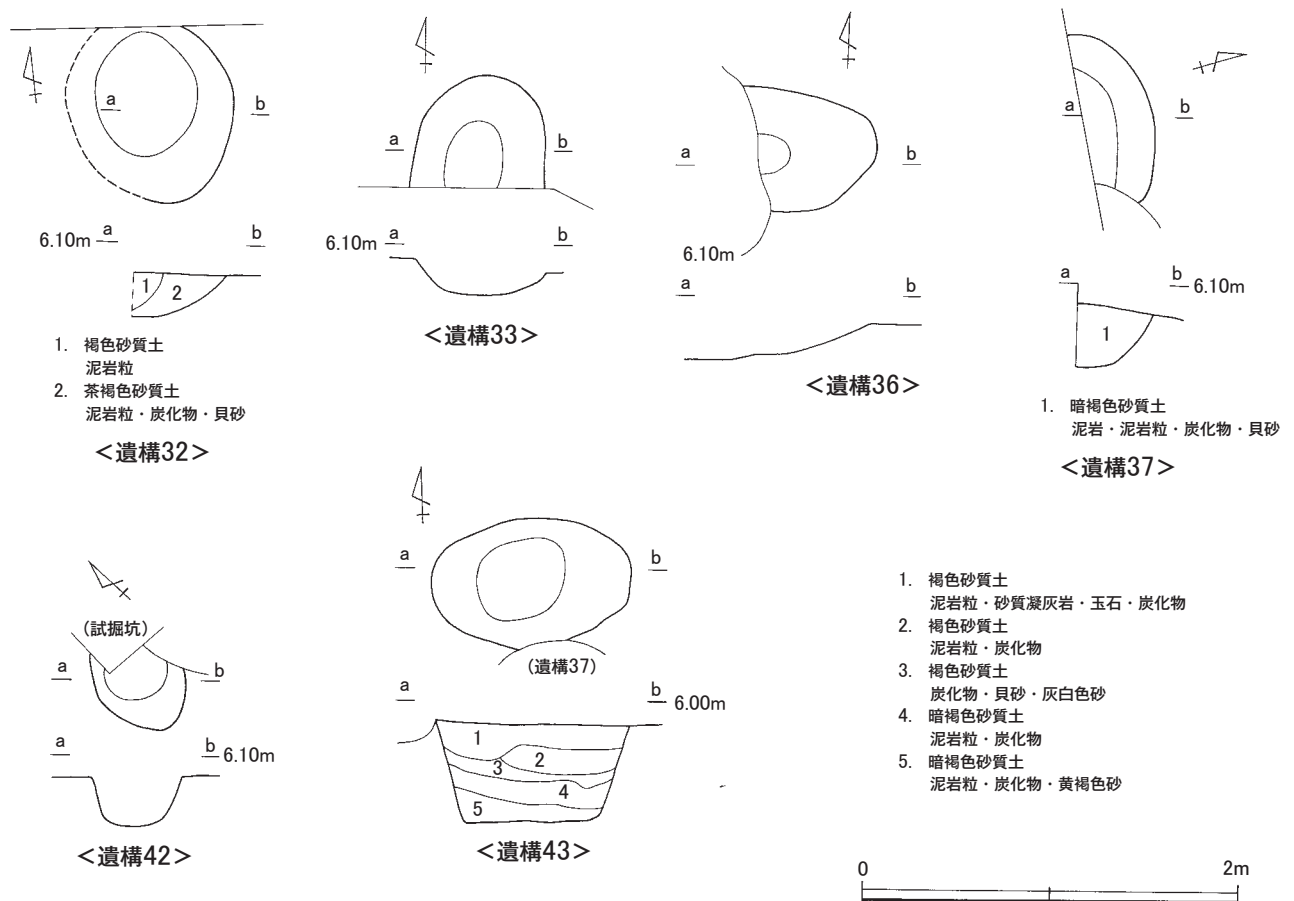


図7 第1面個別遺構図(2)

・遺構20(図6・図8)

調査区外に遺構が延び規模は不明。溝状を呈する土坑である。土坑の断面形は半円形。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物(図8)

27はかわらけ。28は瀬戸折縁深皿。29は常滑片口鉢Ⅱ類。30～31は鉄製品釘。その他にかわらけ・瀬戸折縁皿・瀬戸器種不明・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・鉄製品釘・貝・獣骨が破片で出土している。

・遺構21(図6・図8)

調査区外に遺構が延び規模は不明。円形を呈する土坑である。遺構覆土は茶灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物(図8)

32は常滑甕。その他にかわらけ・青磁鎬蓮弁文碗・常滑甕・常滑壺・鉄製品釘・土師器甕・獣骨が破片で出土している。

・遺構26(図6)

遺構1に切られる。土坑である。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩・炭化物・貝砂を含む。遺物は破片でかわらけが出土している。

・遺構32(図7・図8)

楕円形を呈する土坑である。上層の攪乱によって遺構の大半が失われ、遺構西側はプランでの確認となった。遺構覆土は褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

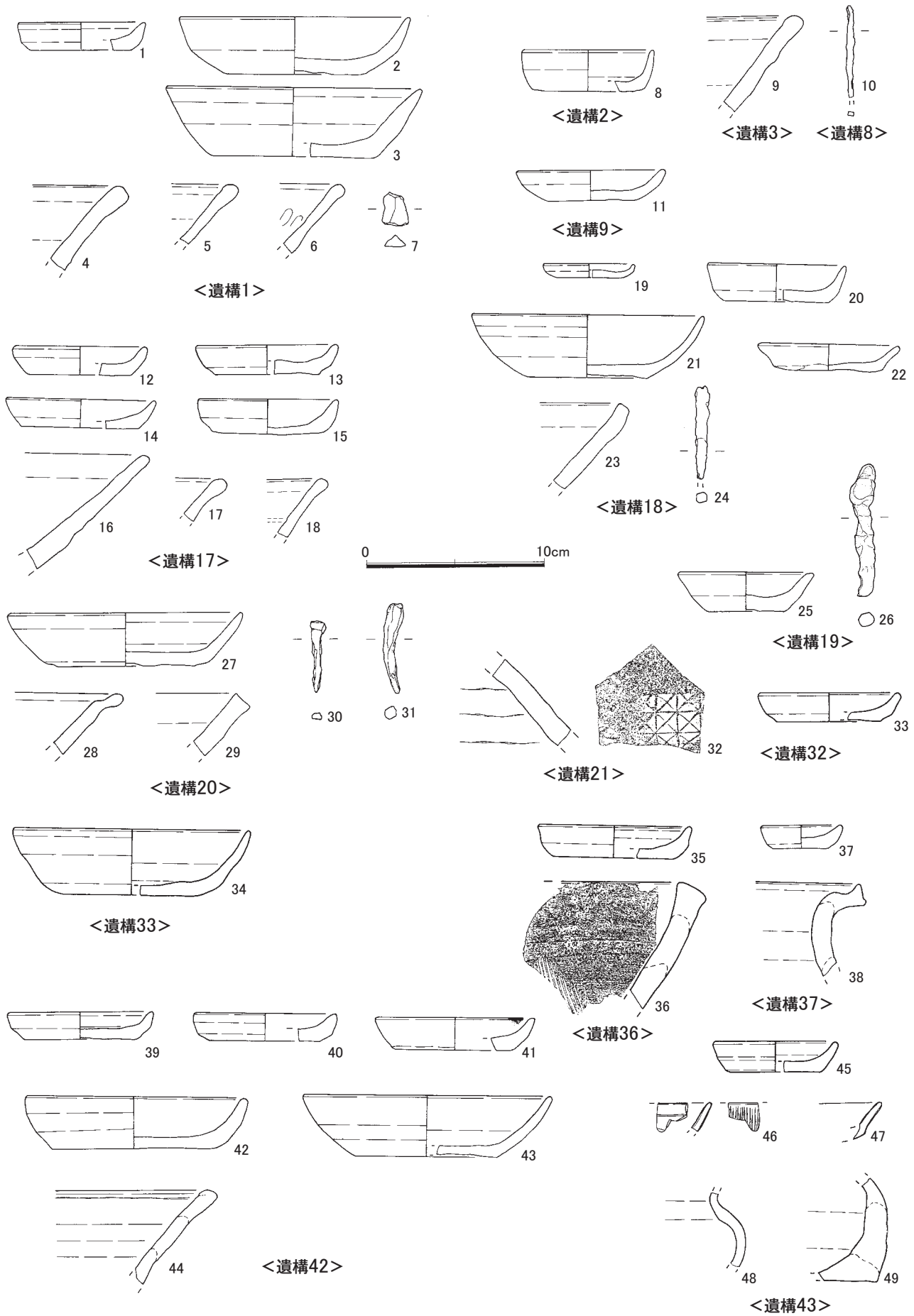


図8 第1面 遺構出土遺物

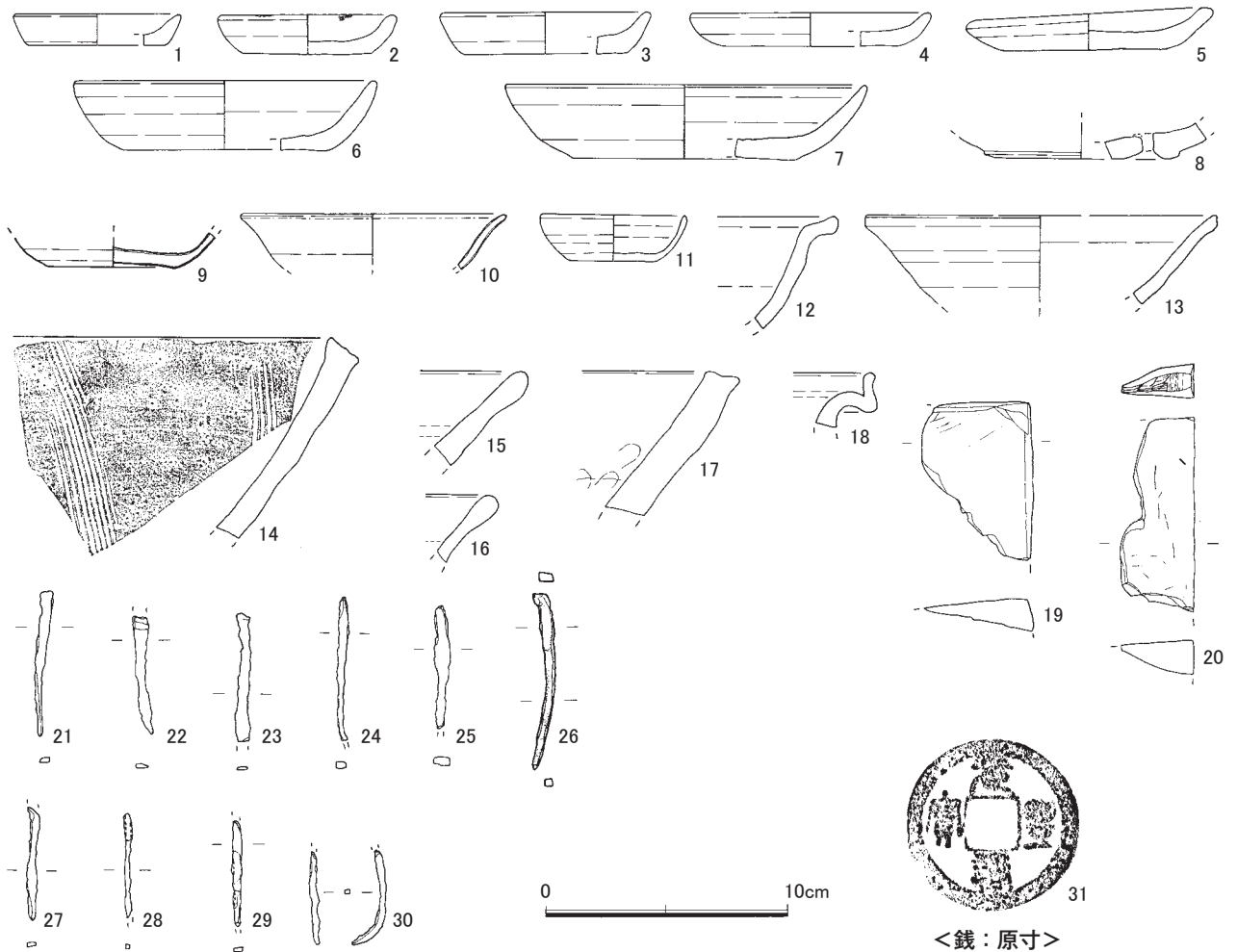


図9 第1面面上出土遺物

・出土遺物 (図8)

33 はかわらけ。その他にかわらけ・手づくね・瀬戸器種不明・常滑甕・鉄製品釘・轡の羽口・獣骨が破片で出土している。

・遺構 33 (図7・図8)

試掘坑に切られて規模は不明となった。楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・褐色粘質土・貝砂を含む。

・出土遺物 (図8)

34 はかわらけ。その他にかわらけ・常滑甕・獣骨が破片で出土している。

・遺構 36 (図7・図8)

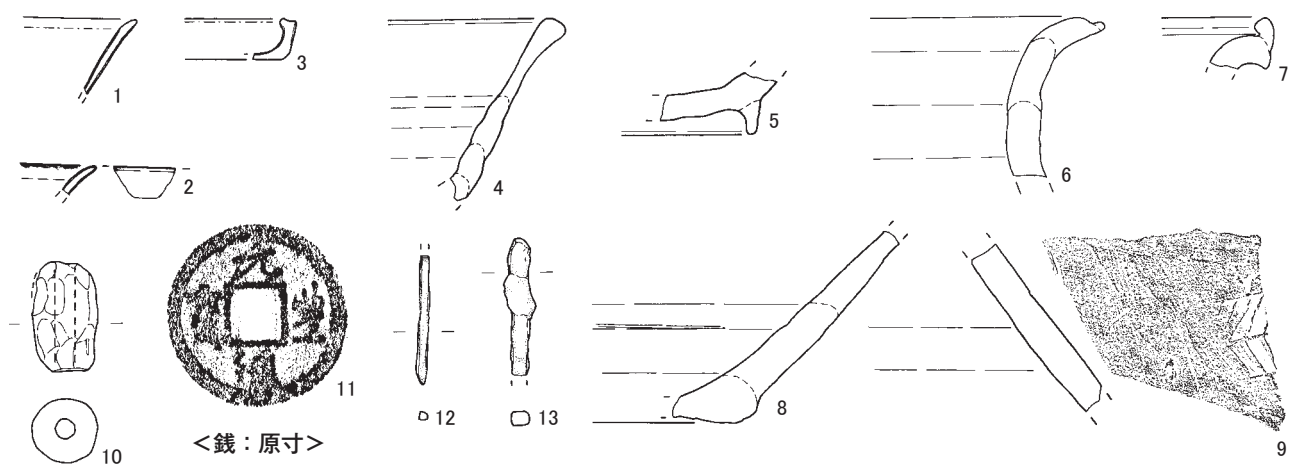
楕円形を呈する土坑である。上層の攪乱と遺構 19 に大きく削平を受けている。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物 (図8)

35 はかわらけ。36 は備前播鉢。その他にかわらけ・手づくね・常滑甕・備前器種不明・貝が破片で出土している。

・遺構 37 (図7・図8)

調査区外に遺構が延び形状・規模は不明となった。土坑である。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩・



<銭：原寸>

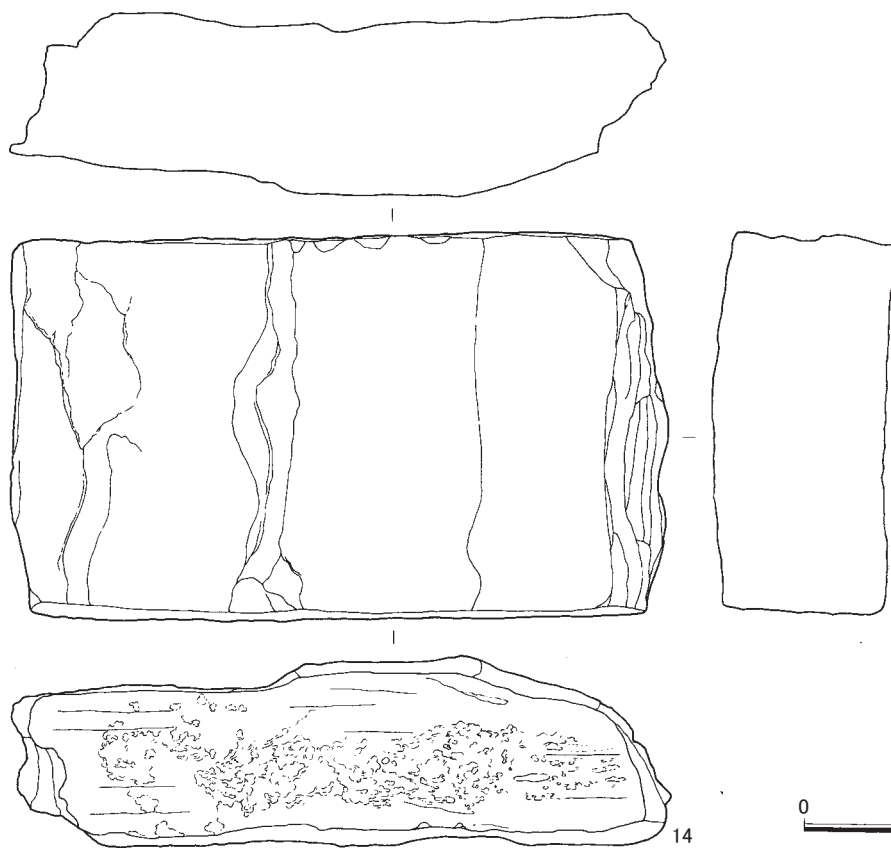


図10 第1面構成土出土遺物

泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物 (図8)

37はかわらけ。38は常滑甕。その他にかわらけ・瓦器質火鉢が破片で出土している。

・遺構42 (図7・図8)

遺構19・試掘坑に切られ規模は不明となった。土坑である。遺構覆土は茶灰色砂質土。泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

・出土遺物 (図8)

39～43はかわらけ。41は口唇部に油煤痕。44は常滑片口鉢Ⅱ類。その他にかわらけ・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類・鉄製品釘が破片で出土している。

・遺構 43 (図 7・図 8)

楕円形を呈する土坑である。深さ約 60cm と浅い土坑であるが、覆土内の堆積層は最低でも 2 時期にわたって埋められていたと思われ、覆土上層は泥岩粒・砂質凝灰岩・玉石を用い堅く締まっていた。遺構覆土は褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物 (図 8)

45 はかわらけ。46 は青磁碗。47 は青磁皿。48～49 は渥美壺。その他にかわらけ・常滑甕・貝が破片で出土している。

・第 1 面面上出土遺物 (図 9)

第 1 面精査時に採集した遺物である。1～8 はかわらけ。9～10 は白磁口元皿。11 は瀬戸入子。12 は瀬戸折縁深皿。13 は山茶碗。14 は備前播鉢。15～16 は常滑片口鉢 I 類。17 は常滑片口鉢 II 類。18 は常滑甕。19 は滑石鍋転用品。20 は石製品砥石。21～30 は鉄製品釘。31 は銭。

・第 1 面構成土出土遺物 (図 10)

第 1 面検出後、第 2 面までの堆積層内で採集した遺物である。1～2 は白磁口元皿。3 は白磁合子。4～5 は常滑片口鉢 I 類。6～9 は常滑甕。10 は土製品土垂。11 は銭。12～13 は鉄製品釘。14 は石製品用途不明。

2. 第 2 面の遺構と遺物 (図 4・図 11～図 17)

第 1 面と第 2 面に分けて報告したが、同一面上で発見した遺構を、それぞれの切り合いで 2 枚の生活面に分けて報告している。第 2 面で発見した竪穴建物は短期間に造り替えが行われた様子が窺え、切りあい、覆土の観察から少なくとも 2 時期の遺構であったと考えているが、上層の遺構、堆積層によって大きく削平を受けていたために遺存状態は悪い。発見した遺構は土坑 3 基・ピット 3 穴・竪穴建物 1 3 軒である。

・遺構 13 (図 11)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。竪穴建物である。遺構底面には黄褐色砂が敷き詰められたように堆積し、根太の痕跡が薄く残っていた。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂・黄褐色砂を含む。

・出土遺物 (図 11)

1～10 はかわらけ。11 は青磁皿。12～14 は青磁碗。15 は山茶碗。16～17 は山皿。18 は常滑片口鉢 I 類。19 は常滑片口鉢 II 類。20～24 は常滑甕。25～27 は鉄製品釘。28 は銭。図示したかわらけは 10 点だが、破片でかわらけ (大) 53・(小) 15・手づくね (大) 11・(小) 3 が出土している。その他に青磁鎬蓮弁文碗・青磁劃花文碗・青磁碗・青磁櫛搔文皿・青磁皿・白磁口元皿・青白磁皿・常滑甕 (85 個)・常滑壺・常滑片口鉢 I 類・渥美器種不明・山茶碗・山皿・瓦器質火鉢・鉄製品釘・鉄滓・銭・骨・貝・果核が破片で出土している

・遺構 16 (図 11)

遺構 18 に切られ、調査区外に遺構が延びているために規模は不明になった。竪穴建物である。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。

・出土遺物 (図 11)

29 はかわらけ。30 は常滑片口鉢 I 類。31 は常滑甕。32 は骨製品筭。その他にかわらけ・常滑甕・

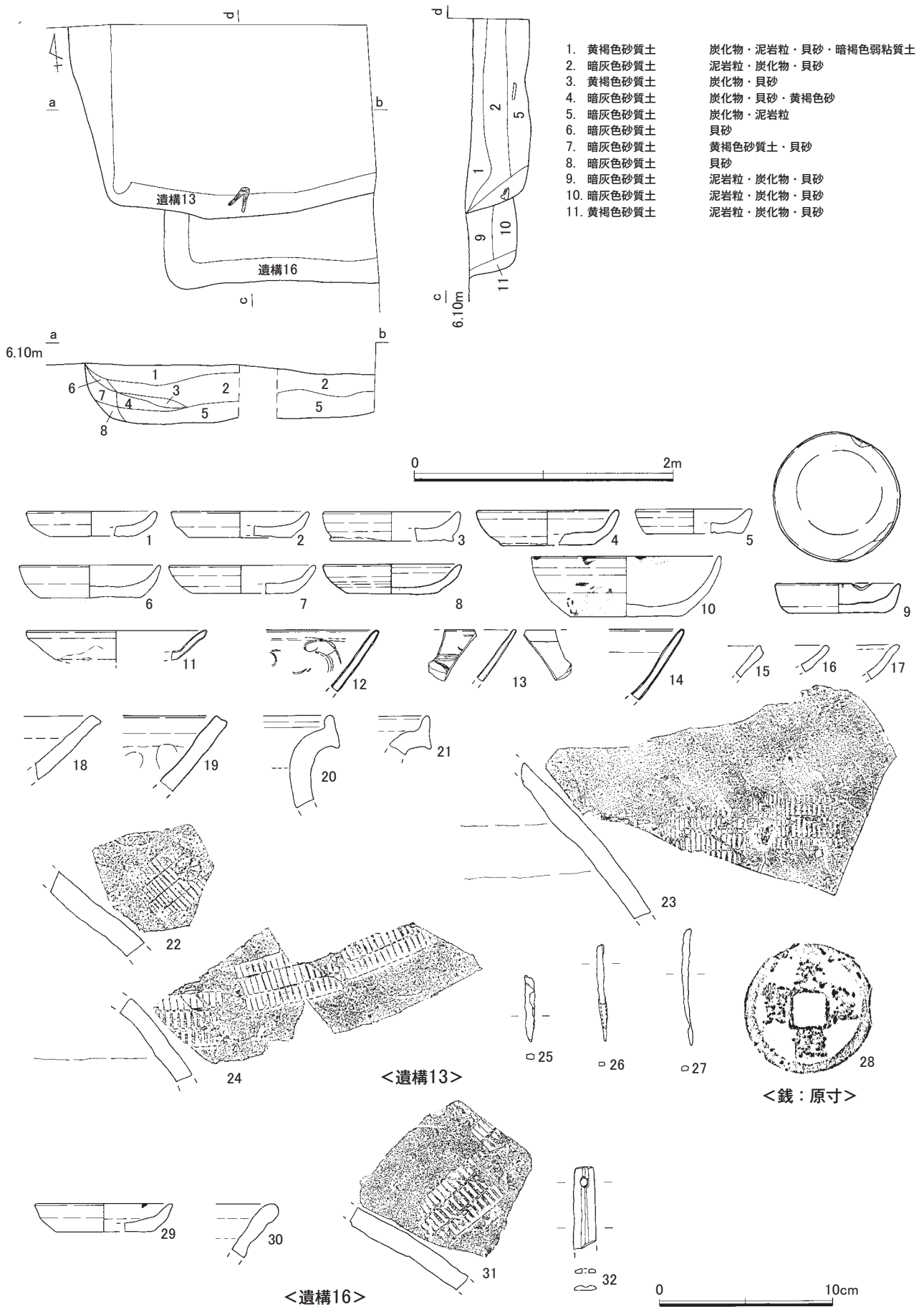


圖 11 第 2 面 遺構 13・遺構 16

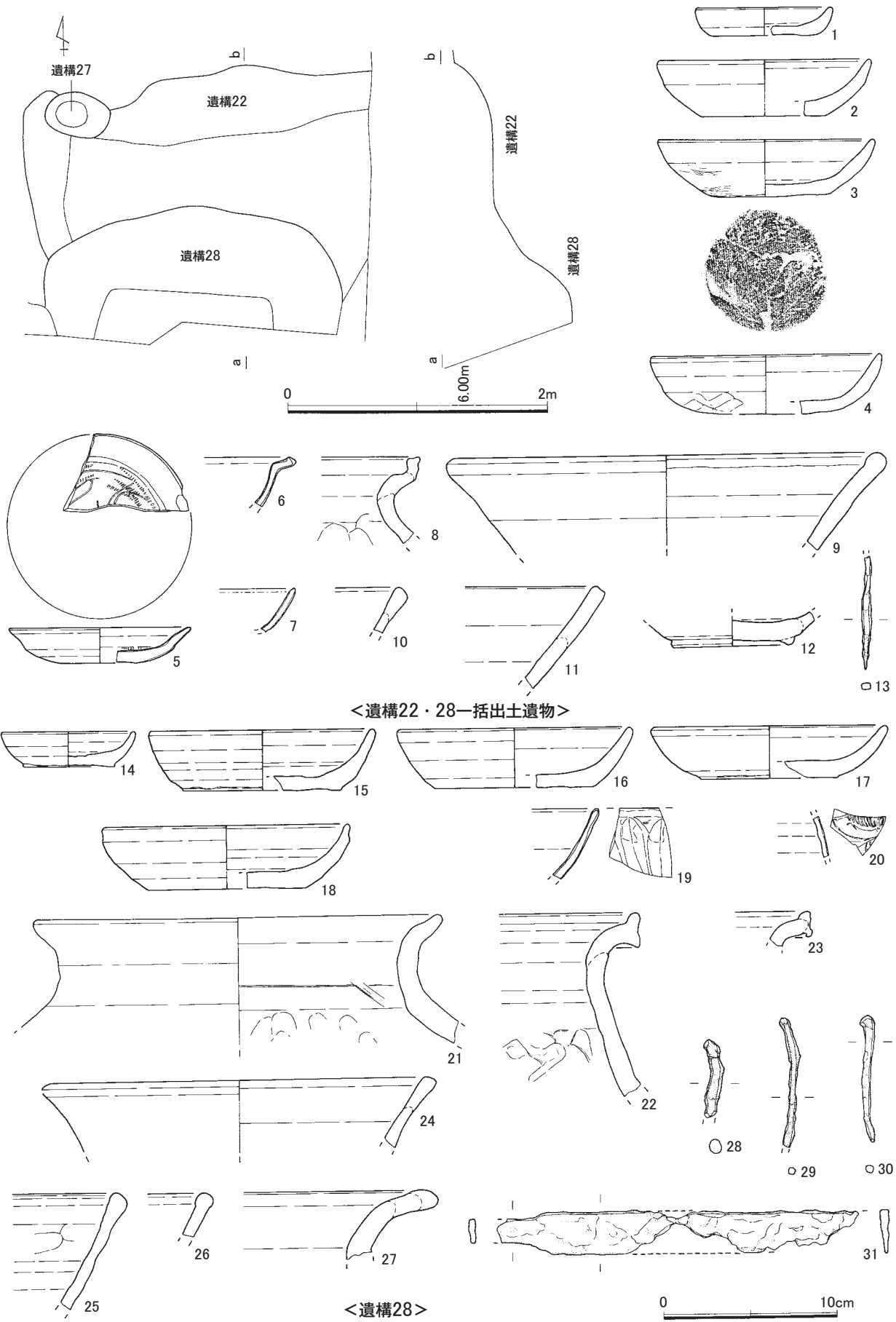


図12 第2面 遺構22・遺構28

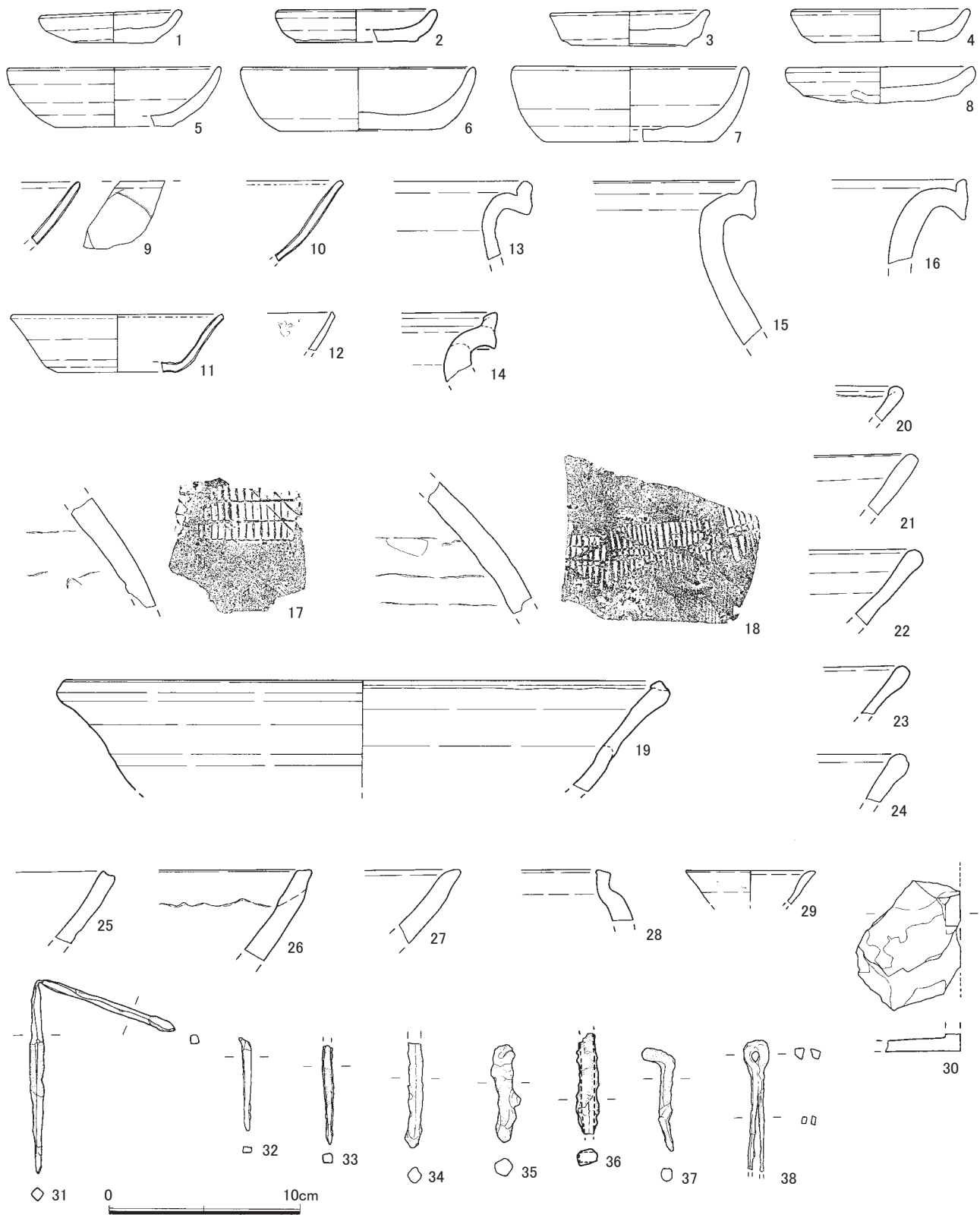


図 13 第 2 面 遺構 22 出土遺物

白磁器種不明・常滑片口鉢 I 類・鉄製品釘・貝が破片で出土している。

・遺構 22 (図 12・図 13)

遺構 27・28 に切れ、調査区外に遺構が延びているために規模は不明となった。竪穴建物である。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含み、多量の黄灰色砂が混入する。また、覆土

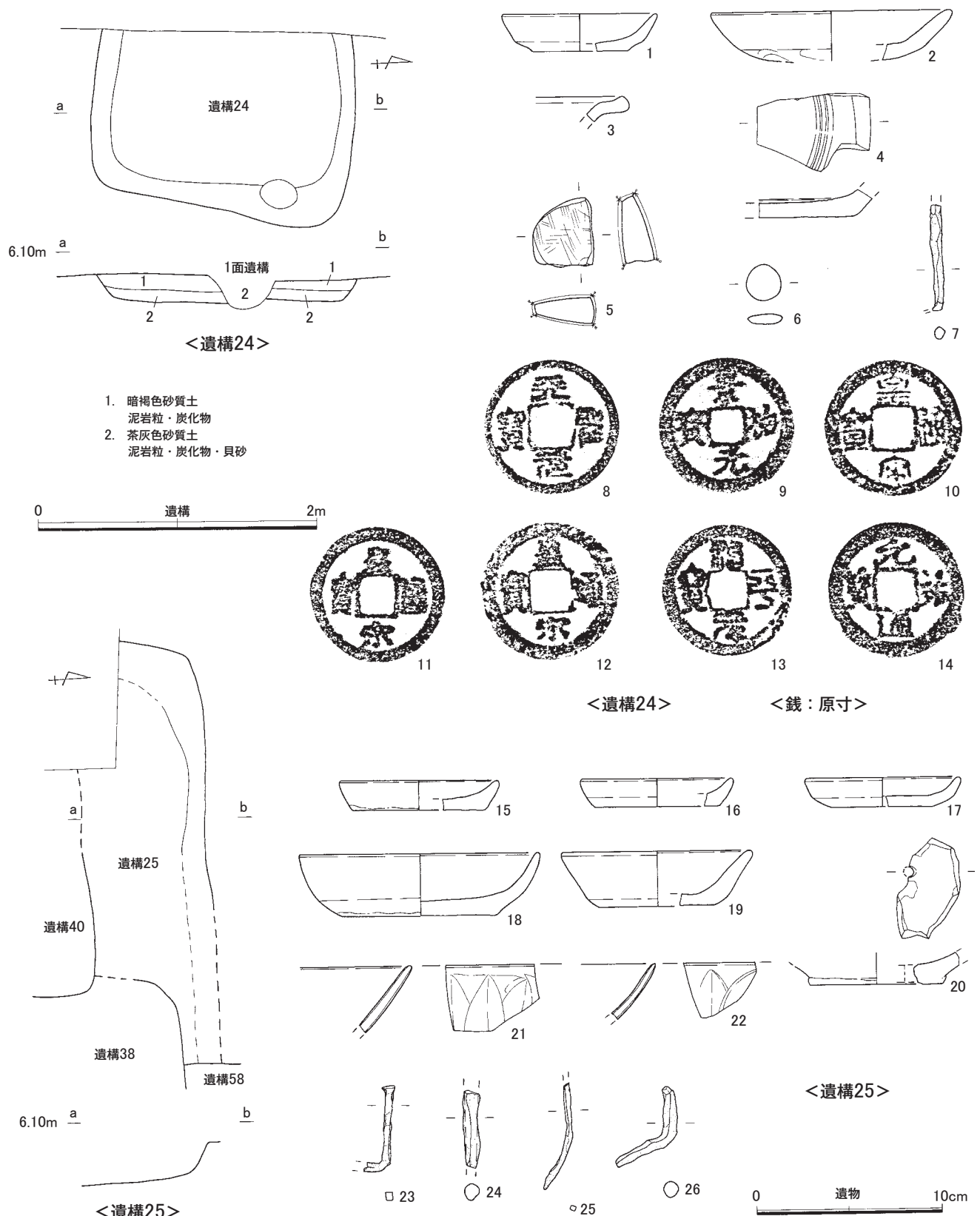


図14 第2面 遺構24・遺構25

内にはカキ・ダンベイキサゴ・ハマグリ・サザエ等の貝類が多く混入し、貝溜りの様相を呈していた。貝の他には中世遺物・炭・獣骨・魚骨が確認され、貝同様に獣骨の出土も多い。すべて一括して廃棄したようである。

・出土遺物 (図 13)

1～7 はかわらけ。8 は手づくね。9 は青磁鎬蓮弁文碗。10 は白磁口兀碗。11 は白磁口兀皿。12 は瀬戸入子。13～18 は常滑甕。19～24 は常滑片口鉢Ⅰ類。25～26 は常滑片口鉢Ⅱ類。27 は渥美片口鉢。28 は渥美片口碗。29 は黒縁瓦器皿。30 は滑石製品硯。31 は鉄製品箸状。32～37 は鉄製品釘。38 は鉄製品用途不明か。その他にかわらけ・手づくね・青磁碗・常滑甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

・遺構 24 (図 14)

方形を呈する土坑である。第1面で発見した遺構 23 に切られる。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・貝砂・多量の炭化物を含む。遺存状態が悪く、検出・採集することは出来なかったが、井戸枠あるいは柱と考えられる木材が覆土内に混入していた。出土遺物で報告した銭は重なり、まとまって出土している。やや小型の竪穴建物であった可能性もある。

・出土遺物 (図 14)

1 はかわらけ。2 は手づくね。3・4 は瀬戸折縁深皿。5 は石製品用途不明。6 は石製品基石。7 は鉄製品釘。8～14 は銭。その他にかわらけ・手づくね・青磁鉢・獣骨が破片で出土している。

・遺構 25 (図 14)

上層の遺構に大きく削平を受け、遺構 38・40・58・試掘坑に切られており規模は不明となった。竪穴建物である。遺構覆土は暗灰褐色砂質土。泥岩粒・炭化物を含む。

・出土遺物 (図 14)

15～20 はかわらけ。21・22 は青磁鎬蓮弁文碗。23～26 は鉄製品釘。その他にかわらけ・手づくね・青磁鉢・白磁碗・瀬戸折縁鉢・瀬戸入子・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・鉄製品釘・貝・獣骨が破片で出土している。

・遺構 27 (図 16)

遺構 22・遺構 39 を切る。ピットである。遺構覆土は灰褐色砂質土。泥岩粒を含む。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

・遺構 28 (図 12)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。遺構 22 を切る。土坑である。遺構覆土は灰色砂質土。炭化物・貝砂・黄褐色砂を含む。覆土内に不整形な砂質凝灰岩が数点混入していた。

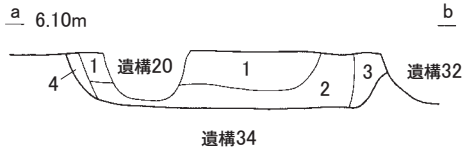
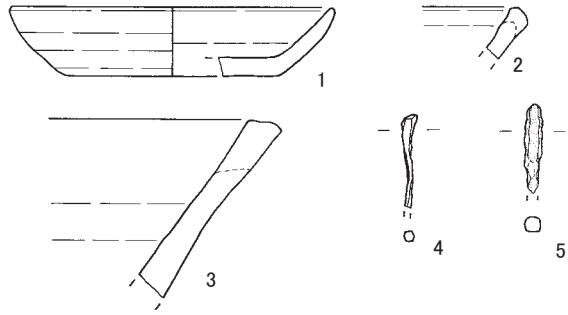
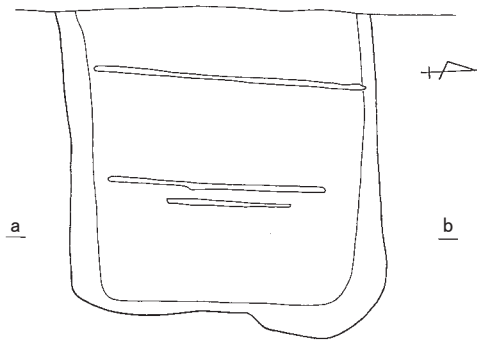
・出土遺物 (図 12)

遺構発見時は1軒の竪穴建物と認識して調査を進めたが、検出途中で堆積土層の観察から竪穴建物と土坑に分かれることを確認したため、遺物のうち数点は遺構 28 と前述した遺構 22 の遺物を一括して採集している。

1～13 は遺構 22・遺構 28 一括採集遺物である。1～3 はかわらけ。4 は手づくね。5 は青磁櫛搔文皿。6 は青磁折縁皿。7 は白磁口兀皿。8 は常滑甕。9・10 は常滑片口鉢Ⅰ類。11 は常滑片口鉢Ⅱ類。12 は山茶碗。13 は鉄製品釘。14～31 は遺構 28 出土遺物である。14～18 はかわらけ。19 は青磁鎬蓮弁文碗。20 は青白磁梅瓶。21 は常滑広口壺。22・23 は常滑甕。24～26 は常滑片口鉢Ⅰ類。27 は渥美甕。28～30 は鉄製品釘。31 は鉄製品刀子。その他にかわらけ・手づくね・常滑片口鉢Ⅱ類・貝・獣骨が破片で出土している。

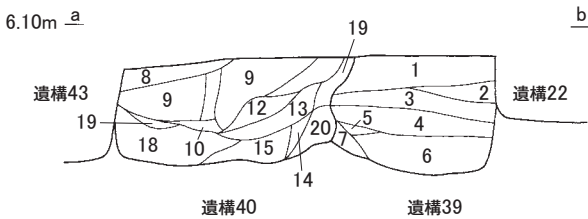
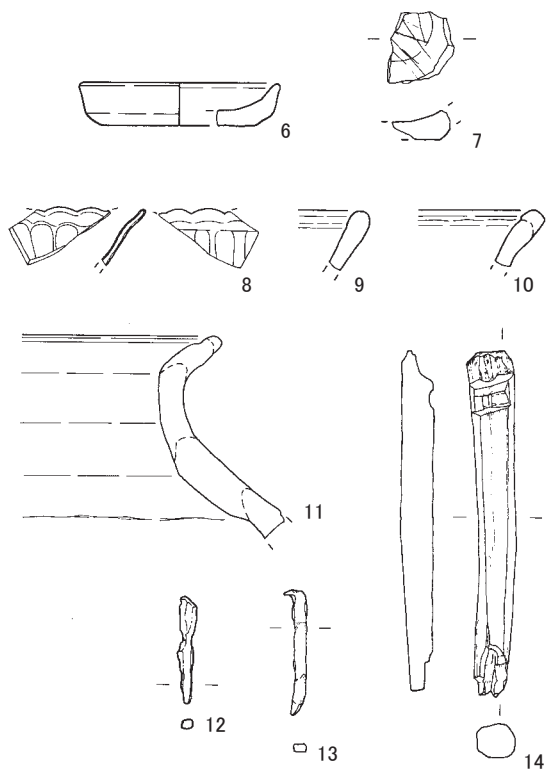
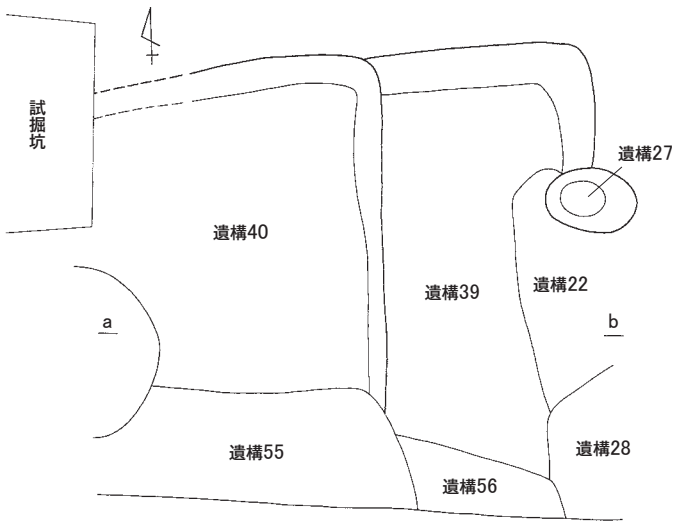
・遺構 34 (図 16)

遺構 24 に切られる。遺構底面に薄くではあるが根太の木質が遺存していた。遺構 24 と同様に小型



- 1. 茶灰色砂質土
泥岩粒・炭化物・貝砂
- 2. 茶灰色砂質土
泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂
- 3. 褐色砂質土
泥岩・炭化物・貝砂
- 4. 褐色砂質土
泥岩・泥岩粒・炭化物

〈遺構34〉



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩粒・貝砂 | 11. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩・泥岩粒・貝砂 |
| 2. 暗褐色砂質土
泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂 | 12. 暗褐色砂質土
炭化物・貝砂 |
| 3. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩・貝砂 | 13. 暗褐色砂質土
炭化物・貝砂 |
| 4. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩・貝砂・黃褐色砂 | 14. 暗褐色砂質土
炭化物・貝砂 |
| 5. 褐色砂質土
褐色粘土・貝砂 | 15. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩・泥岩粒・貝砂 |
| 6. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩・貝砂・褐色粘土 | 16. 黑褐色砂質土
炭化物 |
| 7. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩・貝砂 | 17. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩粒 |
| 8. 暗褐色砂質土
灰褐色粘質土・炭化物 | 18. 褐色砂質土
泥岩粒・炭化物・貝砂 |
| 9. 暗褐色砂質土
炭化物・灰・泥岩粒・貝砂 | 19. 暗褐色砂質土
泥岩・泥岩粒・炭化物・貝砂 |
| 10. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩粒・貝 | 20. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩粒・貝砂 |

〈遺構39・40〉

図 16 第 2 面 遺構 27・遺構 34・遺構 39・遺構 40

の竪穴建物であった可能性を考えている。遺構覆土は褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。掘り方部分は泥岩粒・泥岩を多く含み、固く締まっていた。

・出土遺物 (図 16)

1 はかわらけ。2 は常滑片口鉢 I 類。3 は常滑片口鉢 II 類。4・5 は鉄製品釘。その他にかかわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

・遺構 38 (図 15)

遺構 38 は遺構 13・39・40 に切られるが遺構の立ち上がりが一部遺存していた。竪穴建物であったと考えている。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・褐色粘土粒・黄褐色砂を含む。

・出土遺物 (図 15)

遺構プラン確認時は後述する遺構 39 と合わせて一つの遺構と考えて掘り進んだ為、採集遺物が一部混乱してしまい、遺構 38・遺構 39 一括遺物と、それぞれの遺構に所属する遺物に分けて提示した。

1～15 は遺構 38・遺構 39 一括出土遺物である。1～3 はかわらけ。4 は白かわらけ。5 は青磁鉢。6～10 は常滑甕。11 は常滑甕加工品。12 は銭。13～15 は鉄製品釘。16・17 は遺構 38 出土。16 はかわらけ。17 は山茶碗。その他に手づくね・常滑甕・山皿・貝が破片で出土している。

・遺構 39 (図 15・図 16)

遺構 40 に切られる。竪穴建物である。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩・泥岩粒・炭化物・褐色砂・褐色粘土を含み、黄褐色砂が筋状に堆積する。

・出土遺物 (図 15)

18～20 はかわらけ。21 は常滑甕。22 は土製品土錘。23 はチャート。24～26 は鉄製品釘。その他に手づくね・青磁櫛搔文碗・常滑片口鉢 I 類・渥美甕・獣骨が破片で出土している。

・遺構 40 (図 16)

遺構 55 に切れ、遺構 39 を切る。竪穴建物である。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・貝砂・炭化物を多量に含む。

・出土遺物 (図 16)

6・7 はかわらけ。7 は小片ではあるが内底に線刻が残る。8 は青白磁坏。9・10 は常滑片口鉢 I 類。11 は常滑壺。12・13 は鉄製品釘・14 は加工骨用途不明。その他にかかわらけ・手づくねが破片で出土している。

・遺構 45 (図 15)

遺構 19 に切れ調査区外に遺構が延びているために規模は不明となった。円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・貝砂・褐色粘土を含む。

・出土遺物 (図 15)

27 は常滑片口鉢 I 類。28 は常滑壺。29 は鉄製品釘。その他にかかわらけ・瀬戸皿・瀬戸折縁深皿・常滑甕が破片で出土している。

・遺構 66 (図 4)

上層の遺構によって大きく削平を受けていたため個別に図示はしていない。楕円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・褐色有機質土・黄褐色砂を含む。遺構底面に二枚の板材が遺存していた。礎板であったと考えている。遺物はかわらけ・手づくね・青磁櫛搔文皿が破片で出土している。

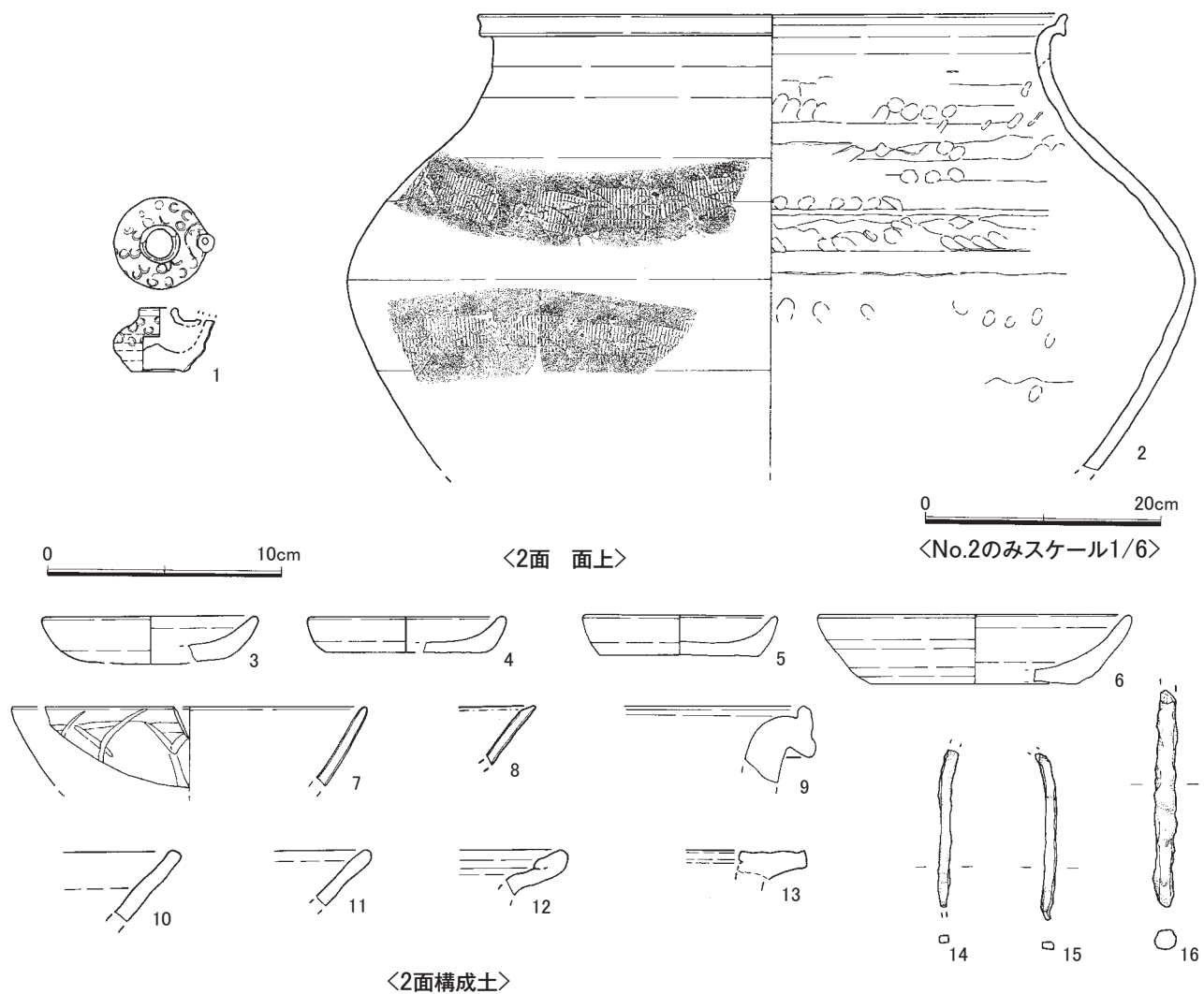


図 17 第 2 面 面上・構成土出土遺物

・第 2 面面上出土遺物 (図 17)

第 2 面精査時に採集した遺物である。1 は瀬戸水注。2 は常滑甕。

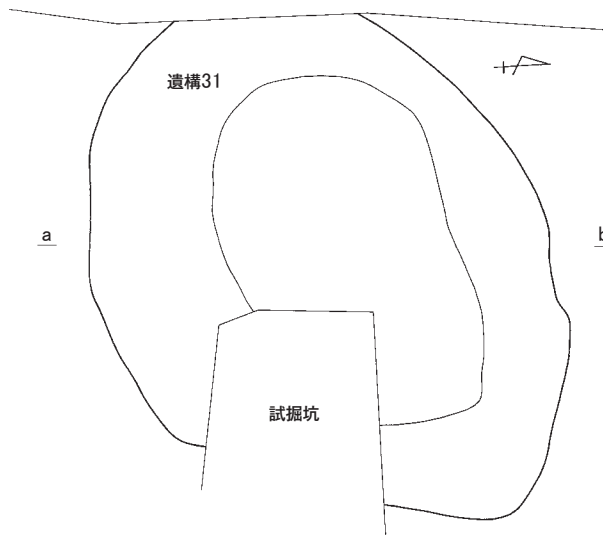
・第 2 面構成土出土遺物 (図 17)

第 2 面検出後、第 3 面までの堆積層内で採集した遺物である。3 は手づくね。4～6 はかわらけ。7 は青磁鎬蓮弁文碗。8 は白磁口元皿。9 は常滑甕。10 は常滑片口鉢 I 類。11 は山茶碗。12 は伊勢系土鍋。13 は産地不明・鍔釜・珍しい器形である。14～16 は鉄製品釘。

3. 第 3 面の遺構と遺物 (図 5・図 18～図 25)

第 2 面では調査区全体に竪穴建物が発見されたが、第 3 面では土坑・ピットが発見され調査地の様相が一変する。発見した遺構は調査区の西側に集中し東側はやや空閑地が広がるようである。礎板を伴うピットや、柱材であった可能性のある有機質土を含むピットなどを数穴確認しているが、上層の遺構によって削平を受けていたためか建物址を推定することは出来なかった。覆土・切りあいから 3 時期の遺構が確認できた。第 3 面で発見した遺構は土坑 14 基・ピット 24 穴・竪穴建物 2 軒・井戸 1 基である。

・遺構 31 (図 18・図 19)



1. 黑色砂質土
泥岩·泥岩粒·炭化物·貝砂
2. 茶灰色砂質土
炭化物·貝砂
3. 灰色砂質土
泥岩粒·炭化物·貝砂
4. 灰色砂質土
泥岩·炭化物·黃褐色砂
5. 灰色砂質土
泥岩粒·炭化物
6. 灰色砂質土
泥岩粒
7. 明灰色砂質土
炭化物·貝砂

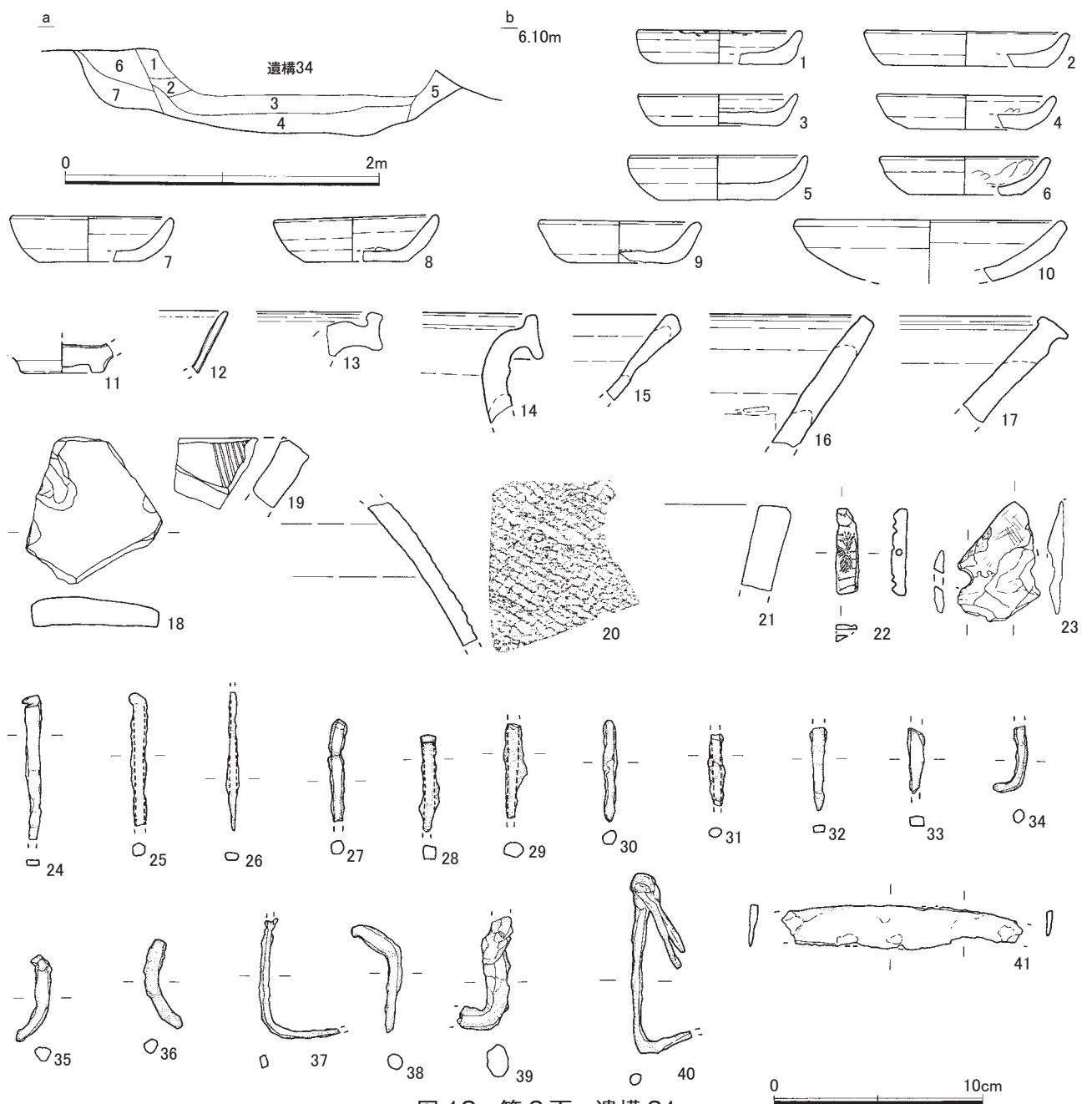


圖 18 第 3 面 遺構 31

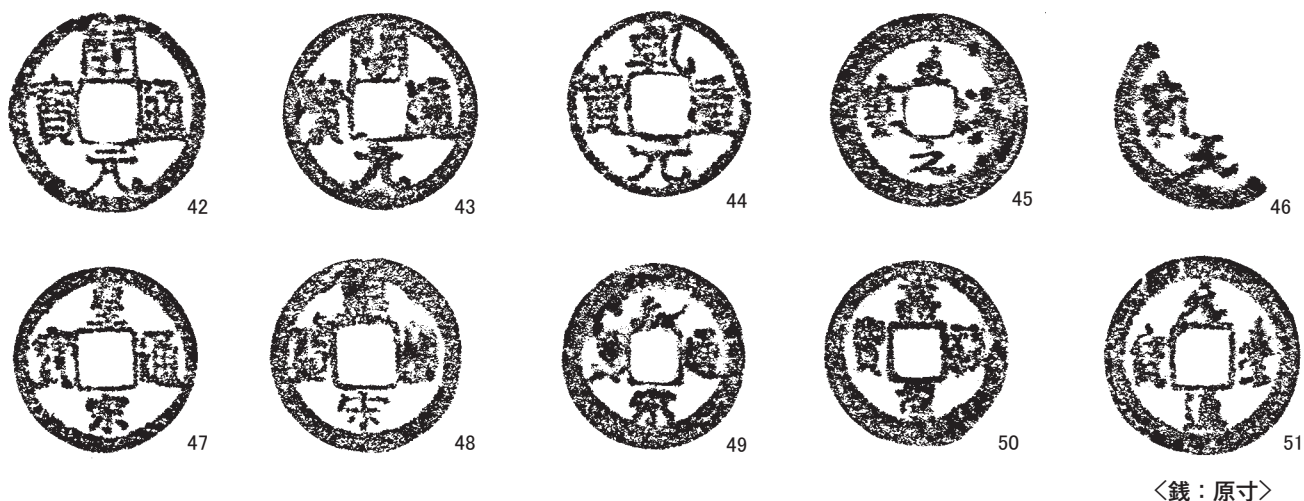


図 19 第 3 面遺構 31 出土遺物

円形を呈する土坑であるが、遺構側面に掘り方が遺存し、褐色粘土を含む堆積層が直立して立ち上がる等から、同位置で検出した第 2 面の遺構 24・遺構 34 同様に小型の竪穴建物であった可能性を考えている。遺構覆土は灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・褐色粘土・黄褐色砂を含み、貝が多量に混入していた。

・出土遺物 (図 18・図 19)

1～9 はかわらけ。10 は手づくね。11 は青磁碗。12 は白磁口元皿。13・14 は常滑甕。15 は常滑片口鉢 I 類。16・17 は常滑片口鉢 II 類。18 は常滑甕加工品。19 は備前播鉢。20 は亀山甕。21 は瓦器質火鉢。22・23 は滑石鍋加工品。24～39 は鉄製品釘。40 は鉄製品掛け金具。41 は鉄製品刀子。42～51 は銭。

・遺構 35 (図 23)

調査区外に遺構が延び規模は不明。土坑である。遺構覆土は褐色砂質土。炭化物・貝砂・褐色粘土・黄褐色砂を含む。遺物は出土していない。

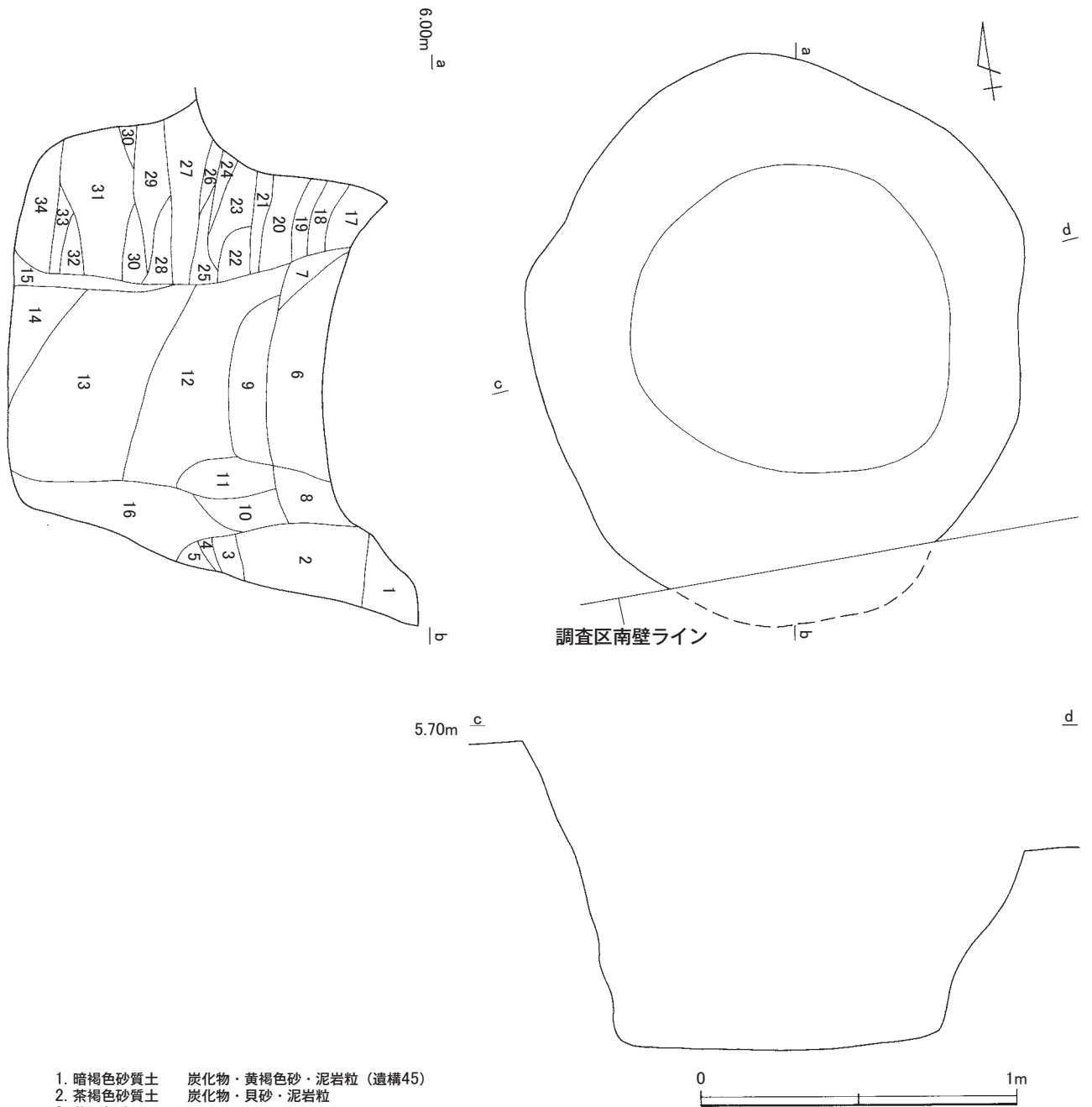
・遺構 44 (図 20・図 21)

遺構 63 に切られ、調査区外に遺構が延びていた。井戸である。掘り方を含めて遺構を検出してしまったが、土層堆積の状況から 1 辺約 65 cm のやや小型の井戸であったことが分かった。また遺構覆土内には大量の褐色粘土が混入し、底面上部の堆積土には意図的に粘土を混ぜて底面を補強した痕跡が残る。遺構覆土は土層堆積図を参照していただきたい (図 20)

・出土遺物 (図 21)

採集遺物は、井戸覆土内上層と下層・掘り方と共に、遺構内一括に分けて報告している。

- ・ 1～9 は一括出土遺物である。1 は手づくね。2 は青磁碗。3 は瀬戸卸皿。4 は縁釉小皿。5 は瀬戸瓶子。6 は瀬戸播鉢。7 は産地不明壺。8 は渥美片口鉢。9 は石製品砥石。
- ・ 10～13 は上層出土遺物である。10 は手づくね。11・12 は常滑片口鉢 I 類。13 は銭。
- ・ 14～20 は下層出土遺物である。14～16 はかわらけ。17 は瀬戸折縁皿。18 は常滑壺。19 は鉄滓。20 は土器質鍔釜。
- ・ 21～23 は掘り方出土遺物である。21・22 はかわらけ。23 は瀬戸折縁深皿。



- | | | | |
|-------------|---------------------|-------------|-------------|
| 1. 暗褐色砂質土 | 炭化物・黄褐色砂・泥岩粒 (遺構45) | 24. 黄褐色砂 | 貝砂 |
| 2. 茶褐色砂質土 | 炭化物・貝砂・泥岩粒 | 25. 灰色粘土 | 炭化物 |
| 3. 黄褐色砂 | | 26. 暗褐色砂質土 | 炭化物 |
| 4. 灰色粘土 | | 27. 黒褐色弱粘質土 | 炭化物・貝砂・褐鉄 |
| 5. 黄褐色砂 | | 28. 灰色粘土 | 黄褐色砂・炭化物 |
| 6. 暗褐色砂質土 | 炭化物・黄褐色砂・泥岩粒 (遺構44) | 29. 黄褐色砂 | 泥岩粒・褐色有機質土 |
| 7. 暗褐色砂質土 | 灰色粘土・黄茶褐色砂・泥岩粒 | 30. 灰色粘土 | 泥岩粒・炭化物 |
| 8. 暗褐色弱粘質土 | 灰色粘土・泥岩・泥岩粒 | 31. 黄褐色砂 | 泥岩粒・褐色有機質土 |
| 9. 暗褐色砂質土 | 炭化物・黄褐色砂・泥岩粒・褐色粘土 | 32. 灰色粘土 | |
| 10. 暗褐色弱粘質土 | 灰色粘土・泥岩粒 | 33. 黒色弱粘質土 | 炭化物・褐色有機質土 |
| 11. 暗褐色弱粘質土 | 灰色粘土・泥岩粒・褐色砂質土 | 34. 黒色弱粘質土 | 黄褐色砂・褐色有機質土 |
| 12. 暗褐色砂質土 | 炭化物・褐色粘土・泥岩・暗褐色弱粘質土 | | |
| 13. 暗褐色砂質土 | 炭化物・褐色粘土・泥岩・褐色有機質土 | | |
| 14. 黄褐色砂 | 褐色有機質土・褐色粘土 | | |
| 15. 灰色粘土 | 泥岩粒 | | |
| 16. 灰色粘土 | 炭化物・泥岩粒・泥岩 | | |
| 17. 茶褐色砂質土 | 炭化物・泥岩粒・泥岩 | | |
| 18. 茶色砂質土 | 貝砂 | | |
| 19. 茶褐色砂質土 | 炭化物・黄茶褐色砂・泥岩粒 | | |
| 20. 灰色粘土 | 泥岩粒・黄茶褐色砂・炭化物 | | |
| 21. 暗褐色砂 | 灰色粘土 | | |
| 22. 灰色粘土 | 炭化物・泥岩粒・泥岩 | | |
| 23. 暗褐色砂 | 褐色有機質土 | | |

図 20 第 3 面 遺構 44

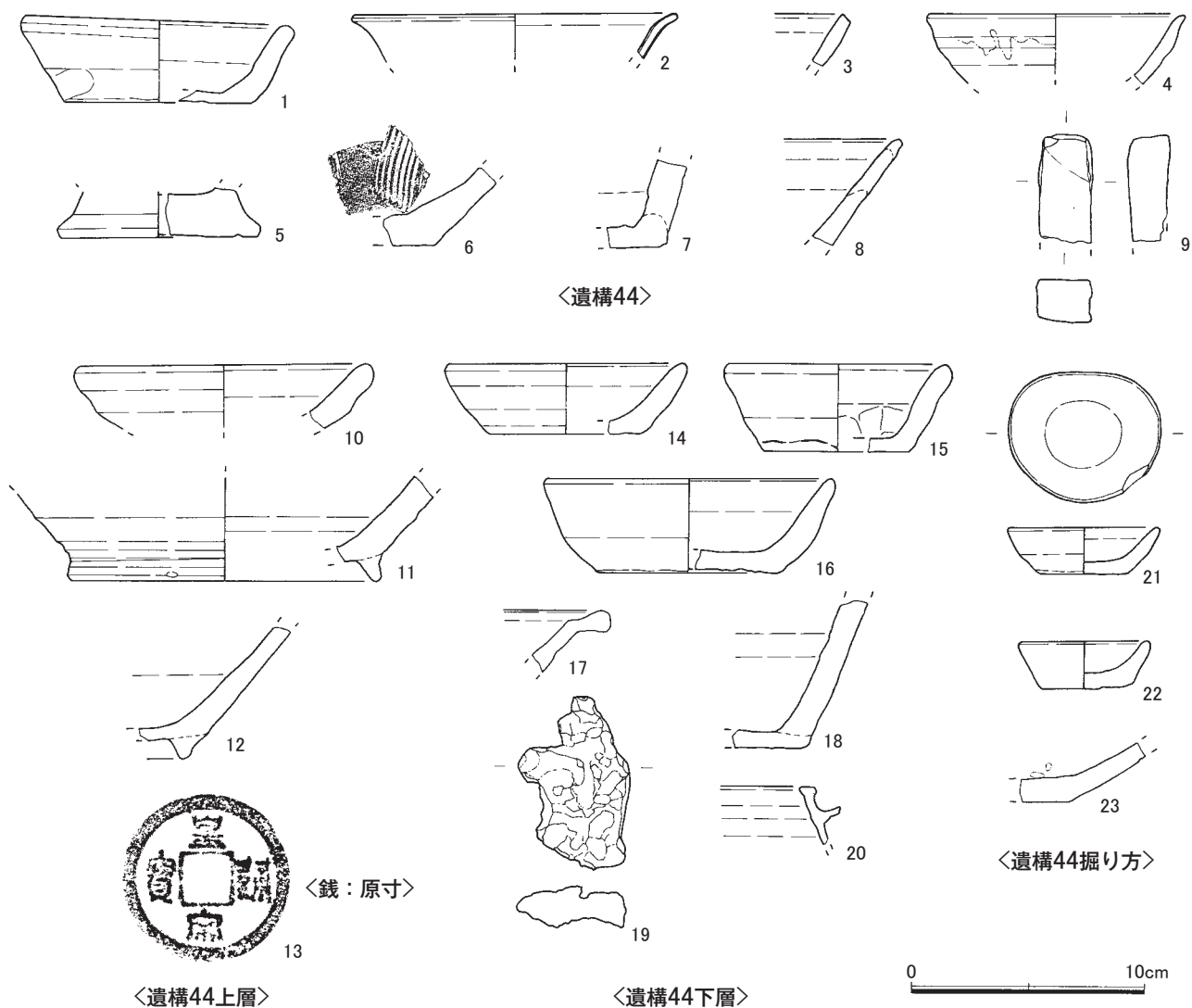


図 21 第 3 面 遺構 44 出土遺物

その他に常滑甕・貝が破片で出土している。

・遺構 46 (図 5・図 24)

個別に図示はしていない。遺構 31 に大きく切られ、調査区外に遺構が延びてしまっているために規模・形状は不明となった。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・貝砂・褐色有機質土を含む。

・出土遺物 (図 24)

1・2 はかわらけ。3・4 は青磁碗。5～7 は鉄製品釘。その他に常滑甕・貝が破片で出土している。

・遺構 50 (図 5・図 24)

遺構 46 同様に、遺構 31 に大きく切られ、調査区外に遺構が延びてしまっているために規模・形状は不明となった。遺構の形状から遺構 46 と同一遺構として考えると竪穴建物であった可能性もある。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩・泥岩粒・褐色粘土・貝砂・炭化物を多く含む。

・出土遺物 (図 24)

8 はかわらけ。9 は白磁口兀碗。10 は青白磁合子蓋。11 は常滑片口鉢Ⅱ類。12 は常滑甕。13 は東幡系鉢。14・15 は石製品砥石。16・17 は鉄製品釘。その他に青白磁梅瓶・瀬戸壺・渥美甕・獣骨・貝が破片で出土している。

・遺構 53 (図 22)

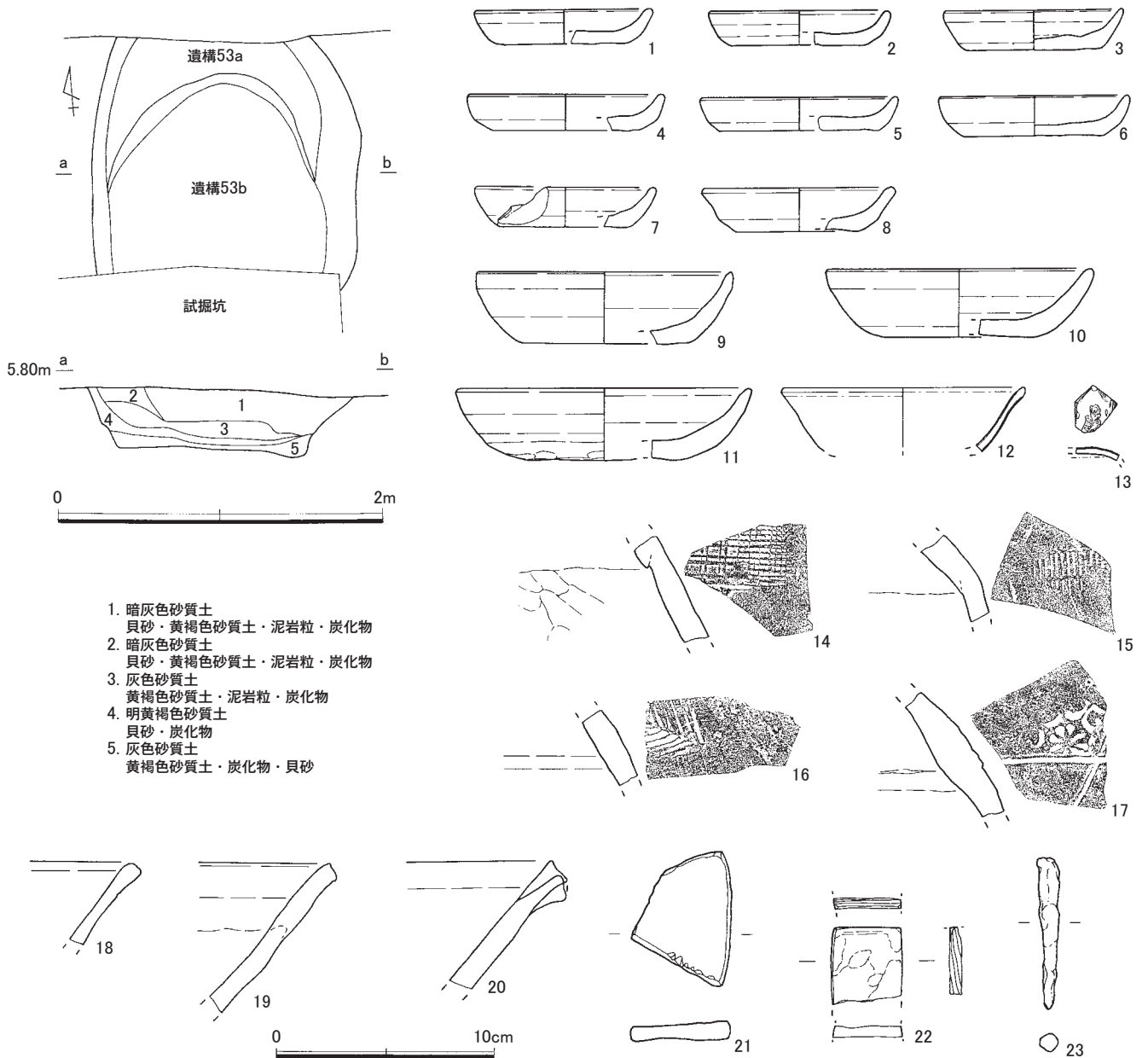


図 22 第 3 面 遺構 53

円形を呈する土坑である。遺構プラン確認時には一つの遺構であると考えて調査を進めたが、同位置、上下に二つの土坑が重なり合っていた事を堆積土の観察から確認した。遺構 53 a の遺構覆土は暗黄褐色砂質土。炭化物・貝砂を含む。遺構 53 b の遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂・黄褐色砂質土を含む。

・出土遺物 (図 22)

遺構 53 の遺物は a・b を一括して採集している。1～10 はかわらけ。11 は手づくね。12 は白磁口兀皿。13 は青白磁合子蓋。14～17 は常滑甕。18～20 は常滑片口鉢Ⅱ類。21 は常滑甕加工品。22 は石製品砥石。23 は鉄製品釘。その他に青磁劃花文碗・常滑壺・常滑片口鉢Ⅰ類・渥美器種不明・チャート・貝・獣骨が破片で出土している。

・遺構 57 (図 23・図 24)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。竪穴建物であったと考えている。遺構覆土は茶褐色砂

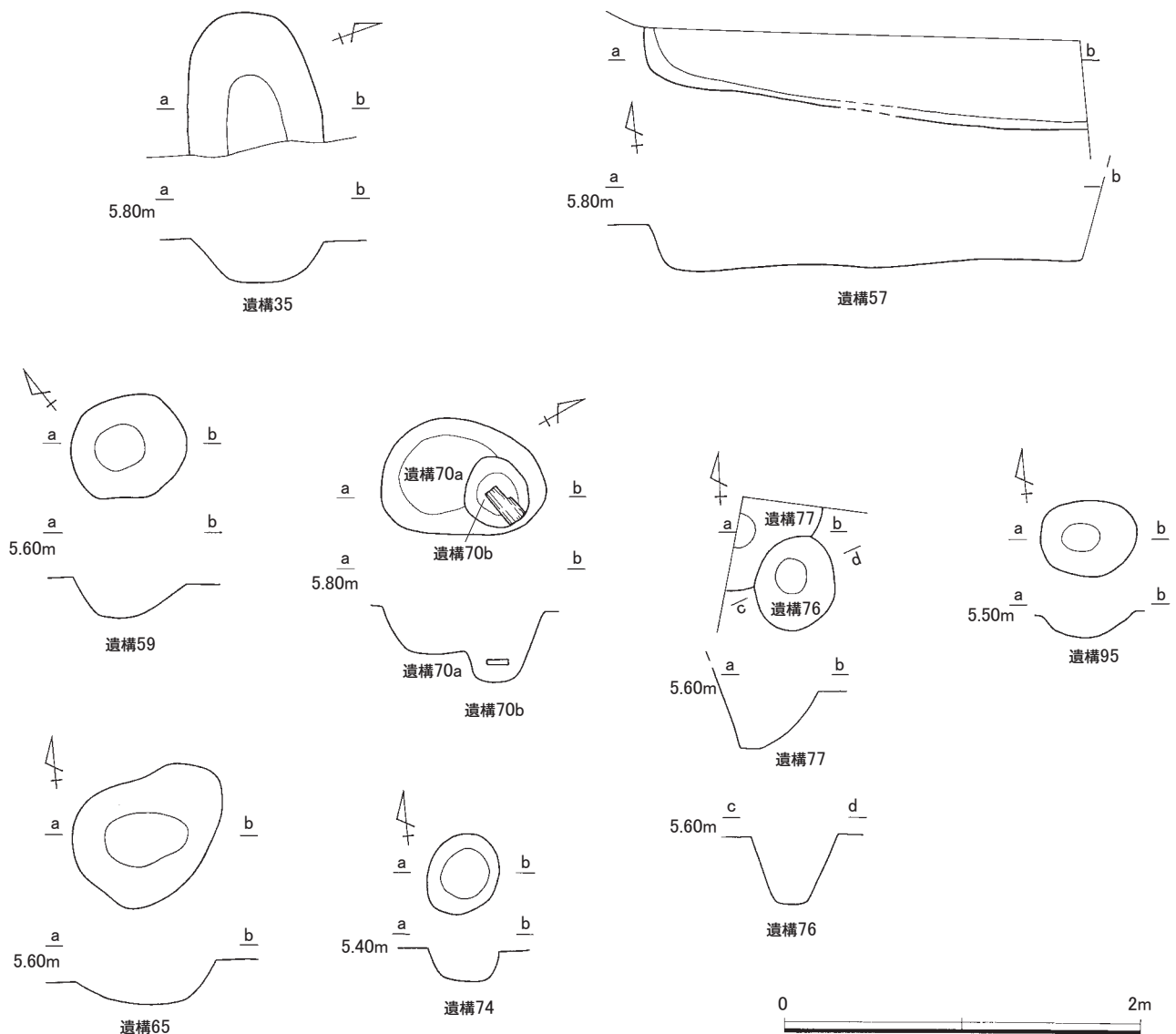


図 23 第 3 面個別遺構 (遺構 35・57・59・65・70a・70b・74・76・77・95)

質土。炭化物・泥岩粒・貝砂を含む。

・出土遺物 (図 24)

18 は青磁皿。19 は常滑甕。20 は常滑壺。21 は山茶碗。22 は鉄製品、刀子か。23 は須恵器甕。その他に青磁碗・渥美壺・瀬戸器種不明・貝・骨が破片で出土している。

・遺構 59 (図 23・図 24)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は茶褐色砂質土。炭化物・貝砂・黄褐色砂を含む。

・出土遺物 (図 24)

24 は青磁鎚蓮弁文碗。25 は青磁輪花碗。その他にかわらけ・手づくね・青磁劃花文碗・常滑甕・山茶碗・獣骨が破片で出土している。

・遺構 65 (図 23・図 24)

不正円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩・泥岩粒・炭化物を含む。

・出土遺物 (図 24)

26・27 はかわらけ。28 は手づくね。29・30 は常滑甕。31 は常滑片口鉢 I 類。32・33 は常滑片口鉢 II 類。34 は鉄製品釘。その他にかわらけ・常滑甕・渥美器種不明・鉄製品釘・貝が破片で出土している。

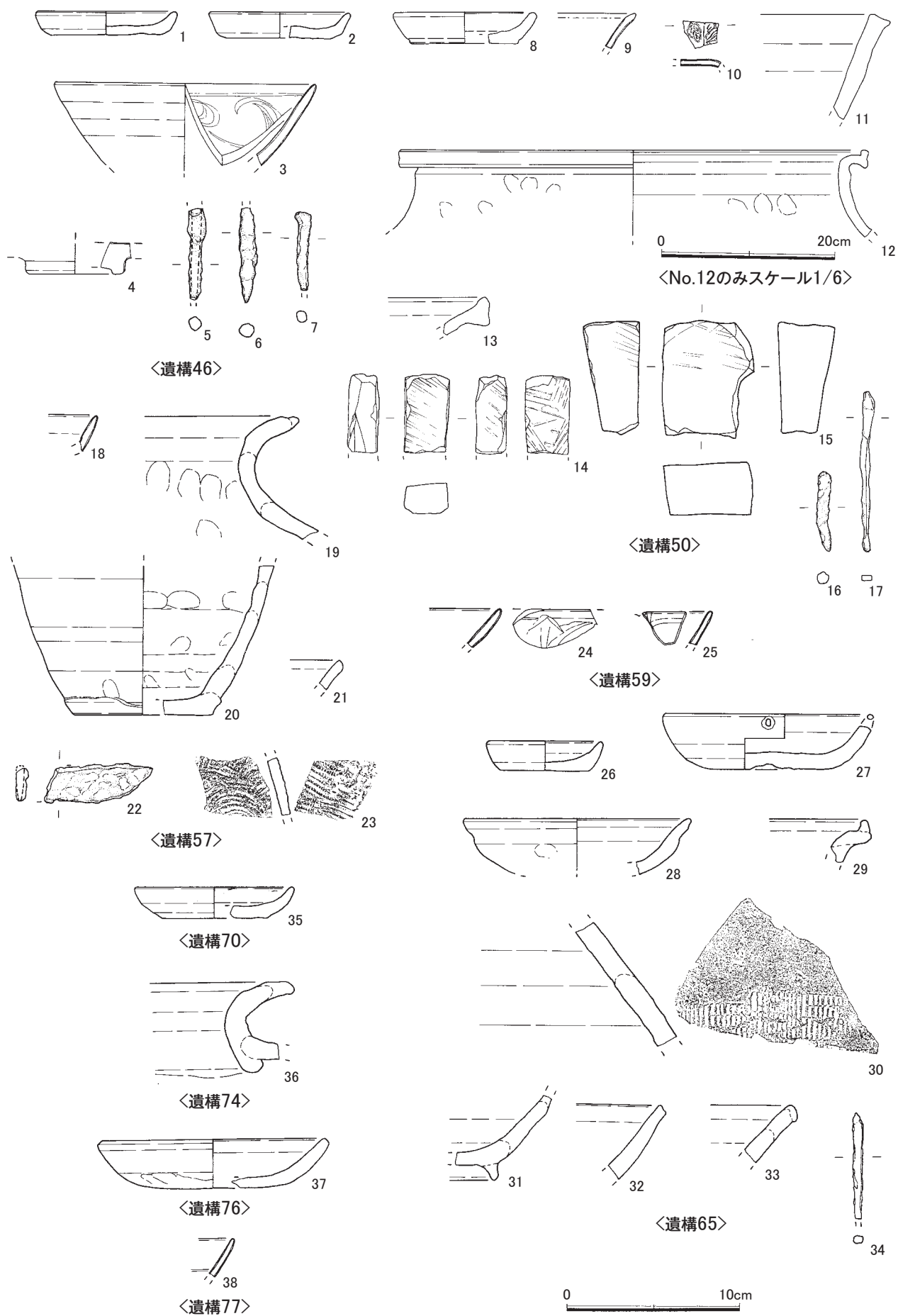


図24 第3面 遺構出土遺物 (遺構46・50・57・59・65・70・74・76・77)

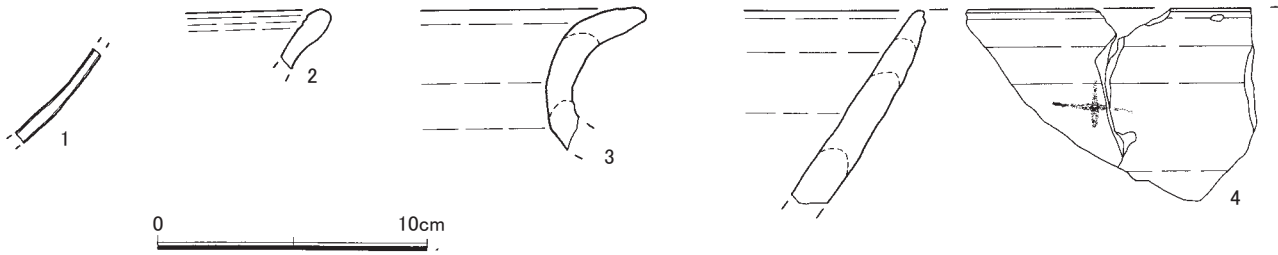


図 25 第 3 面構成土出土遺物

・遺構 68 (図 5)

個別に図示はしていない。不正円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物・貝砂を含む。遺構底面に礎板状の木質が遺存していたが、腐食しており記録・採集することは出来なかった。遺物はかわらけ・手づくね・常滑甕・貝が破片で出土している。

・遺構 70 (図 23・図 24)

遺構プラン確認時には一つの土坑として調査を進めたが、堆積土層の確認から二つの遺構として分けている。遺構 70 a は遺構 70 b に切られる。遺構 70 a は楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・貝砂を含む。遺構 70 b は礎板が遺構底面に遺存するピットである。遺構覆土は暗灰色砂質土。褐色有機質土・貝砂・黄褐色砂を含む。

・出土遺物 (図 24)

35 はかわらけ。その他に手づくね・常滑甕・貝・獣骨が破片で出土している。

・遺構 74 (図 23・図 24)

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗灰色砂質土。泥岩粒・炭化物を含む。

・出土遺物 (図 24)

36 は渥美甕。その他に手づくねが破片で出土している。

・遺構 76 (図 23・図 24)

円形を呈するピットである。遺構覆土は褐色砂質土。貝砂・褐色有機質土を多く含む。

・出土遺物 (図 24)

37 は手づくね。その他にかわらけ・獣骨が破片で出土している。

・遺構 77 (図 23・図 24)

遺構 76 に切られ、調査区外に遺構が延びていたために規模は不明。土坑である。遺構覆土は褐色砂質土。黄褐色砂・貝砂・有機質土を含む。

・出土遺物 (図 24)

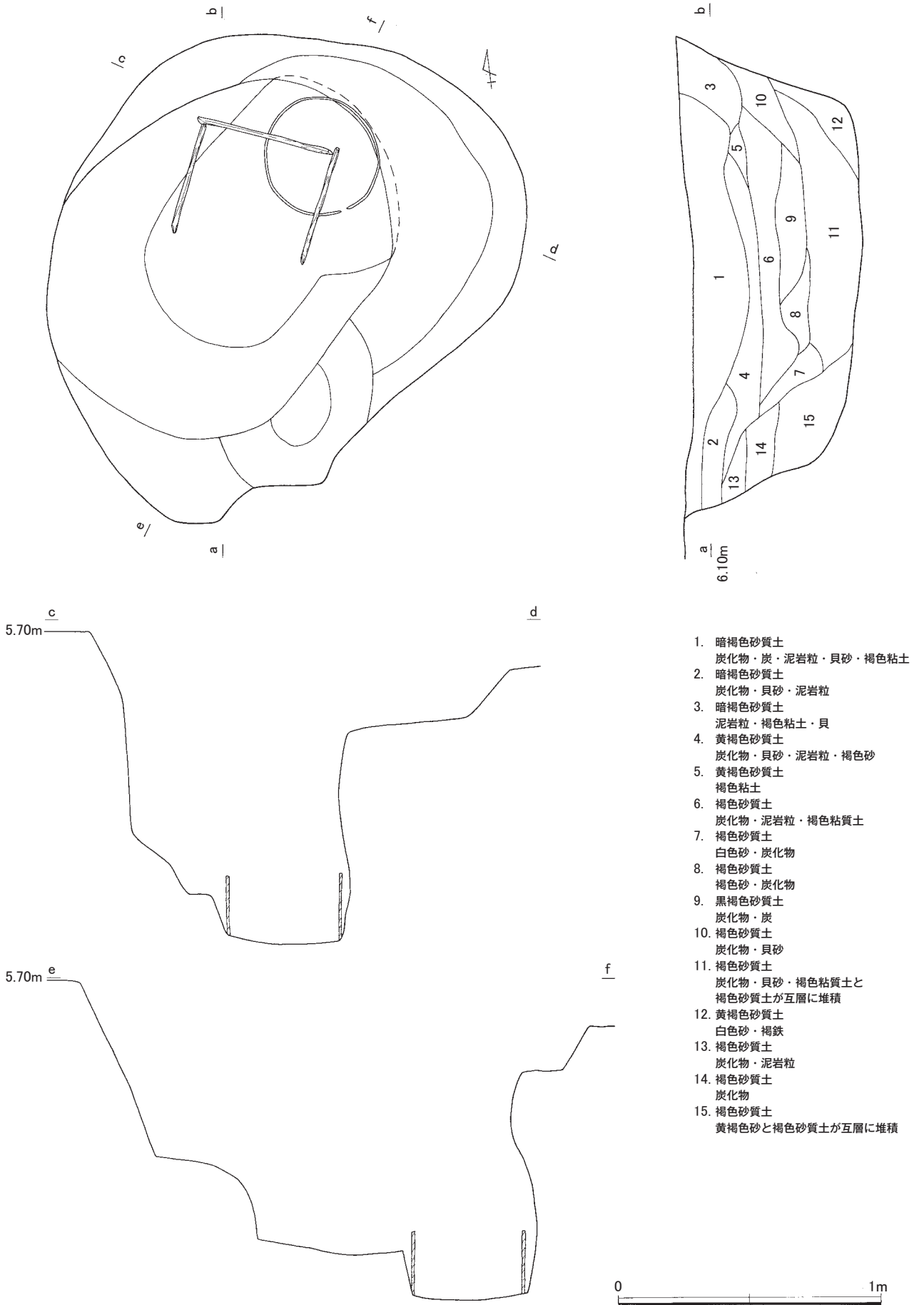
38 は青磁碗。その他にかわらけ・手づくね・常滑甕が破片で出土している。

・遺構 95 (図・図)

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・黄褐色砂を含む。遺物は出土していない。

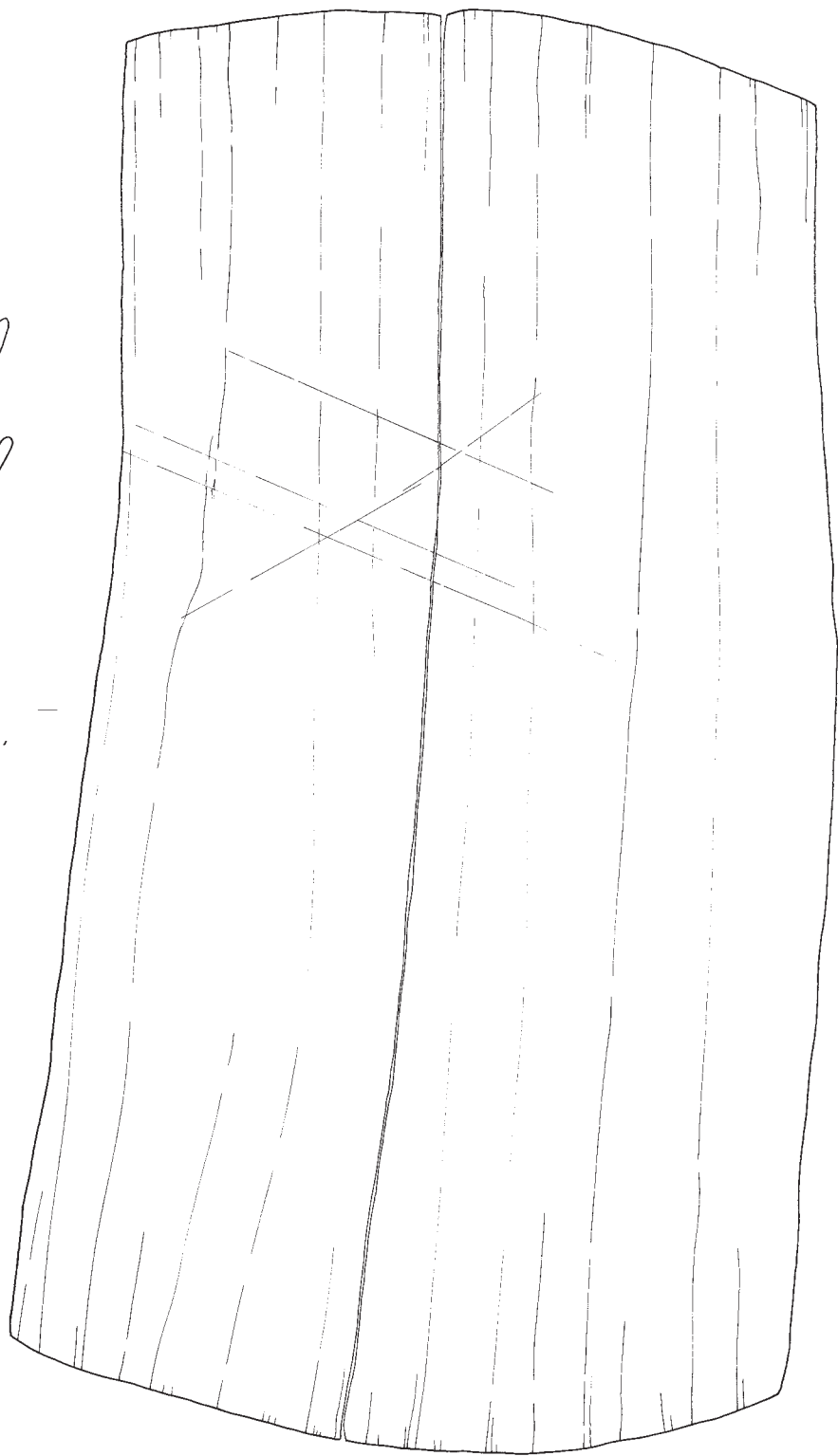
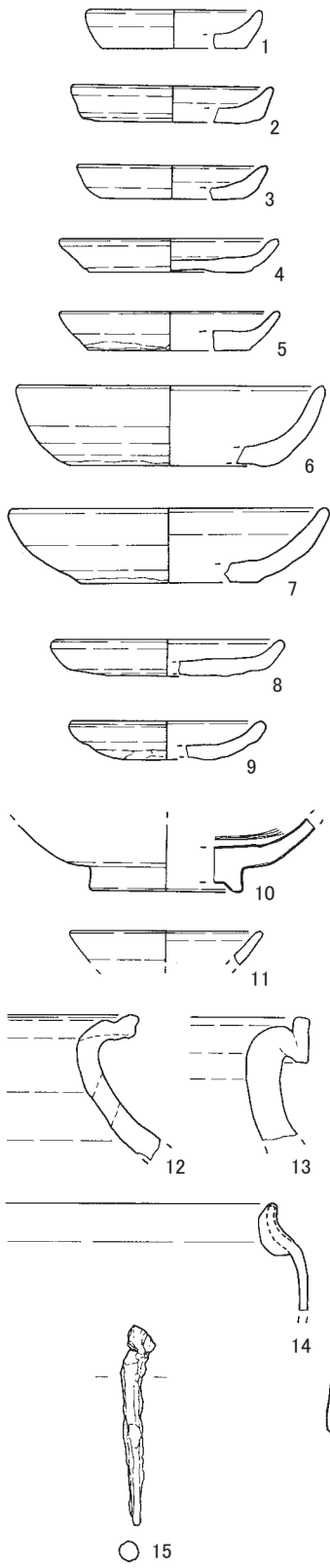
・第 3 面面上出土遺物

第 1 面から第 3 面にかけて、調査区全体に遺構が重複して検出されたことや、調査地点の堆積層が砂層のため生活層としての地業を確認できず、第 3 面面上出土として採集した遺物はない。



1. 暗褐色砂質土
炭化物・炭・泥岩粒・貝砂・褐色粘土
2. 暗褐色砂質土
炭化物・貝砂・泥岩粒
3. 暗褐色砂質土
泥岩粒・褐色粘土・貝
4. 黄褐色砂質土
炭化物・貝砂・泥岩粒・褐色砂
5. 黄褐色砂質土
褐色粘土
6. 褐色砂質土
炭化物・泥岩粒・褐色粘質土
7. 褐色砂質土
白色砂・炭化物
8. 褐色砂質土
褐色砂・炭化物
9. 黒褐色砂質土
炭化物・炭
10. 褐色砂質土
炭化物・貝砂
11. 褐色砂質土
炭化物・貝砂・褐色粘質土と
褐色砂質土が互層に堆積
12. 黄褐色砂質土
白色砂・褐鉄
13. 褐色砂質土
炭化物・泥岩粒
14. 褐色砂質土
炭化物
15. 褐色砂質土
黄褐色砂と褐色砂質土が互層に堆積

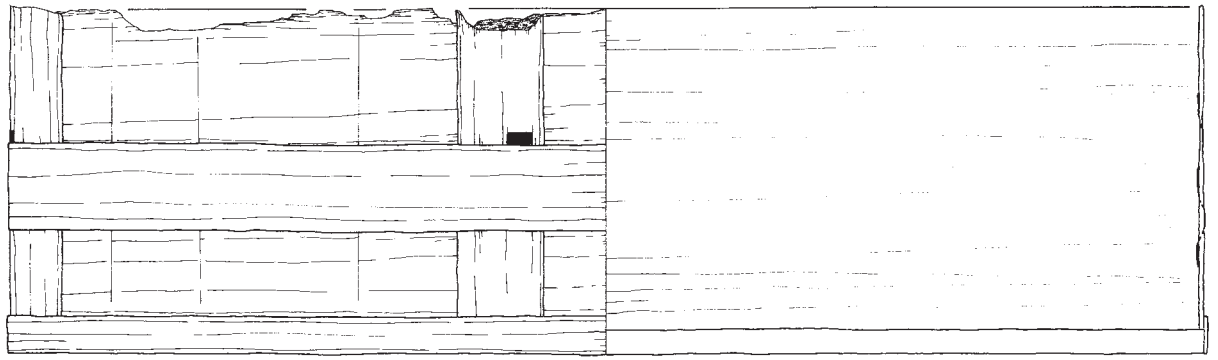
図 26 第 4 面 遺構 51



16

0 10cm

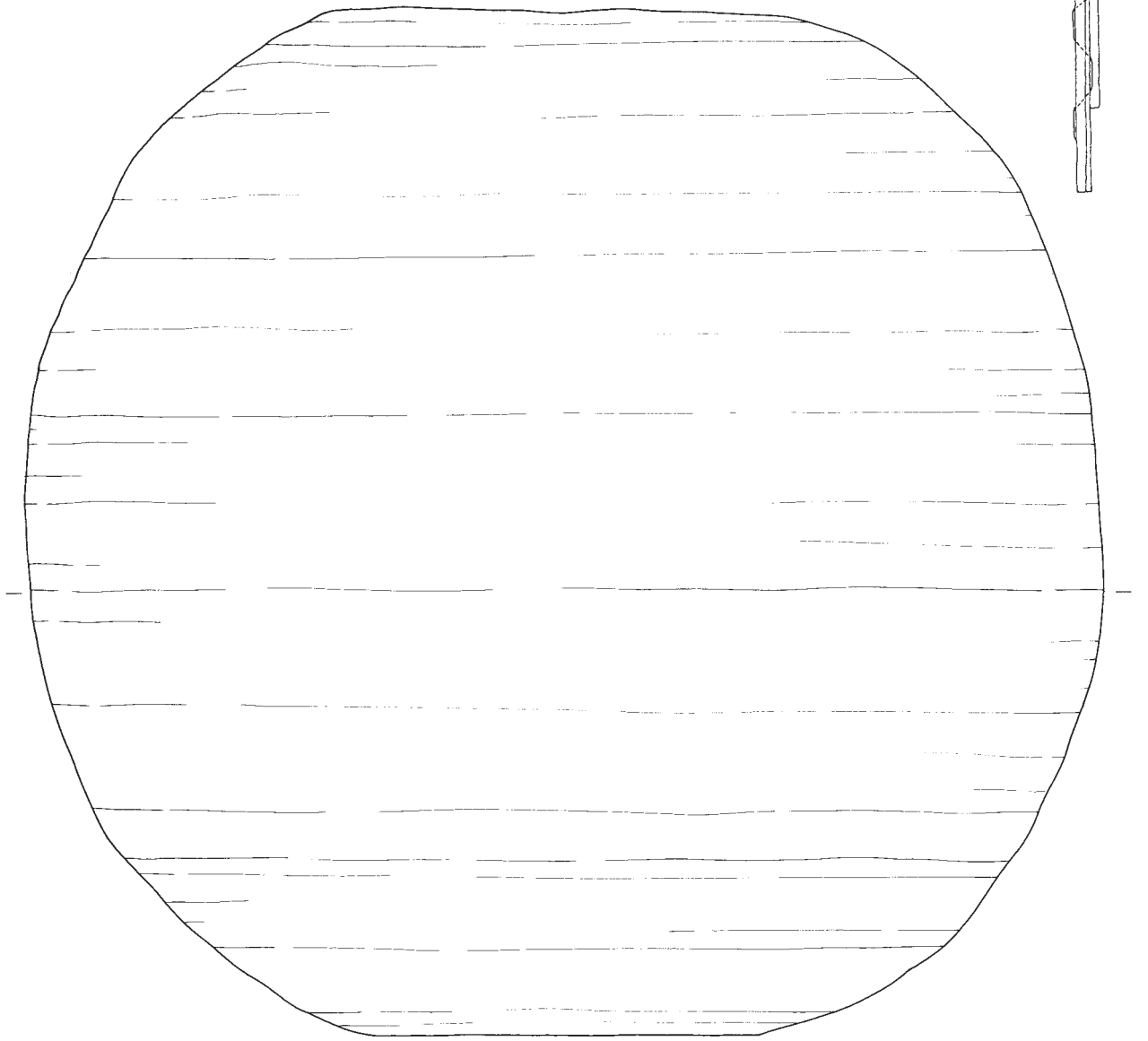
图 27 第 4 面 遺構 51 出土遺物 (1)



17

0 10cm

※側板の綴じ方模式図→



18

図28 第4面 遺構51出土遺物(2)

・第3面構成土出土遺物（図25）

第3面検出後、第4面までの堆積土層から出土した遺物である。1は白磁碗。2は常滑片口鉢I類。3は渥美甕。4は渥美鉢。

4. 第4面の遺構と遺物（図5・図26～図36）

第3面では調査区東側が空閑地の様相を呈していたが、第4面では調査区全体に遺構が広がる。礎板が覆土内に遺存するピットを多く発見し掘立柱建物の存在を考え調査を進めたが、建物址を推定することは出来なかった。調査区のほぼ中央には井戸を2基検出しており、屋敷地の外れであったのかもしれない。第4面の遺構は褐鉄を多く含む黄褐色砂質土上に広がるが、後述するトレンチによる下

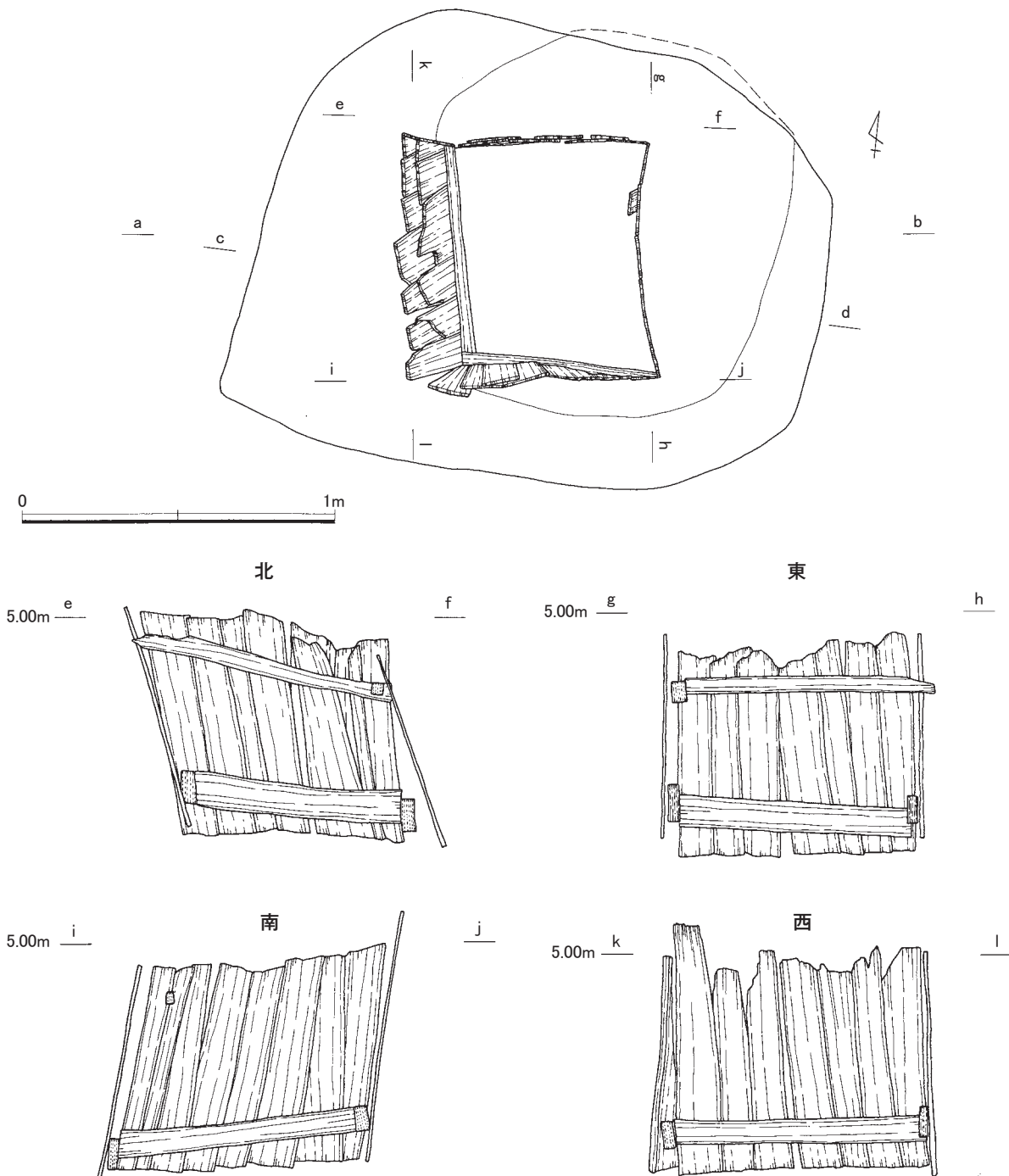
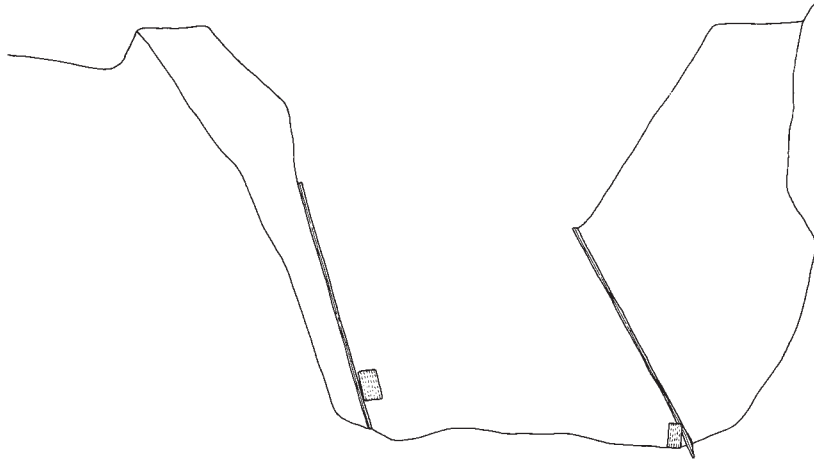


図29 第4面遺構54(1)

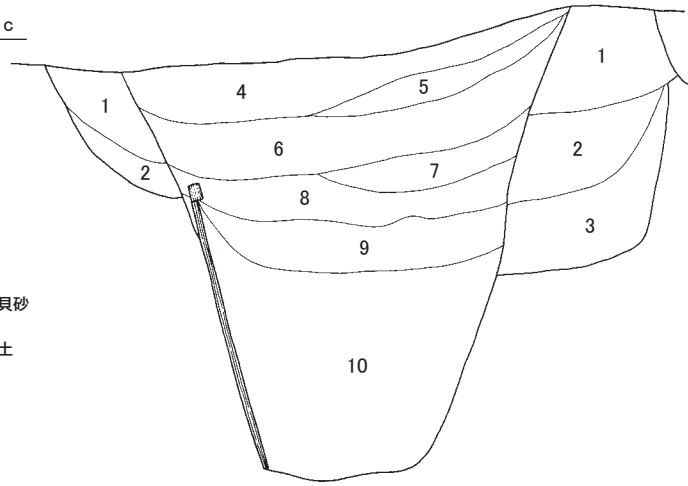
5.50m a



b

- 1. 暗褐色砂質土
炭化物・泥岩粒・褐色砂
黃褐色砂
- 2. 黃褐色砂質土
炭化物・泥岩粒・貝砂
- 3. 暗褐色砂質土
炭化物・貝砂

5.50m c



- 4. 黃褐色砂質土
炭化物・貝砂
- 5. 黃褐色砂質土
炭化物(多)・貝砂
- 6. 黑褐色砂質土
炭化物・褐色粘土
- 7. 灰褐色砂質土
炭化物・泥岩粒

d

- 8. 黑褐色砂
炭化物
- 9. 黃茶褐色砂
炭化物・貝砂
- 10. 黃茶褐色砂
炭化物・褐色有機質土

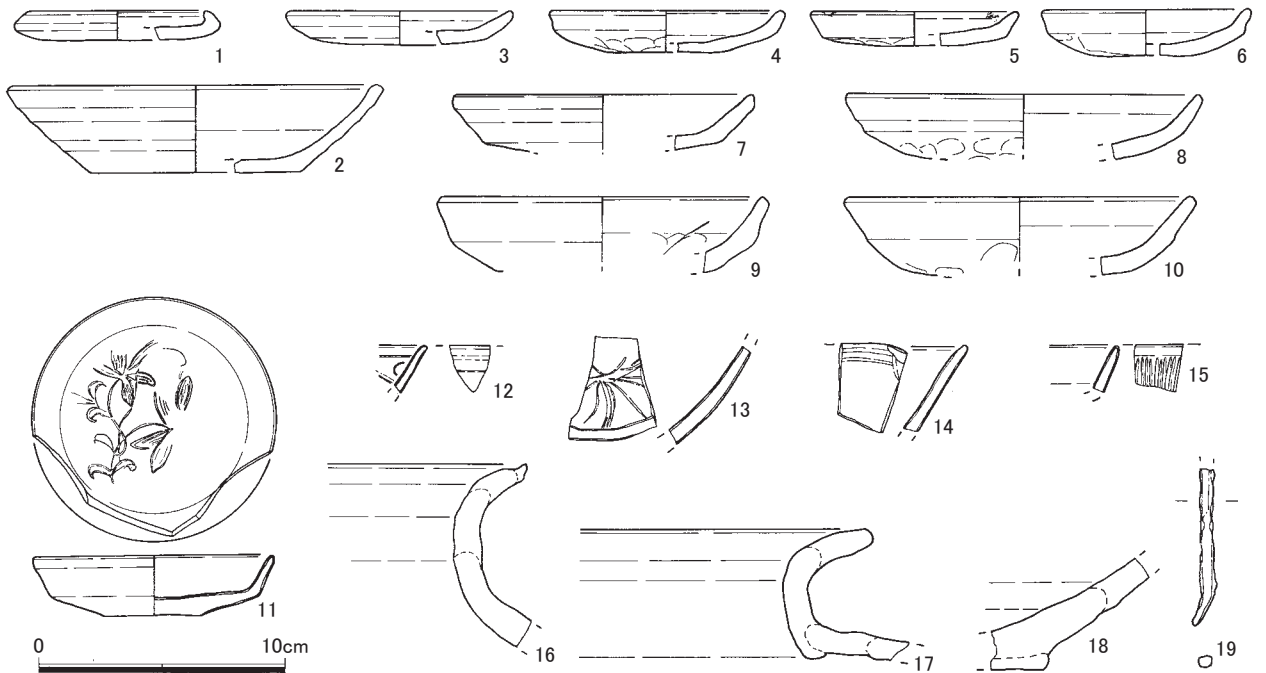
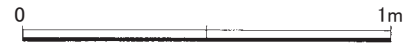


圖 30 第 4 面 遺構 54 (2)

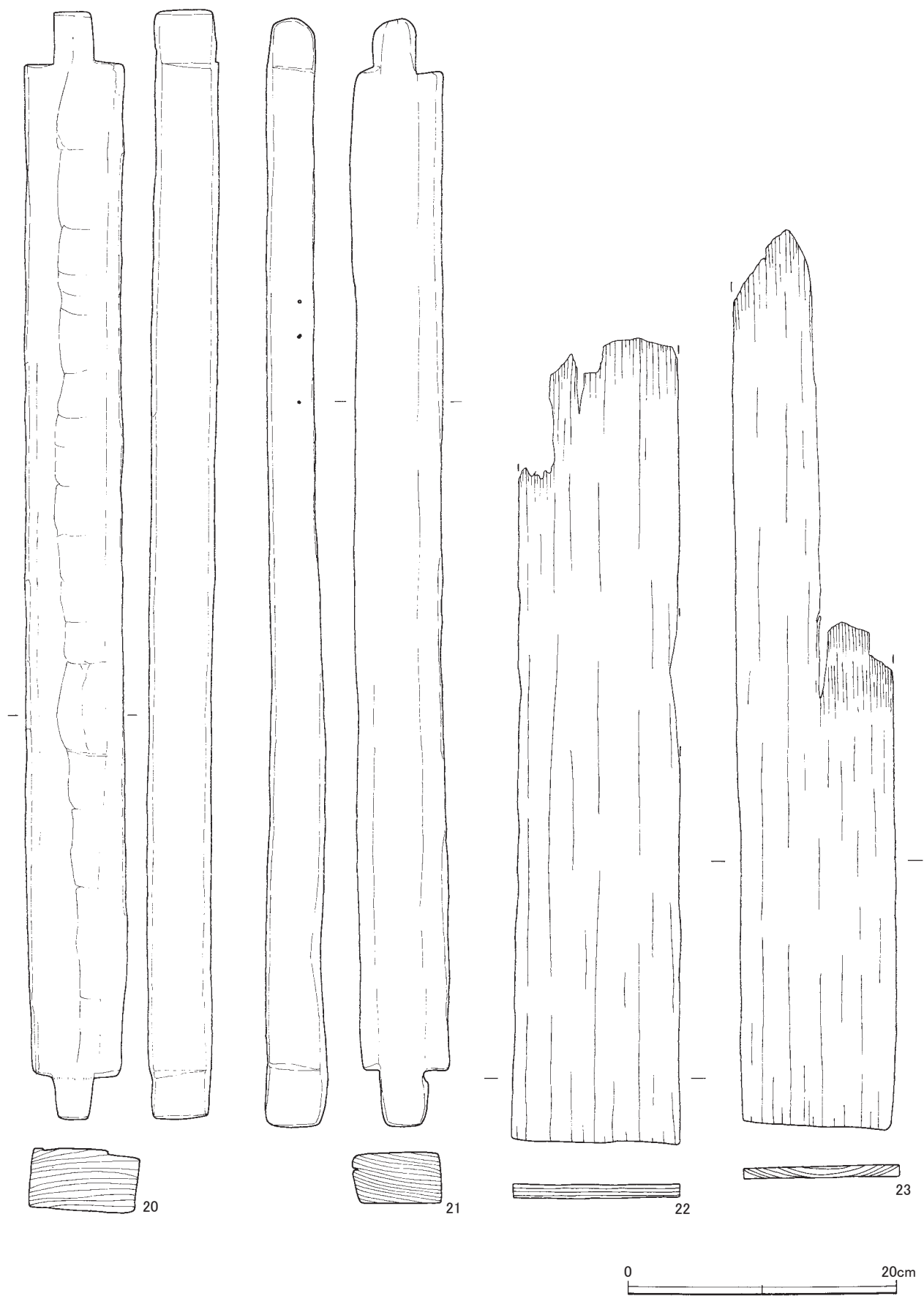


図 31 第 4 面 遺構 54 (3)

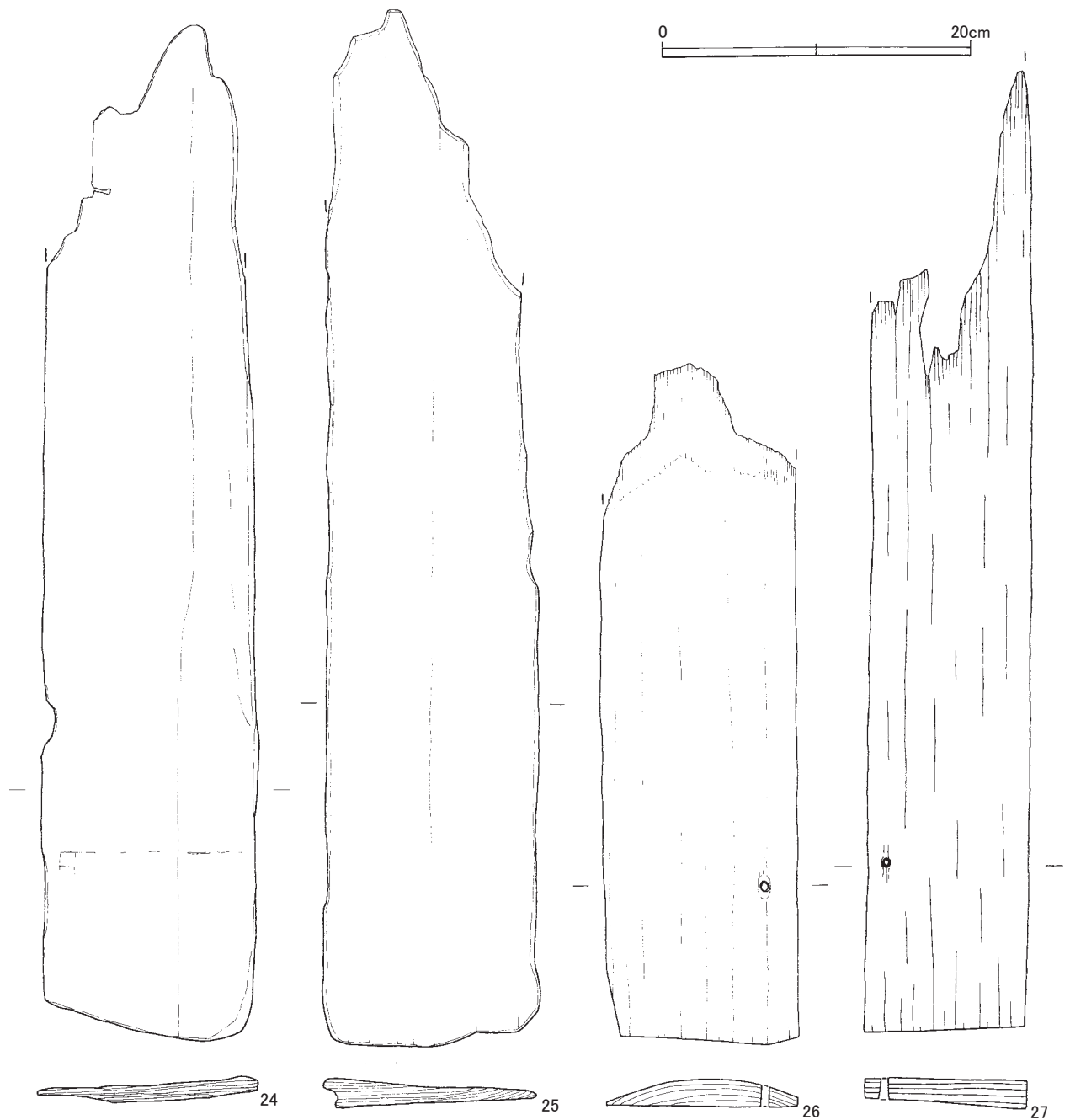


図 32 第 4 面 遺構 54 (4)

層堆積の観察では第 4 面構成土からの出土遺物はない。発見した遺構は土坑 11 基・ピット 58 穴・井戸 2 基である。

遺構 51 (図 26 ~ 図 28)

井戸である。三方の側板が遺存していたが、腐食しており採集することはできなかった。側板の下層には底のない大きな曲物が、やや中心から外れた位置で発見されている。当初は井戸中心に据えられたものであったと思われるが、井戸を廃棄し埋める時点でずれが生じたと考えている。遺存していた三方の側板は現地にて計測し実測図を報告していない。側板の遺存値は、北側 - 幅 53cm・高さ 25cm・厚さ 4 cm、東側 - 幅 47cm・高さ 26cm・厚さ 3.5cm、西側 - 幅 43cm・高さ 23cm・厚さ 3.5cmであった。曲物は底板がない状態で発見されたが、遺構覆土下層から円盤状の木製品が出土しており、発見した

曲物の底板であったと考えている。

・出土遺物 (図 27・図 28)

1～7はかわらけ。8～9は手づくね。10は青磁碗。11は山皿。12・13は常滑甕。14は鉄製品鍋。15は鉄製品釘。16は木製品円盤状。17は曲物、上部は破損していた。18は曲物底板。その他に渥美器種不明・瓦器質火鉢・チャートが破片で出土している。

・遺構 54 (図 29～図 32)

木組みの側板を持つ井戸である。遺存していた四方の側板は東に倒れ込むような形で検出した。角材を枘によって方形に組み横棧とし外側に側板を並べているが、通常この形式の井戸に見る四隅の支柱は発見されなかった。井戸廃棄時に支柱は抜き取ったのかもしれない。掘り方はやや方形を呈する。遺構覆土は土層堆積図を参照していただきたい。(図 30)

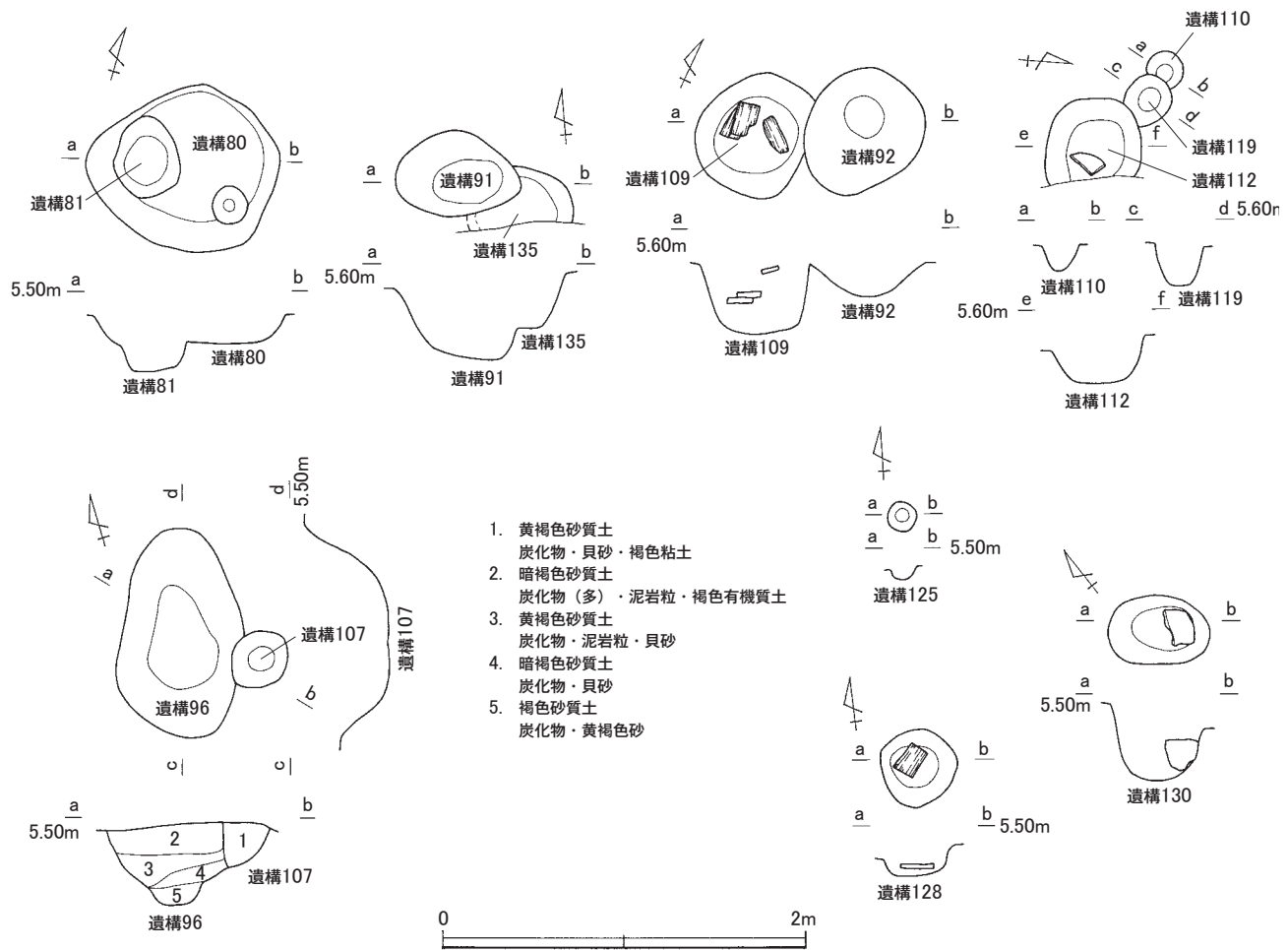


図 33 第4面遺構 (遺構 80・81・91・92・96・107・109・110・112・119・125・128・130・135)

・出土遺物 (図 30～図 32)

1・2はかわらけ、1は内折れのかわらけ。3～10は手づくね。11は青磁劃花文皿。12～13は青磁劃花文碗。14は青磁輪花碗。15は青磁皿。16は常滑甕。17・18は渥美甕。19は鉄製品釘。20～27は井戸側板の一部を掲載した。20～21は横棧の材。22～27は側板の材、側板の幅・厚みなどに一定の規格はなかった。その他に渥美甕・鞆の羽口・貝・獣骨が破片で出土している。

・遺構 80 (図 33)

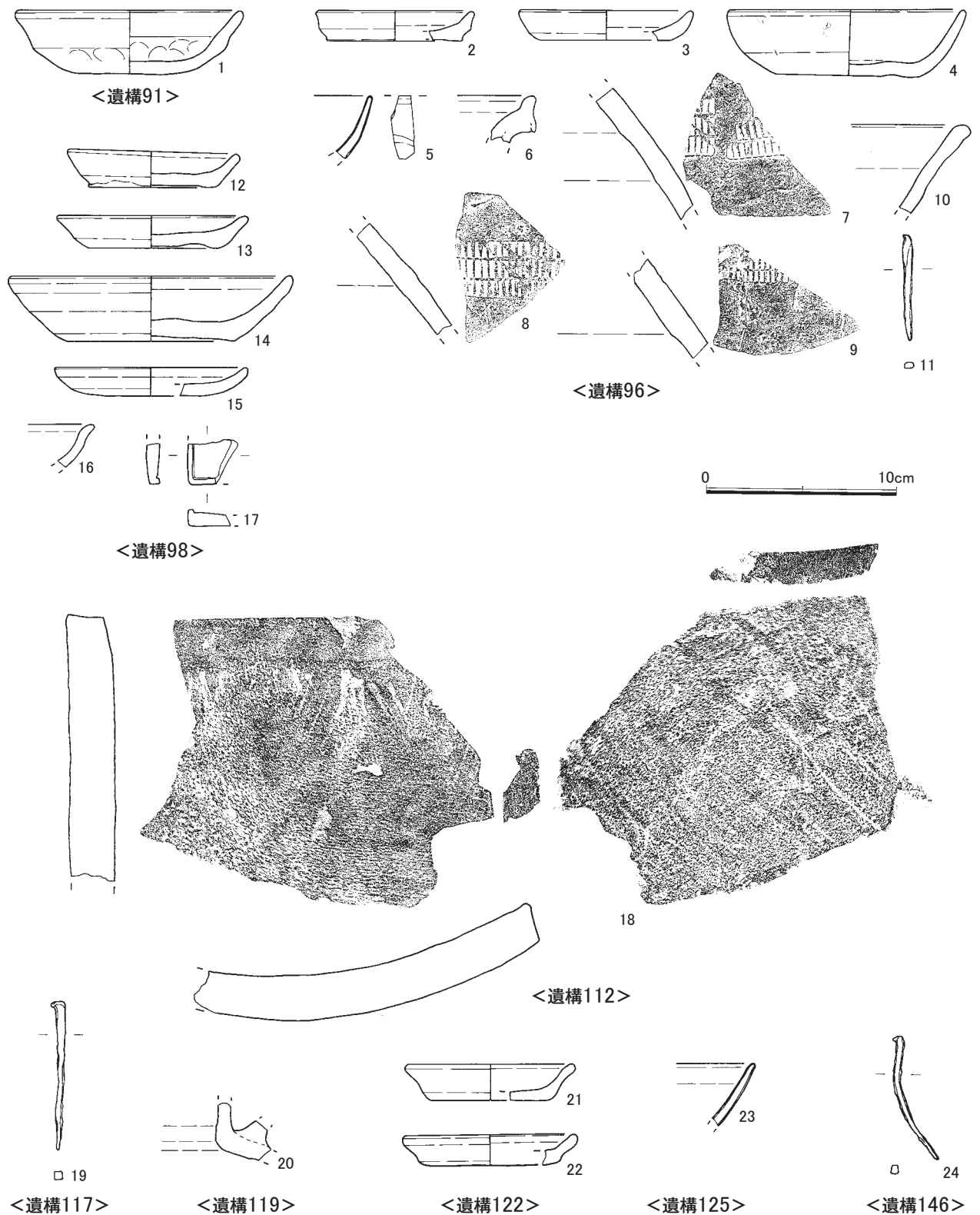


図 34 第 4 面遺構出土遺物 (遺構 91・96・98・109・112・117・119・122・125・146)

不正円形を呈する土坑である。遺構 81 に切られる。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・貝砂を含む。遺物はかわらけ・手づくね・貝・獣骨が破片で出土している。

・遺構 81 (図 33)

不正円形を呈するピットである。遺構 80 を切る。遺構覆土は炭化物・黄褐色砂を含む。覆土内出土

の遺物はなく、貝が出土している。

・遺構 91 (図 33・図 34)

楕円形を呈するピットである。遺構 135 を切る。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・黄褐色砂・褐色有機質土を含む。遺構底部に礎板が遺存していたが、腐食しており採集することは出来なかった。

・出土遺物 (図 34)

1 は手づくね。その他にかわらけ・手づくねが破片で出土している。

・遺構 92 (図 34)

円形を呈する土坑である。遺構 109 を切る。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・泥岩粒・貝砂を含む。遺物にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

・遺構 96 (図 33・図 34)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は土層注記を参照していただきたい。

・出土遺物 (図 34)

2～4 はかわらけ。5 は青磁碗。6～9 は常滑甕。10 は常滑片口鉢 I 類。11 は鉄製品釘。その他に手づくね・石製品硯・鞆の羽口・貝が破片で出土している。

・遺構 98 (図 5・図 34)

個別に図示はしていない。楕円形を呈するピットである。遺構 96 を切る。遺構覆土は暗褐色砂質土。泥岩粒・炭化物を含む。覆土内に礎板が遺存していた。

・出土遺物 (図 34)

12～14 はかわらけ。15 は手づくね。16 は山皿。17 は石製品硯。

・遺構 107 (図 33)

円形を呈するピットである。遺構 96 を切る。遺構覆土は土層注記を参照していただきたい。遺物は出土していない。

・遺構 109 (図 33・図 34)

不正円形を呈するピットである。遺構 92 に切られる。覆土内に礎板・柱状の板材が遺存していた。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・泥岩粒・褐色有機質土を含む。遺物は手づくね・青磁碗・貝が破片で出土している。

・遺構 110 (図 33)

円形を呈するピットである。遺構 119 に切られる。遺構覆土は暗灰色砂質土。貝砂・黄褐色砂を含む。遺物は手づくねが破片で出土している。

・遺構 112 (図 33・図 34)

円形を呈するピットである。遺構 54 に切られる。暗灰色砂質土。炭化物・泥岩粒・黄褐色砂を含む。

・出土遺物 (図 34)

18 は女瓦。その他にかわらけ・貝が破片で出土している。

・遺構 117 (図 5・図 34)

個別に図示はしていない。調査区外に遺構が延び規模・形状は不明となった。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・褐色有機質土を含む。

・出土遺物 (図 34)

19 は鉄製品釘。その他にかわらけが破片で出土している。

・遺構 119 (図 33・図 34)

円形を呈するピットである。遺構 112 に切られる。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・黄褐色砂を含む。

・ **出土遺物 (図 34)**

20 は褐釉壺・耳環部。その他に遺物は出土していない。

・ **遺構 122 (図 5・図 34)**

個別に図示はしていない。調査区外に遺構が延び規模は不明。土坑である。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・泥岩粒・褐色有機質土を含む。

・ **出土遺物 (図 34)**

21 はかわらけ。22 は手づくねかわらけ。その他にかかわらけが破片で出土している。

・ **遺構 125 (図 33・図 34)**

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗灰色砂質土。黄褐色砂を含む。

・ **出土遺物 (図 34)**

25 は青磁碗。

・ **遺構 128 (図 33)**

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・泥岩粒を含む。遺物は出土していない。

・ **遺構 130 (図・図)**

楕円形を呈するピットである。覆土内に礎石だろうか、上面を平らに加工した砂質凝灰岩が遺存していた。遺物は出土していない。

・ **遺構 132 (図 5)**

個別に図示はしていない。円形を呈するピットである。覆土内に杭状に粘土が残っており柱穴であったと考えられる。後述する遺構 142 に遺構覆土は近似しており、柱、あるいは杭列となった可能性もある。柱、あるいは杭列とした場合、その距離は芯芯で 158cm を測る。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・黄褐色砂を含む。遺物は出土していない。

・ **遺構 135 (図 33)**

遺構 91 に切られ、調査区外に遺構が延びていたために規模は不明。ピットである。遺物は出土していない。

・ **遺構 145 (図 5)**

個別に図示していない。調査区外に遺構が延び、規模・形状は不明となった。遺構覆土は暗褐色砂質土。炭化物・泥岩粒・褐色有機質土を含む。遺物は常滑甕の胴部片が多く混入しており、据え甕の破片であった可能性もある。

遺構 146 (図 5・図 34)

個別に図示はしていない。調査区外に遺構が延び規模は不明となった。ピットである。遺構底部に礎板遺存。遺構覆土は暗灰色砂質土。炭化物・黄褐色砂を含む。

・ **出土遺物 (図 34)**

24 は鉄製品釘。その他に手づくねが破片で出土している。

遺構 147 (図 5)

個別に図示はしていない。小型のピットである。遺構覆土は暗褐色砂質土。覆土内に褐色有機質土を多く含む。杭の痕跡かもしれない。遺物は出土していない。

・ **第 4 面面上出土遺物 (図 35)**

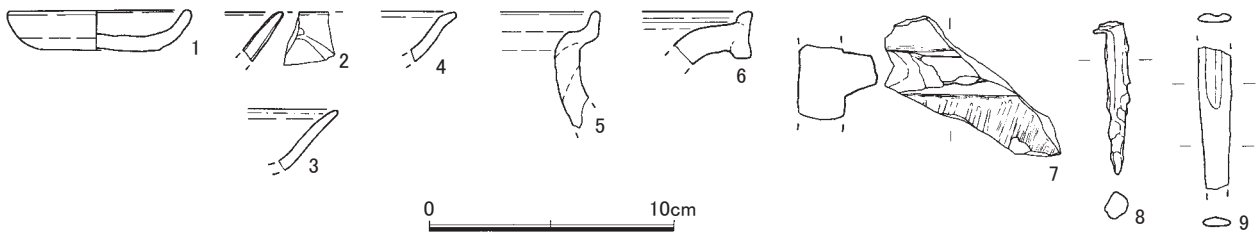


図 35 第 4 面面上出土遺物

第 4 面遺構精査時に出土した遺物である。1 はかわらけ。2 は青磁鎬蓮弁文碗。3 は白磁口元皿。4 は山茶碗。5・6 は常滑甕。7 は石製品滑石鍋。8 は鉄製品釘。9 は骨製品筭。

・表土出土遺物 (図 36)

現地表から第 1 面検出までの堆積層で出土した遺物である。1～15 はかわらけ。16 は青磁劃花文碗。17 は青磁鉢。18 は白磁口元皿。19 は瀬戸卸皿。20 は瀬戸折縁皿。21 は瀬戸播鉢。22 は常滑壺。

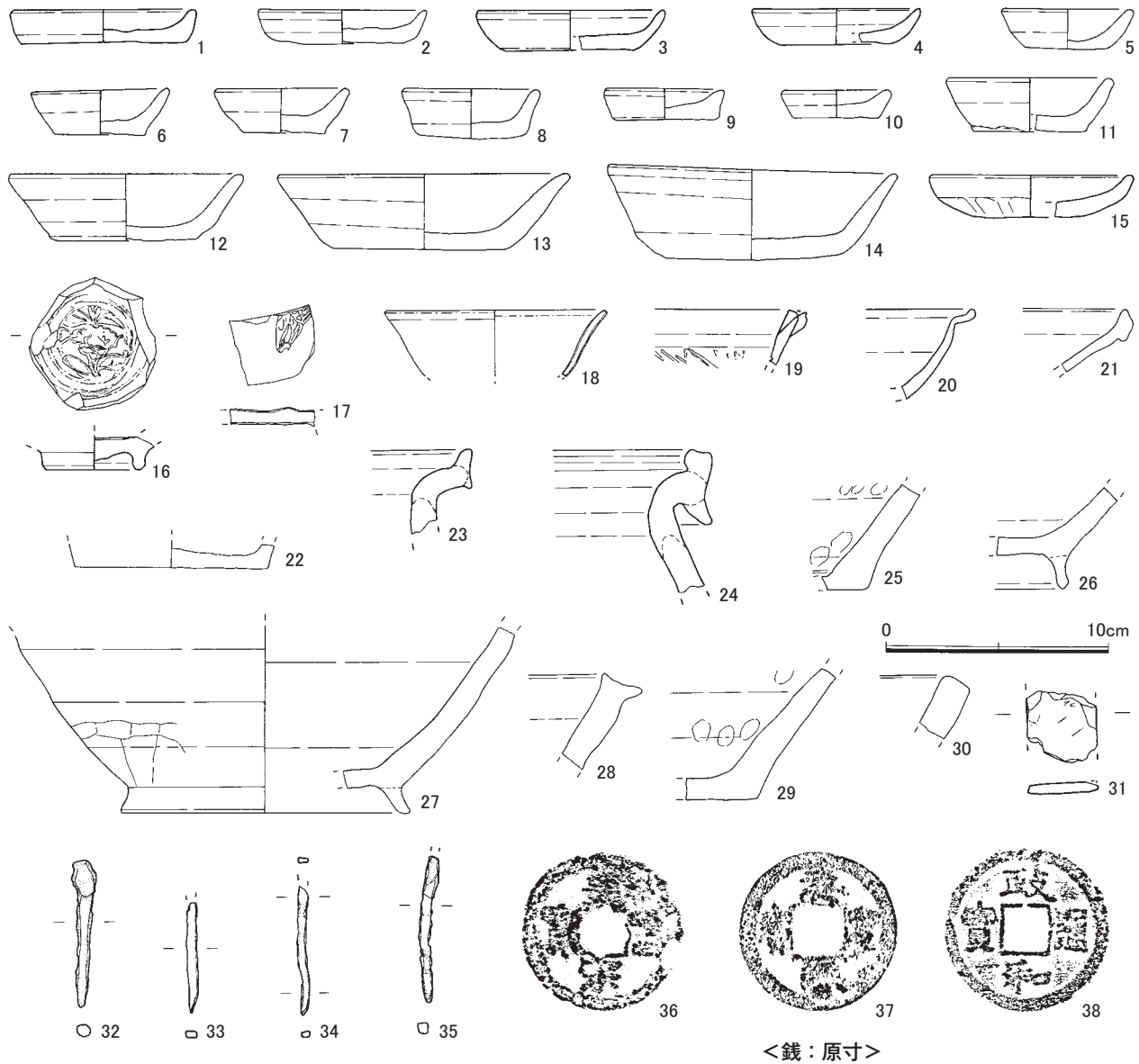


図 36 表土出土遺物

23～25は常滑甕。26・27は常滑片口鉢Ⅰ類。28・29は常滑片口鉢Ⅱ類。30は瓦器質火鉢。31は石製品砥石。32～35は鉄製品釘。36～38は銭。

・最終トレンチ (図3)

第4面検出後、下層の堆積を確認するために調査区の東と西にトレンチを設けた。トレンチ底からの湧水が激しく記録は写真のみとなったが、第4面下層は自然砂層の水平堆積であったことを確認している。2か所のトレンチを設けたが、どちらのトレンチからも遺物は出土していない。

第三章 まとめ

本調査地が所在する「材木座町屋遺跡」は幕府から町屋免許を得た商業域であり、調査地西に接し南北に走る道路はその物流に大きな任を背負う道路であった。道路に沿った南北域では竪穴建物を含む多くの遺構・遺物が発見され、活発な営みや往来があった様子が窺える。しかし遺跡指定された全域が商業域であったわけではなく、指定城南西部のほとんどは海拔も低く中世においては湿地、あるいは氾濫原・潟湖と推定されており、居住域ではなかったことが周辺の調査成果からも確認されている。また北西に位置する遺跡からは古代の官衙関連と想定する大型の掘立柱建物群、道路状遺構、溝による区画等が発見され、北東域では中世後期になると土坑墓が集中する地域となる。遺跡指定域が広範なためもあり、遺跡の性格が散漫な様相を示すことになったともいえるが、ある意味この混沌とした様相が、「町屋」の性格を示しているのかもしれない。

検出した遺構と遺物

第1面上層には中世遺物包含層が堆積していた。調査区壁の観察からは遺構を発見することは出来ず、第1面上層は空地であった可能性も考えられる。また、出土遺物も少量であった。この包含層は出土した遺物から15世紀を下る堆積層であったと考えている。

以下の遺構検出面を本調査では4枚の生活面に分けて報告した。最終面より下層の堆積はトレンチを設けて確認を試みたが、湧水が激しく堆積した砂層が雪崩れるようにトレンチ壁が崩れていってしまうため、堆積層の記録は写真のみとなってしまった。本調査で出土した遺物は整理箱数にして計25箱、内6箱が木製品であった。

第1面は調査区全体に遺構を発見したが、上層の堆積層に削平され総じて検出した遺構深度は浅い。発見した遺構は土坑が大半であったが、土坑下層に深度は浅いが竪穴建物を発見している。第1面は2時期の遺構が切りあって検出されている。また、第1面と後述する第2面の遺構はほぼ同一層上で重複して発見された。第1面は14世紀を下る年代が与えられる。

第2面で発見した遺構の大半は竪穴建物である。遺構検出範囲は調査区全体に広がるが、第1面同様に上層の堆積層によって削平を受けており遺構深度は浅い。また、発見した竪穴建物は同位置で頻繁に造り替えを行い、正確な規模・形状を捉える事が出来なかった。第2面は3時期の遺構を確認した。

第3面は多くの竪穴建物を検出した第2面とは様相を一変し、北東隅に竪穴建物と考えられる浅い土坑を1基検出したが、その他は井戸・土坑・ピットが広がる。若干調査区東側に空地が目立つが上層の遺構群に削平を受けたと考えている。遺構が重複して発見されているために、遺物の採集が混乱してしまった部分もあるが、第1面から第3面までは出土遺物の観察からは大きな時期差を認める事が出来なかった。第2面、第3面は13世紀半ば以降の年代が与えられる。

第4面は井戸・土坑とともに礎板を遺構底面に持つピットを多く発見した。調査区が狭小なためにそれぞれのピットから建物址を推定することは出来なかったが、住居、井戸といった調査地の生活を窺わせる遺構を発見している。第4面の遺構は中世基盤層と考える黄褐色砂質土を掘りこんでいる。第4面は13世紀前半の年代が与えられる。

まとめ

本調査では13世紀前半から15世紀にかけての遺構の変遷を確認した。発見した遺構は短期間に造り替えを行っていたが、第1面は土坑が、第2面は重複して検出された竪穴建物が主となり、第3面・第4面は礎板を持つピットが調査区全体に広がり、掘立柱建物の存在をうかがわせた。第1面から第3面までに発見した遺構の覆土には炭化物・炭・泥岩が多く混入し、調査地の遺構を廃棄する14世紀代には他方から運ばれてきた客土によって整地が行われたと思われる。特徴的な出土遺物はなく遺物から遺跡地の性格を判断することは出来なかったが、第2面の竪穴建物群は倉庫としての利用を考えると、中世鎌倉の物流の要の一つであったと考える道路に接する遺跡地としての特徴であるといえる。近隣の調査成果からは、本調査で確認した第4面以下の堆積層下に縄文海進時の内湾またはその後のラグーンの堆積物を含む黒色粘質土層が広がることを確認しているが、本調査地では第4面以下、約80cmまでは飛砂が堆積していたことを確認して終了した。

【参考文献】

- ・「材木座町屋遺跡発掘調査報告書」 鎌倉市材木座三丁目 62 番 19 2008 年 3 月 (有)鎌倉遺跡調査会
- ・「材木座町屋遺跡」 材木座 6 丁目 653 番 1 外 2009 年 3 月 玉川文化財研究所
- ・「材木座町屋遺跡発掘調査報告書」 鎌倉市材木座三丁目 164 番他地点 2011 年 3 月 (有)鎌倉遺跡調査会
- ・「材木座町屋遺跡発掘調査報告書」 鎌倉市材木座五丁目 462 番 2 地点・三丁目 602 番 5 の一部地点 2012 年 9 月 (株)博通
- ・「材木座町屋遺跡発掘調査報告書」 鎌倉市材木座二丁目 2250 番 8 地点 2014 年 9 月 (株)博通
- ・「材木座町屋遺跡発掘調査報告書」 鎌倉市材木座三丁目 372 番 26 地点 2015 年 3 月 (株)博通

遺物観察表

図版 番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
8	1	第1面 遺構1	かわらけ	(7.0)	(5.6)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯(粗土) c.黄灰色 e.やや甘い f.1/5
8	2	第1面 遺構1	かわらけ	(12.8)	(7.9)	3.2	a.ロクロ・内底横ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.2/3
8	3	第1面 遺構1	かわらけ	(14.2)	(9.0)	3.8	a.ロクロ・内底強くナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.器壁外反して立ち上がる f. 2/3
8	4	第1面 遺構1	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・黒色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片 内面黒色に変色 g.6a形式
8	5	第1面 遺構1	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 黒色粒・白色粒・長石・石英 d.灰緑色自然釉 e.硬質 f.口縁部小片 g.6a形式
8	6	第1面 遺構1	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・黒色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部小片 g.6a形式
8	7	第1面 遺構1	石製品 チャート	1.8	1.45	0.65	
8	8	第1面 遺構2	かわらけ	(7.2)	(6.2)	2.3	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.1/2
8	9	第1面 遺構3	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰黒色 白色粒・長石 c.赤褐色 e.硬質 f.口縁部片 g.5形式
8	10	第1面 遺構8	鉄製品 釘	(5.1)	0.3	0.25	g.断面方形
8	11	第1面 遺構9	かわらけ	(8.1)	(4.9)	1.7	a.ロクロ・内底横ナデ・ b.微砂・赤色粒・白色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
8	12	第1面 遺構17	かわらけ	(7.3)	(6.6)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.1/3 g.全体摩耗する
8	13	第1面 遺構17	かわらけ	(7.8)	(6.8)	1.65	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
8	14	第1面 遺構17	かわらけ	(8.2)	(6.7)	1.55	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
8	15	第1面 遺構17	かわらけ	8.7	6.2	1.95	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.完形
8	16	第1面 遺構17	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・黒色粒・長石・小石粒 c.灰黒色 d.緑掛った降灰 e.硬質 f.口唇部～底部片 g.5形式
8	17	第1面 遺構17	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・黒色粒・赤色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部小片 g.5形式
8	18	第1面 遺構17	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・黒色粒・赤色粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部小片 g.降灰あり・5形式
8	19	第1面 遺構18	かわらけ	(5.0)	(3.7)	0.8	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・やや硬質 c.橙色 e.良好 f.1/4 g.小型
8	20	第1面 遺構18	かわらけ	(7.7)	(6.0)	2.1	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
8	21	第1面 遺構18	かわらけ	(12.8)	6.6	3.5	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.3/4
8	22	第1面 遺構18	かわらけ	(7.6)	(6.2)	1.5	a.手づくね・内底ナデ・外側面回転ナデ b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.赤紫色 e.良好 f.1/4
8	23	第1面 遺構18	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・小石粒・長石 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片 g.内面降灰釉が厚くかかる・6a形式
8	24	第1面 遺構18	鉄製品 釘	5.2	0.6	0.5	g.断面方形
8	25	第1面 遺構19	かわらけ	(7.5)	(4.2)	2.2	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯・小石粒 c.黄橙色 e.良好 f.4/5 g.器形歪む
8	26	第1面 遺構19	鉄製品 釘	(7.4)	(1.3)	(1.0)	g.錆付着の為段面形不明
8	27	第1面 遺構20	かわらけ	(13.0)	(7.8)	3.0	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
8	28	第1面 遺構20	瀬戸 折縁深皿	—	—	—	a.ロクロ b.砂粒・雲母 良土 c.灰白色 e.良好 f.口縁部片 g.外面刷毛塗り痕
8	29	第1面 遺構20	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・雲母 良土 c.暗褐色 e.良好 f.口縁部片
8	30	第1面 遺構20	鉄製品 釘	4.0	0.6	0.4	g.断面方形
8	31	第1面 遺構20	鉄製品 釘	5.0	0.6	0.7	g.断面方形
8	32	第1面 遺構21	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.白色粒・長石 良土 c.暗褐色 e.良好 f.胴部片 g.正方形の格子の中を対角線で四分割した文様で押印
8	33	第1面 遺構32	かわらけ	(7.7)	(5.7)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・海綿骨芯・雲母・小石粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
8	34	第1面 遺構33	かわらけ	(13.1)	(7.4)	3.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・土丹粒・海綿骨芯・雲母・小石粒 良土 c.橙色 e.良好 f.1/8
8	35	第1面 遺構36	かわらけ	(8.4)	(6.6)	1.8	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/6
8	36	第1面 遺構36	備前 播鉢	—	—	—	a.輪積み b.褐色 砂粒・白色粒・石英 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片 g.条線単位9条
8	37	第1面 遺構37	かわらけ	(4.4)	(3.0)	1.3	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・黒色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.淡黄褐色 e.良好 f.1/3 g.小型
8	38	第1面 遺構37	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・長石・ c.褐色 e.硬質 f.口縁部片

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
8	39	第1面 遺構42	かわらけ	(8.0)	(6.2)	1.55	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/6
8	40	第1面 遺構42	かわらけ	(7.9)	(6.2)	1.55	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・土丹粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.1/6
8	41	第1面 遺構42	かわらけ	(8.8)	(6.6)	1.8	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8 g.内外口唇部一部黒色に変色
8	42	第1面 遺構42	かわらけ	12.2	9.2	3.0	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形
8	43	第1面 遺構42	かわらけ	(13.8)	(8.0)	3.4	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/3
8	44	第1面 遺構42	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
8	45	第1面 遺構43	かわらけ	(6.8)	(5.0)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海土丹粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/3 g.口唇部外辺が黒色に変色
8	46	第1面 遺構43	青磁碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.緑灰色 e.良好 f.口縁部片 g.外面櫛搔文・内面横方向に片切り彫り・口唇部鉄釉を施釉か黒色に変色
8	47	第1面 遺構43	青磁皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.緑灰色 e.良好 f.口縁部片 g.文様不明
8	48	第1面 遺構43	不明 壺	—	—	—	a.ロクロ b.灰色・やや砂質・精緻 c.灰色 e.良好 f.胴部片 g.搬入品か
8	49	第1面 遺構43	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・石英・小石粒 c.灰色 d.降灰 e.硬質 f.底部片・外面下部に手頭による調整痕
9	1	第1面 面上	かわらけ	(6.8)	(5.7)	1.3	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.赤橙色 e.良好 f.1/2
9	2	第1面 面上	かわらけ	(7.2)	(5.4)	1.6	a.ロクロ 内底強くナデ b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部の一部黒く変色 f.1/3
9	3	第1面 面上	かわらけ	(8.6)	(6.8)	1.7	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.1/3
9	4	第1面 面上	かわらけ	(9.8)	(7.1)	1.4	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.1/6
9	5	第1面 面上	かわらけ	9.6	6.8	1.5	a.ロクロ 内底強く横ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.4/5
9	6	第1面 面上	かわらけ	(12.4)	(8.4)	2.9	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.赤茶色 e.やや甘い f.1/3
9	7	第1面 面上	かわらけ	(14.9)	(9.3)	3.1	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.2/3
9	8	第1面 面上	かわらけ	—	(8.0)	—	a.ロクロ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.やや甘い f.1/3 g.見込み端に穿孔あり 内外面に煤付着
9	9	第1面 面上	白磁 皿	—	5.2	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 c.灰白色 d.淡緑色 e.良好 f.底部片 g.外底部斑に無釉
9	10	第1面 面上	白磁 口元皿	(10.8)	—	—	a.ロクロ b.白色 黒色粒 精良堅緻 d.青味掛った乳白色 不透明釉を極く薄施釉 f.口唇～胴体部片
9	11	第1面 面上	瀬戸 入子	5.8	3.6	1.95	a.ロクロ 外底部篋によるナデ整形 b.淡灰色 白色粒・黒色 良土 c.黄灰色 e.良好 硬質 f.2/3 g.降灰
9	12	第1面 面上	瀬戸 折縁深皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰黄色 砂粒・黒色粒 良土 c.灰緑色 d.釉は横位に刷毛塗り e.やや軟質 f.口唇～胴体部片
9	13	第1面 面上	山茶碗	—	—	—	a.ロクロ b.砂粒・白色粒・黒色粒・石英 緻密良土 c.灰色 e.良好 f.口縁部小片
9	14	第1面 面上	備前 播鉢	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・黒色粒・赤色粒・石英・長石・小石粒 c.赤茶色 e.硬質 f.口唇～胴体部片 g.8条の条線
9	15	第1面 面上	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・小石粒 c.灰白色 e.硬質 f.口縁部小片
9	16	第1面 面上	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.灰黒色 e.硬質 f.口縁部小片
9	17	第1面 面上	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.黒茶色 砂粒・白色粒・黒色粒・石英・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口唇～胴体部片
9	18	第1面 面上	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.黄茶色 砂粒・白色粒・黒色粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部小片
9	19	第1面 面上	滑石鍋 転用品	(6.5)	(4.5)	(1.3)	g.方形に整形して使用・全体に煤付着・温石として使用した製品と思われる
9	20	第1面 面上	石製品 砥石	(8.0)	(3.0)	(1.4)	g.仕上砥・側面切り出し痕・鳴滝産
9	21	第1面 面上	鉄製品 釘	(6.2)	0.4	0.2	g.断面方形
9	22	第1面 面上	鉄製品 釘	(5.2)	0.5	0.15	g.断面方形
9	23	第1面 面上	鉄製品 釘	(5.3)	0.5	0.1	g.断面方形
9	24	第1面 面上	鉄製品 釘	(6.0)	0.4	0.3	g.断面方形
9	25	第1面 面上	鉄製品 釘	(5.05)	0.6	0.35	g.断面方形
9	26	第1面 面上	鉄製品 釘	7.2	0.55	0.4	g.断面方形
9	27	第1面 面上	鉄製品 釘	(5.2)	0.35	0.15	g.断面方形

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
9	28	第1面 面上	鉄製品 釘	(4.3)	0.2	0.15	g.断面方形
9	29	第1面 面上	鉄製品 釘	(4.35)	0.4	0.15	g.断面方形
9	30	第4面 面上	鉄製品 釘	(4.6)	0.2	0.15	g.断面方形
9	31	第1面 面上	銭	径2.4	孔径0.6×0.6		g.完形 元豊通宝 初铸北宋1078年 篆書
10	1	第1面 構成土	白磁 口兀碗	—	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.灰白色 f.口縁部片
10	2	第1面 構成土	白磁 口兀皿	—	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.白色 f.口縁部小片 g.口唇部油煤痕
10	3	第1面 構成土	白磁 合子	—	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.白色 f.1/10 g.合子の身
10	4	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
10	5	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・雲母・長石・小石粒 c.灰白色 e.硬質 f.底部片
10	6	第1面 構成土	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・雲母・長石・小石粒 c.灰白色 e.硬質 f.口縁部片
10	7	第1面 構成土	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b. 砂粒・白色粒・長石・石英 c.褐色 d.灰褐色 e.硬質 f.口縁部片
10	8	第1面 構成土	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.暗灰褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒・礫 c.暗茶褐色 e.硬質 f.底部片
10	9	第1面 構成土	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・雲母・長石・小石粒 c.灰白色 e.硬質 f.胴部片 g.矢羽根の押印
10	10	第1面 構成土	土製品 土錘	長さ4.4	径2.6	孔径0.8	c.淡黄橙色
10	11	第1面 構成土	銭	径2.3	孔径0.7×0.7		f.元豊通寶 初铸1078年 行書
10	12	第1面 構成土	鉄製品 釘	(5.1)	0.4	0.35	g.断面方形
10	13	第1面 構成土	鉄製品 釘	(5.4)	0.7	0.55	g.断面方形
10	14	第1面 構成土	石 用途不明	(26.1)	15.1	6.9	f.輝緑凝灰岩 側面加工痕不明 搬入品 産地不明
11	1	第2面 遺構13	かわらけ	(7.3)	(4.9)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・小石粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/3 g.底面黒色に変色
11	2	第2面 遺構13	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
11	3	第2面 遺構13	かわらけ	(7.8)	(7.1)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部ゆるい糸切り b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
11	4	第2面 遺構13	かわらけ	(8.0)	(5.0)	2	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.3/4
11	5	第2面 遺構13	かわらけ	(6.5)	(5.6)	1.4	a.ロクロ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯・小石粒 c.赤橙色 e.良好 f.1/3 g.外面黒色に変色
11	6	第2面 遺構13	かわらけ	(8.1)	(5.8)	1.85	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
11	7	第2面 遺構13	かわらけ	(8.3)	(5.7)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
11	8	第2面 遺構13	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
11	9	第2面 遺構13	かわらけ	7.1	5.8	1.8	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.ほぼ完形 g.内面油煤痕・外面口唇部に油煤痕・胴部に煤痕・口唇部打ち搔げ
11	10	第2面 遺構13	かわらけ	(10.8)	(6.4)	3.5	a.ロクロ。内底横ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・海綿骨芯 c.黄橙色 e.良好 f.1/2 g.内面灰色の付着物・外面黒色に変色
11	11	第2面 遺構13	青磁 皿	(10.2)	(7.0)	(1.8)	a.ロクロ b.灰色 黒色粒 精良堅緻 d.緑掛った透明釉を薄く施釉 貫入 ツヤあり f.1/4 g.同安窯系
11	12	第2面 遺構13	青磁 劃花文碗	—	—	—	a.ロクロ b.暗灰色 精良堅緻 c.淡緑色 d.淡緑色 e.良好 f.口縁部片 g.内面劃花文・竜泉窯
11	13	第2面 遺構13	青磁 劃花文碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.緑掛った透明釉を薄く施釉 f.口縁部片 g.竜泉窯
11	14	第2面 遺構13	青磁 碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 c.暗灰色 d.淡緑色・内外面口唇部近くに貫入 e.良好 f.口縁部片 g.内外面無文・焼成前に器面に傷が入っていた様子で均一に施釉されていない・竜泉窯
11	15	第2面 遺構13	山茶碗	—	—	—	a.ロクロ b.砂粒・白色粒・長石 c.赤茶褐色 e.良好 f.口縁部小片 g.7形式
11	16	第2面 遺構13	東遠系 皿	—	—	—	a.ロクロ b.白色粒・黒色粒 良土 c.灰色 e.良好 f.口縁部
11	17	第2面 遺構13	山皿	—	—	—	a.ロクロ b.砂粒・白色粒・黒色粒 c.灰色 e.良好 f.口縁部 g.内側降灰あり・5形式
11	18	第2面 遺構13	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・黒色粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片 g.内側降灰あり・胎土がⅠ類に近似していたためⅠ類として提示したが口唇部形に疑問が残る
11	19	第2面 遺構13	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部小片

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.軸調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
11	20	第2面 遺構13	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰黒色 砂粒・白色粒・黒色粒 c.灰黒色 e.硬質 f.口唇部～頸部小片 g.5形式
11	21	第2面 遺構13	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部小片 g.6a形式
11	22	第2面 遺構13	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英 c.赤褐色 e.硬質 f.肩部片 g.格子に菊花の押印
11	23	第2面 遺構13	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰黒色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英 c.灰黒色 e.硬質 f.胴部片 g.格子に不規則な斜線の押印
11	24	第2面 遺構13	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.胴 体部小片 g.格子に不規則な斜線の押印
11	25	第2面 遺構13	鉄製品 釘	3.8	0.5	0.3	g.断面方形
11	26	第2面 遺構13	鉄製品 釘	5.6	0.4	0.2	g.断面方形
11	27	第2面 遺構13	鉄製品 釘	6.7	0.4	0.3	g.断面方形
11	28	第2面 遺構13	銭	径2.65	孔径0.5×0.5		g.天聖元宝 初铸北宋1023年 篆書
11	29	第2面 遺構16	かわらけ	(7.8)	(5.6)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母 c.黄 橙色 e.良好 f.1/3 g.全体摩耗する・口唇部一部に煤痕
11	30	第2面 遺構16	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・黒色粒・長石・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部小片 g.6a形式
11	31	第2面 遺構16	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・白色粒・黒色粒・長石 c.茶褐色 e.硬質 f.堅部片 g.格 子に不規則な斜線の押印
11	32	第2面 遺構16	骨製品 筭	4.65	1.25	0.25	g.端部に孔径があく・瓶面片側は平に整形・片側は中央に窪みを成形・丁寧な造りで ある
12	1	第2面 遺構22・ 28一括	かわらけ	(7.6)	(6.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
12	2	第2面 遺構22・ 28一括	かわらけ	(12.0)	(7.0)	3.2	a.ロクロ b.微砂・白色粒・海綿骨芯・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/6
12	3	第2面 遺構22・ 28一括	かわらけ	12.3	7.0	3.3	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯・小石粒・雲母 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.ほぼ方形 g.内外口唇部黒色に変色・外底面に線刻・外側面一部にも刃 物痕
12	4	第2面 遺構22・ 28一括	かわらけ	(13.0)	(6.0)	3.4	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
12	5	第2面 遺構22・ 28一括	青磁 櫛搔文皿	(10.2)	(4.0)	2	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 気孔径あり c.淡緑色 d.淡緑色 e.良好 f.1/3 g.底 部は焼成前に釉を掻き取っている・内面見込みに櫛状工具による文様と片切り彫によ る線文・同安窯系
12	6	第2面 遺構22・ 28一括	青磁 折縁鉢	—	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 気孔径あり d.淡青色 e.良好 f.口縁部片 g.内面蓮弁 文
12	7	第2面 遺構22・ 28一括	白磁 口元皿	—	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 c.灰白色 d.白色 e.良好 f.口縁部片
12	8	第2面 遺構22・ 28一括	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・礫 c.暗褐色 e.硬質 f.口縁部片
12	9	第2面 遺構22・ 28一括	常滑 片口鉢Ⅰ類	(24.0)	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石 c.灰白色 d.淡緑色 e.硬質 f.口縁部片 g.6a形式
12	10	第2面 遺構22・ 28一括	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石 c.灰白色 e.硬質・良好 f.口縁部片
12	11	第2面 遺構22・ 28一括	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
12	12	第2面 遺構22・ 28一括	山茶碗	—	(6.8)	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石 c.灰白色 d.淡緑色の降灰 e.硬質 f.口 縁部 g.高台壘み付きモミガラ痕・高台部貼り付け
12	13	第2面 遺構22・ 28一括	鉄製品 釘	(6.5)	0.5	0.4	g.断面方形
12	14	第2面 遺構28	かわらけ	(7.5)	(5.2)	2.0	a.ロクロ・内底回転ナデ・外底部一部ナデ b.微砂・白色粒・土丹粒・海綿骨芯・小石 粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.2/3
12	15	第2面 遺構28	かわらけ	(12.7)	(9.1)	3.5	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・土丹粒・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
12	16	第2面 遺構28	かわらけ	(13.2)	(9.0)	3.4	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・土丹粒・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/4
12	17	第2面 遺構28	かわらけ	(13.2)	(7.8)	4.0	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・土丹粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/3
12	18	第2面 遺構28	かわらけ	(13.9)	(9.0)	3.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・土丹粒・海綿骨芯 良土 c.淡橙色 e.良好 f.1/3
12	19	第2面 遺構28	青磁 鎚蓮弁文碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 細かい気孔径あり d.淡緑色 f.口縁部片 g.二次焼 成を受けたためか内外面に共に釉が変色・竜泉窯

単位 (cm)

遺物観察表

図版 番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
12	20	第2面 遺構28	青白磁 梅瓶	—	—	—	a.口クロ b.精良堅緻 c.白色 d.淡青色 f.胴体部片
12	21	第2面 遺構28	常滑 広口壺	(23.0)	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c.褐色 d.灰緑色 e.硬質 f.口縁部片
12	22	第2面 遺構28	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・土丹粒・雲母・長石 c.暗灰褐色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片
12	23	第2面 遺構28	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.黒灰色 砂粒・長石・石英 c.黒褐色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片
12	24	第2面 遺構28	常滑 片口鉢 I 類	(21.6)	—	—	a.輪積み b.淡黄褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.淡褐色 e.硬質 f.口縁部片
12	25	第2面 遺構28	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・長石 c.灰色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片
12	26	第2面 遺構28	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 d.透明・淡緑色の降灰 e.硬質 f.口縁部片
12	27	第2面 遺構28	渥美 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒 白色粒 長石 c.暗灰色 d.淡緑色 e.硬質 f.口縁部片 g.2b形式
12	28	第2面 遺構28	鉄製品 釘	(4.4)	0.8	0.8	g.断面方形
12	29	第2面 遺構28	鉄製品 釘	(7.3)	0.4	0.4	g.断面方形
12	30	第2面 遺構28	鉄製品 釘	(7.2)	0.45	0.45	g.断面方形
12	31	第2面 遺構28	鉄製品 刀子	(20.7)	1.3~2.5	0.5	
13	1	第2面 遺構22	かわらけ	7.3	4.2	1.6	a.口クロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.5/6
13	2	第2面 遺構22	かわらけ	(8.2)	(6.3)	1.7	a.口クロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄褐色 e.良好 f.1/6
13	3	第2面 遺構22	かわらけ	8.2	6.0	1.8	a.口クロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.褐色 e.良好 f.5/6
13	4	第2面 遺構22	かわらけ	(9.2)	(7.0)	1.7	a.口クロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.淡黄色 e.良好 f.1/5
13	5	第2面 遺構22	かわらけ	(11.0)	(6.0)	3.1	a.口クロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c.淡黄色 e.良好 f.1/60
13	6	第2面 遺構22	かわらけ	(12.0)	(8.0)	3.3	a.口クロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.2/3
13	7	第2面 遺構22	かわらけ	(12.0)	(8.6)	3.9	a.口クロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c.褐色 e.良好 f.1/2
13	8	第2面 遺構22	かわらけ	(9.7)	4.6	1.9	a.手づくね・内底部回転ナデ・外底部指頭痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯・雲母 良土 c.淡黄色 e.良好 f.1/2
13	9	第2面 遺構22	青磁 鎗蓮弁文碗	—	—	—	a.口クロ b.精良堅緻 c.灰色 d.淡青色 e.良好 f.口縁部片
13	10	第2面 遺構22	白磁 口元碗	—	—	—	a.口クロ b.精良堅緻 c.灰白色 d.透明 e.良好 f.口縁部片
13	11	第2面 遺構22	白磁 口元皿	(11.0)	(6.1)	3.0	a.口クロ b.精良堅緻 c.灰緑色 d.透明 e.良好 f.1/2
13	12	第2面 遺構22	瀬戸 入子	—	—	—	a.口クロ b.微砂 良土 c.灰白色 e.良好 f.口縁部片 g.内面に赤色の色素付着・顔料か
13	13	第2面 遺構22	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石 良土 c.茶灰色 e.良好 f.口縁部片 g.5形式
13	14	第2面 遺構22	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母 c.暗褐色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片 g.5形式
13	15	第2面 遺構22	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石 良土 c.灰褐色 e.良好 f.口縁部片 g.6a形式
13	16	第2面 遺構22	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・粘性強 良土 c.暗褐色 e.良好 f.口縁部片 g.6a形式
13	17	第2面 遺構22	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石 良土 c.灰色 e.良好 f.胴部片 g.格子に斜線の押印
13	18	第2面 遺構22	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石 良土 c.暗灰色 e.良好 f.胴部片 g.格子の押印
13	19	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 I 類	(31.0)	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 d.降灰 e.硬質
13	20	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・雲母 やや粗土 c.灰色 e.良好 f.口縁部片
13	21	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石 c.茶褐色 e.良好 f.口縁部片
13	22	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・小石粒・礫 やや粗土 c.灰色 d.灰緑色 e.良好 f.口縁部片
13	23	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・小石粒・礫 やや粗土 c.灰色 d.灰緑色 e.良好 f.口縁部片
13	24	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・石英 良土 c.灰色 e.良好 f.口縁部片
13	25	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 II 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・礫 良土 c.暗褐色 e.良好 f.口縁部片
13	26	第2面 遺構22	常滑 片口鉢 II 類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・石英 やや粗土 c.茶褐色 d.暗褐色 e.良好 f.口縁部片

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.軸調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
13	27	第2面遺構22	渥美片口鉢	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・雲母・小石粒 良土 c.灰色 e.良好 f.口縁部片
13	28	第2面遺構22	渥美片口碗	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒 c.灰褐色 e.良好 f.口縁部片
13	29	第2面遺構22	瓦器黒縁皿	(6.7)	—	—	b.精緻 e.良好 f.口縁部片・小型
13	30	第2面遺構22	石製品碗	—	—	—	g.僅かに陸部分立ち上がりが遺存
13	31	第2面遺構22	鉄製品箸状	(17.8)	(0.6)	(0.7)	g.断面方形
13	32	第2面遺構22	鉄製品釘	4.9	(0.5)	(0.3)	g.断面方形
13	33	第2面遺構22	鉄製品釘	(5.1)	0.5	0.5	g.断面方形
13	34	第2面遺構22	鉄製品釘	(5.4)	(0.7)	(0.8)	g.断面方形
13	35	第2面遺構22	鉄製品釘	(5.1)	(1.1)	(0.9)	g.断面方形
13	36	第2面遺構22	鉄製品釘	(5.2)	(0.8)	(0.5)	g.断面方形
13	37	第2面遺構22	鉄製品釘	(5.4)	(0.7)	(0.7)	g.断面方形
13	38	第2面遺構22	鉄製品不明	(6.8)	(1.3)	(0.6)	g.先端部環状になり、端部は二股に分かれる・断面方形
14	1	第2面遺構24	かわらけ	(8.2)	(5.1)	2.0	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/5
14	2	第2面遺構24	かわらけ	(12.8)	—	—	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
14	3	第2面遺構24	瀬戸折縁深皿	—	—	—	a.ロクロ b.砂粒・白色粒 良土 c.灰白色 d.灰緑色 e.良好 f.口縁部片
14	4	第2面遺構24	瀬戸折縁深皿	—	—	—	a.ロクロ・外底部篋による整形 b.白色粒 良土 c.灰白色 d.灰緑色 e.良好 f.底部片 g.見込み周囲に3本の沈線が廻る
14	5	第2面遺構24	石製品用途不明	(3.6)	(3.2)	(1.5)	g.全体に磨耗・細かな削痕が残る
14	6	第2面遺構24	石製品基石	1.9	1.8	0.5	g.黒色
14	7	第2面遺構24	鉄製品釘	(6.7)	(0.6)	(0.6)	g.断面方形
14	8	第2面遺構24	銭	径2.4	孔径0.8×0.8		g.天聖元寶 初鑄年1023年 篆書
14	9	第2面遺構24	銭	径2.4	孔径0.6×0.6		g.景祐元寶 初鑄年1034年 真書
14	10	第2面遺構24	銭	径2.4	孔径0.8×0.8		g.皇宋通寶 初鑄年1038年 篆書
14	11	第2面遺構24	銭	径2.4	孔径0.6×0.7		g.皇宋通寶 初鑄年1038年 真書
14	12	第2面遺構24	銭	径2.5	孔径0.7×0.7		g.皇宋通寶 初鑄年1038年 真書
14	13	第2面遺構24	銭	径2.3	孔径0.7×0.7		g.治平元寶 初鑄年1064年 篆書
14	14	第2面遺構24	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		g.元祐通寶 初鑄年1086年 行書
14	15	第2面遺構25	かわらけ	(8.4)	(7.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.1/5
14	16	第2面遺構25	かわらけ	(8.0)	(6.6)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/6 g.内外面全体に煤付着・内底部に穿孔・穿孔断面にも煤付着
14	17	第2面遺構25	かわらけ	(8.1)	(5.2)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯・泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
14	18	第2面遺構25	かわらけ	(12.8)	(8.2)	3.3	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯・泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.4/5
14	19	第2面遺構25	かわらけ	(10.0)	(6.2)	2.9	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/5
14	20	第2面遺構25	かわらけ	—	(7.0)	—	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯・泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.4/12・底面に穿孔あり・内外面共に黒色に変色
14	21	第2面遺構25	青磁鎚蓮弁文碗	—	—	—	a.ロクロ b.精良堅緻 c.灰白色 d.淡緑色 e.良好 f.口縁部片 g.竜泉窯
14	22	第2面遺構25	青磁鎚蓮弁文碗	—	—	—	a.ロクロ b.精良堅緻 c.灰白色 d.淡緑色 e.良好 f.口縁部片 g.竜泉窯
14	23	第2面遺構25	鉄製品釘	(4.7)	(0.7)	(0.5)	g.断面方形
14	24	第2面遺構25	鉄製品釘	(4.2)	(0.9)	(0.9)	g.断面方形
14	25	第2面遺構25	鉄製品釘	(5.7)	(0.4)	(0.3)	g.断面方形
14	26	第2面遺構25	鉄製品釘	(4.4)	(0.75)	(0.85)	g.断面方形

単位 (cm)

遺物観察表

図版 番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
15	1	第2面 遺構38・ 39一括	かわらけ	(7.8)	(6.0)	2.0	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/8
15	2	第2面 遺構38・ 39一括	かわらけ	(7.4)	(6.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/6
15	3	第2面 遺構38・ 39一括	かわらけ	(7.2)	(5.0)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4 g.内外口縁部辺黒色に変色
15	4	第2面 遺構38・ 39一括	かわらけ	(10.8)	(6.4)	4.1	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・長石 やや粗土 c.灰白色 e.良好 f.1/5 g.硬質な胎土・薄い器壁・白かわらけ
15	5	第2面 遺構38・ 39一括	青磁鉢	—	—	—	a.ロクロ b.白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡緑灰色 内外貫入 e.良好・堅緻 f.口縁部片 g.内面蓮弁文・竜泉窯
15	6	第2面 遺構38・ 39一括	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・長石・石英・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片 g.5形式
15	7	第2面 遺構38・ 39一括	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・長石・石英・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片 g.5形式
15	8	第2面 遺構38・ 39一括	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・黒色粒 c.暗褐色 e.硬質 f.口縁部片 g.6b形式
15	9	第2面 遺構38・ 39一括	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石 c.灰白色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片 g.6a形式
15	10	第2面 遺構38・ 39一括	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.黄灰色 砂粒・白色粒・長石 c.暗褐色 e.硬質 f.胴体部片 g.格子文の押印
15	11	第2面 遺構38・ 39一括	常滑 転用品	—	—	—	g. 常滑甕、胴部片を転用・胴部片周囲が摩耗・用途不明
15	12	第2面 遺構38・ 39一括	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		g.元豊通寶 初鑄1078年 行書
15	13	第2面 遺構38・ 39一括	鉄製品 釘	(4.4)	0.7	0.7	g.断面方形
15	14	第2面 遺構38・ 39一括	鉄製品 釘	(6.4)	1.0	0.95	g.断面方形
15	15	第2面 遺構38・ 39一括	鉄製品 釘	(4.5)	1.0	0.8	g.断面方形
15	16	第2面 遺構38	かわらけ	7.7	4.9	1.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.完形
15	17	第2面 遺構38	山茶碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰色 砂粒・雲母・長石 c.灰白色 e.硬質 f.口縁部片
15	18	第2面 遺構39	かわらけ	8.8	(6.9)	1.8	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.1/8
15	19	第2面 遺構39	かわらけ	7.4	(4.6)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/8
15	20	第2面 遺構39	かわらけ	(13.0)	(7.4)	3.05	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/3
15	21	第2面 遺構39	常滑 甕	(49.0)	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・石英 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
15	22	第2面 遺構39	土製品 土錘	3.9	2.2	孔径0.7	
15	23	第2面 遺構39	火打石?	3.1	2.4	2.0	
15	24	第2面 遺構39	鉄製品 釘	(3.9)	0.7	0.6	g.断面方形
15	25	第2面 遺構39	鉄製品 釘	(5.9)	0.9	0.5	g.断面方形
15	26	第2面 遺構39	鉄製品 釘	13.2	1.8	0.7	g.断面方形
15	27	第2面 遺構45	常滑 片口鉢I類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
15	28	第2面 遺構45	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・白色粒 c.淡褐色 e.硬質 f.胴体部片 肩部に4条の沈線
15	29	第2面 遺構45	鉄製品 釘	(5.3)	0.9	0.8	g.断面方形・全体煤付着
16	1	第2面 遺構34	かわらけ	(12.6)	(8.4)	2.75	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.橙色 e.やや甘い f.1/6
16	2	第2面 遺構34	常滑 片口鉢I類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.軸調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
16	3	第2面 遺構34	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・長石・石英・礫 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
16	4	第2面 遺構34	鉄製品 釘	(3.7)	0.4	0.4	g.断面方形
16	5	第2面 遺構34	鉄製品 釘	(3.5)	0.6	0.6	g.断面方形
16	6	第2面 遺構40	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
16	7	第2面 遺構40	かわらけ	—	—	—	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.底部片 g.内底に線刻残る
16	8	第2面 遺構40	青白磁 坏	—	—	—	b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.緑灰色透明釉を薄く施釉 f.口縁部片 g.口唇部稜 花状・内外面蓮弁文
16	9	第2面 遺構40	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	b.砂粒・白色粒・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
16	10	第2面 遺構40	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・石英 c.灰色 d.灰釉 e.硬質 f.口縁部片
16	11	第2面 遺構40	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・炭粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
16	12	第2面 遺構40	鉄製品 釘	4.3	0.4	0.4	g.断面方形
16	13	第2面 遺構40	鉄製品 釘	(5.0)	0.5	0.3	g.断面方形
16	14	第2面 遺構40	加工骨 用途不明	13.5	1.5	1.3	g.骨種不明・端部に刻みが入る
17	1	第2面 面上	瀬戸 小型水注	1.4	2.2	2.7	a.ロクロ・底部糸切り b.灰白色 精良堅緻 c.淡緑色 d.淡緑色 e.良好 f.注口部と 口唇部一部欠損 g.外側面上部全体に竹管文を配す・注口部貼り付け痕あり・二次 焼成を受けたか・釉が一部剥離している
17	2	第2面 面上	常滑 甕	(49.6)	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・長石 c.灰褐色 d.暗褐色 e.硬質 f.口縁部 ～胴部 g.格子に斜線の押印
17	3	第2面 構成土	かわらけ	(9.0)	—	—	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.
17	4	第2面 構成土	かわらけ	(8.2)	(6.8)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
17	5	第2面 構成土	かわらけ	(8.0)	(6.8)	1.7	a.ロクロ・内底強くなデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
17	6	第2面 構成土	かわらけ	(13.1)	(8.8)	1.9	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯・小石粒 やや 粗土 c.橙色 e.良好 f.1/4
17	7	第2面 構成土	青磁 鎚蓮弁文碗	(15.0)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 気孔径あり c.灰白色 d.灰緑色 e.良好 f.口縁部片 g.雑な彫り方で蓮弁文を形作っている・竜泉窯
17	8	第2面 構成土	白磁 口元皿	—	—	—	a.ロクロ b.精良堅緻 c.灰白色 d.灰白色 f.口縁部片
17	9	第2面 構成土	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石・ c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
17	10	第2面 構成土	常滑 片口Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
17	11	第2面 構成土	山茶碗	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
17	12	第2面 構成土	伊勢系 土鍋	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・長石(多) c.淡黄橙色 e.硬質 f.口縁部片 g.外面煤付 着
17	13	第2面 構成土	産地不明 鍔釜	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・ c.淡黄橙色 e.硬質 f.口縁部(鍔部)片・土 鍋に近似する胎土を持つ・器壁厚い・草戸千軒遺跡出土の土製鍋B類に器形は似る か・14世紀後半から15世紀
17	14	第2面 構成土	鉄製品 釘	(6.6)	0.5	0.3	g.断面方形
17	15	第2面 構成土	鉄製品 釘	(7.0)	0.5	0.3	g.断面方形
17	16	第2面 構成土	鉄製品 釘	(9.1)	0.9	0.9	g.断面方形
18	1	第3面 遺構31	かわらけ	(7.8)	(6.2)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・土丹粒・雲母・海綿 骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.1/3 g.口唇部油煤痕
18	2	第3面 遺構31	かわらけ	(9.5)	(7.8)	1.65	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
18	3	第3面 遺構31	かわらけ	7.5	5.7	1.5	a.ロクロ・内底横ナデの後見込み周囲を回転ナデ・底部板状圧痕 b.微砂・白色粒・雲 母・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形
18	4	第3面 遺構31	かわらけ	(8.4)	(5.6)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
18	5	第3面 遺構31	かわらけ	(8.3)	(5.6)	2.1	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒 やや粗土 c.黄・橙色 e.良好 f.1/6
18	6	第3面 遺構31	かわらけ	(8.0)	(5.3)	1.8	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・土丹粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.1/6
18	7	第3面 遺構31	かわらけ	7.6	4.8	2.2	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.2/3
18	8	第3面 遺構31	かわらけ	7.7	4.9	2.2	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c. 橙色 e.良好 g.ほぼ完形
18	9	第3面 遺構31	かわらけ	(7.4)	(4.8)	2.0	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.赤橙色 e.良好 f.1/2

単位 (cm)

遺物観察表

図版 番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
18	10	第3面 遺構31	かわらけ	(12.6)	—	—	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.やや甘い f.1/6
18	11	第3面 遺構31	青磁 碗	—	(3.5)	—	b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡青色 g.底部貼り付け痕・高台内部露胎・曇み付 け露胎・内外面文様不明
18	12	第3面 遺構31	白磁 口元皿	—	—	—	a.口クロ b.白色 黒色粒 精良堅緻 d.半透明釉やや薄く施釉 f.口縁部片
18	13	第3面 遺構31	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・小石粒 c.灰色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片
18	14	第3面 遺構31	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.褐色 e.硬質 f.口縁部片
18	15	第3面 遺構31	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・土丹粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
18	16	第3面 遺構31	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・白色粒・長石・石英 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
18	17	第3面 遺構31	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.淡黄橙色 砂粒・白色粒・小石粒・長石・礫 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
18	18	第3面 遺構31	常滑甕 転用品	6.4	6.4	1.3	b.灰白色 砂粒・白色粒・土丹粒・雲母・長石 c.褐色 e.硬質 f.胴部片 g.端部摩 耗・端部のみを使用か
18	19	第3面 遺構31	備前 播鉢	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・雲母・長石 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片 g.条線単位 不明
18	20	第3面 遺構31	亀山 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・雲母・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.胴部片
18	21	第3面 遺構31	瓦器質 火鉢	—	—	—	b.灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c.橙色 e.良好 f.口縁部片
18	22	第3面 遺構31	石製品 スタンプ	4.0	(1.0)	(0.8)	g.滑石製・文様不明・桐文か・貫通した孔径があく
18	23	第3面 遺構31	滑石	(3.9)	5.3	(0.8)	g.滑石鍋転用途中の端材か?・一部に孔径痕
18	24	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(6.9)	0.6	0.3	g.断面方形
18	25	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(6.3)	0.6	0.6	g.断面方形
18	26	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(6.6)	0.6	0.4	g.断面方形
18	27	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(4.9)	0.6	0.6	g.断面方形
18	28	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(4.6)	0.65	0.6	g.断面方形
18	29	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(4.5)	0.9	0.9	g.断面方形
18	30	第3面 遺構31	鉄製品 釘	4.8	0.6	0.6	g.断面方形
18	31	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(3.4)	0.6	0.4	g.断面方形
18	32	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(4.4)	0.5	0.3	g.断面方形
18	33	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(3.1)	0.7	0.5	g.断面方形
18	34	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(3.2)	0.5	0.5	g.断面方形
18	35	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(4.1)	0.7	0.65	g.断面方形
18	36	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(4.2)	0.6	0.6	g.断面方形
18	37	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(5.5)	0.6	0.4	g.断面方形
18	38	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(5.0)	0.7	0.7	g.断面方形
18	39	第3面 遺構31	鉄製品 釘	(5.5)	1.0	1.5	g.全体に厚く錆付着
18	40	第3面 遺構31	鉄製品 掛け金具	(8.5)	0.7	0.6	g.断面方形
18	41	第3面 遺構31	鉄製品 刀子	(11.5)	2.1	0.4	
19	42	第3面 遺構31	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		g.開元通宝 初鑄唐621年
19	43	第3面 遺構31	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		g.開元通宝 初鑄唐621年
19	44	第3面 遺構31	銭	径2.3	孔径0.7×0.7		g.乾元重寶 初鑄唐759年
19	45	第3面 遺構31	銭	径2.4	孔径0.6×0.6		g.至道元寶 初鑄995年 草書
19	46	第3面 遺構31	銭	—	—	—	g.●元●寶
19	47	第3面 遺構31	銭	径2.3	孔径0.7×0.7		g.皇宋通宝 初鑄1038年 真書

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.軸調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
19	48	第3面 遺構31	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		g.皇宋通宝 初鑄1038年 真書
19	49	第3面 遺構31	銭	径2.3	孔径0.65×0.65		g.皇宋通寶 初鑄1038年 真書
19	50	第3面 遺構31	銭	径2.3	孔径0.6×0.6		g.嘉祐元寶 初鑄1056年 篆書
19	51	第3面 遺構31	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		g.元豊通寶 初鑄1078年 行書
21	1	第3面 遺構44	かわらけ	(11.2)	(8.0)	3.5	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.2/3 g.外面下部に指頭痕1ヶ所
21	2	第3面 遺構44	青磁 碗	(13.7)	—	—	b.灰白色 精良堅緻 d.灰緑色半透明釉をやや薄く施釉 f.口縁部小片 g.竜泉窯・ 内外面無文
21	3	第3面 遺構44	瀬戸 卸皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 良土e.硬質 f.口縁部片
21	4	第3面 遺構44	瀬戸 縁釉小皿	(10.9)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 砂粒 d.淡緑色 e. f.口縁部
21	5	第3面 遺構44	瀬戸 瓶子	—	(8.4)	—	a.ロクロ・底部糸切り痕 b.灰白色 砂粒 良土 d.淡灰緑色 e.良好 硬質
21	6	第3面 遺構44	瀬戸 播鉢	—	—	—	a.ロクロ b.黄橙色 砂粒・長石・小石粒 c.暗褐色 e.良好 f.底部片 g.条線単位不 明
21	7	第3面 遺構44	産地不明 壺	—	—	—	a.輪積み b.褐色 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.底部片・常滑に色調は似るが胎土は精良 で褐釉、あるいは胎載か？
21	8	第3面 遺構44	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
21	9	第3面 遺構44	石製品 砥石	(4.6)	2.2	1.8	g.中砥・上野産
21	10	第3面 遺構44 上層	かわらけ	(12.2)	—	—	a.手づくね b.微砂・海綿骨芯・小石粒 良好 c.黄橙色 e.良好 f.1/6
21	11	第3面 遺構44 上層	常滑 片口鉢 I 類	—	(13.0)	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.底部1/4 g.内面 摩耗
21	12	第3面 遺構44 上層	常滑 片口鉢 I 類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 白色粒・長石・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.底部～胴体部片
21	13	第3面 遺構44 上層	銭	径2.45	孔径0.65×0.65		g.皇宋通寶 初鑄年北宋1038年 篆書
21	14	第3面 遺構44 下層	かわらけ	(10.0)	(6.4)	4.0	a.ロクロ b.微砂・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/6
21	15	第3面 遺構44 下層	かわらけ	(9.2)	(6.1)	3.8	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
21	16	第3面 遺構44 下層	かわらけ	(12.0)	(7.6)	4.0	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・雲母・海綿骨芯・小石粒 良好 c.黄橙色 e.やや粗土 f.1/2
21	17	第3面 遺構44 下層	瀬戸 折縁深皿	—	—	—	b.灰白色 精良堅緻 気孔径あり d.暗灰緑色 f.口縁部片
21	18	第3面 遺構44 下層	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.灰黒色 砂粒・白色粒・長石粒・黒色粒 c.赤褐色 e.硬質 f.底部片
21	19	第3面 遺構44 下層	鉄宰	7.4	4.8	1.6	
21	20	第3面 遺構44 下層	土器質 鏝釜	—	—	—	b.砂粒・長石・小石 c.黄灰色 e.良好 f.口縁部片 g.胴部煤付着
21	21	第3面 遺構44 掘り方	かわらけ	6.4	3.8	2.0	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯・小石粒 良土 c.橙色 e.良好 f.完形 g.器形歪み大
21	22	第3面 遺構44 掘り方	かわらけ	5.5	3.9	2.1	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・雲母・海綿骨芯・小石粒 や やや粗土 c.橙色 e.良好 f.完形
21	23	第3面 遺構44 掘り方	瀬戸 折縁深皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰白～灰色 d.灰緑色 e. f.底部片 g.内面釉刷毛塗り
22	1	第3面 遺構53	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・土丹粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
22	2	第3面 遺構53	かわらけ	(8.1)	(6.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯・小 石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
22	3	第3面 遺構53	かわらけ	(8.2)	(6.5)	1.9	a.ロクロ・内底強くナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕・糸切り痕は薄い b.微砂・赤色粒・ 白色粒・雲母・海綿骨芯・小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
22	4	第3面 遺構53	かわらけ	(8.9)	(6.6)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 や やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4

単位 (cm)

遺物観察表

図版 番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
22	5	第3面 遺構53	かわらけ	(8.9)	(7.3)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
22	6	第3面 遺構53	かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.9	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・海綿骨芯・雲母・小石粒 や や粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
22	7	第3面 遺構53	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.8	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 や や粗土 c.橙色 e.良好 f.1/8 g.断面摩耗
22	8	第3面 遺構53	かわらけ	(8.6)	(5.6)	2.0	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯・硬質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.1/8
22	9	第3面 遺構53	かわらけ	(11.6)	(7.8)	3.3	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
22	10	第3面 遺構53	かわらけ	(12.2)	(7.0)	3.1	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
22	11	第3面 遺構53	かわらけ	(13.4)	(6.5)	3.3	a.手づくね・内底ナデ・外底部粗い整形 b.微砂・海綿骨芯・雲母 やや粗土 c.黄橙 色 e.良好 f.1/8
22	12	第3面 遺構53	白磁 口元皿	(11.0)	—	—	a.ロクロ b.白色 黒色粒 精良堅緻 d.白色 f.口縁部片
22	13	第3面 遺構53	青白磁 合子	—	—	—	a.ロクロ b.白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡青色 f.蓋 g.頂部に文様
22	14	第3面 遺構53	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.肩部片 g.格子の押 印
22	15	第3面 遺構53	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・白色粒・長石 c.茶褐色 e.硬質 f.肩部片 g.格子の押 印
22	16	第3面 遺構53	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.淡灰褐色 e.硬質 f.肩部片 g.矢 羽根の押印
22	17	第3面 遺構53	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・小石粒 c.茶褐色 d.緑灰色 e.硬質 f.肩部片 g.窯印か線刻あり・菊花と不明文様の押印
22	18	第3面 遺構53	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
22	19	第3面 遺構53	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.茶色 e.硬質 f.口縁部片
22	20	第3面 遺構53	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
22	21	第3面 遺構53	常滑片口鉢 転用品	—	—	—	g.口縁部片転用品・口唇部摩耗・断面工具による刻みが入る
22	22	第3面 遺構53	石製品 砥石	3.5	3.3	0.5	c.淡橙色 g.仕上砥・鳴滝産・側面切り出し痕
22	23	第3面 遺構53	鉄製品 釘	6.8	0.9	0.8	g.断面方形
24	1	第3面 遺構46	かわらけ	(7.9)	(6.2)	1.4	a.ロクロ・内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良 土 c.橙色 e.良好 f.1/4
24	2	第3面 遺構46	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母 やや粗土 c. 橙色 e.良好 f.1/3 g.内外面黒色に変色
24	3	第3面 遺構46	青磁 劃花文碗	(15.0)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 気孔あり d.緑灰色 e.良好 f.口縁部片 g.同安窯系
24	4	第3面 遺構46	青磁 碗	—	(5.4)	—	a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 気孔あり d.緑灰色 e.良好 f.底部片 g.高台底部・ 高台壘み付き露胎 竜泉窯
24	5	第3面 遺構46	鉄製品 釘	(5.3)	1.1	0.8	g.断面方形
24	6	第3面 遺構46	鉄製品 釘	(5.4)	0.9	0.8	g.断面方形
24	7	第3面 遺構46	鉄製品 釘	(4.5)	0.7	0.9	g.断面方形
24	8	第3面 遺構50	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.85	a.ロクロ・内底回転ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.灰褐色 e.良 好 f.1/4
24	9	第3面 遺構50	白磁 口元碗	—	—	—	a.ロクロ b.堅緻 c.灰白色 d.透明 e.良好 f.口縁部片
24	10	第3面 遺構50	青白磁 合子蓋	—	—	—	a.ロクロ b.堅緻・白色粒・黒色粒 c.淡青色 d.青白色 e.良好 f.胴部片・蓋頂部に 文様
24	11	第3面 遺構50	常滑 片口Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石 c.灰黒色 e.硬質 f.口縁部片 g.外面筒による整形 痕
24	12	第3面 遺構50	常滑 甕	(54.0)	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・長石・泥岩粒 c.灰褐色 e.良好 f.口縁部片
24	13	第3面 遺構50	東幡系 鉢	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・石英 c.灰褐色 e.良好 f.口縁部片
24	14	第3面 遺構50	石製品 砥石	(4.5)	(2.6)	1.8	g.中砥 上野産
24	15	第3面 遺構50	石製品 砥石	(6.7)	(5.2)	3.3	g.中砥 伊予産
24	16	第3面 遺構50	鉄製品 釘	—	—	—	
24	17	第3面 遺構50	鉄製品 釘	—	—	—	
24	18	第3面 遺構57	青磁 皿	—	—	—	a.ロクロ b.白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部小片 g.内面上部に沈線が 廻る 同安窯
24	19	第3面 遺構57	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・長石・小石粒・礫 c.茶褐色 d.暗灰緑色 e. 硬質 f.肩部片 g.2b形式

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.軸調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
24	20	第3面 遺構57	常滑 壺	—	(7.8)	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・雲母・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.底部片 g.外底部はがれ砂付着
24	21	第3面 遺構57	山茶碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 砂粒・白色粒・雲母 c.灰白色 e.良好 硬質 f.口縁部片
24	22	第3面 遺構57	鉄製品 刀子	(6.2)	2.2	0.5	
24	23	第3面 遺構57	須恵器 甕	—	—	—	a.ロクロ b.褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.暗灰色 e.良好 f.胴部片
24	24	第3面 遺構59	青磁 鎗連弁文碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部小片・竜泉窯
24	25	第3面 遺構59	青磁 碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部 g.内面片彫りで草花文・竜泉窯 口縁部輪花型
24	26	第3面 遺構65	かわらけ	(6.5)	(5.2)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.1/6
24	27	第3面 遺構65	かわらけ	11.8	7.2	3.2	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形 g.口唇部1か所に打ち掻き痕・器壁上部に一個所焼成後に穿孔・外底部中央に凹みあり・穿孔途中か・外側面下部一部に筥状工具による整形痕
24	28	第3面 遺構65	かわらけ	(13.0)	—	—	a.手づくね b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.1/8
24	29	第3面 遺構65	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.暗灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.茶褐色 d.暗灰緑色 e.硬質 f.口縁部片
24	30	第3面 遺構65	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.肩部片 g.格子に不規則な斜線の押印
24	31	第3面 遺構65	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・長石・小石粒 c.茶褐色 e.硬質 f.底部片
24	32	第3面 遺構65	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.淡灰色 砂粒・白色粒・雲母・長石 c.茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
24	33	第3面 遺構65	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・白色粒・長石(多) c.黒灰色 e.硬質 f.口縁部片
24	34	第4面 遺構65	鉄製品 釘	(6.1)	0.6	0.5	g.断面方形
24	35	第3面 遺構70	かわらけ	(9.5)	(6.0)	1.8	a.ロクロ・内底強クナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.1/2 g.内面口唇部黒色に変色
24	36	第3面 遺構74	渥美 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.暗灰褐色 d.灰緑色 e.硬質 f.口縁部片
24	37	第3面 遺構76	かわらけ	(12.8)	(7.0)	2.8	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒 良土 c.黄褐色 e.良好 f.1/4 g.内外面斑に黒色に変色
24	38	第3面 遺構77	青磁 碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部小片 g.同安窯系
25	1	第3面 構成土	白磁 碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 気孔径あり d.淡緑色 f.胴部片
25	2	第3面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片
25	3	第3面 構成土	渥美 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.灰色 d.降灰 e.硬質 f.口縁部片 g.2b形式
25	4	第3面 構成土	渥美 鉢	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒 白色粒 長石・小石粒・礫・粗い胎土 c.灰色 e.硬質 f.口縁部 g.外面やや上部に十字?の墨書あり・胎土に挟雑物が多く混入し常滑産の胎土に近似する。
27	1	第4面 遺構51	かわらけ	(7.1)	(6.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母 良土 c.淡黄褐色 e.良好 f.1/8
27	2	第4面 遺構51	かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.5	a.ロクロ b.微砂・白色粒・小石粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.1/4 g.全体に磨耗
27	3	第4面 遺構51	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.4	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.1/4
27	4	第4面 遺構51	かわらけ	9.0	6.8	1.4	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・海綿骨芯 良土 c.黄褐色 e.良好 f.2/3
27	5	第4面 遺構51	かわらけ	(9.0)	(6.8)	1.6	a.ロクロ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯・硬質 良土 c.橙色 e.良好 f.1/8
27	6	第4面 遺構51	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.3	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄褐色 e.良好 f.1/6
27	7	第4面 遺構51	かわらけ	(13.0)	(7.3)	3.1	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄褐色 e.良好 f.1/4
27	8	第4面 遺構51	かわらけ	(9.4)	(5.0)	1.5	a.手づくね・内底ナデ b.微砂 良土 c.黄褐色 e.良好 f.1/4
27	9	第4面 遺構51	かわらけ	(8.0)	(4.0)	1.6	a.手づくね・外面底部丁寧な整形 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯・良土 c.黄褐色 e.良好・硬質 f.1/4
27	10	第4面 遺構51	青磁 劃花文碗	—	(6.2)	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 c.暗緑色 d.暗灰緑色 e.良好 f.底部片 g.内面劃花文・竜泉窯
27	11	第4面 遺構51	山皿	(7.8)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 微砂・白色粒 e.良好 硬質
27	12	第4面 遺構51	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.暗褐色 e.硬質 f.口縁部片
27	13	第4面 遺構51	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・小石粒 c.暗褐色 e.硬質 f.口唇部～頸部片
27	14	第4面 遺構51	鉄製品 鍋	14.7	4.8	3.0	f.口縁部片 g.全体に錆が付着しており遺存状態は悪い

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
27	15	第4面 遺構51	鉄製品 釘	8.2	1.0	0.9	f.ほぼ完形 g.断面方形
27	16	第4面 遺構51	木製品 曲物 底板	60.8	(31.8)	1.5	
28	17	第4面 遺構51	木製品 曲物	径48.2	器高12.0	0.3~0.5	
28	18	第4面 遺構51	木製品 曲物 底板	径約48.0	—	1.0	
30	1	第4面 遺構54	かわらけ	(7.2)	(8.1)	1.2	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8 g.口唇部内折れ
30	2	第4面 遺構54	かわらけ	(14.6)	(8.4)	3.5	a.ロクロ b.微砂・白色粒・黒色粒・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好・硬質 f.1/4
30	3	第4面 遺構54	かわらけ	(9.0)	(3.6)	1.4	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/6 g.外面薄く黒色に変色
30	4	第4面 遺構54	かわらけ	(9.3)	(4.0)	1.7	a.手づくね・内底ナデ b.微砂 良土 c.黄橙色 e.良好 f.2/3
30	5	第4面 遺構54	かわらけ	(8.2)	(4.0)	1.4	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4 g.口唇部黒色に変色
30	6	第4面 遺構54	かわらけ	(8.2)	(3.6)	1.9	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.橙色 e.良好 f.1/4
30	7	第4面 遺構54	かわらけ	(12.0)	—	2.3	a.手づくね b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
30	8	第4面 遺構54	かわらけ	(14.2)	—	2.5	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/8
30	9	第4面 遺構54	かわらけ	(13.0)	—	—	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・黒色粒・海綿骨芯・海綿骨芯・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/5
30	10	第4面 遺構54	かわらけ	(13.8)	—	3.1	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.1/4
30	11	第4面 遺構54	青磁 皿	9.7	4.0	2.5	a.ロクロ・底部糸切り b.灰白色 精良堅緻 d.淡灰緑色 f.3/4 g.内底片彫り花文・竜泉窯
30	12	第4面 遺構54	青磁 碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.淡灰緑色 f.口縁部小片 g.内面劃花文
30	13	第4面 遺構54	青磁 劃花文碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.淡緑色 f.胴部片 g.内面劃花文・外面無文
30	14	第4面 遺構54	青磁 碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部片 g.竜泉窯・内面に片彫りの蓮華文らしき文様・口縁部輪花型
30	15	第4面 遺構54	青磁 楡目文皿	—	—	—	b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部小片 g.内面上部に沈線が廻る・外面楡目文
30	16	第4面 遺構54	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母・長石・小石粒 c.茶色 d.緑灰色 e.硬質 f.口縁部片 g.4形式
30	17	第4面 遺構54	渥美 甕	(23.3)	—	—	a.輪積み b.淡灰黄色 砂粒・白色粒・小石粒 c.暗灰色 d.暗褐色 e.良好 f.口縁部片 g.2b形式
30	18	第4面 遺構54	渥美 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.黒灰色 d.外面下部は無釉・内面降灰釉 e.硬質 f.底部片
30	19	第4面 遺構54	鉄製品 釘	(6.4)	0.5	0.4	g.断面方形
31	20	第4面 遺構54	木製品 井戸部材	82.4	7.2	4.6	
31	21	第4面 遺構54	木製品 井戸部材	82.2	6.4	3.9	g.釘孔が3か所遺存
31	22	第4面 遺構54	木製品 板状	(59.4)	12.4	1.0	
31	23	第4面 遺構54	木製品 板状	(66.0)	11.6	0.9	
32	24	第4面 遺構54	木製品 井戸部材	(65.2)	13.8	1.0	圧痕
32	25	第4面 遺構54	木製品 井戸部材	(66.6)	13.6	1.5	
32	26	第4面 遺構54	木製品 板状	(43.6)	12.5	1.6	
32	27	第4面 遺構54	木製品 板状	(60.4)	10.4	1.8	
34	1	第4面 遺構91	かわらけ	(11.7)	(5.4)	3.5	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒 雲母・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
34	2	第4面 遺構96	かわらけ	(8.2)	(7.1)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・雲母・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
34	3	第4面 遺構96	かわらけ	(9.0)	(7.0)	1.55	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
34	4	第4面 遺構96	かわらけ	12.4	7.5	3.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・海綿骨芯 良土 c.黄橙色 e.良好 f.完形 g.内面口唇部・外面一部黒色に変色
34	5	第4面 遺構96	青磁 器種不明	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 気孔径あり d.淡灰青色 g.器表面陽刻の文様か
34	6	第4面 遺構96	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.暗灰色 砂粒・白色粒・長石 c.暗灰褐色 d.淡緑色 e.硬質 f.口縁部片
34	7	第4面 遺構96	常滑 甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.肩部片 g.格子の押印

単位 (cm)

遺物観察表

図版番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
34	8	第4面遺構96	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.淡灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.淡茶褐色 e.硬質 f.肩部片 g.格子の押印
34	9	第4面遺構96	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.暗灰色 e.硬質 f.肩部片 g.格子の押印
34	10	第4面遺構96	常滑片口鉢Ⅰ類	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石 c.灰白色 e.硬質 f.口縁部片
34	11	第4面遺構96	鉄製品釘	(5.5)	0.5	0.3	g.断面方形
34	12	第4面遺構48	かわらけ	8.9	6.8	2.0	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・小石粒 良土 c.黄褐色 e.良好 f.完形
34	13	第4面遺構48	かわらけ	(9.8)	(6.8)	1.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母 良土 c.黄褐色 e.良好 f.4/5
34	14	第4面遺構48	かわらけ	(14.8)	(8.8)	3.4	a.ロクロ・内底強くナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.灰黄色 e.良好 f.1/2
34	15	第4面遺構48	かわらけ	(10.0)	(5.0)	1.5	a.手づくね・内底ナデ b.微砂・白色粒・海綿骨芯・小石粒 やや粗土 c.灰黄色 e.良好 f.1/4
34	16	第4面遺構48	山皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 砂粒・白色粒・小石粒 d.淡緑色の降灰 e.良好 硬質
34	17	第4面遺構48	石製品硯	(2.6)	(2.4)	0.9	g.陸部遺存・滑石製・滑石鍋の転用品かいは不明
34	18	第4面遺構112	瓦女瓦	—	—	2.4	a.凸面:離れ砂・斜位のナデ 凹面:離れ砂・横位のナデ 側面:篋削り 端面:篋削り b.灰白色・砂粒・白色粒 良土 c.灰白色 e.良好 f.1/4
34	19	第4面遺構117	鉄製品釘	(7.8)	0.4	0.4	g.断面方形
34	20	第4面遺構119	褐釉壺	—	—	—	a.ロクロ b.淡褐色 砂粒・白色粒・長石・小石粒 c.暗茶褐色 e.硬質 f.肩部片 g.耳付
34	21	第4面遺構122	かわらけ	(8.6)	(6.0)	1.9	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 良土 c.黄褐色 e.良好 f.1/8
34	22	第4面遺構122	かわらけ	(9.0)	(6.0)	1.6	a.てづくね b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄褐色 e.良好 f.1/6
34	23	第4面遺構125	青磁碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.淡緑色 f.口縁部片 g.内外面無文
34	24	第4面遺構146	鉄製品釘	(6.5)	0.4	0.4	g.断面方形
35	1	第4面上	かわらけ	7.2	5.0	1.7	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・小石粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.ほぼ完形
35	2	第4面上	青磁鎚連弁文碗	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.暗灰緑色 f.口縁部片 g.竜泉窯
35	3	第4面上	白磁口元皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.灰白色 f.口縁部片
35	4	第4面上	山茶碗	—	—	—	a.ロクロ b.淡灰 砂粒 c. d.淡灰緑色 灰釉 e.硬質 f.口縁部片
35	5	第4面上	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.灰黒色 砂粒・白色粒・小石粒 c.暗茶褐色 e.硬質 f.口縁部片
35	6	第4面上	常滑甕	—	—	—	a.輪積み b.淡橙褐色 砂粒・白色粒 c.橙褐色 e.硬質 f.口縁部片
35	7	第4面上	石製品滑石鍋	—	—	—	f.口縁部片・外面縦位の磨き・外面黒色・内面細かいキズが付く
35	8	第4面上	鉄製品釘	6.1	1.1	0.9	g.断面方形
35	9	第4面上	骨製品筭	(5.8)	1.3	0.3	g.両端部欠損
36	1	表土	かわらけ	(8.1)	(7.5)	1.5	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・白色粒・雲母 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.1/8
36	2	表土	かわらけ	7.5	5.8	1.55	a.ロクロ 内底ナデの後見込み周囲をナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形
36	3	表土	かわらけ	(8.3)	(5.8)	1.8	a.ロクロ・内底ナデ b.微砂・雲母・海綿骨芯 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.1/3 g.内外面黒色に変色
36	4	表土	かわらけ	(7.4)	(5.0)	1.6	a.ロクロ・内底ナデ・外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・白色粒・雲母・海綿骨芯 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.1/4
36	5	表土	かわらけ	(5.8)	(3.8)	1.8	a.ロクロ 内底面全体にナデ b.微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.3/4
36	6	表土	かわらけ	6.1	4.1	2.05	a.ロクロ 内面全体にナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形
36	7	表土	かわらけ	5.9	3.7	2	a.ロクロ 内面全体にナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.完形
36	8	表土	かわらけ	(6.0)	(4.8)	2.25	a.ロクロ 内面全体にナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 底部粘土版貼り付け b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形
36	9	表土	かわらけ	5.2	4.8	1.45	a.ロクロ 内面全体にナデ b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄褐色 e.良好 f.完形
36	10	表土	かわらけ	(4.7)	(3.8)	1.25	a.ロクロ 内底ナデ b.微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c.黄褐色 e.良好 f.1/2 g.器形の歪み激しい
36	11	表土	かわらけ	(7.2)	(5.1)	2.4	a.ロクロ 内底ナデ b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.黄褐色 e.良好 f.1/4
36	12	表土	かわらけ	10.4	6.3	3.05	a.ロクロ 内底強く横ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.4/5

単位 (cm)

遺物観察表

図版 番号	No.	出土層位 出土遺構	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
36	13	表土	かわらけ	13.0	7.8	3.35	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・雲母・海綿骨芯・土丹粒 c.橙色 e.良好 f.ほぼ完形
36	14	表土	かわらけ	12.9	7.7	4.05	a.ロクロ 内底ナデ 外底部板状圧痕・糸切り痕 b.微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・雲母・海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.4/5
36	15	表土	かわらけ	(9.0)	(4.6)	1.9	a.手づくね b.微砂・白色粒・雲母 良土 c.黄橙色 e.良好 f.1/5
36	16	表土	青磁 劃花文碗	—	4.2	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.淡緑色 e.良好 f.底部片 g.内底環状に釉薬を意図的に拭う・内底中央は片彫りで牡丹文が描かれる・高台中心は削り残しの突起あり・高台部畳み付きは無釉・筥による整形を行い畳み付き部分は2〜3ミリ幅に整形している・竜泉窯
36	17	表土	青磁 鉢	—	—	—	a.ロクロ b.黒色粒・白色粒 精良堅緻 d.灰緑色 半透明釉を厚く施釉 f.胴部片 g.内底に双魚文貼り付け
36	18	表土	白磁 口元皿	(10.0)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良堅緻 d.乳白色 不透明釉を薄く施釉 f.口縁〜胴体部片
36	19	表土	瀬戸 卸皿	—	—	—	a.ロクロ b.淡黄白色 砂粒・雲母・小石粒 c.灰黄色 e.良好 硬質 f.口縁部片 g.わずかに片口部分が遺存
36	20	表土	瀬戸 折縁皿	—	—	—	a.ロクロ b.灰白色 d.淡黄緑色 刷毛塗り e.良好 やや軟質 f.口縁部片
36	21	表土	瀬戸(美濃系) 播鉢	—	—	—	b.黄褐色 c.黒赤色 e.軟質 f.口縁部片
36	22	表土	常滑 壺	—	(8.7)	—	a.輪積み b.灰黒色 砂粒・白色粒・長石 c.黒茶色 e.硬質 f.底部1/4残存
36	23	表土	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・雲母 c.灰色 e.硬質 f.口縁部 g.5形式
36	24	表土	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.灰白色 砂粒・白色粒・長石 c.灰色 e.硬質 f.口縁部片 g.6b形式
36	25	表土	常滑 壺	—	—	—	a.輪積み b.茶褐色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c.黄灰色 e.硬質 f.底部〜胴体部小片 内面煤付着
36	26	表土	常滑 片口鉢I類	—	—	—	a.輪積み b.砂粒・白色粒・黒色粒・長石・石英・小石粒 c. e.硬質 f.底部〜胴体部小片
36	27	表土	常滑 片口鉢I類	—	(12.9)	—	a.輪積み b.灰色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c.灰色 e.硬質 f.底部〜胴体部片
36	28	表土	常滑 片口鉢II類	—	—	—	a.輪積み b.赤色粒・砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 e.硬質 f.口縁部小片 g.9形式
36	29	表土	常滑 片口鉢II類	—	—	—	a.輪積み b.灰茶色 砂粒・白色粒・長石・石英・小石粒 c.黒赤色 e.硬質 f.底部〜胴体部小片
36	30	表土	瓦器質 火鉢	—	—	—	a.輪積み c.灰黒色 f.磨きと炭素吸着による黒色処理 f.口縁部小片
36	31	表土	石製品 砥石	—	—	—	f.剥離片 g.仕上げ砥
36	32	表土	鉄製品 釘	6.5	0.6	0.5	g.断面方形
36	33	表土	鉄製品 釘	(4.8)	0.5	0.3	g.断面方形
36	34	表土	鉄製品 釘	(5.8)	0.5	0.3	g.断面方形
36	35	表土	鉄製品 釘	(6.6)	0.5	0.5	g.断面方形
36	36	表土	銭	径2.4	孔径0.7×0.6		f.完形 皇宋通宝 北宋1038年初鑄 篆書
36	37	表土	銭	径2.35	孔径0.7×0.7		f.完形 元豊通宝 北宋1078年初鑄 篆書
36	38	表土	銭	径2.3	孔径0.6×0.6		f.政和通宝 初鑄1111年 隸書

単位 (cm)

破片遺物集計表

			表採合計	1面合計	2面合計	3面合計	4面合計	合計	比率	
船載品	青磁	蓮弁文碗	1	10	13	7	0	31	0.64	
		劃花文碗	1	1	3	4	5	14	0.29	
		碗	0	2	8	2	2	14	0.29	
		皿	0	1	4	1	2	8	0.17	
		鉢	2	3	4	0	0	9	0.19	
		その他・不明	2	1	1	0	0	4	0.08	
	白磁	碗	0	2	1	1	1	5	0.1	
		口兀皿	3	6	10	4	0	23	0.48	
		合子	0	1	0	0	0	1	0.02	
		壺	1	0	1	1	0	3	0.06	
器種不明		0	1	1	0	0	2	0.04		
青白磁	梅瓶	1	6	1	3	0	11	0.23		
	合子	0	0	0	1	0	1	0.02		
	壺	0	1	0	0	0	1	0.02		
	皿	0	1	3	0	0	4	0.08		
	その他・不明	1	2	1	1	0	5	0.1		
緑釉		0	6	0	0	0	6	0.12		
	黄釉	0	1	0	0	0	1	0.02		
国産陶器	瀬戸	入子	0	1	3	0	0	4	0.08	
		皿	2	0	1	0	0	3	0.06	
		折縁皿	1	9	5	4	0	19	0.39	
		卸皿	1	0	0	1	0	2	0.04	
		壺	0	3	0	2	0	5	0.1	
		瓶子	0	2	1	1	0	4	0.08	
		花瓶	0	2	0	1	0	3	0.06	
		その他・不明	1	11	2	1	1	16	0.33	
		山茶碗	0	1	7	4	1	13	0.27	
		常滑	47	142	448	149	52	838	17.31	
渥美		壺	1	3	4	5	0	13	0.27	
		片口鉢Ⅰ類	3	22	29	17	2	73	1.51	
		片口鉢Ⅱ類	4	11	10	13	0	38	0.78	
		擦り常滑	1	2	1	2	1	7	0.14	
		甕	0	4	18	4	7	33	0.68	
		捏鉢	0	0	2	1	2	5	0.1	
		壺	0	1	0	0	0	1	0.02	
		種別不明	0	4	6	2	1	13	0.27	
		備前	0	2	2	0	0	4	0.08	
		東播系 鉢	0	0	0	1	0	1	0.02	
土器・	かわらけ	ロクロ	59	514	639	471	106	1789	36.95	
		手捏ね	3	32	99	87	133	354	7.31	
		白(ロクロ・手)	0	0	1	2	1	4	0.08	
	瓦	0	4	3	1	1	9	0.19		
	瓦器製品	1	0	1	1	0	3	0.06		
	火鉢	3	6	8	6	1	24	0.5		
	土鍋	0	1	2	1	0	4	0.08		
	轆の羽口	0	2	0	1	7	10	0.21		
	土錘	0	1	1	0	0	2	0.04		
	石製品	硯	0	1	1	0	1	3	0.06	
砥石		3	1	1	4	0	9	0.19		
滑石		0	3	3	2	0	8	0.17		
鍋		0	0	0	1	0	1	0.02		
温石		0	0	0	1	0	1	0.02		
スタンプ		0	0	0	1	0	1	0.02		
基石		0	0	1	0	0	1	0.02		
チャート		0	1	1	1	1	4	0.08		
金属製品			釘	7	62	63	39	7	178	3.68
			鉄製品	1	5	10	1	0	17	0.35
		銅銭	3	5	10	12	0	30	0.62	
		銅製品	0	0	0	1	0	1	0.02	
骨角製品		不明	0	0	1	1	0	2	0.04	
			0	0	1	1	0	2	0.04	
木製品			0	0	0	0	3	3	0.06	
			0	0	0	0	3	3	0.06	
自然遺物		骨	5	50	492	48	9	604	12.47	
		貝	8	67	130	135	178	518	10.7	
		種	0	2	2	0	0	4	0.08	
		その他	0	4	3	1	0	8	0.17	
			0	3	0	2	0	5	0.1	
古代以前	土師器	種別不明	0	0	1	0	0	1	0.02	
			0	0	0	1	0	1	0.02	
	須恵器	甕	0	0	0	1	0	1	0.02	
		杯	0	2	0	1	0	3	0.06	
	種別不明	0	0	0	1	0	1	0.02		
合計			166	1031	2064	1056	525	4842	100	
比率			3.43	21.29	42.63	21.81	10.84	100		

遺構計測表

層位	遺構名	長軸	短軸	深さ	層位	遺構名	長軸	短軸	深さ
第1面	1	118.0	96.0	22.8	第3面	60	34.0	29.0	18.5
	2	83.0	(69.0)	18.9		61	25.0	(13.0)	8.4
	3	106.0	(65.0)	5.7		62	19.0	17.0	9.5
	4	21.0	20.0	17.3		63	58.0	52.0	38.8
	5	(58.0)	(28.0)	7.7		64	(29.0)	(8.0)	19.9
	6	(76.0)	(25.0)	7.5		65	92.0	70.0	45.1
	7	(31.0)	(30.0)	17.8		67	72.0	(43.0)	27.4
	8	(55.0)	(37.0)	32.3		68	49.0	45.0	32.7
	9	102.0	65.0	26.1		69	(50.0)	(47.0)	13.8
	10	(91.0)	64.0	16.6		70a	93.0	65.0	25.5
	11	44.0	(28.0)	14.7		70b	37.0	35.0	45.6
	12	(65.0)	(65.0)	19.0		71	37.0	29.0	16.1
	17	(158.0)	(54.0)	54.2		72	43.0	29.0	20.2
	18	(188.0)	172.0	30.0		73	39.0	(23.0)	40.5
	19	162.0	115.0	31.9		74	46.0	40.0	12.9
	20	163.0	42.0	29.0		75	50.0	47.0	26.4
	21	104.0	(61.0)	35.0		76	54.0	44.0	35.6
	23	32.0	19.0	14.0		77	(54.0)	(45.0)	29.5
	26	91.0	(63.0)	28.5		78	65.0	53.0	27.0
	32	(96.0)	(87.0)	22.0		79	35.0	34.0	20.5
	33	70.0	(58.0)	11.3		85	55.0	(19.0)	55.9
	36	(65.0)	64.0	26.2		95	54.0	42.0	12.5
	37	(98.0)	(42.0)	32.2		100	33.0	30.0	20.3
41	(154.0)	(32.0)	8.5	106	(49.0)	(10.0)	14.7		
42	(58.0)	(46.0)	21.5	113	(48.0)	(14.0)	7.6		
43	107.0	(68.0)	59.8	115	34.0	32.0	30.5		
第2面	13	(221.0)	(128.0)	47.4	150	20.0	19.0	11.6	
	15	33.0	27.0	10.3	51	183(150)	156(118)	84.5	
	16	(162.0)	(69.0)	32.5	54	181.0	141.0	109.7	
	22	(265.0)	(110.0)	37.8	80	104.0	90.0	18.2	
	24	187.0	(141.0)	22.4	81	46.0	37.0	31.4	
	25	(300.0)	83.0	31.8	82	(45.0)	45.0	7.7	
	27	49.0	34.0	19.2	83	21.0	19.0	10.1	
	28	(228.0)	(100.0)	45.8	84	(30.0)	(10.0)	18.0	
	30	—	—	—	86	(37.0)	(20.0)	32.2	
	34	(174.0)	(166.0)	20.9	87	—	—	5.9	
	38	(183.0)	(119.0)	25.4	89	44.0	35.0	29.3	
	39	(222.0)	(113.0)	45.0	90	33.0	(24.0)	27.1	
	40	(177.0)	(150.0)	10.5	91	62.0	45.0	39.1	
	45	(168.0)	(59.0)	21.5	92	73.0	62.0	30.8	
	55	(183.0)	(55.0)	13.5	93	57.0	(30.0)	30.3	
	56	(76.0)	(36.0)	47.7	94	37.0	28.0	8.4	
	58	(100.0)	(59.0)	22.7	96	116.0	70.0	37.9	
66	55.0	(25.0)	29.0	97	46.0	34.0	32.0		
143	64.0	(47.0)	—	98	53.0	36.0	12.3		
第3面	14	34.0	24.0	17.4	99	31.0	28.0	27.1	
	29	58.0	38.0	23.5	101	22.0	22.0	9.4	
	31	350.0	234.0	47.0	102	27.0	(17.0)	21.5	
	35	(78.0)	73.0	26.0	103	20.0	18.0	14.8	
	44	182.0	153.0	66.9	104	28.0	26.0	29.1	
	46	(153.0)	(78.0)	19.2	105	(35.0)	(20.0)	22.9	
	47	34.0	31.0	25.5	107	30.0	27.0	39.2	
	48	41.0	28.0	31.7	108	36.0	(21.0)	9.0	
	49	49.0	35.0	16.2	108	40.0	(19.0)	9.2	
	50	—	—	—	109	68.0	58.0	43.2	
	53	(170.0)	(162.0)	13.3	110	(32.0)	(30.0)	32.5	
	57	(248.0)	(47.0)	24.2	111	28.0	18.0	18.3	
59	64.0	58.0	18.9	112	52.0	(43.0)	20.2		

単位 (cm)

遺構計測表

層位	遺構名	長軸	短軸	深さ	層位	遺構名	長軸	短軸	深さ
	114	40.0	(22.0)	11.2					
	116	(42.0)	33.0	18.2					
	117	—	—	6.8					
	118	26.0	23.0	11.5					
	119	(26.0)	25.0	23.8					
	120	21.0	(14.0)	13.7					
	121	46.0	28.0	15.6					
	122	(70.0)	(15.0)	20.5					
	123	20.0	20.0	15.0					
	124	27.0	(13.0)	21.7					
	125	16.0	15.0	9.1					
	126	23.0	21.0	10.9					
	127	(47.0)	(16.0)	28.0					
	128	45.0	41.0	12.0					
	129	28.0	26.0	14.5					
	130	57.0	37.0	42.7					
	131	24.0	20.0	8.0					
	132	18.0	17.0	21.6					
	133	31.0	23.0	12.1					
第4面	134	27.0	(8.0)	24.7					
	135	—	—	23.8					
	136	(51.0)	(20.0)	53.1					
	137	27.0	22.0	13.3					
	138	32.0	(21.0)	11.0					
	139	24.0	(18.0)	14.4					
	140	(47.0)	(17.0)	12.5					
	141	17.0	14.0	4.8					
	142	—	—	—					
	144	—	—	13.9					
	145	(57.0)	(19.0)	(20.1)					
	146	(40.0)	(18.0)	14.7					
	147	10.0	9.0	9.3					
	149	15.0	13.0	10.8					
	151	67.0	48.0	11.1					
	152	(24.0)	25.0	36.1					
	153	64.0	(38.0)	9.9					
	154	(24.0)	24.0	15.9					
	155	17.0	15.0	9.3					
	156	19.0	18.0	22.5					

単位 (cm)



第1面全景 (東から) ◀



第1面全景 (西から) ▶



◀ 第2面遺溝 13 (北から)

第2面遺溝 24 (西から) ▶

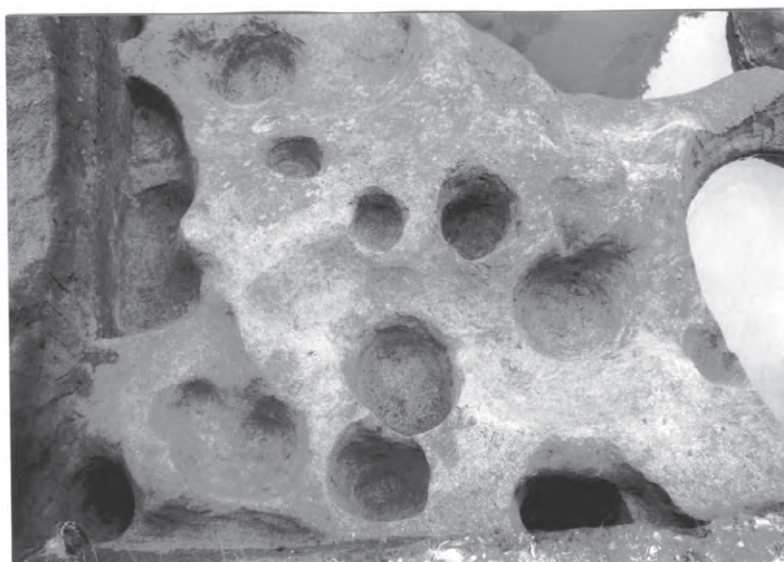




第2面全景（東から）



第2面全景（西から）



第2面調査区南西隅



◀ 第3面遺溝 31 (西から)



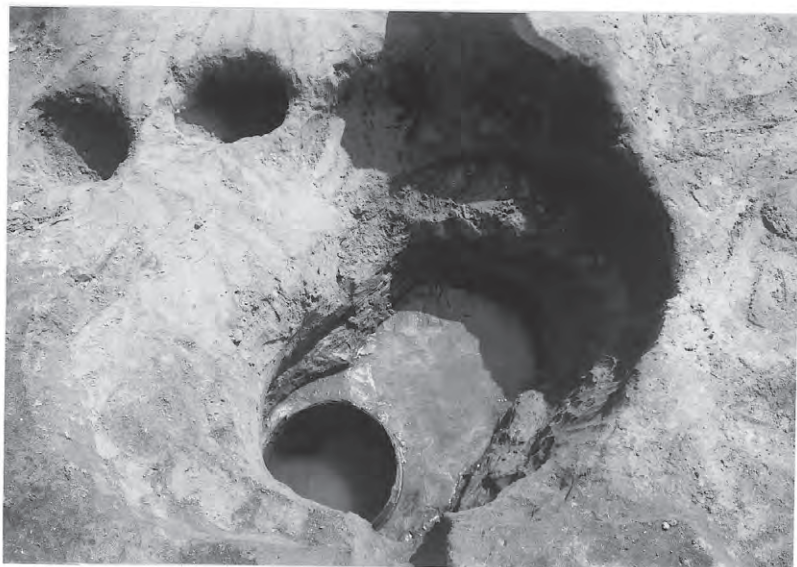
第3面遺溝 53 (北から) ▶



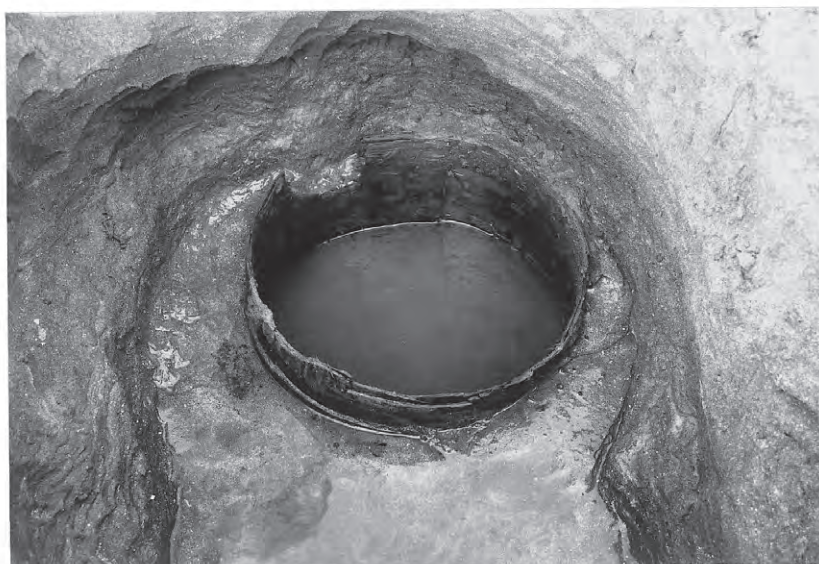
第3面全景 (西から) ▶



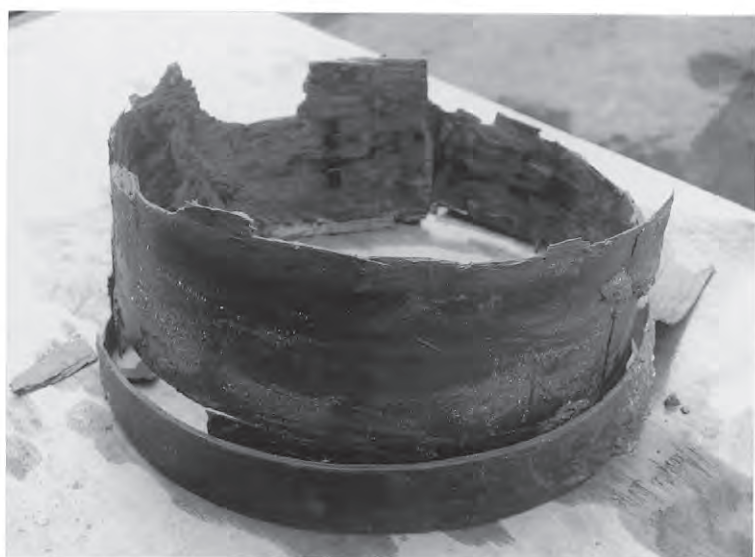
▶ 第3面全景 (東から)



第4面遺溝51完掘



第4面遺溝51曲物



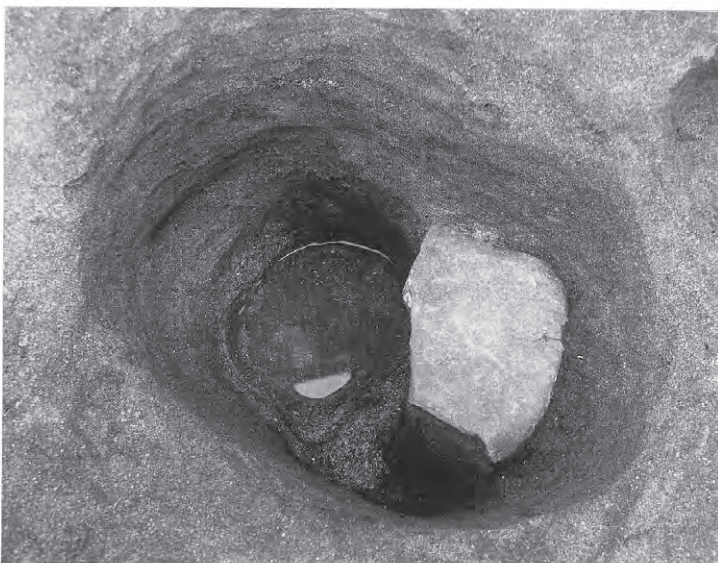
第4面遺溝51曲物



第4面遺溝 51 井戸枠（北から）



第4面遺溝 51 井戸枠アップ



第4面遺溝 130（西から）



第4面遺溝 54 (北から)



第4面遺溝 54 (南から)



トレンチ 2 西壁



8-3



8-9



8-14

8-15



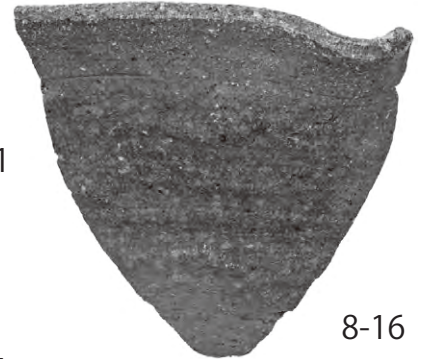
8-4

▲第1面遺構 1



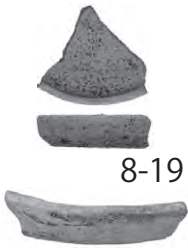
8-11

▲第1面遺構 9



8-16

▲第1面遺構 17



8-19

8-22



8-23

▲第1面遺構 18



8-25

▲第1面遺構 19



8-27

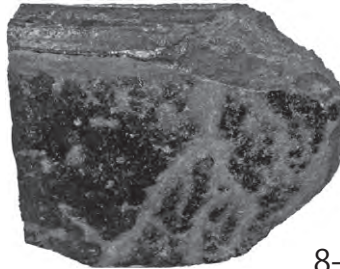
▲第1面遺構 20



8-28



8-30



8-36

▲第1面遺構 36



25
2536
No. 43



8-38

▲第1面遺構 37



8-42

▲第1面遺構 42



8-44



8-46



8-49

▲第1面遺構 43



9-8



9-9

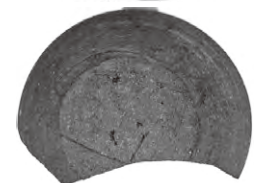
▲第1面 面上

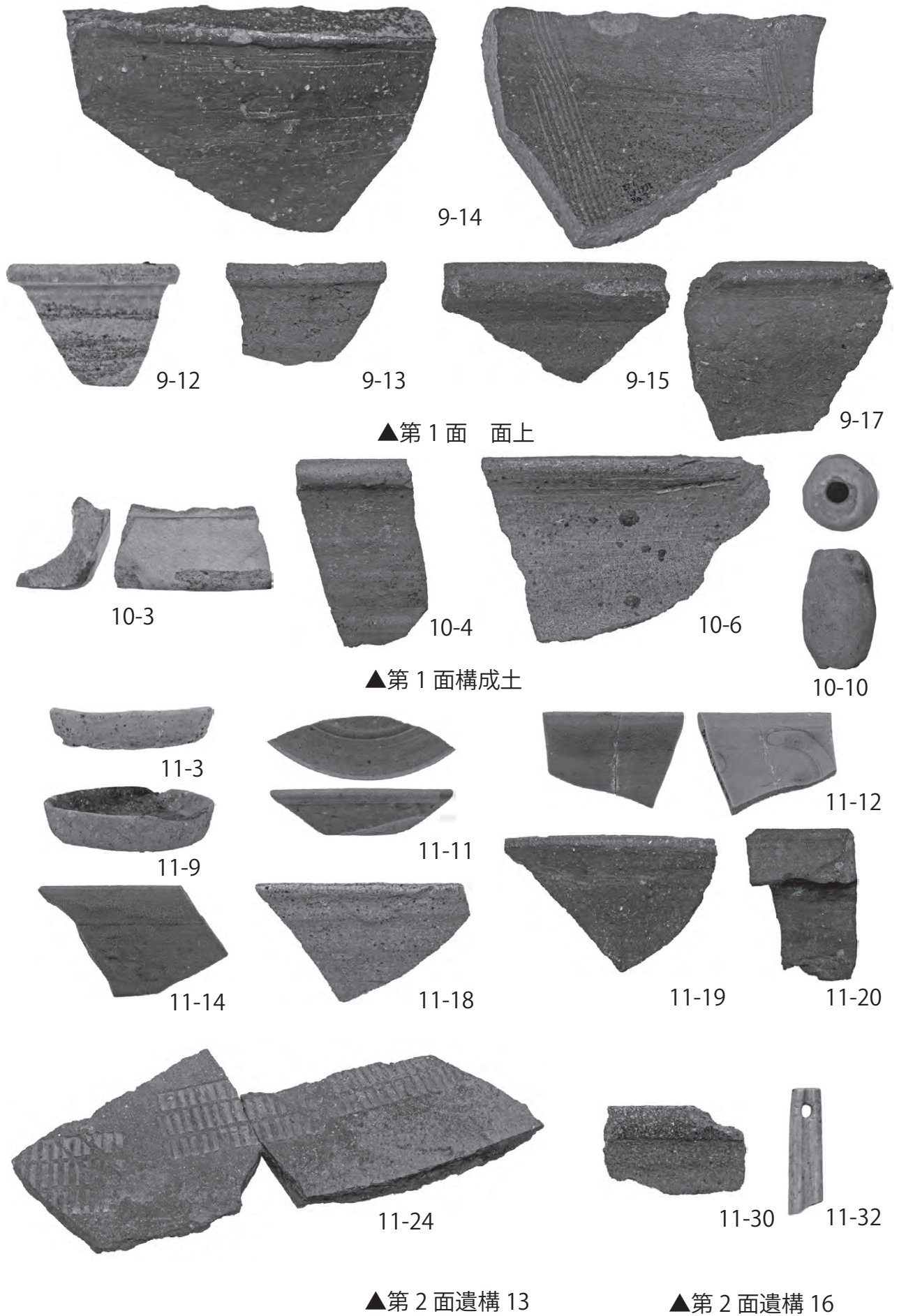


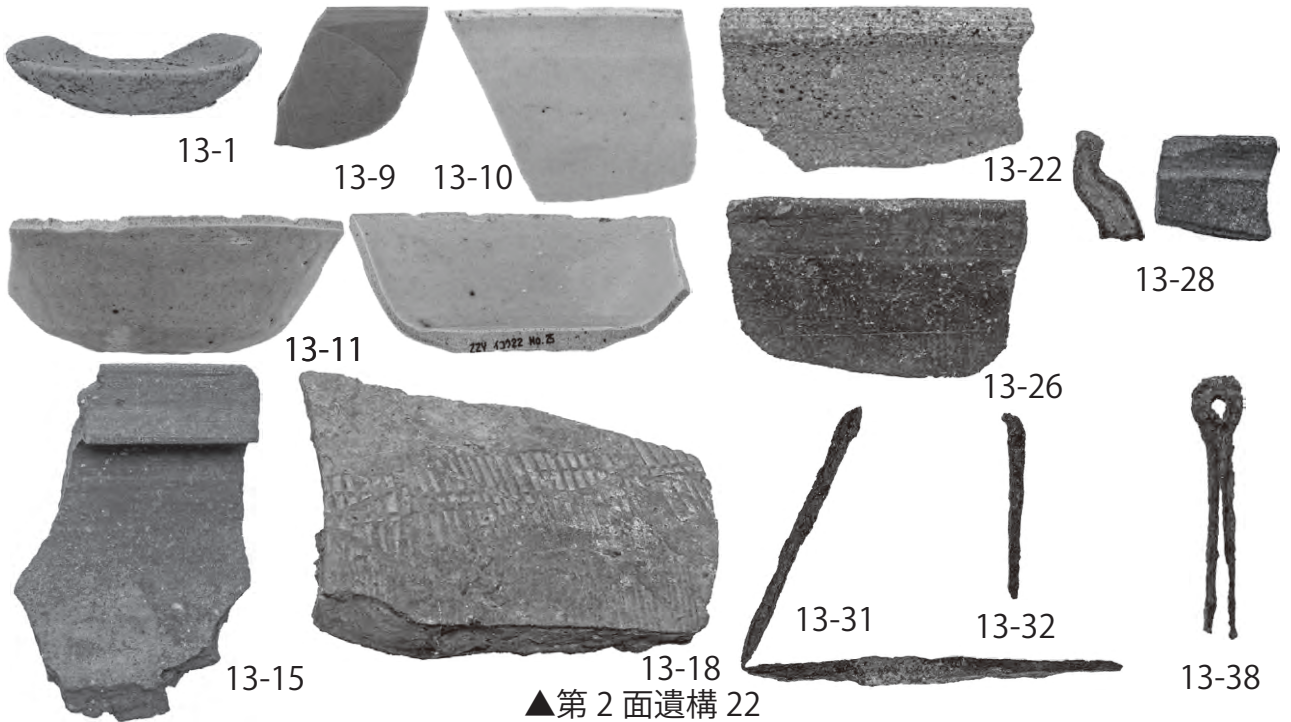
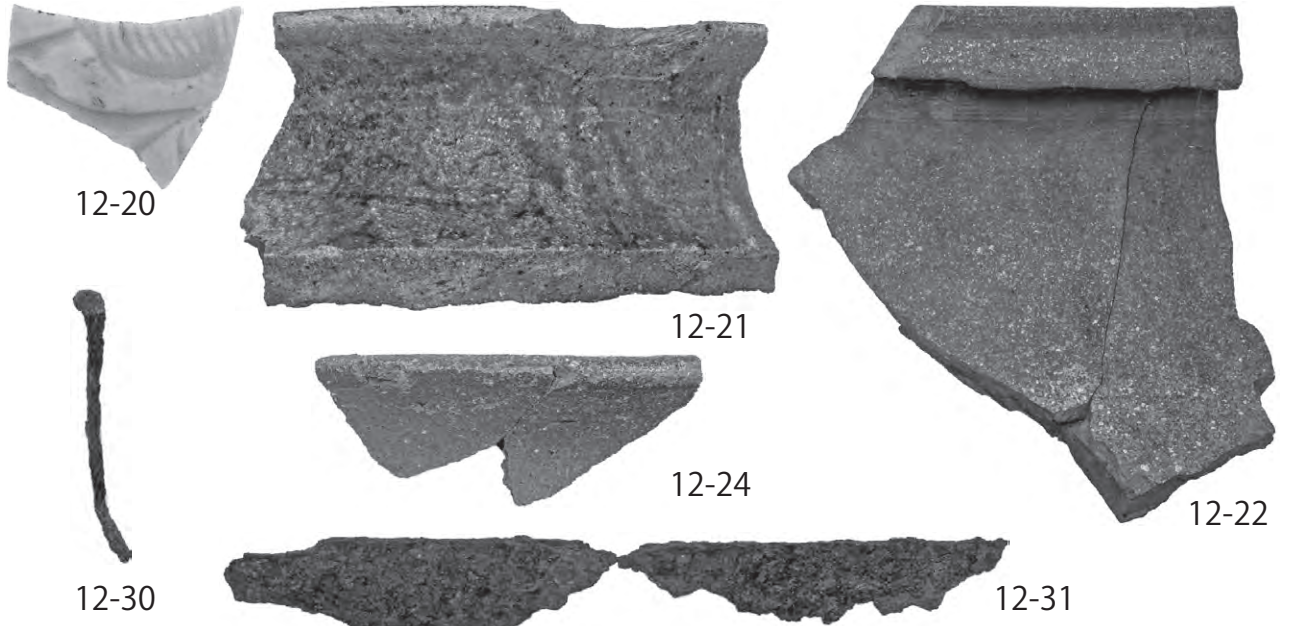
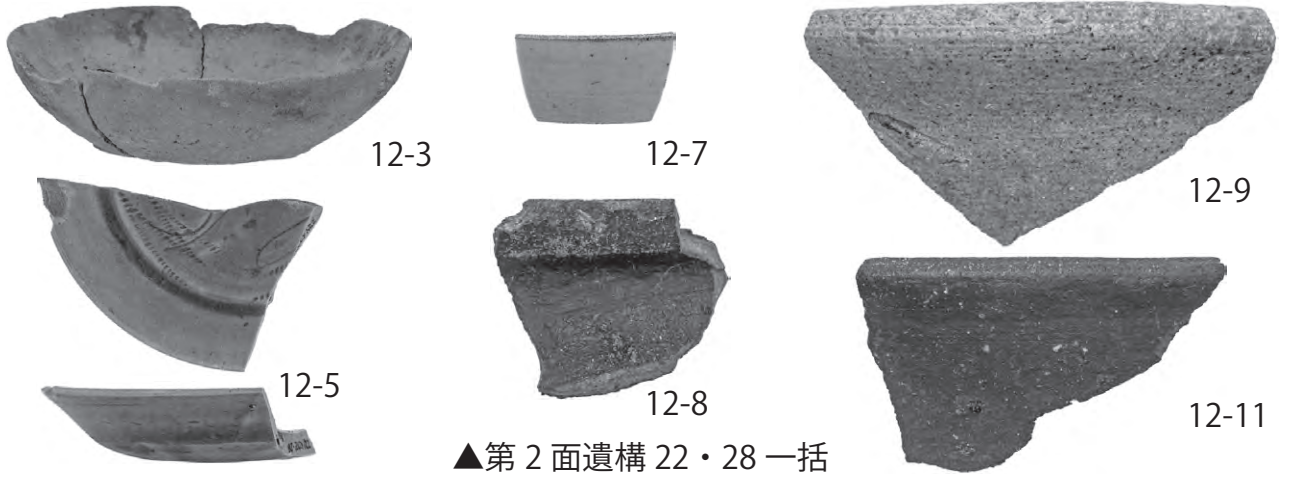
9-10

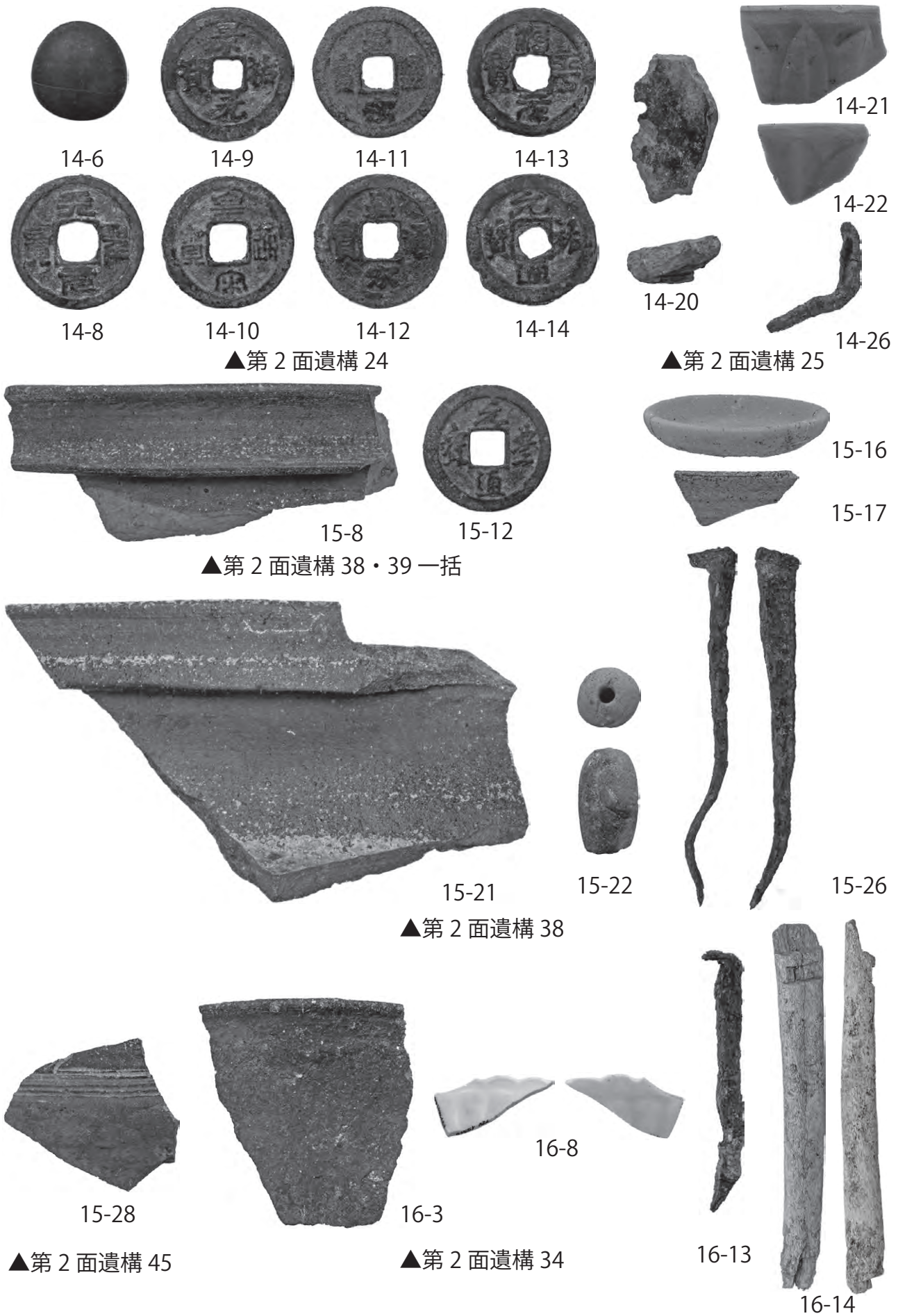


9-11



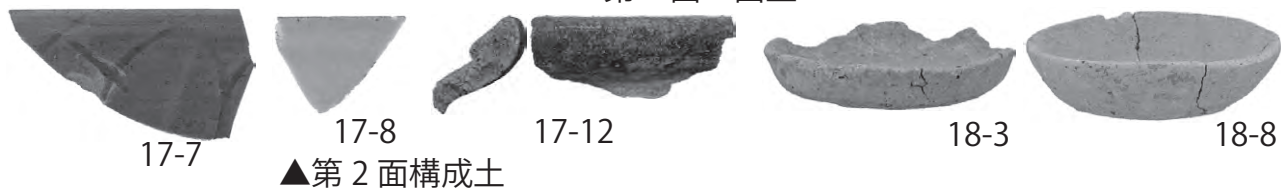




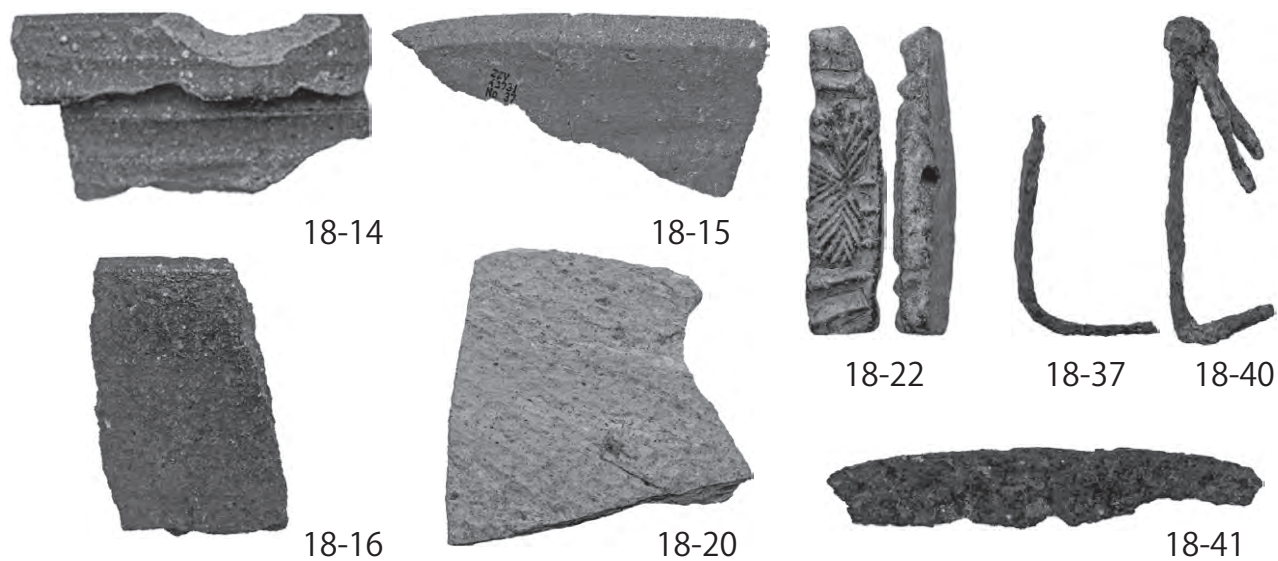




▲第2面 面上



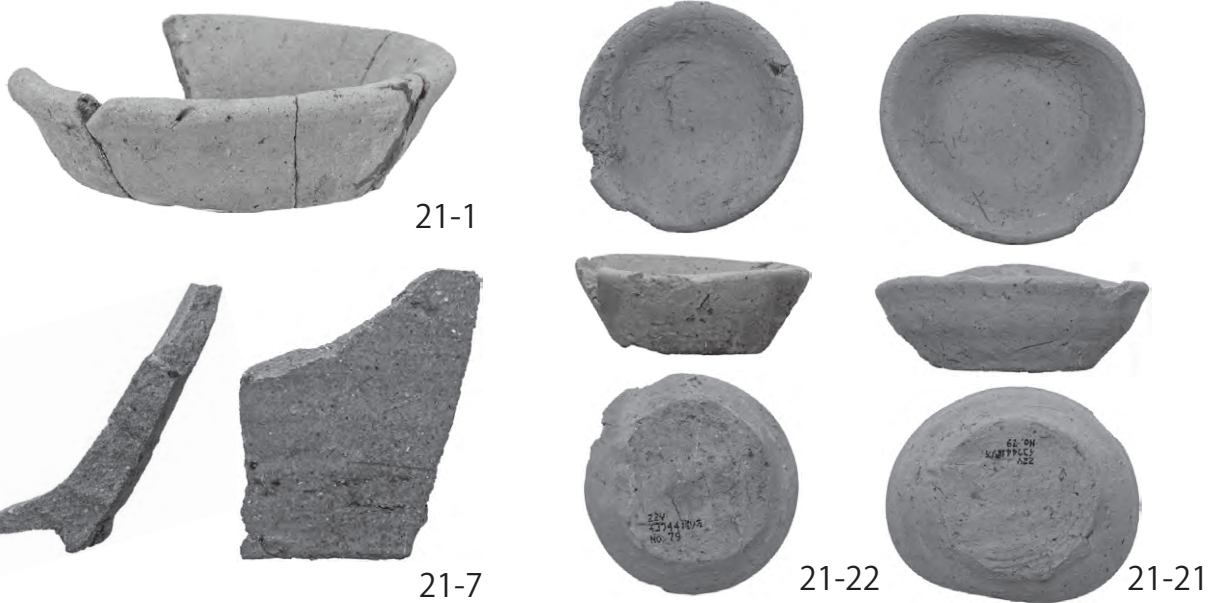
▲第2面構成土



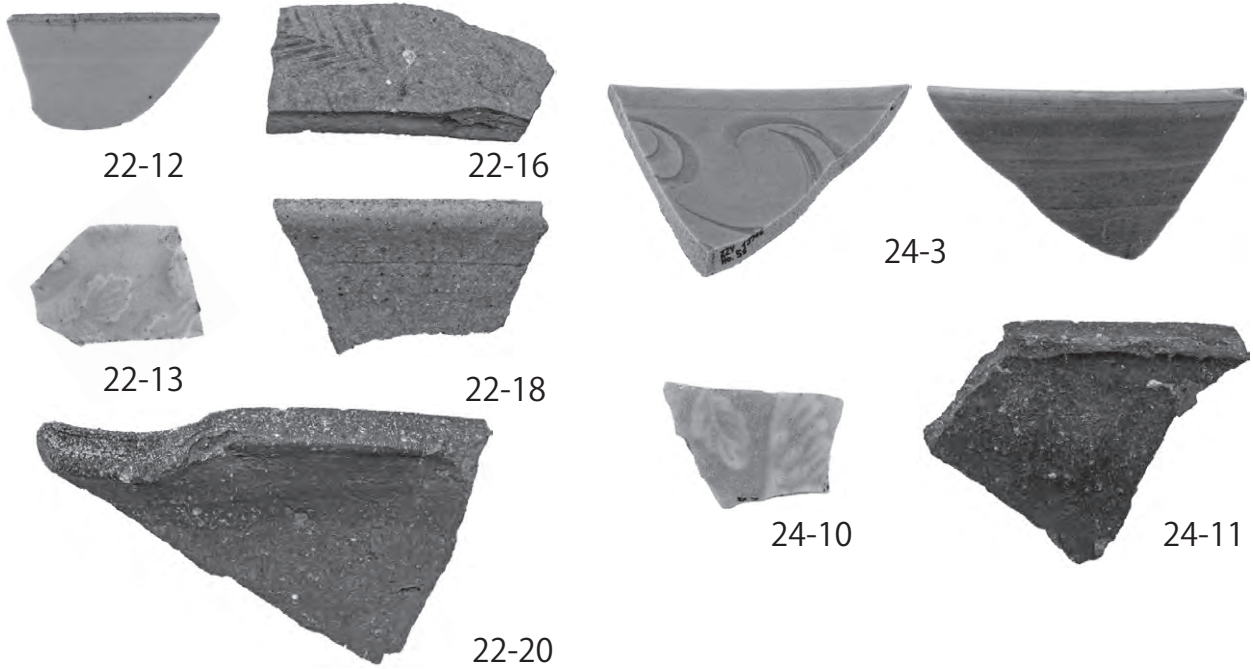
▲第3面遺構 31



▲第3面遺構 31

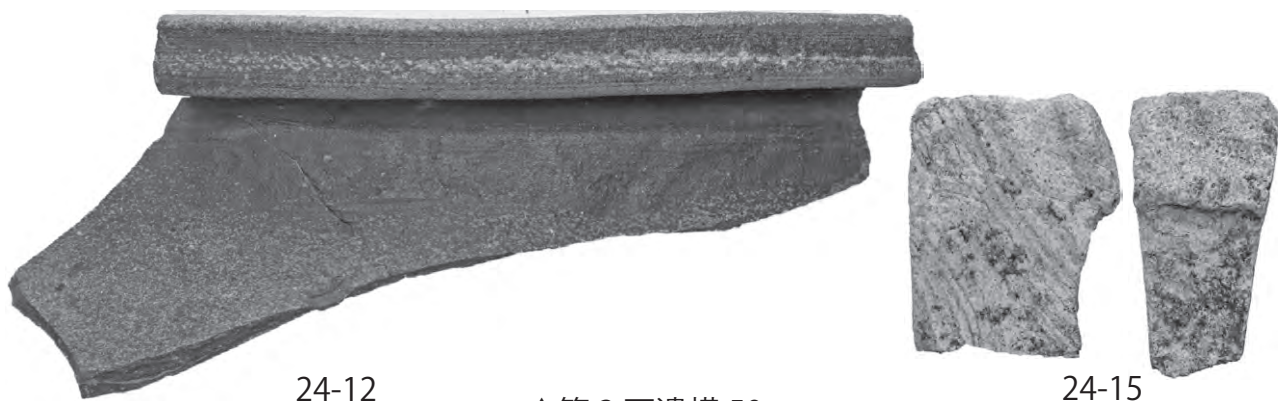


▲第3面遺構 44



▲第3面遺構 53

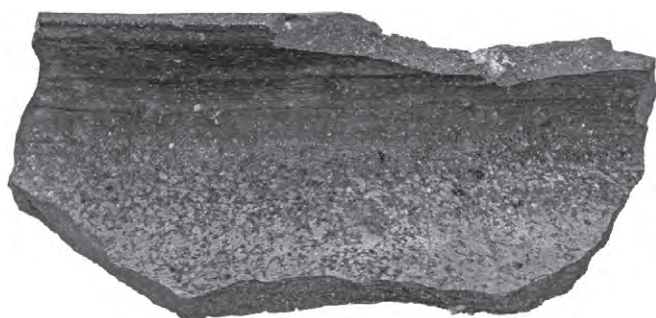
▲第3面遺構 50



24-12

▲第 3 面遺構 50

24-15



24-19



24-27

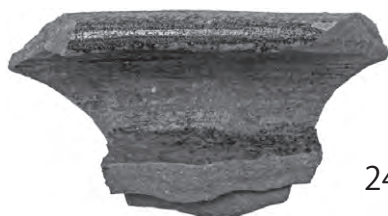


24-23



24-30

▲第 3 面遺構 57



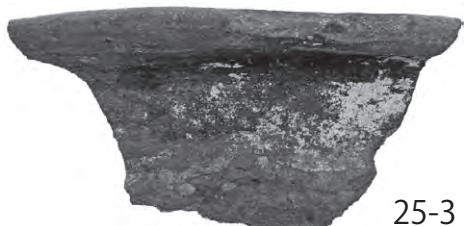
24-36



24-32

▲第 3 面遺構 74

▲第 3 面遺構 65



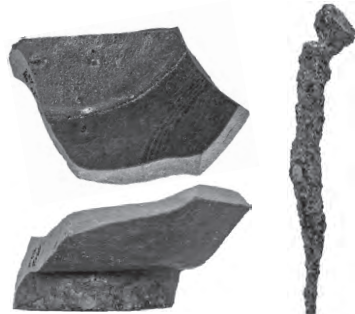
25-3



27-4



25-4

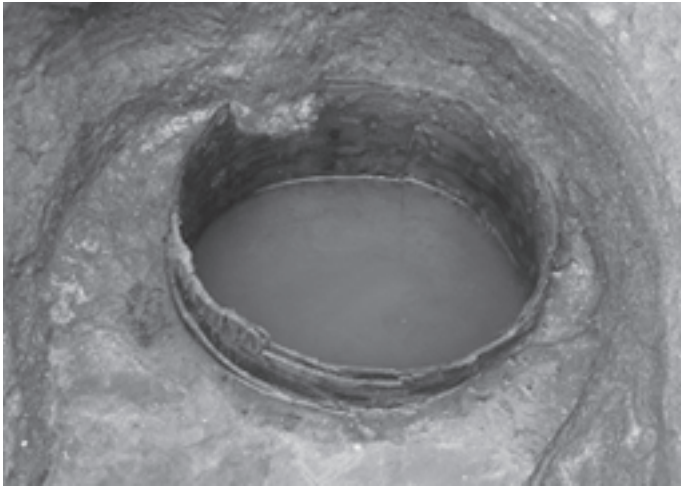


27-10

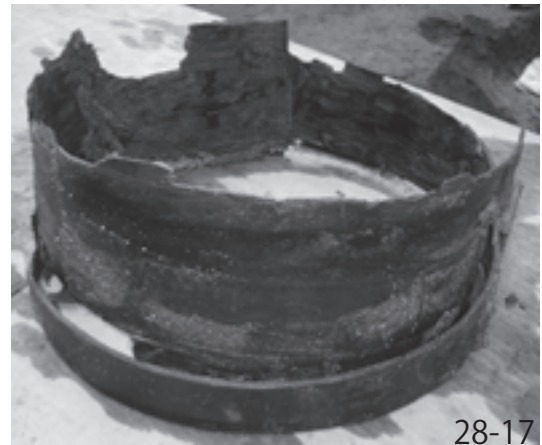
27-15

▲第 3 面構成土

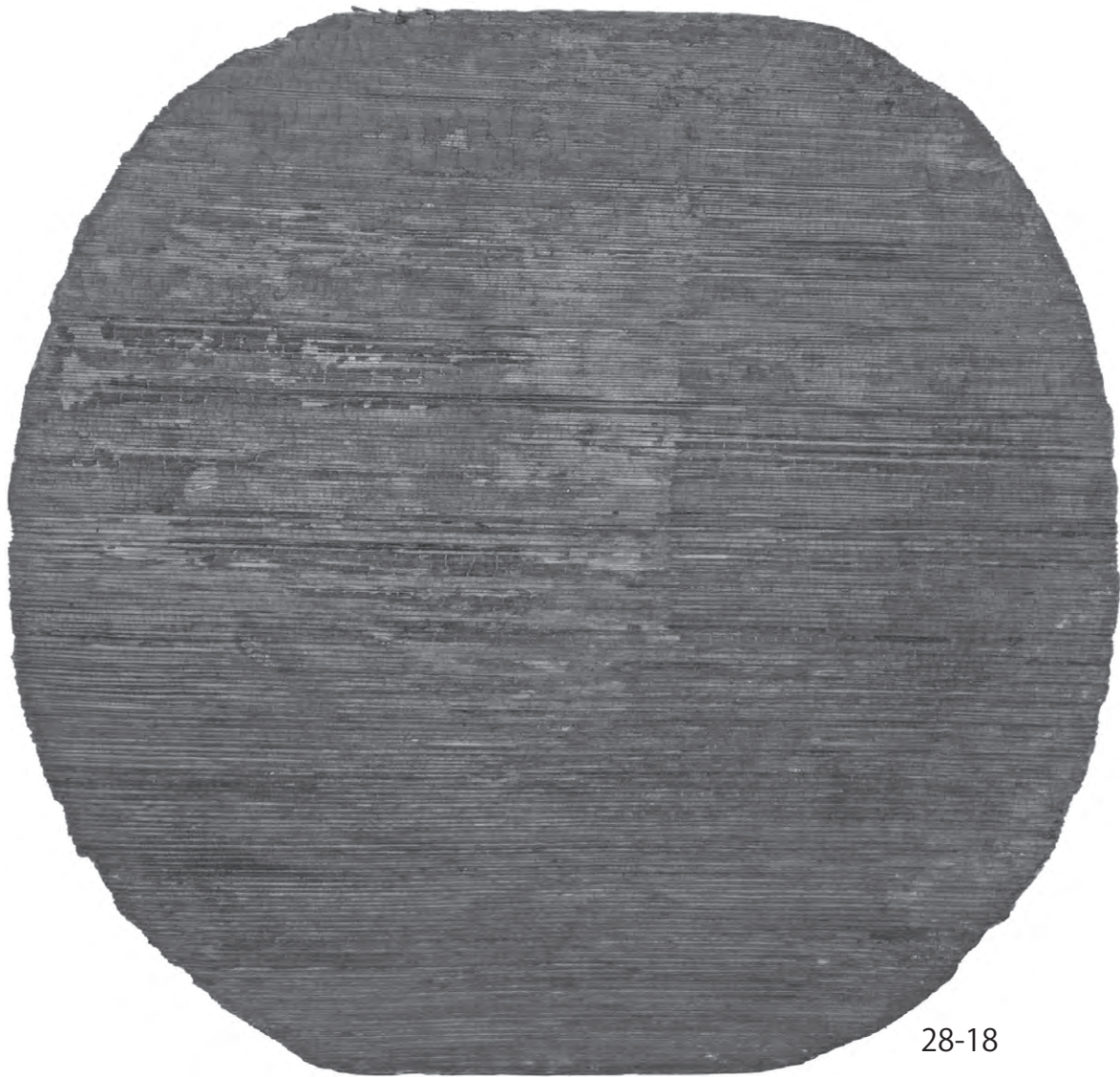
▲第 4 面遺構 51



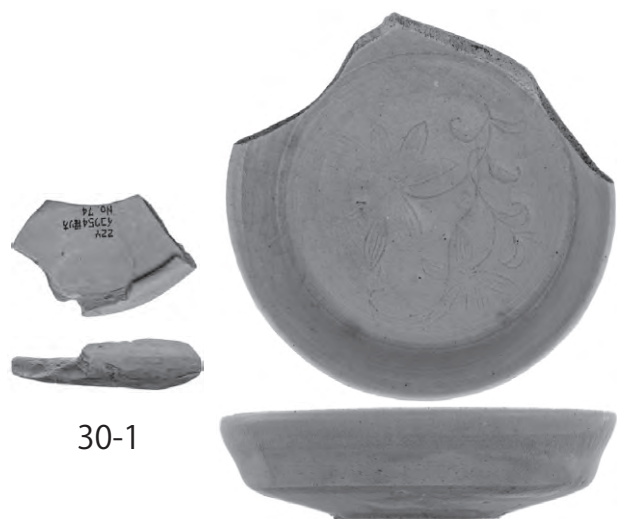
▲遺構 51 曲物検出状況



▲第 4 面遺構 51 曲物採集（現場にて）



▲第 4 面遺構 51



30-1

30-11



30-13

30-14



30-15



30-16



30-17



31-20

31-21

▲第4面遺構 54



31-22



31-23



32-24



32-25

▲第 4 面遺構 54



34-4



34-10



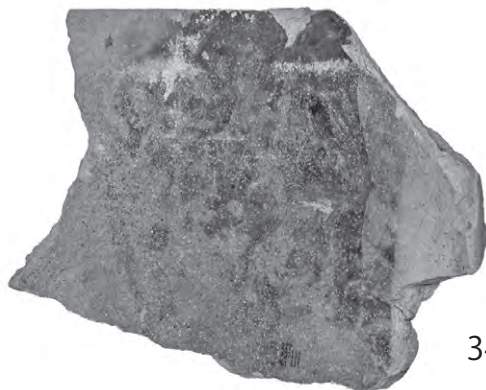
34-12



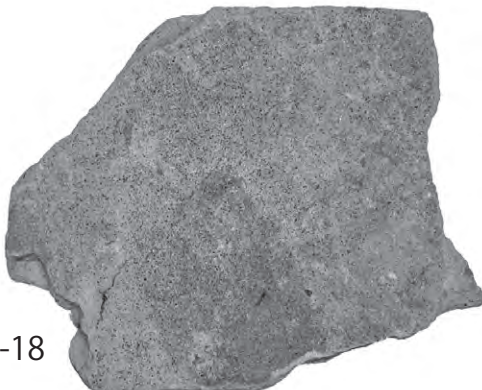
34-13

▲第 4 面遺構 96

▲第 4 面遺構 48



34-18



▲第 4 面遺構 112



34-19



34-24



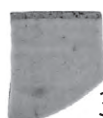
35-1



36-2



36-6



35-3



35-4



36-7



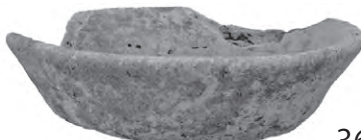
36-8



36-9



35-5



36-12



36-13



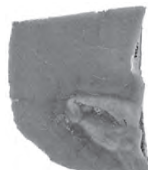
35-8



35-9



36-16



36-17



36-19



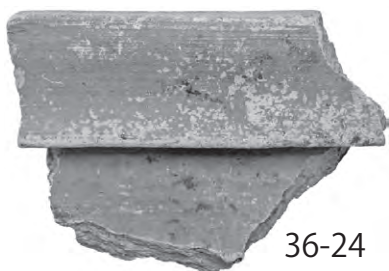
▲第 4 面 面上



36-20



36-21



36-24



36-28



36-32



36-36



36-37



36-38

▲表土

下馬周辺遺跡 (No.200)

由比ガ浜二丁目 54 番 15 地点

例 言

1. 本報は鎌倉市由比ガ浜二丁目 54 番 15 地点に所在する遺跡の発掘調査である。
2. 発掘調査は個人専用住宅にかかる建築範囲約 20㎡を対象とし、平成 20 年 6 月 9 日から 7 月 9 日にかけて実施した。
3. 現地での調査体制は以下の通り
担当者 伊丹まどか
調査員 石元道子
作業員 赤坂進・浅香文保・牛嶋道夫・小口照男・片山直文・金丸義一・藤枝正義
4. 本報作成は以下の分担で行った。
遺物実測 清水由加里
遺物図版作成 清水由加里
遺構図版作成 清水由加里・渡邊美佐子
観察表 清水由加里・渡邊美佐子
遺構計測表 清水由加里
遺構写真 伊丹まどか
遺物写真 須佐仁和
写真図版作成 清水由加里
グリッド図作成 梶岡ケイト
執筆・編集 伊丹まどか・渡邊美佐子
5. 出土品などの発掘調査資料は、鎌倉市教育委員会が管理・保存している。
6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は以下の通り。
遺構図版：1 / 60 個別遺構図：1 / 40 実測遺物図：1 / 3 銭：1 / 1
7. 本文の都合から遺物に関する詳細は観察表にまとめて掲載している。また復元して実測した遺物は計測値に () を付して表している。
・文中で「かわらけ」と記載したものは「轆轤成形かわらけ」を指し、「手づくね成形かわらけ」は「手づくね」と記載している。
8. 発掘調査及び報告書作成に際して以下の方よりご教授、ご協力を賜りました。記して深謝いたします。(五十音順・敬称略)
菊川泉・後藤健・齋木秀雄・汐見一夫・田畑衣理・原廣志・福田誠・吉田桂子

目 次

第一章 遺跡概要	136
1. 調査地点の位置と歴史的環境	
2. 調査の経過	
3. 堆積土層	
第二章 発見された遺構と遺物	140
1. 第1面の遺構と遺物	
2. 第2面の遺構と遺物	
3. 第3面の遺構と遺物	
第三章 まとめ	149
・遺物観察表	
・実測不可木製品計測表	
・破片遺物計数表	
・出土具数量表	

挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡	134	図6 第1面構成土出土遺物	141
図2 グリッド設定図	137	図7 第2面個別遺構	142
図3 堆積土層図	138	図8 第2面面上・構成土出土遺物	143
図4 第1面・第2面・第3面全測図・最終ト レンチ位置図	139	図9 第3面個別遺構	144
図5 第1面 遺構2	140	図10 第3面個別遺構・面上・構成土出土遺物	146
		図11 表採遺物	147

図版目次

図版1 第1面全景・第1面遺構2・第2面全景	161	図版4 第2面出土遺物	164
図版2 第2面遺構12・第3面全景	162	図版5 第2面構成土・第3面出土遺物	165
図版3 第1面出土遺物	163	図版6 第3面・表採出土遺物	166

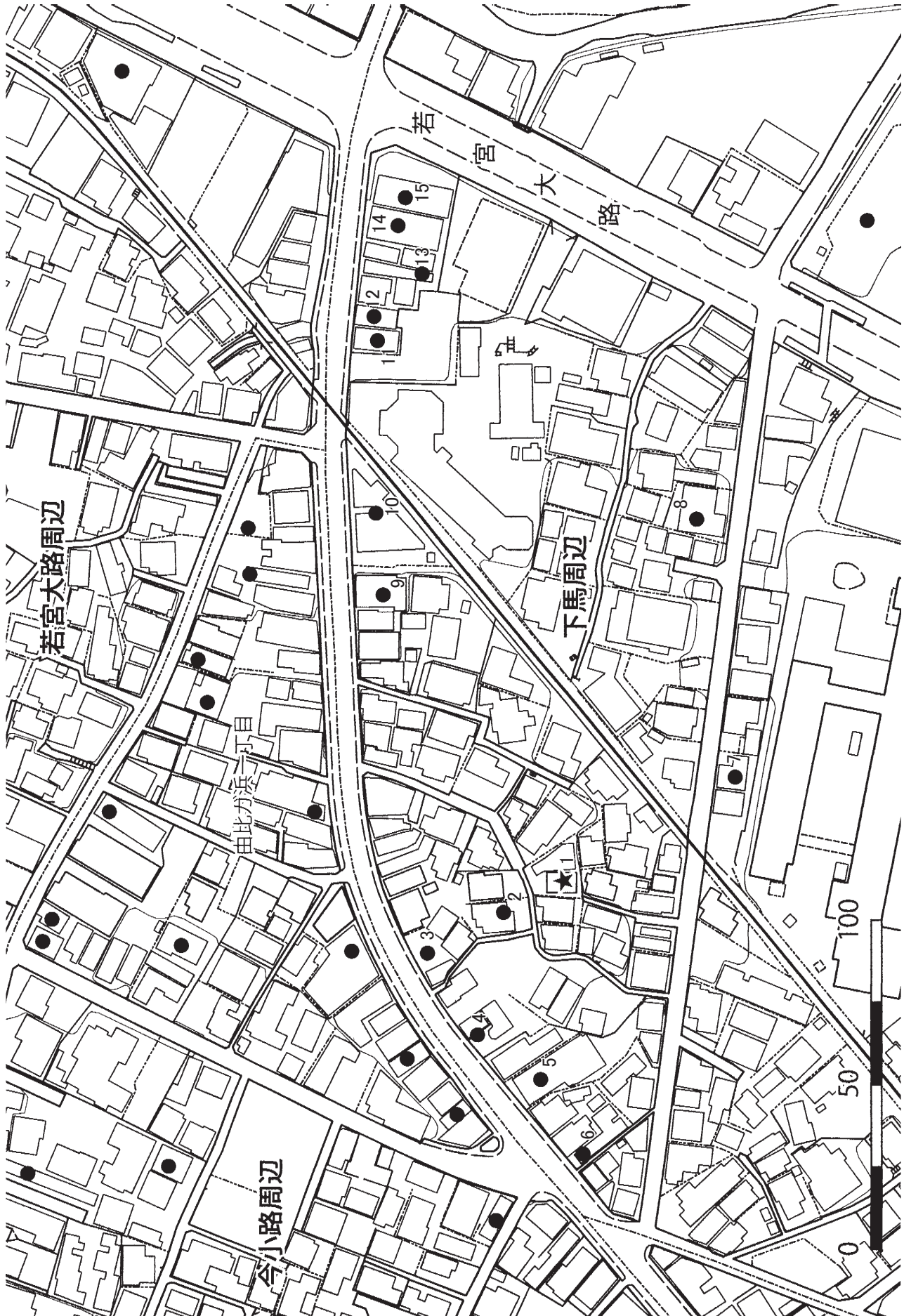


図1 調査地点と周辺の遺跡

【下馬周辺】						
	調査地番	担当者	刊行年	執筆者	タイトル	発行人
1	由比ガ浜二丁目54番15	伊丹まどか	本調査地点			
2	由比ガ浜二丁目110番5	菊川英政 小林重子	2001	菊川英政	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書17-1	鎌倉市教育委員会
3	由比ガ浜二丁目113番5外	伊丹まどか	2011	伊丹まどか	神奈川県埋蔵文化財調査報告56	神奈川県教育委員会
4	由比ガ浜二丁目107番5	鈴木絵美	2009		神奈川県埋蔵文化財調査報告54	神奈川県教育委員会
5	由比ガ浜二丁目107番1	馬淵和雄 汐見一夫	1997	汐見一夫 川又隆央 ほか	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書13-2	鎌倉市教育委員会
6	由比ガ浜二丁目106番6・7	汐見一夫	2002	汐見一夫 田畑衣理 ほか	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書18-1	鎌倉市教育委員会
7	由比ガ浜二丁目39番14	原廣志	2010	原廣志	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書26-1	鎌倉市教育委員会
8	由比ガ浜二丁目27番9	田代郁夫	1990		神奈川県埋蔵文化財調査報告32	神奈川県教育委員会
9	由比ガ浜二丁目19番4	馬淵和雄	2013	馬淵和雄 沖本道 根元志保	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書29-1	鎌倉市教育委員会
10	由比ガ浜二丁目18番12	宗臺秀明	1992	宗臺秀明 宗臺富貴子	下馬周辺遺跡	下馬周辺遺跡発掘調査団
11	由比ガ浜二丁目3番6	宮田眞 滝沢晶子	2010	宮田眞	下馬周辺遺跡発掘調査報告書	株式会社 博通
12	由比ガ浜二丁目3番7	田代郁夫	2007		神奈川県埋蔵文化財調査報告51	神奈川県教育委員会
13	由比ガ浜二丁目2番12	齋木秀雄 熊谷満	1998	熊谷満 齋木秀雄	鎌倉遺跡調査会調査報告7 下馬周辺遺跡発掘調査報告書4	下馬周辺遺跡発掘調査団 鎌倉遺跡調査会
14	由比ガ浜二丁目2番10	福田誠	1992		神奈川県埋蔵文化財調査報告34	神奈川県教育委員会
15	由比ガ浜二丁目2番2	福田誠	1990		神奈川県埋蔵文化財調査報告32	神奈川県教育委員会

調査地点名

第一章 遺跡概要

1. 調査地点の位置と歴史的環境（図1）

鎌倉市街地のほぼ中心を南北に貫く若宮大路は、北の鶴岡八幡宮から南の相模湾に向かっている。若宮大路には上・中・下、三ヶ所の下馬があったとされ、現在の地名で「下馬四つ角」と称される交差点がかつての「下の下馬」である。この交差点で若宮大路を東西に横切る県道311号線は、古代においては宝亀2年（771）以前の古東海道、また中世期では大町大路と考えられている。この大町大路は、東は名越の切通し、西は極楽寺坂・大仏坂へと至り、鎌倉とその域外とを東西に結ぶ中世鎌倉の幹線道路であった。大町大路は下の下馬を境に、東は町屋免許を持つ米町・魚町などの商業地域であったとされ、西は近年の調査成果によって道路に沿うような形で方形竪穴建物が立ち並ぶことがわかってきている。

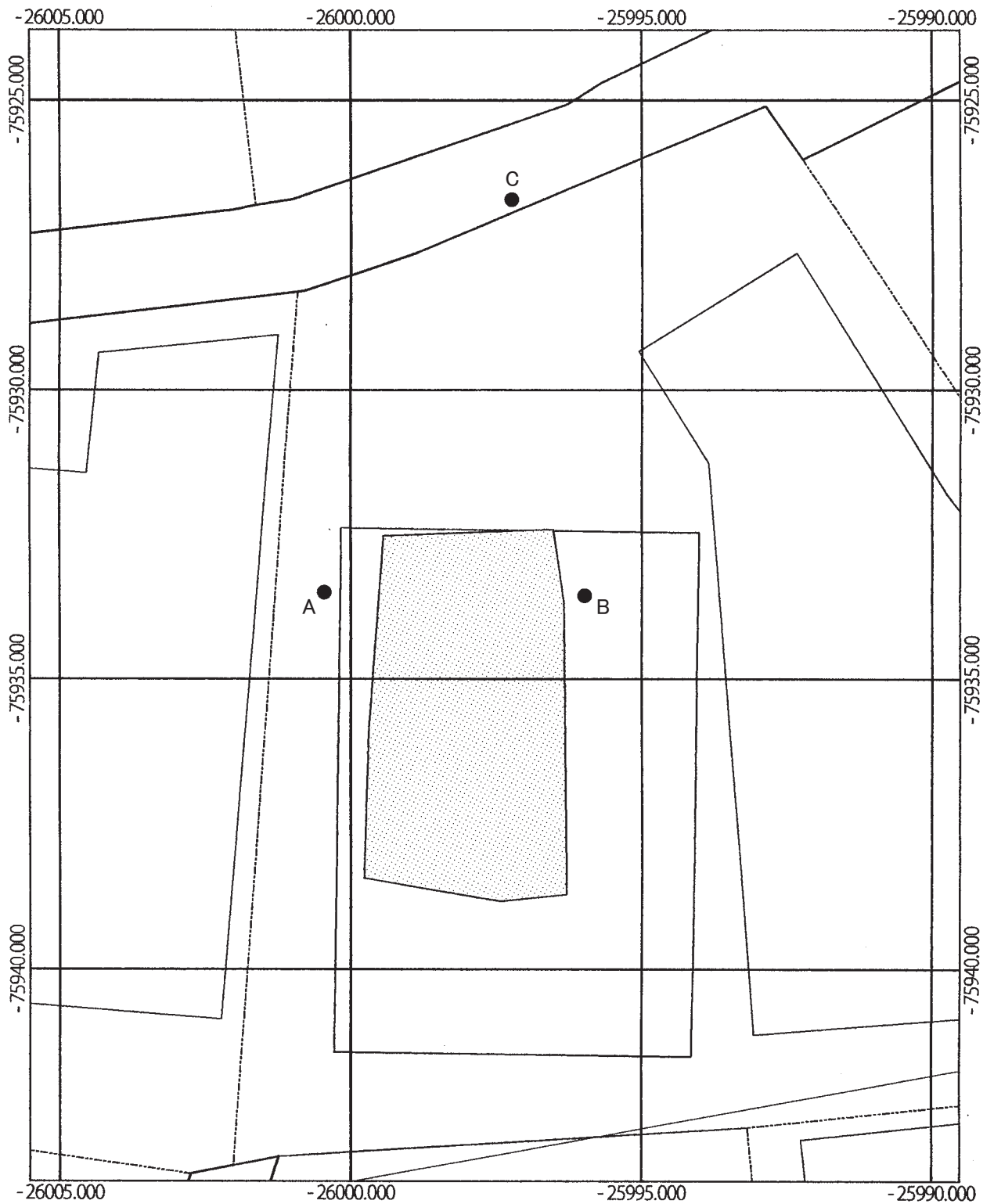
「下の下馬」から約350m西では、若宮大路の西を南北に平行して走る今小路と交叉する六地藏がある。大町大路と考える道路はここから遺跡表記を長谷小路と変えている。長谷小路は一般的には鎌倉中期以降に創建された長谷寺と六地藏までの道筋を言うが、中世に他の大路（小路）のように幹線道路として通称されていたかは定かではない。この道筋にも倉庫や工房などの機能が想定される方形竪穴が立ち並び、出土遺物からみると職能人が多く移住した地域であったことが明らかにされている。遺跡地は「下馬四つ角」から西へ約250m行き、道路から約50m南に入ったところに位置する。

2. 調査の経過（図2）

調査開始にあたって調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、調査時の成果表は日本測地系（座標AREA9）の国土座標値を使用したため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系第IX形に変換し、図2に表記した。

3. 堆積土層（図3）

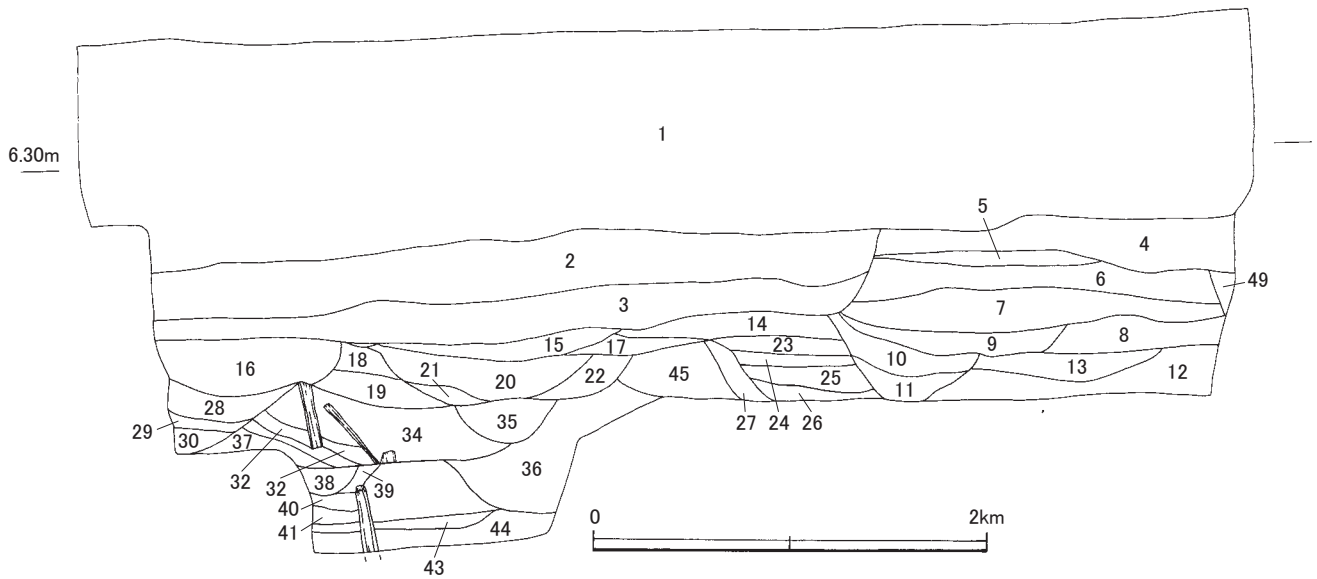
現地表の海拔高は約7mを測り、ほぼ平坦な宅地を形成していた。現地表下約100cmまで堆積していた近・現代の客土を重機によって除去した後、中世遺構の確認を実施した。除去した客土以下で3枚の生活面を調査し記録している。第1面は炭化物・泥岩粒・貝を含む堅く締まった暗茶褐色弱粘質土（第6層）上で遺構を発見した。第1面の海拔高は約5.9mを測る。第1面で発見した遺構は落ち込み状遺構・竪穴建物・ピットである。第1面構成土を約20cm掘り下げ、泥岩粒・炭化物を含むやや締まりの良い茶褐色弱粘質土（10・11・12・13層）上で第2面の遺構を発見した。第2面の海拔高は約5.7mを測る。第2面で発見した遺構は土坑・ピットである。第2面の構成土を約30cm掘り下げ、泥岩粒・泥岩・灰褐色砂質土・褐色有機質土を含む、締まった茶褐色弱粘質土（17・22・34・35層）上で遺構を発見した。第3面で発見した遺構は土坑・ピット・溝である。第3面の遺構確認後、調査区北東にトレンチを設け下層の堆積を確認し、第3面を約20cm掘り下げた層で礎板を伴うピットを発見し、現地表下約310cmまで掘り下げたところで中世基盤層と考える青灰色砂層を確認している。



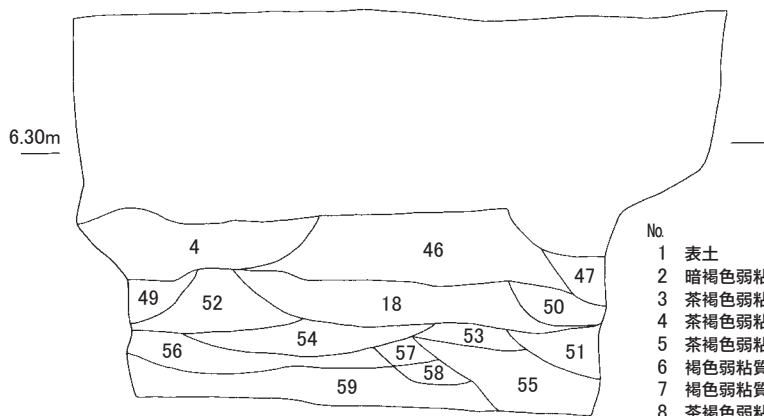
地点	日本測地系		世界測地系	
	X	Y	X	Y
A	-76290.211	-75707.028	-75933.505	-26000.465
B	-76290.267	-25702.548	-75933.562	-25995.985
C	-76283.405	-25703.793	-75926.700	-25997.230

図2 グリッド配置図

<調査区 東壁セクション>

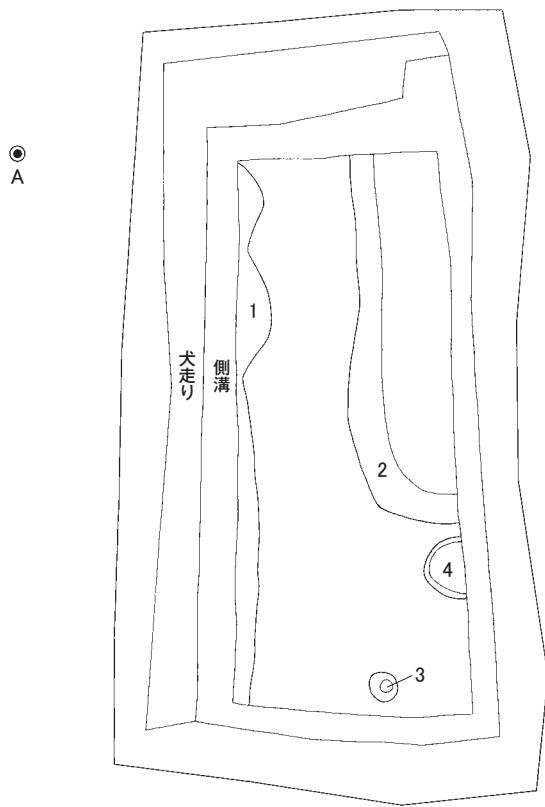


<調査区 西壁セクション>

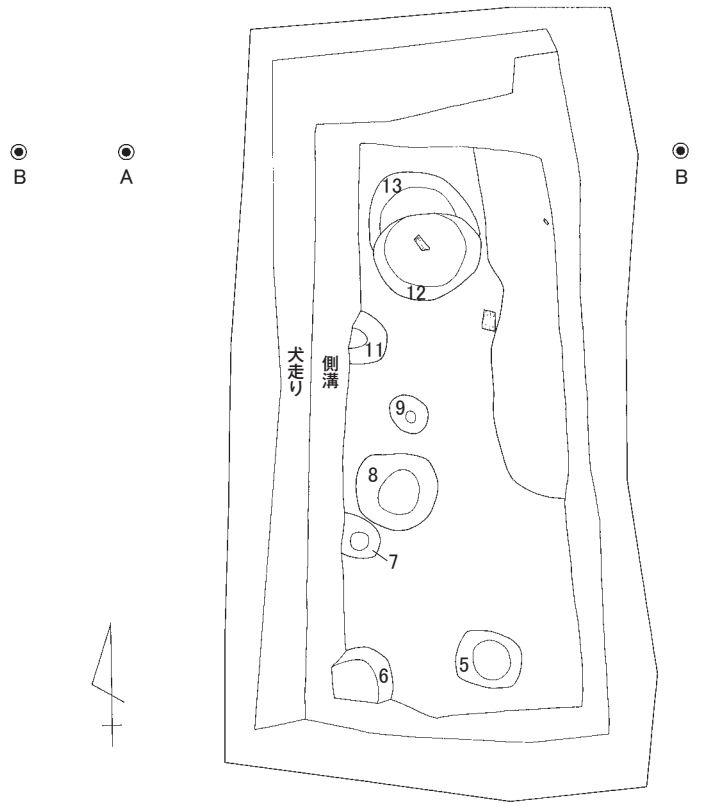


- | No. | 土層注記 |
|-----|---|
| 1 | 表土 |
| 2 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒 (遺構2) |
| 3 | 茶褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・褐色有機質土 |
| 4 | 茶褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・褐鉄・硬く締まる |
| 5 | 茶褐色弱粘質土-貝・硬く締まる (第2面構成土) |
| 6 | 褐色弱粘質土-炭化物・貝・褐色有機質土・青灰色砂質土 (第2面構成土) |
| 7 | 褐色弱粘質土-炭化物・貝・泥岩粒・泥岩・貝砂 (第2面構成土) |
| 8 | 茶褐色弱粘質土-灰褐色砂質土と茶褐色弱粘質土の互層・炭化物・褐色有機質土 (第3面構成土) |
| 9 | 暗褐色弱粘質土-褐色有機質土 |
| 10 | 暗褐色弱粘質土-褐色有機質土 |
| 11 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土・炭化物・貝砂 |
| 12 | 暗褐色弱粘質土-炭化物・褐色砂質土・貝・褐色有機質土 |
| 13 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物 |
| 14 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・褐色有機質土・貝 (第3面構成土) |
| 15 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・褐色有機質土・褐色砂質土 |
| 16 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・褐色有機質土 (溝) |
| 17 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・褐色有機質土・褐色砂質土 (第3面構成土) |
| 18 | 茶褐色弱粘質土-灰褐色砂質土と茶褐色弱粘質土の互層・炭化物・褐色有機質土 (第3面構成土) |
| 19 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土 (溝) |
| 20 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土・褐色有機質土・貝砂 (溝) |
| 21 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土 (溝) |
| 22 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土・褐色有機質土・貝砂・硬く締まる (溝) |
| 23 | 茶褐色弱粘質土-褐色有機質土・貝砂 |
| 24 | 炭化物層-褐色有機質土 |
| 25 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物 |
| 26 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土 |
| 27 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土 |
| 28 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土・炭化物・泥岩粒・貝砂 (溝) |
| 29 | 暗褐色弱粘質土-褐色有機質土・貝砂・白色粒 (溝) |
| 30 | 茶褐色有機質土-炭化物 (溝) |
| 31 | 暗褐色弱粘質土-炭化物・褐色砂質土・貝・褐色砂 (溝) |
| 32 | 暗褐色弱粘質土-貝砂 (溝) |
| 33 | 褐色弱粘質土-泥岩粒・貝砂・褐色有機質土 (溝) |
| 34 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・褐色有機質土 (溝) |
| 35 | 暗褐色弱粘質土-炭化物・黒色有機質土・貝砂 (溝) |
| 36 | 黒色粘質土-褐色有機質土・炭化物 |
| 37 | 灰褐色砂質土-褐色有機質土・貝砂 |
| 38 | 茶褐色弱粘質土-炭化物・褐色有機質土 (溝) |
| 39 | 暗褐色弱粘質土-炭化物 |
| 40 | 褐色砂質土-褐色有機質土・貝砂 (溝) |
| 41 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・褐色有機質土・貝砂 (溝) |
| 42 | 黒色粘質土-茶色有機質土 |
| 43 | 茶色有機質土-炭化物 |
| 44 | 灰褐色弱粘質土-炭化物・褐色有機質土・植物遺体 |
| 45 | 暗褐色弱粘質土-褐色有機質土・貝砂 |
| 46 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・硬く締まる (第1面構成土) |
| 47 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・褐鉄・褐色砂質土 |
| 48 | 茶褐色弱粘質土-炭化物・泥岩粒 |
| 49 | 茶褐色弱粘質土-炭化物・泥岩粒・泥岩・褐色有機質土 |
| 50 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・褐鉄 |
| 51 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物 |
| 52 | 茶褐色弱粘質土-炭化物・泥岩粒・青灰色砂質土・褐色有機質土 |
| 53 | 暗褐色弱粘質土-炭化物・褐色有機質土・灰褐色砂質土 |
| 54 | 暗褐色弱粘質土-泥岩粒・炭化物・褐色有機質土 |
| 55 | 暗褐色弱粘質土-炭化物・青灰色砂質土・褐色有機質土 |
| 56 | 茶褐色砂質土-灰褐色砂質土・褐色有機質土・炭化物 (第3面構成土) |
| 57 | 暗褐色弱粘質土-褐色有機質土 |
| 58 | 貝層 |
| 59 | 暗褐色弱粘質土-褐色砂質土・炭化物 |

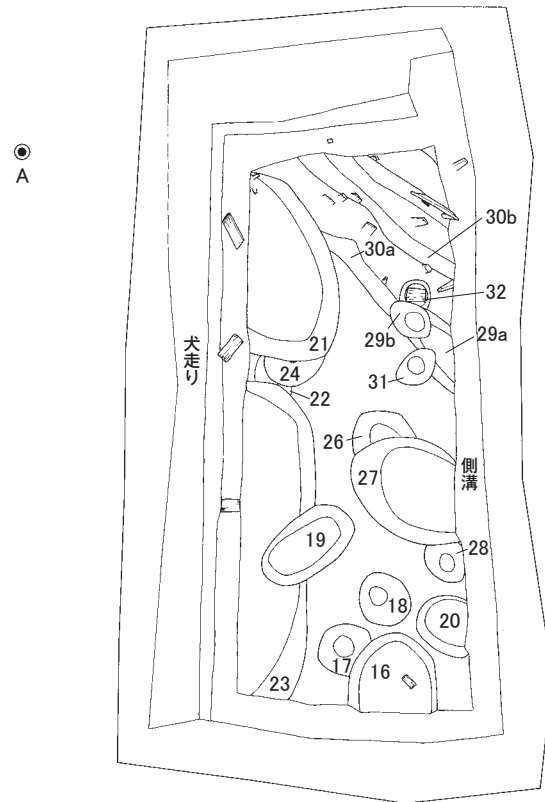
図3 堆積土層図



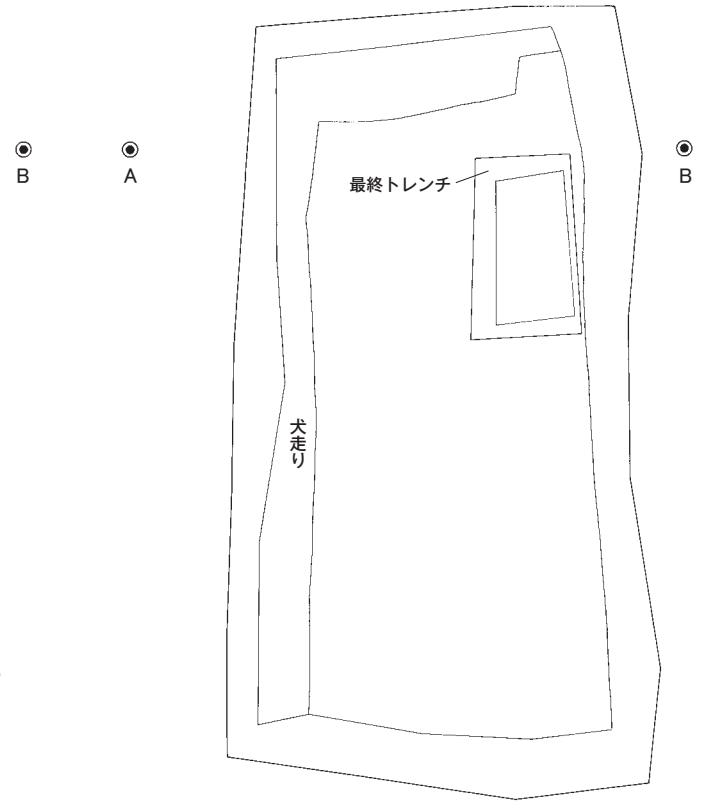
第1面全測図



第2面全測図



第3面全測図



最終トレンチ配置図



図4 第1面・第2面・第3面全測図・最終トレンチ位置図

第二章 発見された遺構と遺物

重機によって表土掘削を行った。現地表から約50cm掘り下げた時点で、湧水によって調査区の壁が崩れていくような状況となったため調査区四周に側溝を設けた。また、調査区の一部を排水処理のために深堀し、常時ポンプによる排水をしながら調査を行った。調査地内での廃土の処理場が狭小であったことや、水を多く含んだ廃土の処理に困難な現場であった。本調査では3枚の生活面と、それぞれの面で竪穴建物・溝・土坑・ピットを発見した。遺物はかわらけ・常滑窯製品・瀬戸窯製品などの中世遺物とともに、少量ではあるが土師器・須恵器などの古代遺物を発見している。遺構番号は調査時の作業の簡便を測るために遺構のプランに対して付してあり、必ずしも番号の新旧が時代の新旧を表すものではない。以下、層位毎に発見した遺構・遺物の説明を加えていく。

1. 第1面の遺構と遺物 (図4～図6)

表土から約100cmの厚さで堆積した現代埋土を重機によって除去し、貝・炭化物を含む締まりの良

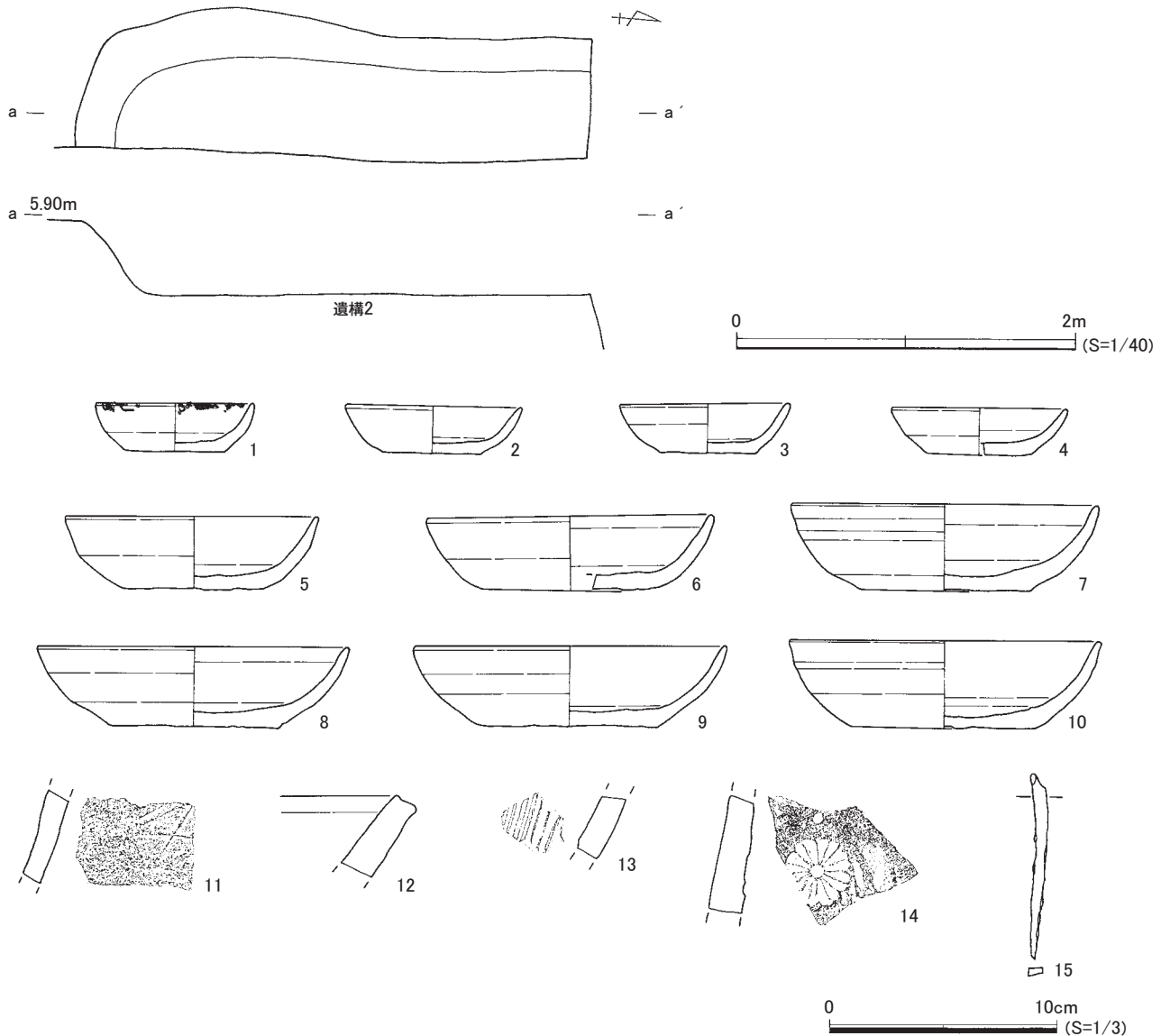


図5 第1面 遺構2

い暗茶褐色弱粘質土上で第1面遺構を確認した。発見した遺構は竪穴建物1軒・ピット1穴・土坑1基・溝状遺構1基と少なく、出土した遺物も少量である。調査区西壁に沿って発見した遺構1は溝状遺構として記録したが、調査区外に遺構が延びており形状・規模は不明である。

・遺構2 (図5)

調査区外に遺構が延び規模は不明、遺構上層を削平され深度は浅くなったが竪穴建物である。遺構覆土は貝・炭化物・植物遺体を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図5)

1～10はかわらけ。1は口唇部に油煤痕。11は常滑甕。12は常滑片口鉢Ⅱ類。13は備前播鉢。14は瓦器質火鉢。15は鉄製品釘。その他に常滑片口鉢Ⅱ類・獣骨が破片で出土している。また実測したかわらけは10点であるが破片でかわらけ(大)107片・(小)6片が出土した。

・第1面構成土出土遺物 (図6)

第1面検出後、第2面までの掘り下げ時に発見した遺物である。1・2は常滑片口鉢Ⅰ類。3は常滑片口鉢Ⅱ類。4は瓦器質火鉢。5は石製品硯。6は石製品砥石。その他にかわらけ・手づくね・瀬戸皿・常滑甕・土器質火鉢・須恵器甕・獣骨が破片で出土している。

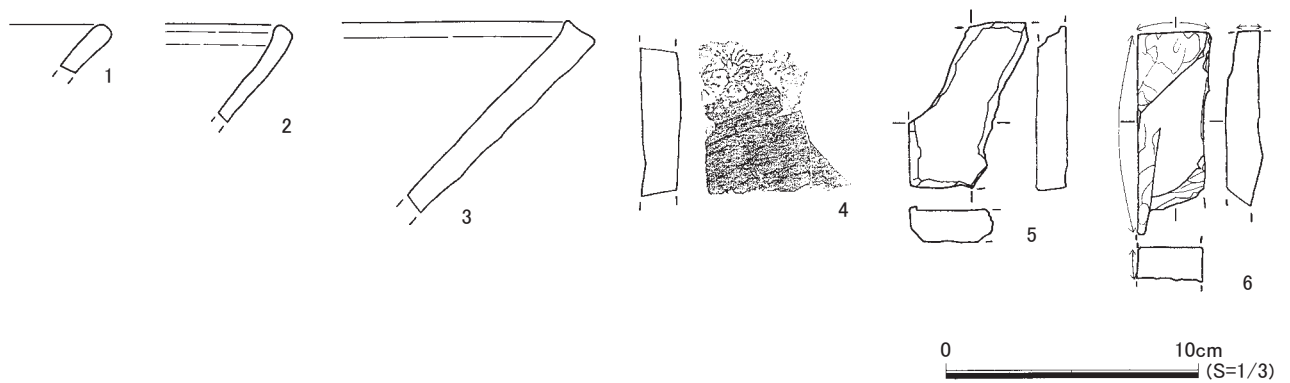


図6 第1面構成土出土遺物

2. 第2面の遺構と遺物 (図4・図7・図8)

第1面検出後、約20cm掘り下げて、炭化物・貝・泥岩粒・泥岩を含む締まりの良い茶褐色弱粘質土上で第2面を確認した。発見した遺構は土坑6基・ピット3穴である。土坑内、面上に礎板状の板材が遺存していたが、建物址を推定することは出来なかった。第2面で発見した遺構の覆土には炭化物が多く含まれ、焼痕の残る木片・石材なども発見されている。

・遺構5 (図7)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物・貝を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図7)

1・2はかわらけである。その他に常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類・獣骨が破片で出土している。

・遺構7 (図7)

調査区外に遺構が延び形状は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物を含む暗褐色

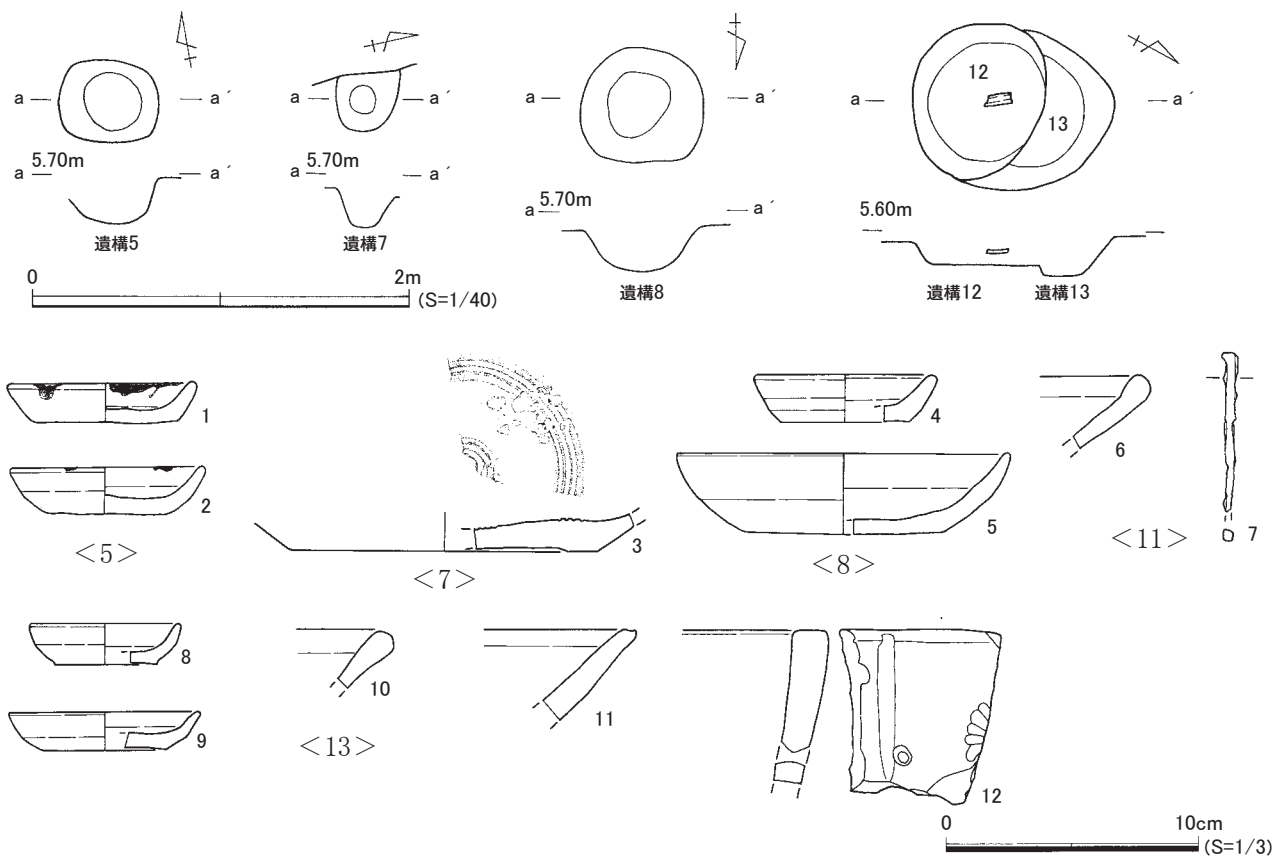


図7 第2面個別遺構

弱粘質土。

・出土遺物 (図7)

3は瀬戸折縁皿。その他にかわらけが破片で出土している。

・遺構8 (図7)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図7)

4・5はかわらけ。その他に常滑甕・石製品硯が破片で出土している。

・遺構11 (図4)

個別に図示していない。調査区外に遺構が延びており規模は不明となった。土坑である。遺構覆土は泥岩・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図7)

6は常滑片口鉢I類。7は鉄製品釘。その他にかわらけが破片で出土している。

・遺構12 (図7)

遺構12と遺構13は当初同一遺構として掘り下げたが、覆土断面から二つの土坑が切りあっていたことを確認したため、出土遺物は遺構13に一括して記録した。楕円形を呈する土坑である。土坑底面近くに礎板を有する。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・火熱を受け炭化物を吸着する安山岩・灰を含む。

・遺構13 (図7)

遺構12に切られる。土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・炭化物・木片・植物遺体を含む。

・出土遺物 (図7)

8・9はかわらけ。10・11は常滑片口鉢Ⅰ類。12は瓦器質輪花型火鉢。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・獣骨が破片で出土している。

・第2面面上出土遺物 (図8)

第1面構成土を掘り下げ、第2面とした茶褐色弱粘質土上で発見した遺物である。

1は常滑片口鉢Ⅱ類。その他に瀬戸壺・常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類・瓦器質火鉢・獣骨が破片で出土している。

・第2面構成土出土遺物 (図8)

第2面検出後、第3面までの掘り下げ時に発見した遺物である。

2～7はかわらけ。8は青磁折縁鉢。9は山茶碗。10・11は常滑甕。12・13は常滑片口鉢Ⅰ類。14は常滑片口鉢Ⅱ類。15は備前播鉢。16は土器質火鉢。17は土器質罽釜。18・19は石製品砥石。その他に青磁無文椀・青白磁梅瓶蓋・常滑壺・常滑片口鉢Ⅱ類・伊勢系土鍋・不明土製品・瓦器質火鉢・獣骨が破片で出土している。

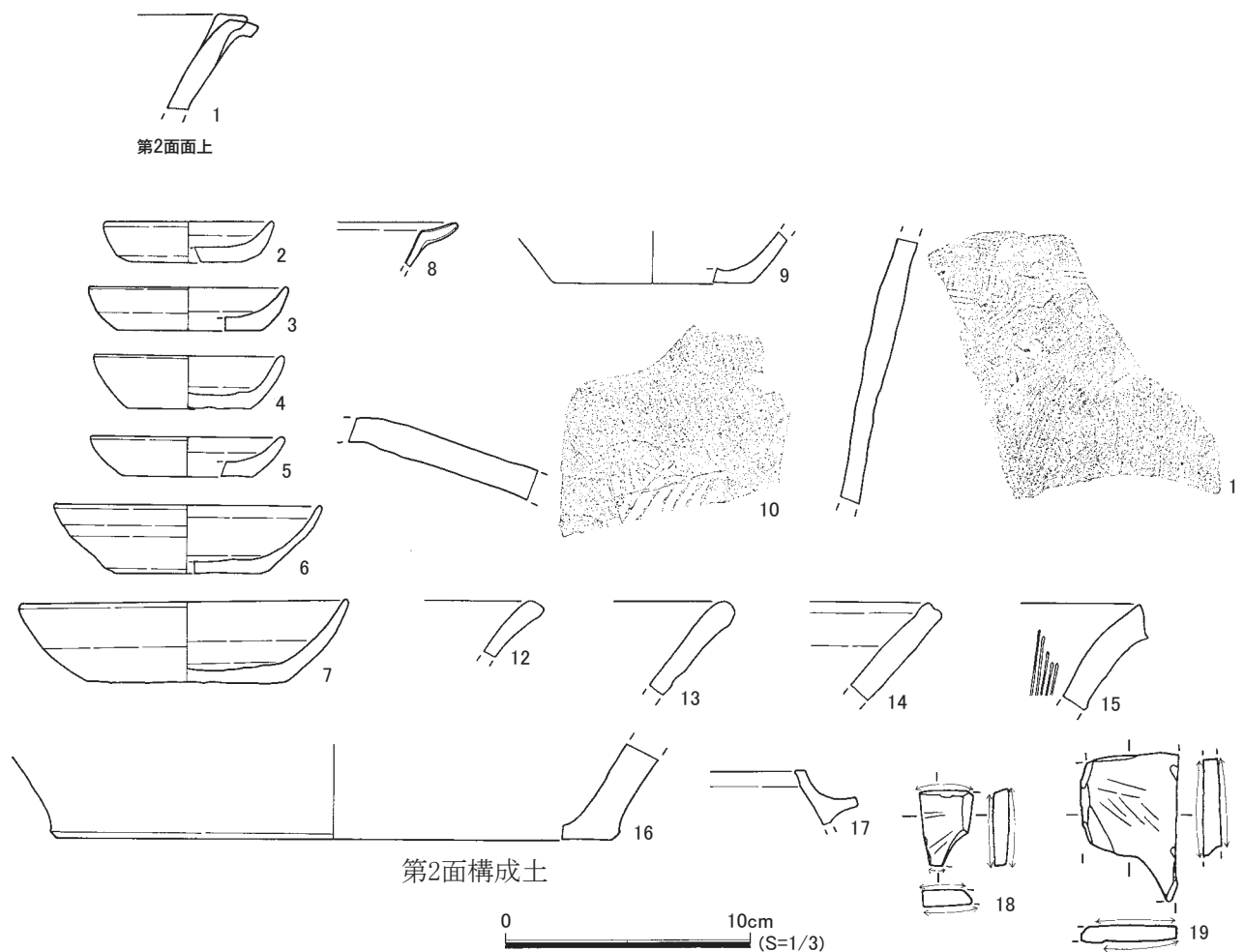


図8 第2面面上・構成土出土遺物

3. 第3面の遺構と遺物 (図4・図9・図10)

第2面検出後、約30cm掘り下げて、炭化物・貝・泥岩粒・泥岩・灰褐色砂質土を含む締まりの良い茶褐色弱粘質土上で第3面を確認した。発見した遺構は土坑8基・ピット7穴・溝2条である。2時

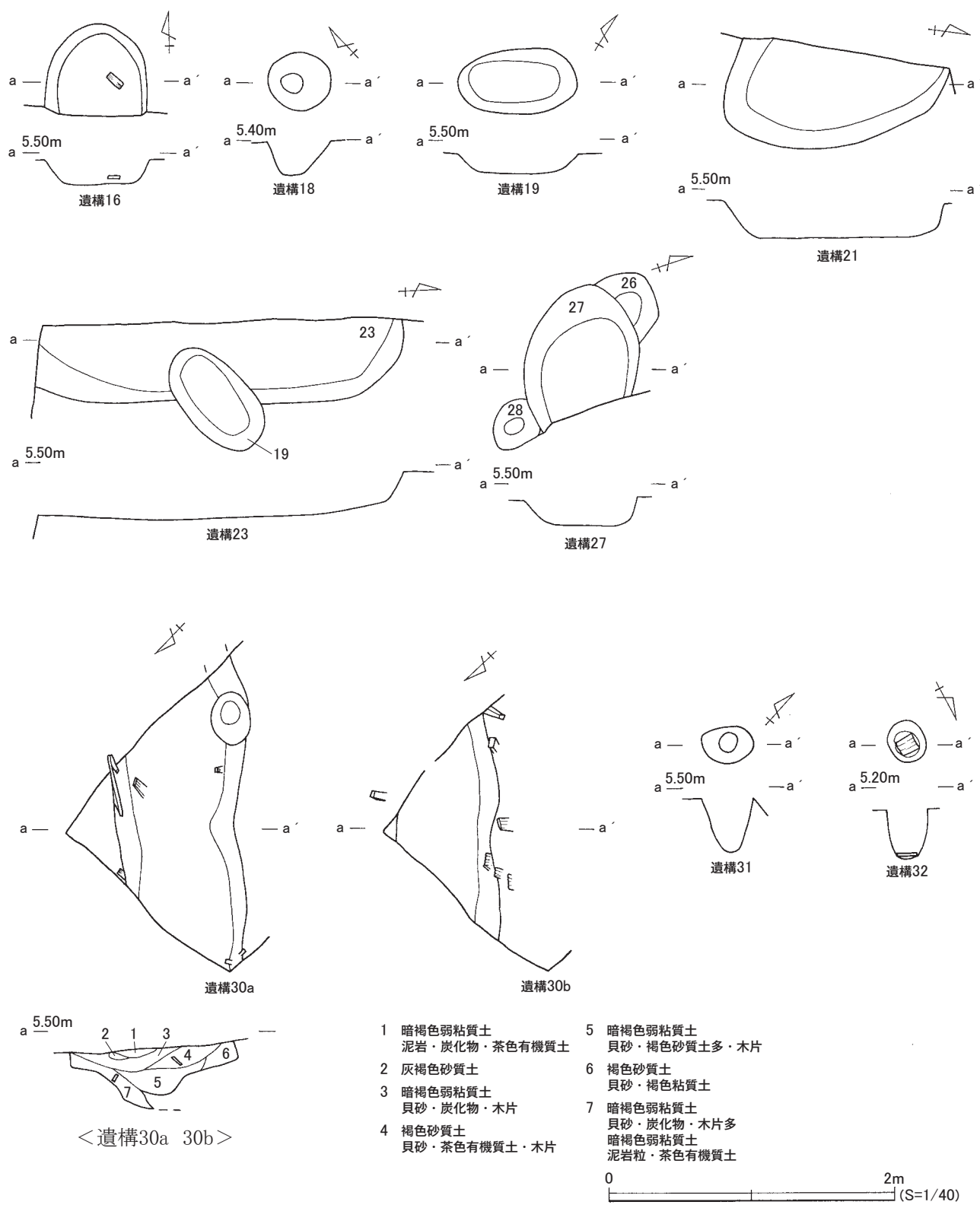


図9 第3面個別遺構

期の遺構が切りあっていた。第2面同様に、面上・遺構覆土内に礎板を発見しているが建物を推定することは出来なかった。

・遺構 16 (図9)

調査区外に遺構が延び、規模・形状は不明。遺構底面近くに礎板状の木片を有する。遺構覆土は暗

褐色弱粘質土・木片・青灰色砂質土・褐色粘土を含む。

・**出土遺物 (図 10)**

1 は瀬戸卸皿。2 は黄釉盤。3 は鉄製品釘。その他にかわらけ・青磁鎬蓮弁文碗・瀬戸洗・常滑甕・常滑片口鉢 I 類・獣骨が破片で出土している。

・**遺構 18 (図 9)**

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土・泥岩粒・炭化物・木片を含む。

・**出土遺物 (図 10)**

4 は常滑片口鉢 I 類。5 は鉄製品釘。その他にかわらけ・常滑甕・獣骨が破片で出土している。

・**遺構 19 (図 9)**

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。木片・青灰色砂質土を含む。

・**出土遺物 (図 10)**

6 は骨製品用途不明。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

・**遺構 21 (図 9)**

調査区外に遺構が延び、規模・形状は不明となった。土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・褐色有機質土・木片を含む。

・**出土遺物 (図 10)**

7・8 はかわらけ。9 は渥美甕。10 は石製品加工途中。その他に白磁皿・常滑甕・漆喰・獣骨が破片で出土している。

・**遺構 22 (図 4)**

個別に図示していない。遺構 23・遺構 24 に切られる。土坑である。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・褐色有機質土・青灰色砂質土・褐鉄を含む。

・**出土遺物 (図 10)**

11 は常滑片口鉢 I 類。その他にかわらけ・瀬戸卸皿・常滑甕が破片で出土している。

・**遺構 23 (図 9)**

調査区外に遺構が延び、規模・形状は不明となった。土坑である。遺構 19 に切られる。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。火熱を受けた安山岩・炭化物・貝・礎板、部材等の木片を多く含む。

・**出土遺物 (図 10)**

12 は白磁碗。13～15 はかわらけ。16 は常滑片口鉢 I 類。17 は常滑片口鉢 II 類。18 はかわらけ加工品。その他にかわらけ・常滑甕・瓦器質火鉢・石製品硯・獣骨が破片で出土している。実測は出来なかったが、かわらけは (大) 85 片・(小) 4 片を数えた。

・**遺構 26 (図 9)**

遺構 27 に切られる。ピットである。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土。貝・青灰色砂質土を含む。遺物はかわらけ・常滑甕・獣骨が破片で出土している。

・**遺構 27 (図 9)**

調査区外に遺構が延び規模は不明。楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土。炭化物・褐色有機質土・泥岩粒を含む。

・**出土遺物 (図 10)**

19 は常滑甕。その他にかわらけ・手づくね・常滑片口鉢 I 類・常滑片口鉢 II 類・獣骨が破片で出土している。

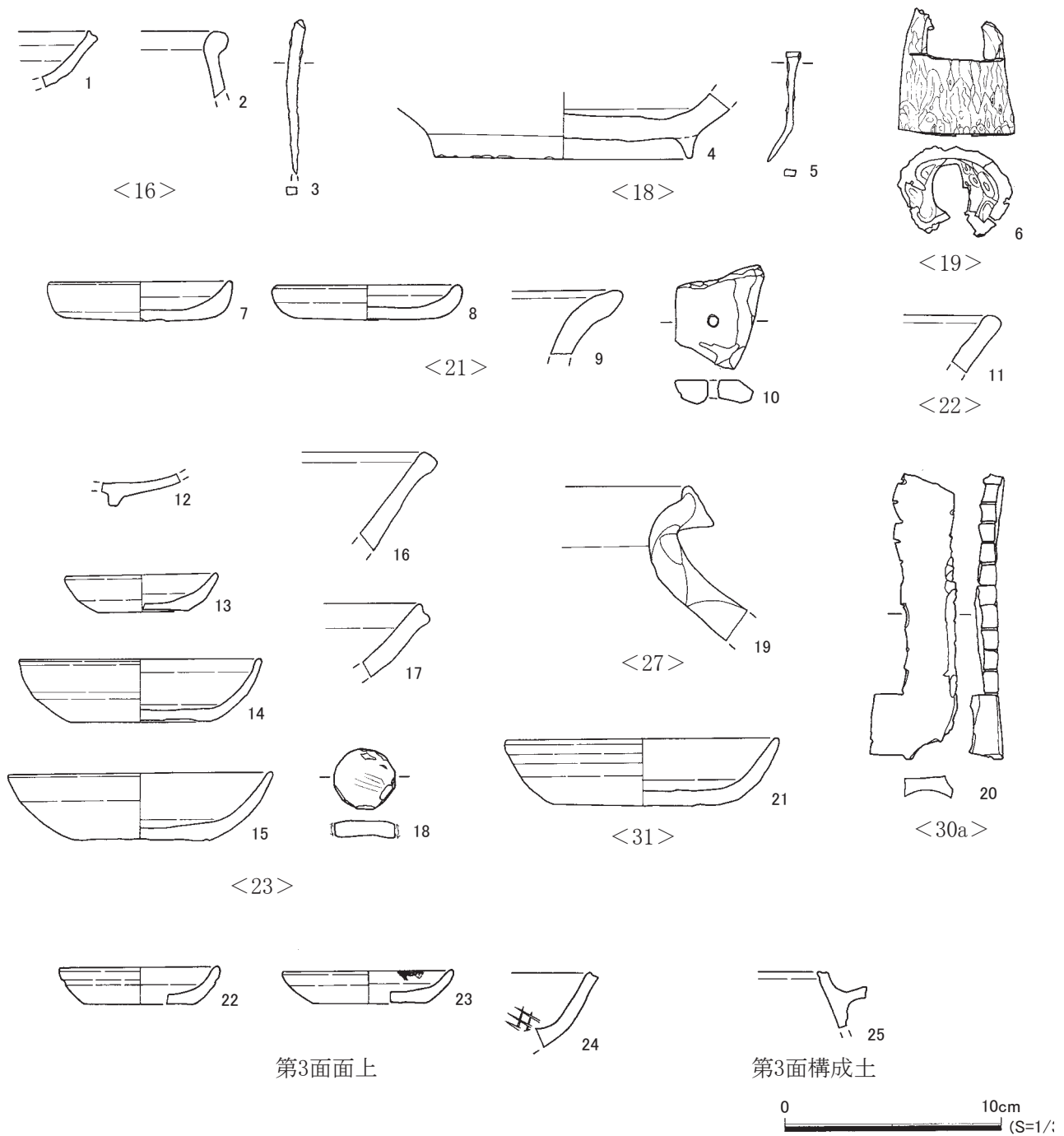


図 10 第 3 面遺構・第 3 面面上・構成土出土遺物

・遺構 28 (図 9)

遺構 27 に切られる。円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。貝・炭化物・泥岩粒・青灰色砂質土を含む。遺物はかわらけ・手づくね・漆喰が破片で出土している。

・遺構 30a (図 9)

調査区外に遺構が延び規模は不明となった。溝である。流下方向は不明。幅約 84cm のやや狭い溝であるが、杭を打ち溝壁に沿って側板を止める方法で護岸を行っていることが分かった。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。泥岩粒・褐色砂質土・褐色有機質土を含む。後述する遺構 30b を切る。平面で確認したのは遺構 30a と遺構 30b の 2 条であったが、第 3 面の調査後にトレンチを設け堆積層確認を行った際、

ほぼ同位置に杭と側板を使った護岸を持つ溝が下層に2条あったことが分かった。遺存していた何本かの杭の先端には焼痕があり火災などの火熱を受けた様子である。

・出土遺物 (図 10)

遺構 30a と遺構 30b は遺物採集時に混乱してしまい、遺物を分ける事が出来なかったため一括して採集している。20 は骨製品用途不明。その他にかわらけ・手づくね・瀬戸折縁皿・褐釉壺・常滑甕・常滑壺・常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類・獣骨が破片で出土している。

・遺構 30b (図 9)

調査区外に遺構が延び正確な規模は不明となった。約 80cm の幅を持つ溝である。流下方向は不明。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。褐色砂質土を多く含み、貝砂・褐色有機質土を含む。遺物は遺構 30a に一括して採集した。

・遺構 31 (図 9)

円形を呈するピットである。遺構覆土は暗褐色弱粘質土。炭化物・貝を含む。

・出土遺物 (図 10)

21 はかわらけ。その他に獣骨が出土している。また、焼痕のある箸状木製品を覆土内に多く含んでいた。

・遺構 32 (図 9)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板を有する。遺構覆土は暗茶褐色弱粘質土。泥岩・茶色有機質土を含む。遺物は貝・木片・果核が出土している。

・第 3 面面上出土遺物 (図 10)

第 2 面構成土を掘り下げ、第 3 面とした茶褐色弱粘質土上で発見した遺物である。22～23 はかわらけ。24 は瀬戸卸皿。その他に常滑甕・常滑壺・常滑片口鉢Ⅰ類・渥美甕・瓦器質火鉢・チャート・獣骨が破片で出土している。

・第 3 面構成土出土遺物 (図 10)

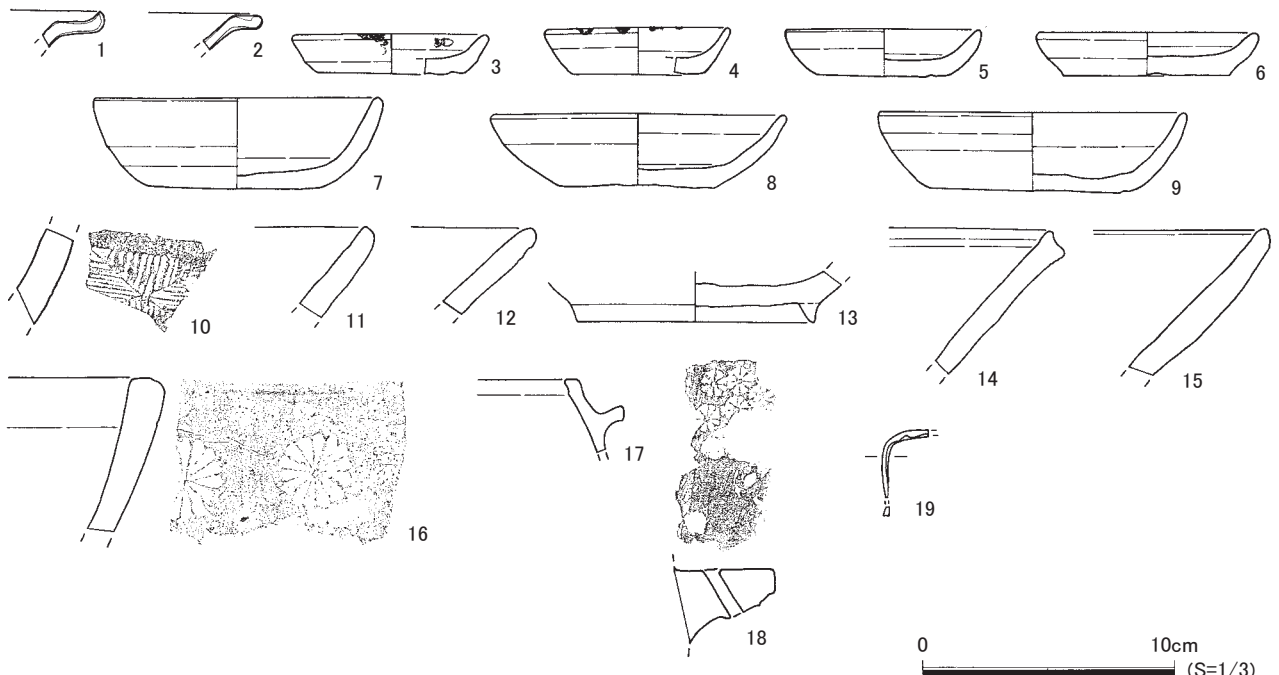


図 11 表採

第3面検出後トレンチを設け下層の堆積層を確認した際に発見した遺物である。25は土器質鍔釜。その他にかわらけ・手づくね・常滑甕・伊勢系土鍋が破片で出土している。

・表採出土遺物（図11）

表土から第1面面上までの堆積土中で発見した遺物である。

1～9はかわらけ。10は常滑甕。11～13は常滑片口鉢Ⅰ類。14・15は常滑片口鉢Ⅱ類。16・18は瓦器質火鉢。17は土器質鍔釜。19は鉄製品釘。

<遺構計測表>

層位	遺構名	長軸	短軸	深さ	層位	遺構名	長軸	短軸	深さ
第1面	1	(440.0)	(29.0)	(26.4)	第3面	16	(65.0)	72.0	16.7
	2	(302.0)	(85.0)	33.2		17	43.0	(33.0)	18.5
	3	25.0	23.0	20.3		18	42.0	42.0	26.8
	4	(33.0)	49.0	22.9		19	83.0	45.0	13.5
第2面	5	53.0	45.0	24.7		20	(42.0)	50.0	19.8
	6	(48.0)	(43.0)	18.5		21	142.0	(74.0)	26.2
	7	(31.0)	33.0	21.0		22	(33.0)	33.0	22.4
	8	66.0	62.0	23.8		23	(245.0)	(58.0)	33.4
	9	33.0	27.0	13.1		24	(36.0)	49.0	24.6
	11	(28.0)	45.0	12.9		26	(25.0)	50.0	19.9
	12	88.0	70.0	14.0		27	(84.0)	79.0	20.9
	13	84.0	(35.0)	22.1		28	(31.0)	31.0	22.4
						29a	(50.0)	40.0	12.7
						29b	38.0	27.0	18.3
						30a	(184.0)	84.0	31.6
						30b	(115.0)	-	12.0
					31	35.0	26.0	36.8	
					32	30.0	25.0	34.7	

単位 (cm)

第三章 まとめ

本調査地は湧水が激しいため調査区壁に沿って側溝を設けポンプによって常時排水を行い、水を含んだ廃土の処理を狭小な調査地内で処理する困難等に多くの時間を割いた調査となったが、比較的良好に遺構を検出している。現地表から約100cmの深さで堆積していた近・現代の堆積土は重機によって掘り下げ、暗茶褐色弱粘質土上で第1面を検出した。第1面は上層の堆積土によって削平を受け、発見した遺構・遺物は少ない。第1面構成土上層は貝・炭化物を含み固く締まり、下層は貝・植物遺体・細礫を含む暗褐色砂質土が堆積していた。第2面は土坑・ピットを発見している。調査区が狭小なため、調査区外に遺構が延び建物を推定することは出来なかったが、遺構覆土に礎板を伴うピットや、面上に礎板状の板材を発見している。第2面は泥岩・泥岩粒を含む堅く締まった茶褐色弱粘質土上で検出した。遺構覆土は泥岩粒を含む暗褐色弱粘質土と、青灰色砂質土を含む暗褐色弱粘質土の二種類があり、遺構の切り合いを確認することは出来なかったが2時期に分かれるのかもしれない。第2面構成土は貝・炭化物・褐色有機質土・泥岩・泥岩粒を含む堅く締まった暗褐色弱粘質土。第1面と第2面は、出土遺物から14世紀から15世紀の年代が与えられる。第3面は茶褐色弱粘質土上で2時期の遺構を発見した。第2面同様に遺構覆土内に礎板を伴うピットや、面上に礎板状の板材を発見しているが建物址を推定することは出来なかった。その他に第3面では東西に延びる溝を発見している。本報告では2時期の溝を提示しているが、トレンチを設け溝の堆積を確認したところ、下層に少なくとも2時期の溝があったことを確認し、4時期の溝が比較的短期間に造り替えを行っていた様子である。また、この溝の護岸に使用した杭などの木材は、先端に焼痕が残り調査地の火災を示唆している。第3面構成土は木片・褐色有機質土を含む青灰色砂質土で、焼痕を有する木片・石などを多く含む。第3面は出土遺物から13世紀後半から14世紀の年代が与えられる。第3面の遺構を検出後、調査区壁に沿って掘り下げた側溝で、第3面検出レベルから約20cm下で第4面と考える生活面を確認している。この堆積土上では礎板と考える板材を発見しており建物址の存在を窺わせる。また、第3面で発見した溝(遺構30)下層で確認した溝はこの層の遺構であったと考えている。第4面構成土からは、破片のため実測遺物の報告はないがかわらけ・常滑甕とともに、手づくねかわらけが破片で出土している。出土遺物が少量であり、遺構の確認もできなかつたため年代の比定は難しいが、概ね13世紀後半の年代を与えている。第3面検出後、トレンチを設け下層の堆積を確認したが、湧水が激しく凶面等を記録することができなかった。現地表から約310cm掘り下げたところで中世基盤層と考える青灰色砂層を確認した。

本調査地北を東西に走る県道311号線を境に北側と南側で現地表では海拔高に差がないが、中世遺構を発見する海拔高に100cm以上の差があり、中世期には南に向かって海拔高が下がり調査地周辺は後背湿地であったことが近年の調査成果によってわかっている。また、発見する遺構は北側では竪穴建物が中心となるが南側では掘立柱建物、あるいは板壁建物が中心となる。本調査でも建物址を推定することは出来なかったが、遺構覆土内と面上に遺存していた礎板から掘立柱建物の存在が窺えた。第1面と第2面は遺物の出土量が少量であったことや、湧水による調査区壁の崩落などによって、採集に多少の混乱があったため、大きく14世紀から15世紀の年代を与えたが、第3面は14世紀初めから13世紀後半までの間に収まると考えている。しかし、第4面としたトレンチ壁によって確認した第4面は出土遺物が少なく、13世紀後半を遡る確証は得られなかった。

遺物観察表

図版	No.	出土面 遺構	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
5	1	第1面 遺構2	かわらけ	(6.8)	4.4	2.2	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 土丹粒 c.黄橙色 e.良好 f.2/3 g.内外面口唇部に油煤痕 外底糸切の後糸切痕をナデ消しか?
5	2	第1面 遺構2	かわらけ	7.6	4.2	2.1	a.ロクロ・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.完形
5	3	第1面 遺構2	かわらけ	7.4	4.2	2.3	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.完形
5	4	第1面 遺構2	かわらけ	(7.6)	(4.6)	2.1	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.1/2 g.口唇部の一部黒色に変色
5	5	第1面 遺構2	かわらけ	11.1	6.2	3.25	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.ほぼ完形 g.内外面の一部黒色に変色
5	6	第1面 遺構2	かわらけ	(12.4)	(7.8)	3.3	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 黒色粒 小石粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
5	7	第1面 遺構2	かわらけ	(13.4)	(7.4)	3.3	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
5	8	第1面 遺構2	かわらけ	13.4	7.4	3.6	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 小石粒 雲母 c.橙色 e.良好 f.完形
5	9	第1面 遺構2	かわらけ	13.8	7.8	3.6	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 小石粒 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.完形
5	10	第1面 遺構2	かわらけ	(13.4)	(8.2)	3.8	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
5	11	第1面 遺構2	常滑 甕				a.輪積み技法 b.黒灰色 砂粒 白色粒 小石粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.胴部片 g.格子と斜線の押印
5	12	第1面 遺構2	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.暗褐色 砂粒 白色粒 小石粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.口縁部片
5	13	第1面 遺構2	備前 播鉢				b.赤灰色、砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.橙褐色 e.良好・硬質 f.13c~14c g.7条の溝
5	14	第1面 遺構2	瓦器質 火鉢				a.輪積み技法 b.砂粒 雲母 小石粒 白色粒 c.灰褐色 e.良好 f.体部小片 g.Ⅲ類 外側面に16弁の菊花文の押印 14c以降
5	15	第1面 遺構2	鉄製品 釘	(8.1)	(0.6)	(0.6)	a.鍛造・断面方形 f.下端欠損
6	1	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
6	2	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.黒灰色 砂粒 白色粒 c.暗灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
6	3	第1面 構成土	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 小石粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.口縁部片 g.内面摩耗
6	4	第1面 構成土	瓦器質 火鉢				a.輪積み技法 b.砂粒 黒色粒 小石粒 c.黒灰色 e.良好・軟質 f.胴部片 g.外面横位の磨き痕 Ⅲ類
6	5	第1面 構成土	石製品 硯	6.6	4.8	1.3	f.破片 g.赤間ヶ関産
6	6	第1面 構成土	石製品 砥石	8.0	2.9	1.4	c.黄白色 f.破片 g.カワ遺存 伊予産 中砥
7	1	第2面 遺構5	かわらけ	7.3	5.8	1.7	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 土丹粒 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.ほぼ完形 g.内外面口唇部が黒色に変色
7	2	第2面 遺構5	かわらけ	7.6	4.8	2.0	a.ロクロ・外底回転糸切・内底強く回転ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 小石粒 雲母 c.橙色 e.良好 f.2/3 g.口唇部内外面の一部に油煤痕あり
7	3	第2面 遺構7	瀬戸 折縁皿			(12.2)	a.ロクロ b.砂粒 良土 c.灰色 d.灰緑色 ツケ掛け e.良好・硬質 f.1/3 g.内底中央と見込み周囲に4条の沈線がめぐり 内底に目痕
7	4	第2面 遺構8	かわらけ	(7.0)	(5.2)	1.9	a.ロクロ・外底回転糸切 b.微砂 海綿骨芯 雲母 赤色粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
7	5	第2面 遺構8	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.2	a.ロクロ・外底回転糸切 b.微砂 海綿骨芯 雲母 小石粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/2 g.内側面の一部黒色に変色
7	6	第2面 遺構11	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.暗灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.暗灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片 g.6a
7	7	第2面 遺構11	鉄製品 釘	(6.3)	(0.6)	(0.5)	a.鍛造・断面方形 g.下端欠損
7	8	第2面 遺構13	かわらけ	(5.8)	(4.0)	1.6	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.1/5
7	9	第2面 遺構13	かわらけ	(7.4)	(4.8)	1.5	a.ロクロ・外底回転糸切・内底回転ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 小石粒 雲母 c.黄橙色 e.良好 f.1/4
7	10	第2面 遺構13	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片 g.外面と口縁部に黒色のもの付着 漆か
7	11	第2面 遺構13	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 黒色粒 小石粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片 g.外面の一部二次焼成をうけたか黒色に変色 1b
7	12	第2面 遺構13	瓦器質 輪花型火鉢				a.輪積み技法 b.黄橙色 砂粒 雲母 黒色粒 白色粒 c.灰黒色 e.軟質 f.口縁部片 g.器壁に穿孔あり 外側面に菊花文の押印弁数不明
8	1	第2面 面上	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.黒灰色 砂粒 白色粒 c.暗灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
8	2	第2面 構成土	かわらけ	(6.8)	(4.8)	1.7	a.ロクロ・外底回転糸切 b.微砂 雲母 海綿骨芯 小石粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
8	3	第2面 構成土	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.8	a.ロクロ・外底回転糸切 b.微砂 雲母 海綿骨芯 黒色粒 c.暗灰色 e.良好 f.1/4
8	4	第2面 構成土	かわらけ	(7.6)	(5.0)	2.2	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
8	5	第2面 構成土	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.6	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 雲母 小石粒 c.橙色 e.良好 f.1/3
8	6	第2面 構成土	かわらけ	(10.8)	(6.0)	2.8	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 黒色粒 赤色粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/3
8	7	第2面 構成土	かわらけ	13.3	8.2	3.5	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/2

単位 (cm)

遺物観察表

図版	No.	出土面 遺構	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
8	8	第2面 構成土	青磁 折縁鉢				a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.灰緑色 半透明 厚い e.良好 f.口縁部片 g.貫入あり
8	9	第2面 構成土	南部系 山茶碗			(8.2)	a.ロクロ b.砂粒 白色粒 小石粒 c.暗灰色 e.良好・硬質 f.1/6 g.内面摩耗
8	10	第2面 構成土	常滑 甕				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.暗褐色 d.灰緑色 e.良好・硬質 f.肩部片 g.文様不明
8	11	第2面 構成土	常滑 甕				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 c.黒褐色 e.良好・硬質 f.胴部片 g.格子の押印
8	12	第2面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.砂粒 白色粒 黒色粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
8	13	第2面 構成土	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
8	14	第2面 構成土	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.黒灰色 砂粒 白色粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.口縁部片
8	15	第2面 構成土	備前 播鉢				b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.黒褐色 e.良好・硬質 f.注口部片 g.5条の条線が確認される
8	16	第2面 構成土	土器質 火鉢				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 黒色粒 小石粒 赤色粒 c.灰橙色 e.良好・軟質 f.1/6 g.底部はなれ砂付着
8	17	第2面 構成土	土器質 罌釜				b.黒灰色 砂粒 白色粒 雲母 c.暗灰色 e.良好 f.口縁部片
8	18	第2面 構成土	石製品 砥石	3.1	2.2	0.8	c. f.破片 g.鳴滝産 2面使用 仕上砥
8	19	第2面 構成土	石製品 砥石	6.1	4.0	0.7	c. f.破片 g.鳴滝産 2面使用 カワ遺存 仕上砥
9	1	第3面 遺構16	瀬戸 卸皿				a.ロクロ b.微砂 良土 c.淡黄灰色 d.灰緑色・ハケ塗り e.良好 f.口縁部片
9	2	第3面 遺構16	黄釉 盤				b.明灰色 砂粒 黒色粒 白色粒 c.灰緑色 d.口縁部 黄褐色 胴部内外面 灰緑色 e.良好 f.口縁部片 g.小片の為鉄絵の有無は不明 口縁の釉を拭き取ったものが薄く残存
9	3	第3面 遺構16	鉄製品 釘	(7.2)	(0.6)	(0.6)	a.鍛造・断面方形 f.下端欠損
9	4	第3面 遺構18	常滑 片口鉢Ⅰ類			(12.0)	b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.1/2 g.内底部摩耗 外底部糸切痕
9	5	第3面 遺構18	鉄製品 釘	(5.1)	(0.7)	(0.5)	a.鍛造・断面方形
9	6	第3面 遺構19	骨製品 用途不明				g.くりがた制作途中か
9	7	第3面 遺構21	かわらけ	(8.4)	(7.0)	1.8	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.赤橙色 e.良好 f.1/2
9	8	第3面 遺構21	かわらけ	(8.4)	(6.6)	1.6	a.ロクロ・外底回転糸切 b.微砂 黒色粒 雲母 小石粒 c.黄褐色 e.良好 f.2/3
9	9	第3面 遺構21	渥美 甕				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
9	10	第3面 遺構21	石製品 滑石鍋加工品				c.銀灰色 g.滑石鍋転用品 温石として加工か
9	11	第3面 遺構22	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
9	12	第3面 遺構23	白磁 碗				a.ロクロ b.白色 精緻 d.乳白色 ツケ掛け e.良好 f.高台部～体部 g.高台部露胎
9	13	第3面 遺構23	かわらけ	(7.0)	(4.0)	1.7	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 雲母 c.黄褐色 e.良好 f.1/3
9	14	第3面 遺構23	かわらけ	(11.0)	(6.4)	2.9	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯雲母 c.黄褐色 e.良好 f.1/2 g.糸切の後整形したような痕あり
9	15	第3面 遺構23	かわらけ	12.0	6.4	3.15	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 雲母 c.黄褐色 e.良好 f.2/3
9	16	第3面 遺構23	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.暗灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.暗灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片 g.内面摩耗 6a
9	17	第3面 遺構23	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.黒灰色 白色粒 小石粒 c.黒灰色 e.良好・硬質 f.口縁部片
9	18	第3面 遺構23	かわらけ 加工品		2.8	1.4	g.円盤状に加工
9	19	第3面 遺構27	常滑 甕				a.輪積み技法 b.黒灰色 砂粒 白色粒 小石粒 c.暗褐色 d.灰緑色 e.良好・硬質 f.口縁部片 6a
9	20	第3面 遺構30	骨製品 用途不明	13.2	4.0	1.1	g.加工骨 8mm～10mmの間隔でさみ入る
9	21	第3面 遺構31	かわらけ	(12.4)	(8.3)	3.1	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 赤色粒 雲母 海綿骨芯 小石粒 c.黄褐色 e.良好 f.1/2
10	1	第3面 面上	かわらけ	(7.4)	(5.2)	1.7	a.ロクロ・外底回転糸切 b.微砂 雲母 赤色粒 海綿骨芯 c.橙色 e.良好 f.1/3 g.底部内外面の一部黒色に変色
10	2	第3面 面上	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.5	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 c.黄褐色 e.良好 f.1/3 g.内面口唇部に油煤痕あり
10	3	第3面 面上	瀬戸 卸皿				a.ロクロ b.明灰色 砂粒 雲母 小石粒 c. d.灰緑色・刷毛塗り e.良好 f.口縁部片
10	4	第3面 面上	土器質 罌釜				b.黒灰色 砂粒 白色粒 雲母 c.暗灰色 e.良好 f.口縁部片
11	1	表採	青磁 折縁鉢				b.黄褐色 黒色微砂 d.淡茶色 e.不良 f.口縁部片 g.焼成不良か 胎土・釉色は米色青磁に相似 貫入なし
11	2	表採	青磁 折縁鉢				b.灰色 精良堅緻 d.灰緑色 e.良好 f.口縁部片
11	3	表採	かわらけ	(7.4)	(5.8)	1.6	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 海綿骨芯 黒色粒 c.黄褐色 e.良好 f.1/2 g.口唇部の一部油煤痕あり

単位 (cm)

遺物観察表

図版	No.	出土面 遺構	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉調 e.焼成 f.遺存値 g.備考
11	4	表採	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.9	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 海綿骨芯 土丹粒 黒色粒 c.橙色 e.良好 f.1/3 g.口唇部の一部油煤痕あり
11	5	表採	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.9	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 小石粒 c.黄灰 色 e.良好 f.1/2 g.口唇部の一部黒色に変色
11	6	表採	かわらけ	(8.6)	(6.6)	1.7	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 黒色粒 雲母 海綿骨芯 赤色粒 c.橙色 e.良好 f.1/2
11	7	表採	かわらけ	(11.2)	(7.2)	3.7	a.ロクロ・外底回転糸切・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 黒色粒 c.赤橙色 e.良好 f.1/2
11	8	表採	かわらけ	(11.4)	6.0	2.9	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 黒色粒 海綿骨芯 小石粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
11	9	表採	かわらけ	(12.0)	(8.2)	3.2	a.ロクロ・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 黒色粒 小石粒 c.黄橙色 e.良好 f.1/2
11	10	表採	常滑 甕				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 雲母 c.暗褐色 d.灰緑色 e.良好・硬質 f.胴部片 g.格子と斜線の押印
11	11	表採	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.黒灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.口縁部片
11	12	表採	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.黒褐色 砂粒 白色粒 小石粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.口縁部片
11	13	表採	常滑 片口鉢Ⅰ類				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.灰色 e.良好・硬質 f.1/4 g.内 底部摩耗 高台部貼付け
11	14	表採	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.橙色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒 c.暗褐色 e.良好・硬質 f.口縁部 片 g.口唇部内面上部に油煤痕
11	15	表採	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 b.褐色 砂粒 白色粒 小石粒 雲母 c.褐色 e.良好・硬質 f.口縁部片 g.3型式
11	16	表採	瓦質器 火鉢				a.輪積み技法 b.灰橙色 砂粒 赤色粒 黒色粒 雲母 白色粒 c.灰黒色 e.良好 f.口 縁部片 g.黒色処理 外面に14弁の菊花文押印
11	17	表採	土器質 罌釜				b.黒灰色 砂粒 白色粒 雲母 c.暗灰色 e.良好 f.口縁部片
11	18	表採	瓦器質 火鉢				a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 雲母 c.黒色 e.良好 f.罌部片 g.8弁の小型の菊花文の押 印 穿孔1ヶ所あり
11	19	表採	鉄製品 釘	(2.65)	(0.3)	(0.3)	a.鍛造・断面方形 f.両端部欠損

単位 (cm)

破片遺物集計表

GYN 下馬周辺遺跡			第1面遺物	第2面遺物	第3面遺物	合計	%	
かわらけ		糸 大	328	139	241	708	54.2	
		糸 小	21	23	20	64	4.9	
		手 大	2		18	20	1.5	
		手 小			1	1	0.1	
		用途不明 転用品		1		1	0.1	
舶載陶磁器	青磁	蓮弁文碗	1		1	2	0.2	
		無文碗	1	1		2	0.2	
		折縁皿		1	1	2	0.2	
		器種不明	1			1	0.1	
	米色青磁	折縁皿	1			1	0.1	
		青白磁	壺	2			2	0.2
	白磁	梅瓶 蓋			1		1	0.1
		皿				1	1	0.1
		碗				1	1	0.1
		彩釉陶磁器	褐釉 壺			1	1	0.1
国産陶器		瀬戸	皿	1			1	0.1
			折縁皿	1	1		2	0.2
		卸皿	1		2	3	0.2	
		壺		1	1	2	0.2	
		洗			1	1	0.1	
		器種不明	1			1	0.1	
	常滑	甕	99	33	78	210	16.1	
		壺		1	2	3	0.2	
		片口鉢Ⅰ類	13	8	10	31	2.4	
		片口鉢Ⅱ類	4	6	6	16	1.2	
	山茶碗			1		1	0.1	
	備前 擂鉢		1	1		2	0.2	
	渥美 甕				3	3	0.2	
	器種不明			1		1	0.1	
土製品		火鉢	4			4	0.3	
		伊勢系土鍋	1	1	1	3	0.2	
		円盤			1	1	0.1	
		不明土器			1	1	0.1	
瓦質製品		火鉢	7	6	6	19	1.5	
		器種不明	1		1	2	0.2	
石製品		砥石(仕上げ)	2	2		4	0.3	
		硯	1	1	1	3	0.2	
		使用痕跡有り玉石	1			1	0.1	
滑石製品		種別不明		1	1	2	0.2	
鉄製品		釘	2	2	2	6	0.5	
骨角製品		用途不明 加工骨			1	1	0.1	
自然遺物		玉石	2	8	6	16	1.2	
		チャート			1	1	0.1	
		漆喰			2	2	0.2	
		骨	43	32	71	146	11.2	
		魚骨	2		5	7	0.5	
		馬歯			1	1	0.1	
		器種不明	1			1	0.1	
土師器		甕	1			1	0.1	
須恵器		甕	1			1	0.1	
合計		合計	546	273	488	1307	100	
%		%	41.8	20.9	37.3	100		

実測不可木製品計測表

出土面	出土遺構	種別	長	幅	厚
1面	側溝	箸状木製品	9.0	0.6	0.3
1面		箸状木製品	10.5	0.4	0.4
1面		箸状木製品	(10.2)	0.5	0.4
1面		篋状木製品	15.4	0.8	0.5
1面		篋状木製品	10.7	0.6	0.3
1面		加工品	10.6	0.9	0.6
1面		部材	19.5	8.5	1.2
1面		部材	11.0	8.0	7.0
1面		部材	12.5	6.1	2.8
1面		棒状木製品	17.3	0.9	0.7
1面		棒状木製品	15.4	1.0	0.6
1面		棒状木製品	17.8	0.5	0.5
1面		棒状木製品	15.6	0.5	0.5
1面		棒状木製品	12.6	0.4	0.3
1面		棒状木製品	16.4	0.6	0.3
1面		棒状木製品	14.4	0.6	0.3
1面		棒状木製品	13.9	0.5	0.4
1面		棒状木製品	14.5	0.6	0.6
1面		棒状木製品	16.1	0.6	0.5
1面		棒状木製品	11.8	0.6	0.6
1面		棒状木製品	14.1	0.7	0.4
1面		棒状木製品	12.6	0.6	0.5
1面		棒状木製品	14.8	0.7	0.3
1面		棒状木製品	14.5	0.5	0.3
1面		棒状木製品	12.0	0.6	0.5
1面		棒状木製品	11.9	0.6	0.3
1面		棒状木製品	11.4	0.5	0.4
1面		棒状木製品	10.4	0.4	0.4
1面		棒状木製品	10.6	0.7	0.3
1面		棒状木製品	10.1	0.6	0.5
1面		棒状木製品	10.7	0.7	0.5
1面		棒状木製品	16.5	0.9	0.4
1面		棒状木製品	13.0	0.9	0.6
1面		棒状木製品	12.0	0.7	0.5
1面		棒状木製品	11.4	0.7	0.5
1面		棒状木製品	10.6	0.7	0.7
1面		棒状木製品	11.1	0.6	0.3
1面		棒状木製品	10.2	0.5	0.5
1面		棒状木製品	9.2	0.8	0.7
1面		棒状木製品	10.5	0.7	0.3
1面		棒状木製品	7.5	0.8	0.4
1面		棒状木製品	8.8	0.5	0.4
1面		棒状木製品	11.5	0.6	0.4
1面		棒状木製品	7.1	0.8	0.5
1面		棒状木製品	9.3	0.8	0.2
1面		棒状木製品	10.2	0.7	0.5
1面		棒状木製品	8.4	0.7	0.2
1面		棒状木製品	8.5	0.6	0.4
1面		棒状木製品	9.3	1.0	0.2
1面		棒状木製品	10.3	0.3	0.3
1面		棒状木製品	7.5	0.9	0.5
1面		棒状木製品	10.4	0.7	0.4
1面		棒状木製品	6.0	0.8	0.5
1面		棒状木製品	7.0	0.7	0.5
1面		棒状木製品	5.5	0.7	0.2
1面		棒状木製品	5.8	1.0	0.3
1面		棒状木製品	5.5	0.7	0.2
1面		棒状木製品	6.6	0.6	0.6
1面		棒状木製品	7.1	0.6	0.4
1面		棒状木製品	5.3	0.6	0.3
1面		棒状木製品	6.5	0.5	0.3
1面		棒状木製品	5.9	1.1	0.3
1面		円形木製品	3.2	3.0	0.1
1面		チュウ木状製品	(8.0)	0.5	0.4
2面	2面構成土	棒状木製品	13.4	2.0	1.3
2面		漆小片			
3面	3面上	用途不明木製品	21.2	1.2	0.4
3面		用途不明木製品	4.5	1.4	0.3
3面		曲物側板	(7.5)	4.0	1.0
3面		曲物側板	7.0	4.5	0.7
3面	3面構成土	人形	10.8	3.4	0.6
3面		篋状木製品	4.0	1.4	0.2
3面	遺構21	部材	18.5	5.4	3.0
3面		箸状木製品	16.3	0.7	0.3
3面		箸状木製品	16.1	0.7	0.5
3面		箸状木製品	16.3	0.7	0.4
3面		曲物底板	21.4	6.1	0.5

単位 (cm)

実測不可木製品計測表

出土面	出土遺構	種別	長	幅	厚	
3面	遺構21	棒状木製品	14.6	0.9	0.2	
3面		棒状木製品	5.9	1.1	0.2	
3面		棒状木製品	13.0	0.6	0.3	
3面		棒状木製品	10.0	0.7	0.5	
3面		棒状木製品	15.5	0.9	0.3	
3面		棒状木製品	12.5	0.7	0.4	
3面		棒状木製品	13.4	0.7	0.3	
3面		棒状木製品	12.0	0.6	0.4	
3面		棒状木製品	15.5	0.5	0.5	
3面		棒状木製品	木片	5.0	2.2	2.6
3面	遺構17	棒状木製品				
3面	遺構23	漆碗片	8.0	2.3	0.5	
3面		用途不明木製品	(14.0)	0.6	0.5	
3面		用途不明木製品	(12.5)	0.7	0.5	
3面		用途不明木製品	(11.5)	0.4	0.4	
3面	遺構28	木片	7.2	0.8	0.4	
3面		木片	5.1	0.5	0.5	
3面		木片	2.8	0.8	0.2	
3面	遺構29	漆碗片	3.8	2.1	0.6	
3面		箸状木製品	(3.2)		0.5	
3面		箸状木製品	(4.5)		0.4	
3面		箸状木製品	(4.9)		0.5	
3面		箸状木製品	(5.8)	0.6	0.3	
3面		箸状木製品	(6.9)	0.5	0.4	
3面		箸状木製品	(10.2)	0.5	0.3	
3面		箸状木製品	(10.1)	0.5	0.4	
3面		箸状木製品	(13.3)		0.5	
3面		箸状木製品	(14.5)	0.7	0.5	
3面		棒状木製品	(8.0)	0.6	0.4	
3面		棒状木製品	(8.3)	0.7	0.7	
3面		棒状木製品	(8.0)	0.6	0.3	
3面		棒状木製品	(9.0)	0.8	0.4	
3面		杭	36.0	4.0	3.0	
3面		遺構26	調度具膳脚	8.5	2.5	2.0
3面			不明木製品	(8.9)	3.5	1.5
3面	炭		4.0	3.5	2.6	
3面	遺構30	漆碗片	3.2	1.5	0.4	
3面		板草履芯	(6.2)	2.2	0.2	
3面		板草履芯	(8.2)	0.6	0.3	
3面		板草履芯	1.4	0.4	3.5	
3面		板草履芯	(7.0)	0.6	0.4	
3面		板草履芯	5.7	1.0	0.4	
3面		板草履芯	(6.7)	0.8	0.3	
3面		板草履芯	7.0	0.8	1.2	
3面		用途不明木製品	(6.0)	0.9	0.6	
3面		用途不明木製品	2.9	1.3	0.5	
3面		用途不明木製品	(8.4)	0.5	1.0	
3面		用途不明木製品	(8.7)	1.2	0.4	
3面		経木折敷	(14.5)	(1.2)	0.2	
3面		経木折敷	(13.0)	(2.8)	0.1	
3面		板折敷	(26.0)	(3.0)	0.3	
3面		箸状木製品	(15.1)	0.5	0.3	
3面		篋状木製品	14.8	0.9	0.5	
3面		チュウ木状製品	16.6	0.5	0.5	
3面		チュウ木状製品	11.6	0.6	0.3	
3面		チュウ木状製品	13.5	0.6	0.5	
3面		チュウ木状製品	15.5	0.6	0.4	
3面	棒状木製品	(14.0)	1.5	0.3		
3面	棒状木製品	13.2	1.3	0.5		
3面	棒状木製品	(20.5)	1.3	0.4		
3面	棒状木製品	(16.9)	(2.4)	0.5		
3面	棒状木製品	(7.3)	2.0	0.5		
3面	棒状木製品	(15.0)	1.0	0.5		
3面	棒状木製品	(13.1)	1.3	0.7		
3面	棒状木製品	20.7	0.8	0.5		
3面	棒状木製品	(15.3)	0.6	0.6		
3面	棒状木製品	(20.0)	0.6	0.4		
3面	棒状木製品	(16.0)	0.7	0.7		
3面	棒状木製品	(11.7)	1.0	0.5		
3面	棒状木製品	(12.6)	0.8	0.6		
3面	棒状木製品	16.0	0.9	0.5		
3面	棒状木製品	(18.9)	0.8	0.7		
3面	棒状木製品	(18.1)	0.9	0.5		
3面	棒状木製品	(17.3)	0.9	0.3		
3面	棒状木製品	(15.4)	0.8	0.3		
3面	棒状木製品	(12.1)	0.7	0.8		
3面	棒状木製品	(16.9)	1.1	0.4		

単位 (cm)

実測不可木製品計測表

出土面	出土遺構	種別	長	幅	厚
3面	遺構30	棒状木製品	15.3	0.6	0.6
3面		棒状木製品	16.2	0.7	0.7
3面		棒状木製品	12.0	0.9	0.4
3面		棒状木製品	(14.4)	0.7	0.6
3面		棒状木製品	(14.4)	0.7	0.7
3面		棒状木製品	(13.3)	0.7	0.6
3面		棒状木製品	(13.1)	0.6	0.7
3面		棒状木製品	(17.5)	0.7	0.4
3面		棒状木製品	(15.6)	0.8	0.3
3面		棒状木製品	(17.9)	1.1	0.4
3面		棒状木製品	(14.0)	0.9	0.5
3面		棒状木製品	(16.0)	0.8	0.4
3面		棒状木製品	(4.5)	0.7	0.3
3面		棒状木製品	(6.0)	0.7	0.3
3面		棒状木製品	(7.7)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(7.8)	0.8	0.4
3面		棒状木製品	(8.4)	0.8	0.4
3面		棒状木製品	(8.0)	0.9	0.4
3面		棒状木製品	(8.9)	1.2	0.3
3面		棒状木製品	(8.3)	0.8	0.5
3面		棒状木製品	(8.6)	0.7	0.5
3面		棒状木製品	(8.9)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(9.1)	0.7	0.4
3面		棒状木製品	(10.1)	0.9	0.7
3面		棒状木製品	(10.5)	0.8	0.3
3面		棒状木製品	(11.3)	0.7	0.7
3面		棒状木製品	(10.8)	0.8	0.3
3面		棒状木製品	(10.9)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(12.0)	0.8	0.4
3面		棒状木製品	(13.3)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(15.0)	0.9	0.4
3面		棒状木製品	(14.7)	0.7	0.5
3面		棒状木製品	(14.0)	0.8	0.5
3面		棒状木製品	(14.5)	0.8	0.4
3面		棒状木製品	(13.3)	1.2	0.5
3面		棒状木製品	(3.7)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(4.0)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(4.6)	0.6	0.4
3面		棒状木製品	(4.5)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(5.0)	0.7	0.3
3面		棒状木製品	(5.1)	0.6	0.2
3面		棒状木製品	(6.0)	0.7	0.4
3面		棒状木製品	(5.5)	0.6	0.6
3面		棒状木製品	(5.6)	0.7	0.2
3面		棒状木製品	(6.2)	0.4	0.3
3面		棒状木製品	(6.0)	0.5	0.3
3面		棒状木製品	(6.0)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(6.5)	0.5	0.4
3面		棒状木製品	(6.4)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(6.8)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(6.3)	0.7	0.4
3面		棒状木製品	(7.2)	0.7	0.4
3面		棒状木製品	(7.7)	0.7	0.3
3面		棒状木製品	(7.1)	0.7	0.3
3面		棒状木製品	(8.0)	0.7	0.5
3面		棒状木製品	(9.3)	0.6	0.2
3面		棒状木製品	(9.7)	0.5	0.7
3面		棒状木製品	(10.0)	0.6	0.3
3面		棒状木製品	(10.0)	0.9	0.2
3面		棒状木製品	(10.3)	0.7	0.5
3面		棒状木製品	(10.6)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(10.0)	0.7	0.4
3面		棒状木製品	(10.5)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(12.0)	0.6	0.4
3面		棒状木製品	(11.6)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(12.0)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(13.5)	0.5	0.4
3面		棒状木製品	(13.3)	0.4	0.4
3面		棒状木製品	(13.3)	0.6	0.6
3面		棒状木製品	13.5	0.5	0.6
3面		棒状木製品	(13.5)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(13.1)	0.5	0.4
3面		棒状木製品	(13.5)	0.6	0.4
3面		棒状木製品	15.0	0.5	0.6
3面		棒状木製品	(15.0)	0.5	0.6
3面		棒状木製品	(15.6)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(15.6)	0.4	0.5

単位 (cm)

実測不可木製品計測表

出土面	出土遺構	種別	長	幅	厚
3面	遺構30	棒状木製品	(15.9)	0.6	0.6
3面		棒状木製品	(16.0)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(18.5)	0.5	0.6
3面		棒状木製品	(5.2)	0.8	0.2
3面		棒状木製品	(6.5)	0.9	0.4
3面		棒状木製品	(6.5)	0.6	0.5
3面		棒状木製品	(8.0)	0.7	0.6
3面		棒状木製品	(9.4)	0.7	0.3
3面		棒状木製品	(10.8)	0.7	0.6
3面		棒状木製品	(11.9)	0.5	0.4
3面		棒状木製品	(11.5)	1.3	0.3
3面		棒状木製品	(11.7)	1.6	0.7
3面		棒状木製品	(16.0)	1.3	1.1
3面		棒状木製品	14.5	1.5	1.5
3面		棒状木製品	8.0	1.4	1.1
3面	遺構32	部材	11.0	5.0	1.0
3面		部材	3.0	2.4	2.4
3面		篋状木製品	(6.2)	0.8	0.2
3面	最終トレンチ	折敷	5.8	1.6	0.2
3面		箸状木製品	7.6	0.4	0.3
3面		箸状木製品	(10.4)	0.5	0.3
3面		箸状木製品	(13.2)	0.6	0.6
3面		箸状木製品	(13.1)	0.5	0.4
3面		箸状木製品	(12.7)	0.6	0.5
3面		箸状木製品	(14.5)	0.5	0.4
3面		箸状木製品	(14.7)	0.5	0.5
3面		棒状木製品	(14.5)	0.7	0.7
3面		棒状木製品	(14.3)	0.7	0.5
3面		棒状木製品	(13.3)	0.6	0.6
3面		チュウ木状製品	(8.1)	0.9	0.4
3面		チュウ木状製品	(11.0)	0.8	0.5
3面		部材	44.5	5.8	2.5
3面		杭	55.8	5.2	3.8
3面	杭	50.9	3.6	2.4	
3面	杭	38.9	4.0	3.2	
3面	角材	10.0	7.0	1.5	
3面	角材	13.4	10.7	4.2	
3面		棒状木製品	9.2	0.6	0.5

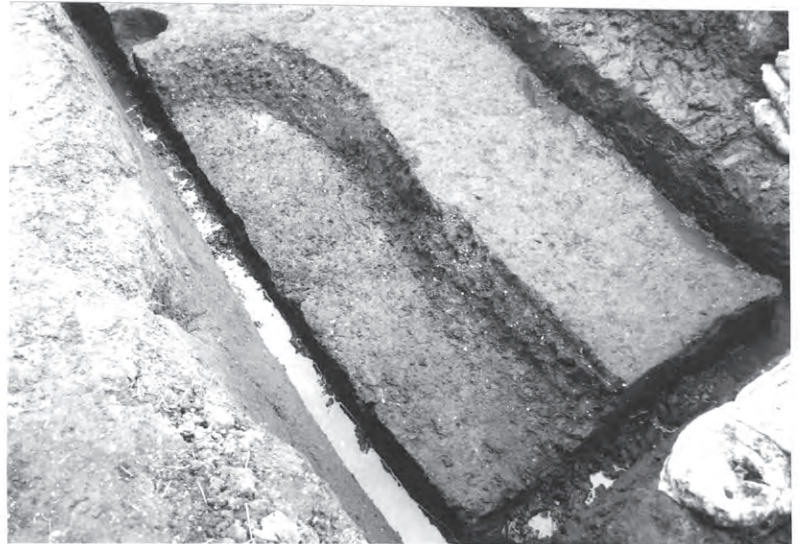
単位 (cm)

出土品数量表

GYM 下馬廐辺遺跡		巻貝																二枚貝																		
出土面	黒アソビ	アソビ系	イボキサゴ	キサゴ	カニベキサゴ	キサゴ	サザエ	サザエ蓋	イボウミナ	ウミナ	ツマカガイ	アカシ	イボニシ	ハイ	ハチイラ	カボガイ	スガイ	アラムシロガイ	インダタミガイ	不明	サトウガイ	マガキ	打腫ハマグリ	ハマグリ	ハマグリ系	チリボク	ウチムラサキガイ	イガイ	サルボウガイ	不明						
1面		1			4	3						3			1						1		6													
1面												1					1																			
1面	1	1			5	1					2	15	2	2			1	1	4															2		
1面							1							2																						
1面						1					1		1	1																						
1面					4							5	1																							
1面						3					5	2	2																							
2面												6																								
2面												1																								
2面																																				
2面													1	2	1																					
2面																																				
2面												1																								
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				
2面																																				



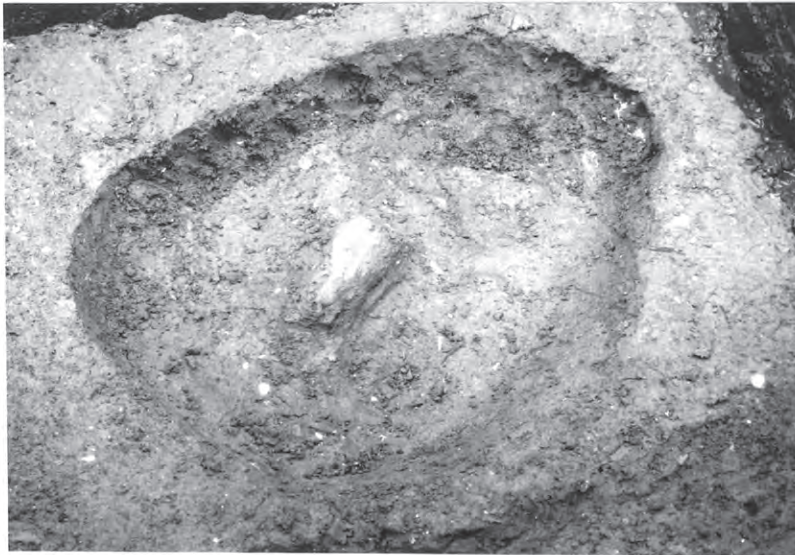
第1面全景 (北から)



第1面遺溝 (東から)



第2面全景 (北から)



第2面遺溝12

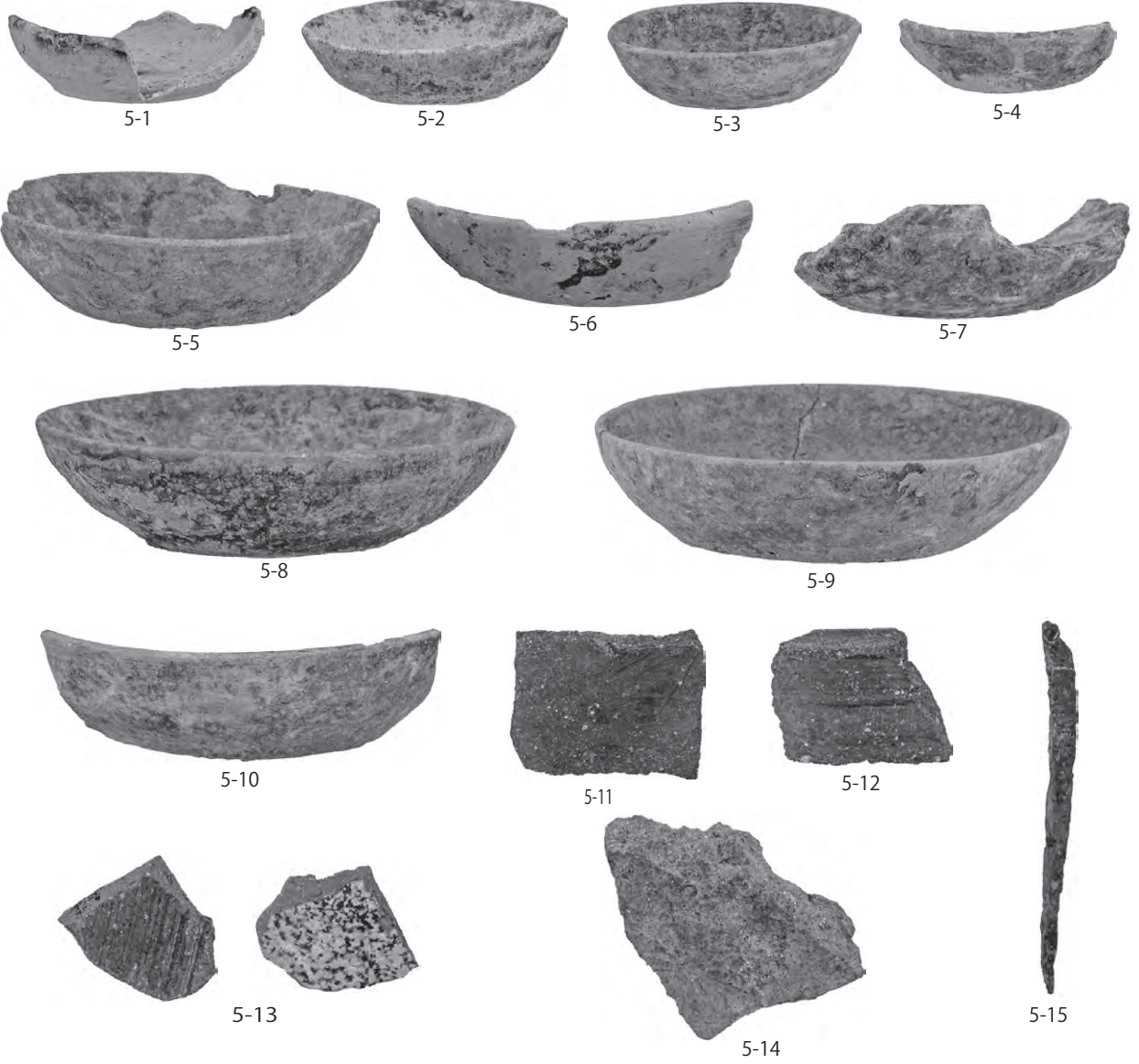


第3面全景（北から）

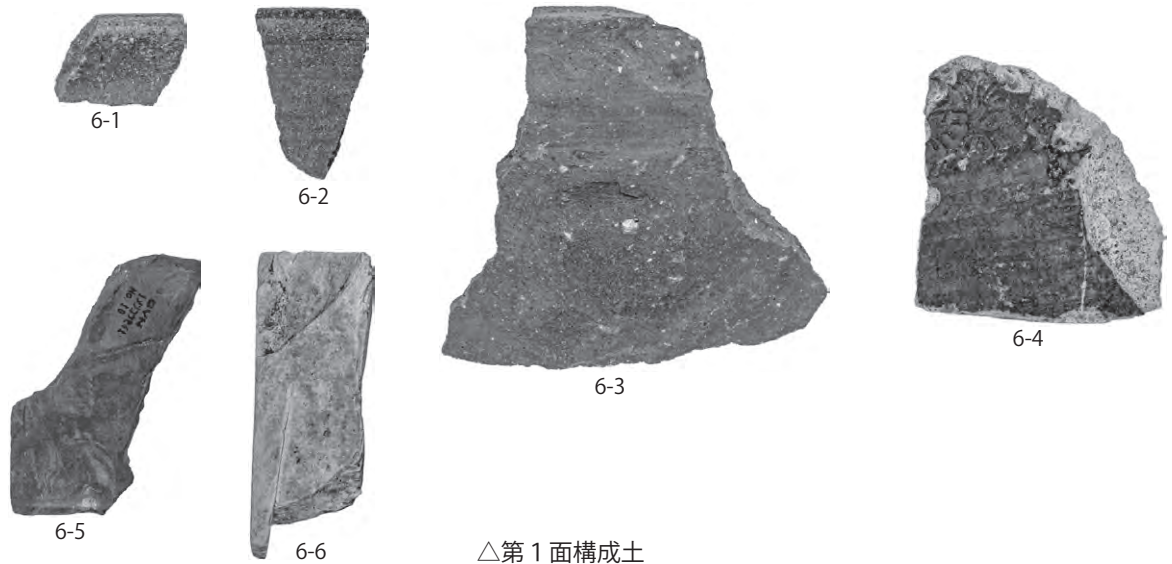


第3面全景（南から）

▼第1面



△遺構2

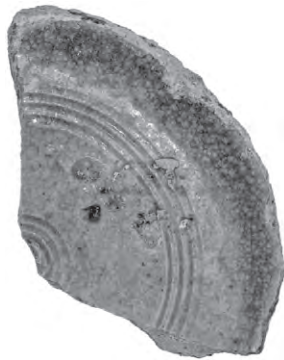


△第1面構成土

▼第2面



7-1



7-3
△遺構7



7-4



7-6



7-2
△遺構5



7-5
△遺構8



7-7
△遺構11



7-8



7-9



7-10



7-12



7-11

△遺構13



8-1

△第2面面上



8-2



8-3



8-4



8-5



8-6



8-7



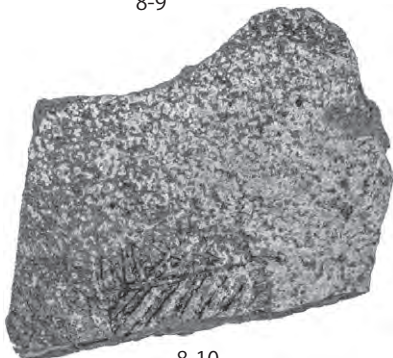
8-8



8-9



8-12



8-10



8-11

△第2面構成土



8-13

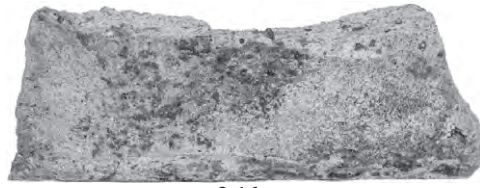
▼第2面



8-14



8-15



8-16



8-19



8-17



8-18

△第2面構成土

▼第3面



10-1



10-2



10-3



10-4



10-5

△遺構 18

△遺構 16



10-7



10-8



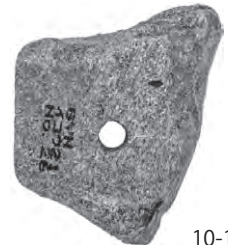
10-6



△遺構 19



10-9



10-10

△遺構 21



10-11

△遺構 22



10-13



10-16



10-17



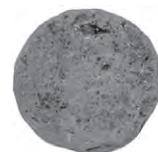
10-12



10-14



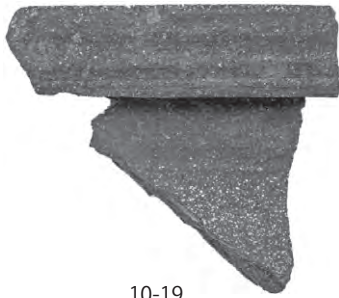
10-15



10-18

△遺構 23

▼第3面



10-19
△遺構 27



10-20
△遺構 30

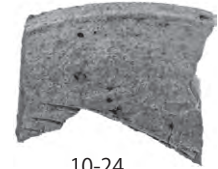


10-22

10-23



10-21
△遺構 31



10-24



10-25

△第3面面上



11-1



11-2



11-3



11-4



11-5



11-6



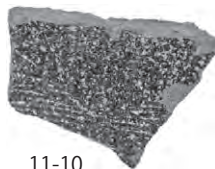
11-7



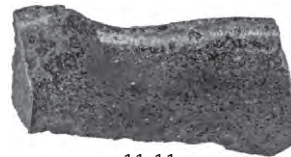
11-8



11-9



11-10



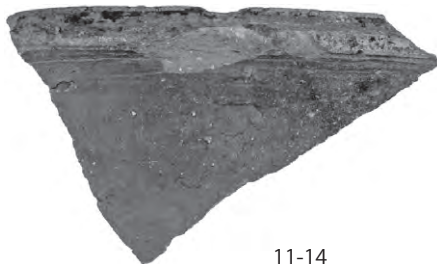
11-11



11-12



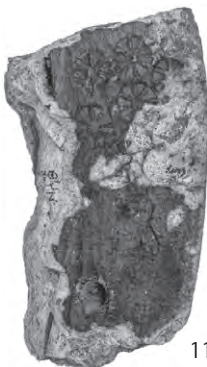
11-13



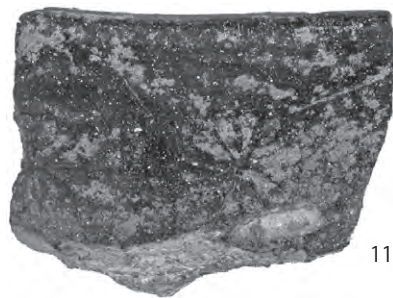
11-14



11-15



11-17



11-16



11-18

△表採